

第3章 用途別実態把握

第3章 用途別実態把握

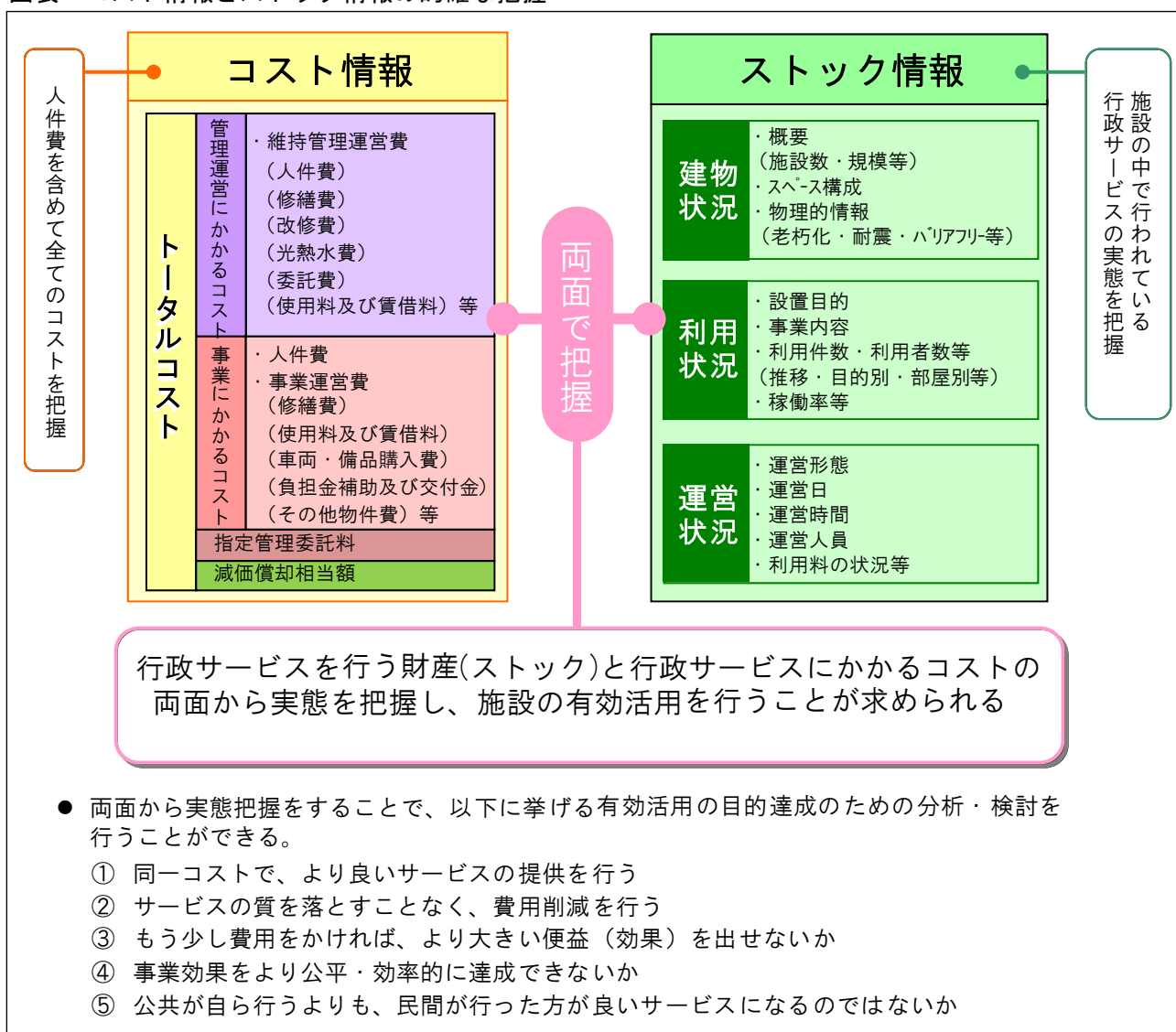
1 コスト情報とストック情報の的確な把握

公共施設の実態を把握するためには、老朽化や耐震化の状況だけでなく、利用状況や運営実態、さらにはコスト状況など多角的に分析することが重要です。具体的には、コスト情報として行政コスト計算書等を活用し、建物全体及びそこで行われている行政サービスの人件費や事業費も含め、全体でいくらかかっているか、また、ストック情報として、土地・建物の老朽化状況などの物理的な状況に加え、利用状況、運営状況を整理する必要があります。

そこで、第3章では、市民利用の多い公共施設を中心に、コスト情報とストック情報を整理し、この2つの情報から見えてきた公共施設の実態を総合的に把握することで、今後、公共施設に何を求め、何をすべきかなど、今後の検討の視点を明らかにしました。

なお、対象とした公共施設は、公民館、文化施設、その他広域対応集会施設、保養系施設、老人憩いの家、博物館、児童センター、図書館、小学校・中学校、保育所・幼稚園、庁舎（行政窓口）、屋内スポーツ施設、福祉施設等、21用途です。

図表 コスト情報とストック情報の的確な把握

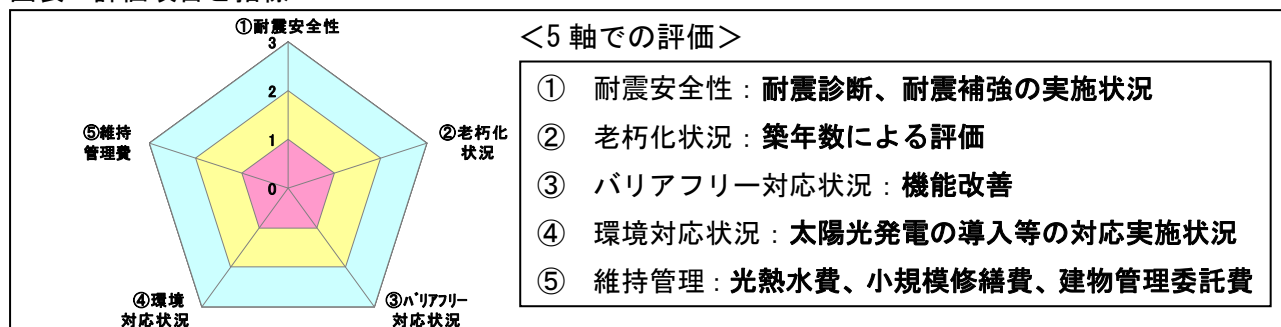


2 公共施設の建物総合評価

■ 公共施設の建物総合評価の方法

建物総合評価は、次の5項目の評価軸で各施設を簡易的に評価し、評価軸の重要度に基づいた代表的なパターンに分類します。各施設の評価結果をこのパターンに当てはめ、施設用途単位で課題整理の目安にします。

図表 評価項目と指標



評価指標		3	2	1
① 耐震安全性	現行の耐震基準への適合	問題なし (新耐震基準以降又は、補強等を実施した建物)	対策中	対策が必要

評価指標		3	2	1
② 老朽化状況	築年数による評価	問題なし (築20年未満)	老朽対策が必要 (築20年以上30年未満)	老朽化が進行している (築30年以上)

評価指標		3	2	1
③ バリアフリー対応状況		対応済み (6項目全て実施)	一部未実施の項目がある (1項目～5項目実施)	バリアフリー対応が必要

<以下の項目に対応しているか>

車いす用エレベータ、身障者用トイレ、道路から入り口までの車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字ブロックの6項目

評価指標		3	2	1
④ 環境対応状況		対応済み (3項目全て実施)	一部改善の可能性がある (1項目～2項目実施)	環境対応が必要

<以下の項目に対応しているか>

自然エネルギー・太陽光発電の導入、屋上緑化・壁面緑化等の実施、環境対応設備（節水型便器・高効率照明器具・LED、雨水・中水設備）の導入

バリアフリー・環境対応状況は、用途によって導入する方針を出していない項目があるが、可能な限り全施設共通の分析を行うため、記載の項目に対応しているかの評価を行う

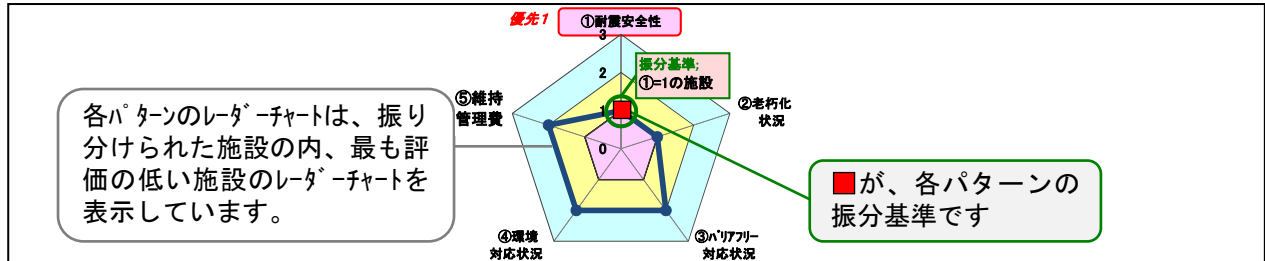
評価指標		3	2	1
⑤ 維持管理費		妥当 (延床面積当たりの単価が平均値の140%未満の建物)	—	改善の可能性がある (平均値の140%以上の建物)

※維持管理費＝建物管理委託費（清掃費・警備費・機械保守費等）、光熱水費（電気・ガス・水道・燃料等）、小規模修繕費（建物等の軽微な故障等に対する修繕）

■ 建物総合評価結果のパターン分類

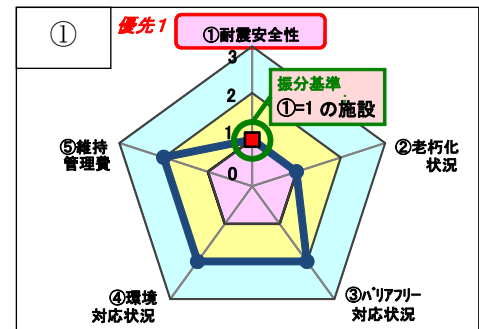
建物総合評価結果を次の4パターンに分類します。

パターン分類を行う際の優先順位は、パターン①を最優先とします。パターン①から順に振分基準に該当するか判定し、振分基準に合致したパターンに分類されます。



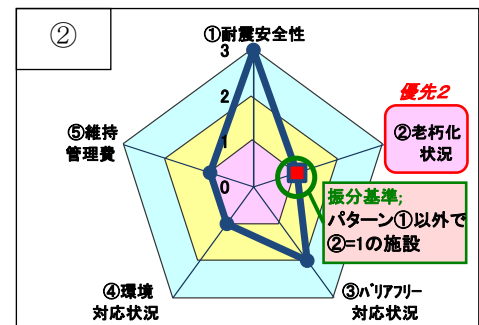
➤ パターン①<<最優先>>

評価内容：耐震安全性が確保されていない、さらに老朽化が進行している施設
振分基準：評価軸「①耐震安全性」が「1」（対策が必要）と評価された施設



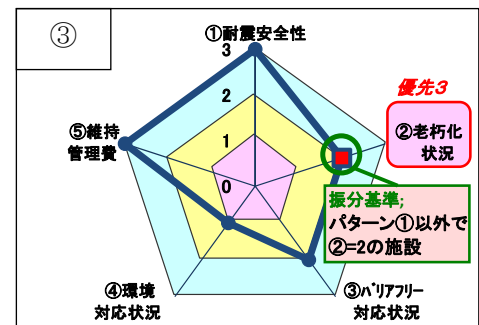
➤ パターン②

評価内容：老朽化が進行している施設
振分基準：評価軸「②老朽化状況」が「1」（老朽化が進行している）と評価された施設



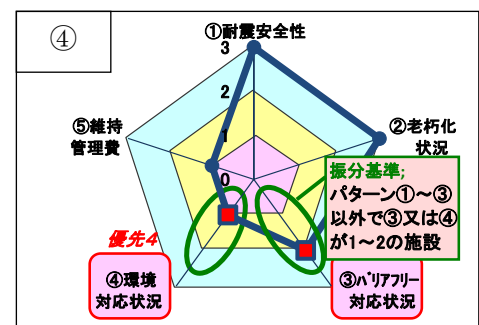
➤ パターン③

評価内容：今後、老朽化対策の検討が必要な施設
振分基準：評価軸「③バリアフリー対応状況」が「2」（対策検討が必要）と評価された施設



➤ パターン④

評価内容：バリアフリー化及び環境対策が必要な施設
振分基準：評価軸「③バリアフリー対応状況」「④環境対応状況」のいずれかが「1」（対策が必要）、もしくは「2」（一部未実施の項目がある）と評価された施設



➤ 問題なし

評価内容：現状、特に問題がない施設
振分基準：評価軸が全て「3」

➤ 維持管理費

評価内容：維持管理費3項目の床面積単価が、それぞれの用途平均値の140%以上の施設
（パターン①～④とは別個に評価する）

3 用途別実態把握の共通記載内容

■ 対象施設

本編の1章2章では、入間市が保有する**公共施設**(192施設・建物延床面積32.3万㎡)と**インフラ資産**(道路312.6万㎡、橋りょう1.9万㎡、上水道488km、下水道402km)を対象施設とし、将来の施設の建替え・改修にかかるコスト試算等を行っています。

3章では、入間市が保有する**公共施設**(192施設・建物延床面積32.3万㎡)について用途別の実態把握を行っています。

■ 開館日数

本編の3章で、各施設の稼働率や、1日当たりの利用件数、利用者数を算出しており、各施設の開館日数をベースに算出しています。各施設の開館日数は、各用途の「施設概要」の「②開館時間・開館日数」に記載しています。

<記載例>

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
勤労福祉センター	午前8時30分から 午後10時	年末年始 (12/27から1/5)	355日

■ コスト状況

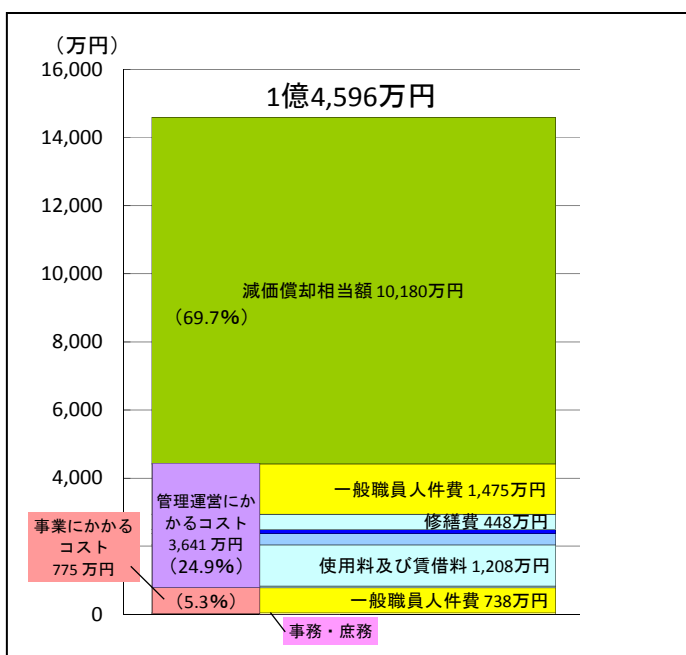
本編では、各用途のトータルコストを図表にて掲載しています。

図表の中で「管理運営にかかるコスト」として建物にかかるコストの改修費や修繕費を表記しています。

<記載例>

図表 公営住宅 全施設トータルコスト(例)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		公営住宅
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	14,750,739
	修繕費	4,484,779
	改修費	1,287,099
	委託費	3,296,244
	使用料及び賃借料	12,078,212
	その他物件費	510,997
	管理運営にかかるコスト	36,408,070
事業にかかるコスト	一般職員人件費	7,375,370
	その他物件費	366,210
	事業活動	7,741,580
	負担金補助及び交付金	6,000
	その他物件費	3,660
	事務・庶務	9,660
事業にかかるコスト	7,751,240	
現金収支を伴うコスト 計		44,159,310
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	101,803,174
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		145,962,484
収支差額(ネットコスト)		51,128,738



■ 評価分析

同等規模、同等機能を持ち市内で複数保有している以下の用途では、利用1件当たりのコストと利用者1人当たりのコストの平均値を算出し赤い平均コストラインをグラフ上に設けています。そして比較、分析の手掛かりとしています。この平均値の算出方法は、以下の通りです。

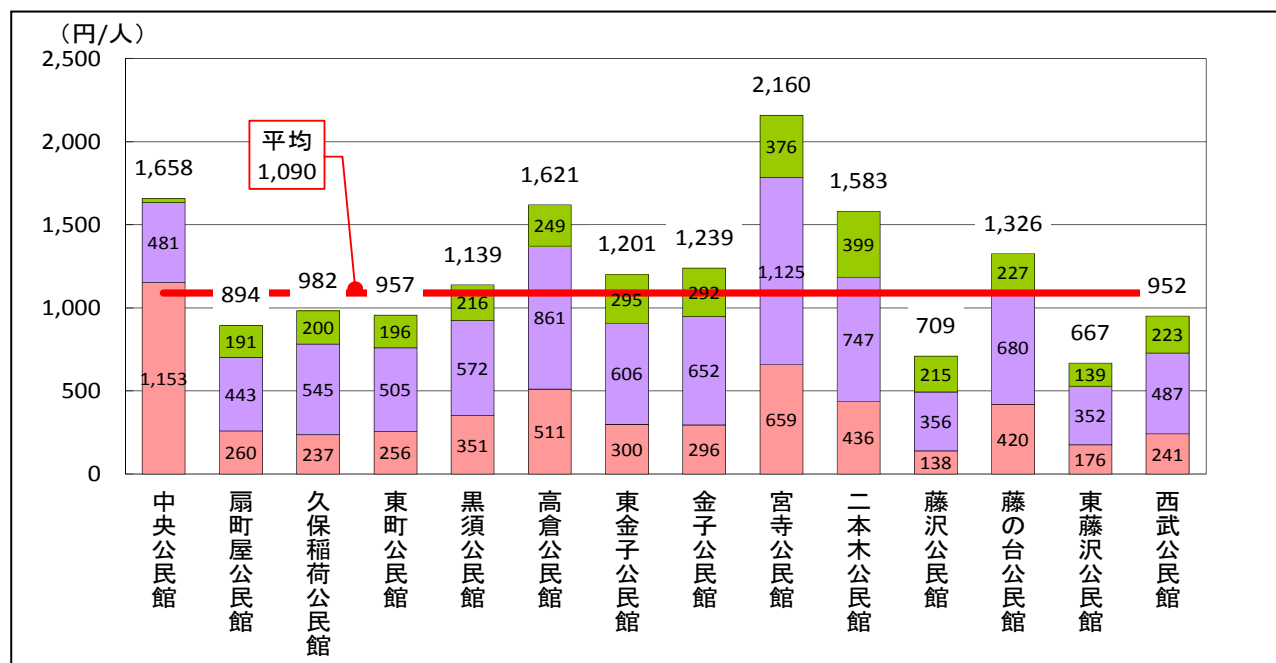
平均コストを記載している用途は、公民館、保育所・幼稚園、行政窓口、屋内スポーツ施設の4用途です。

①利用1件当たりの平均コスト：(用途全体のトータルコスト) ÷ (用途の全利用件数)

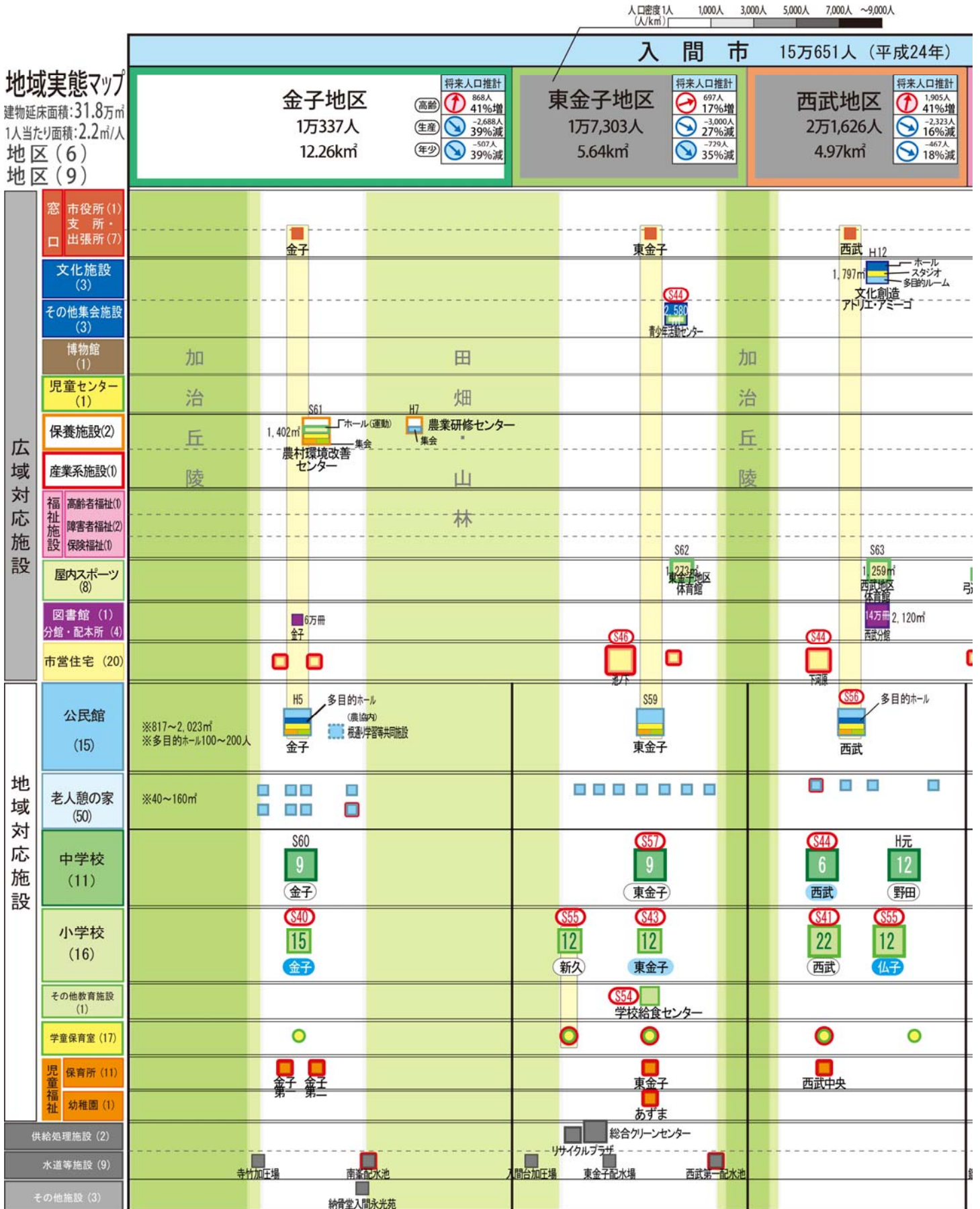
②利用1人当たりの平均コスト：(用途全体のトータルコスト) ÷ (用途の全利用者数)

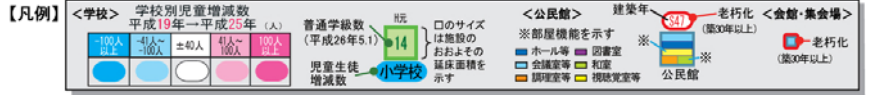
<記載例>

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト

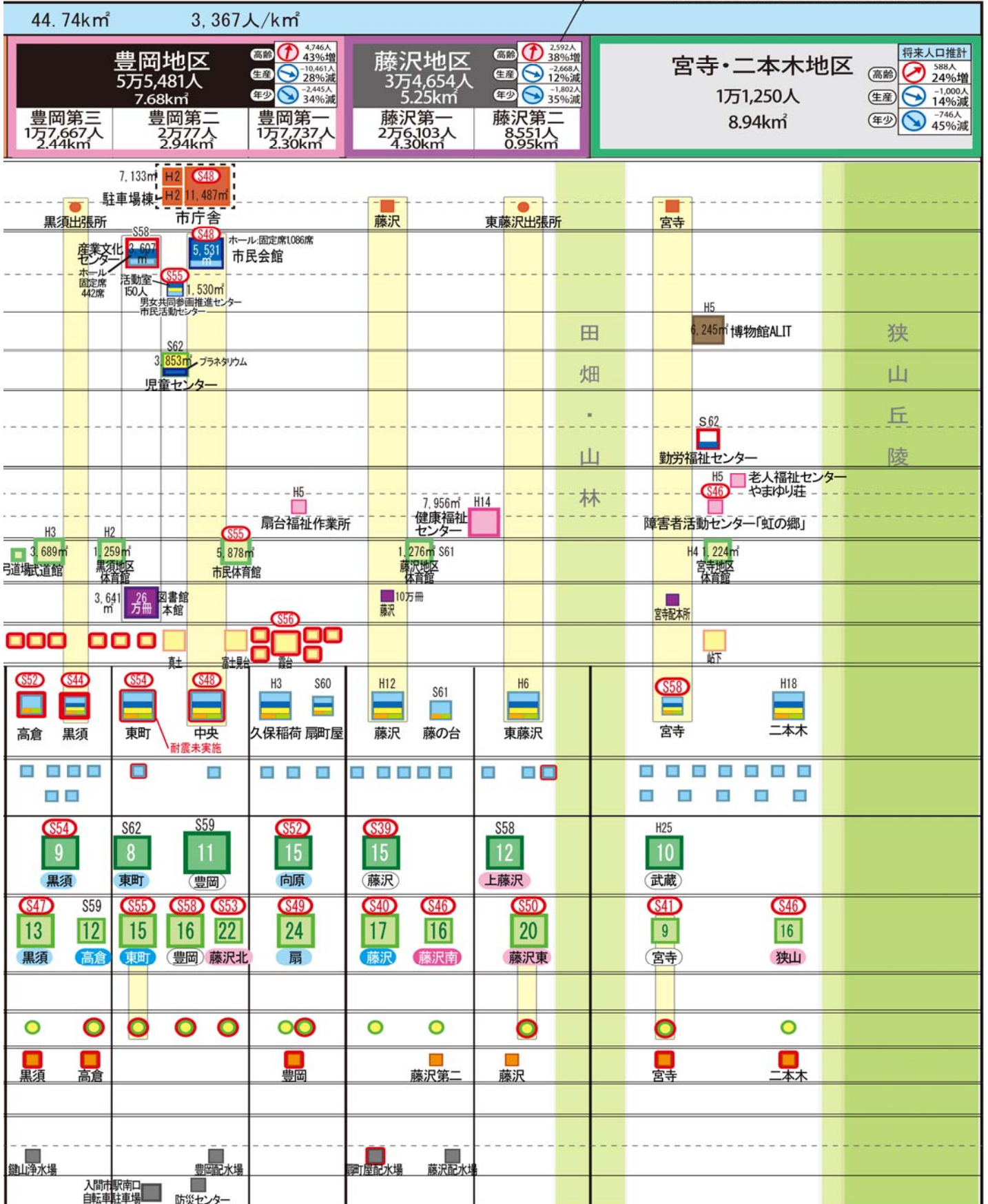


4 主な公共施設の配置状況（入間市公共施設実態マップ）





平成24年から平成44年の階層別将来人口推計



5 主な施設の実態把握

(1) 公民館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、公民館を14館設置し、また公民館と共用する学習等供用施設を12施設、単独の学習等供用施設を1施設保有しています。公民館全施設の管理運営は、市の直営となっています。

中央公民館は市民会館との併設となっています。また、その他の公民館13館のうち7館は、支所・出張所及び図書館分館・配本所を併設しています。

設置目的：現代的課題に対応し、市民のライフステージに合わせた事業をバランス良く実施するとともに、社会教育関係団体の活動促進事業を実施し、人づくり・地域づくりの推進を図ることを目的とする
また、学習等供用施設として、市民の学習、保養休養又は集会の用に供することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併設施設					土地 所有	備考
						支所 (行政 窓口)	出張所	図書館 分館・ 配本所	文化施設	その他		
広域	1 中央公民館	豊岡3-10-10	2,658.34	昭和48	RC造				● (会議室 共用)		市	
豊岡	第一	2 扇町屋公民館	扇町屋1-9-34	985.75	昭和60	RC造					市	
		3 久保稲荷公民館	久保稲荷3-9-3	1,125.77	平成3	RC造					個人	
	第二	4 東町公民館	東町3-135	1,040.79	昭和54	RC造					市・ 個人	平成8年に部分 改修実施
		5 黒須公民館	黒須2-3-13	818.70	昭和44	RC造		●			市	
	第三	6 高倉公民館	高倉4-6-20	641.53	昭和52	RC造					市	平成10年に部 分改修実施
		7 東金子公民館	小谷田77-3	1,356.27	昭和59	RC造	●				市・ 個人	
金子	8 金子公民館	寺竹535-1	1,400.60	平成5	RC造	●		●		市・ 個人		
	9 根通り学習等供用 施設	西三ツ木108	560.00	昭和44	RC造				JALいるま野 金子支店	法人		
二宮 本寺 木・	10 宮寺公民館	宮寺2405-1	790.27	昭和58	RC造	●		配本所		市		
	11 二本木公民館	二本木220-3	1,216.70	平成18	RC造					市		
藤沢	第一	12 藤沢公民館	下藤沢846-1	2,083.48	平成12	RC造	●		●		市	
		13 藤の台公民館	上藤沢406-31	728.08	昭和61	RC造					市	
	第二	14 東藤沢公民館	東藤沢3-19-19	1,064.05	平成6	RC造		●			市	
西武	15 西武公民館	野田496	1,241.33	昭和56	RC造	●				市		
合計			17,711.66									

〇〇施設 : 施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56 : 建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

② 開館時間・開館日数

開館時間は、午前 8 時 30 分から午後 10 時まで開館しています（中央公民館は、火曜日から日曜日の午前 9 時～午後 9 時 30 分。根通り学習等共用施設の利用時間は金子公民館へ問い合わせが必要）。

休館日は全施設で、祝日及び年末年始（12/29から 1/3）となっています。

平成 24 年度の開館日数は、平日は 201 日、休日は 98 日でした。

③ 事業内容

地区の皆さんが行うサークル活動など自主的な学習活動やこれから学習したいと考える方々に、活動の場を提供（貸館事業）するとともに、幼児から高齢者まで幅広い年齢層の方を対象に趣味・教養・スポーツなどの講座・教室を開催（主催イベント）しています。

- ・文化活動：音楽関係（吹奏楽、合唱、管弦楽）コンサート、展覧会（美術、書道、生け花）
- ・他の施設との連携事業等

また、特色のある公民館づくりの一環として、以下の施設は特殊な機能を有しています。

- ・東町公民館：陶芸窯
- ・東金子公民館：道場
- ・金子公民館：工作室、移動式観客席（170席）
- ・藤沢公民館：工作室、移動式観客席（200席）
- ・東藤沢公民館：工作室、視聴覚室、陶芸窯
- ・久保稻荷公民館：工作室、移動式観客席（171席）

④ 予約方法・使用料金等

各施設ともあらかじめ利用申し込み手続きが必要です。中央公民館は使用する日の 6 か月前から 2 日前までに、その他公民館は使用する日の 1 か月前から 2 日前までインターネット、携帯電話やロビー端末等から公共施設予約システムを用いて利用申し込みを行います。

※初めて利用する時は、使用したい施設に出向き、登録申し込みをします。登録完了後、利用者登録カードを受け取り、公共施設予約システムが利用可能となります。

■ 使用料金

各施設とも、原則として有料です。

登録している社会教育団体等、利用の目的・利用団体等によっては使用料の減免制度があります。

中央公民館

(円)

時間区分 使用区分	午前	午後	夜間	全日
	午前9時～ 正午	午後1時～ 午後5時	午後5時30分 ～午後9時30	午前9時～ 午後9時30分
第1号室(大会議室)	1,400	1,900	2,300	5,000
第3号室(中会議室)	650	900	1,050	2,300
第4号室(中会議室)	650	900	1,050	2,300
第5号室(和室)	250	350	400	900
第6号室(和室)	250	350	400	900
第8号室(小会議室)	400	500	650	1,400
第9号室(多目的室)	700	950	1,150	2,500
第10号室(小会議室)	400	500	650	1,400
第11号室(文化活動室)	1,050	1,400	1,700	3,750
展示室	750	1,050	1,250	2,750

※中央公民館は、市民会館と共用となっています

地区公民館

(円)

	使用料 (1時間当たりの額)
大会議室	300～400
会議室(洋室)	100～300
料理実習室	200～300
工作室	100～200
移動式観客席	400
舞台照明	800
陶芸窯	1回:2,500円

1. 使用時間に1時間未満の端数が生じる場合は、1時間として算定する。ただし、使用時間が1時間を超える場合で、30分以内の端数が生じるときの当該端数に係る使用料は、この表の使用料の額に2分の1を乗じて得た額とする
2. 公民館の設置目的以外の目的で使用する場合の使用料は、この表の使用料の額に2を乗じて得た額とする

⑤ 配置状況

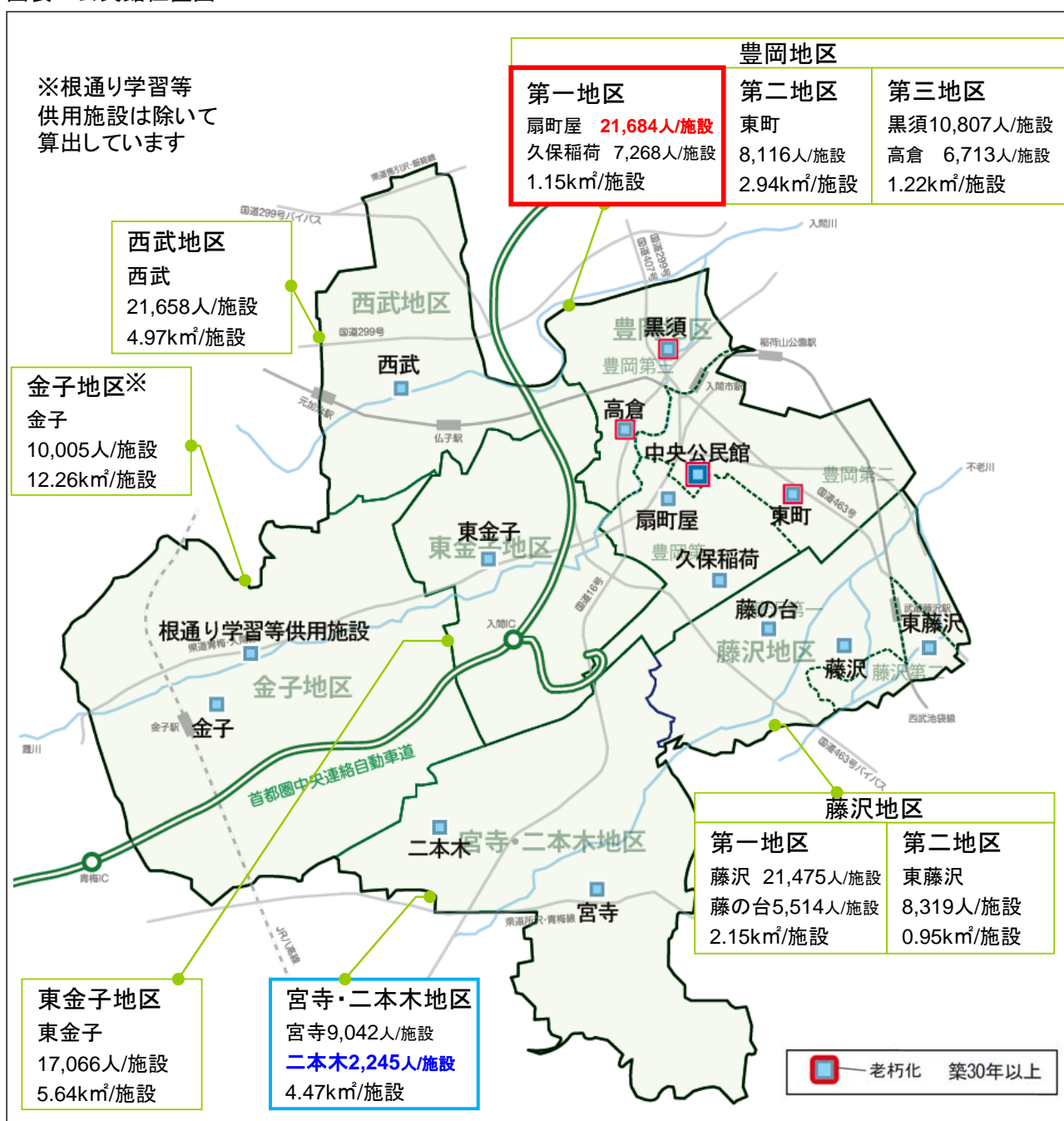
公民館は、9地区に各1~2施設ずつ設置されています。

1施設当たりの対象地区面積は、藤沢第二地区が1.0k㎡/施設で最も小さく、次いで豊岡第一地区と第三地区の1.2k㎡/施設となっており、1施設当たりの対象地区面積が最も広い地区は、金子地区の12.2k㎡/施設となっています。このことから豊岡地区の3地区と藤沢地区の2地区は、他の地区と比べきめ細かく配置されていると言えます。

1施設当たりの対象人口は、二本木公民館が2,245人と最も少なく、扇町屋公民館が21,684人と最も多くなっています。

図表中の赤枠は、耐震化未実施の施設となっており豊岡第二、第三地区はいずれの施設も耐震化未実施となっています。

図表 公民館位置図



出典：平成26年4月1日現在、対象区域人口より

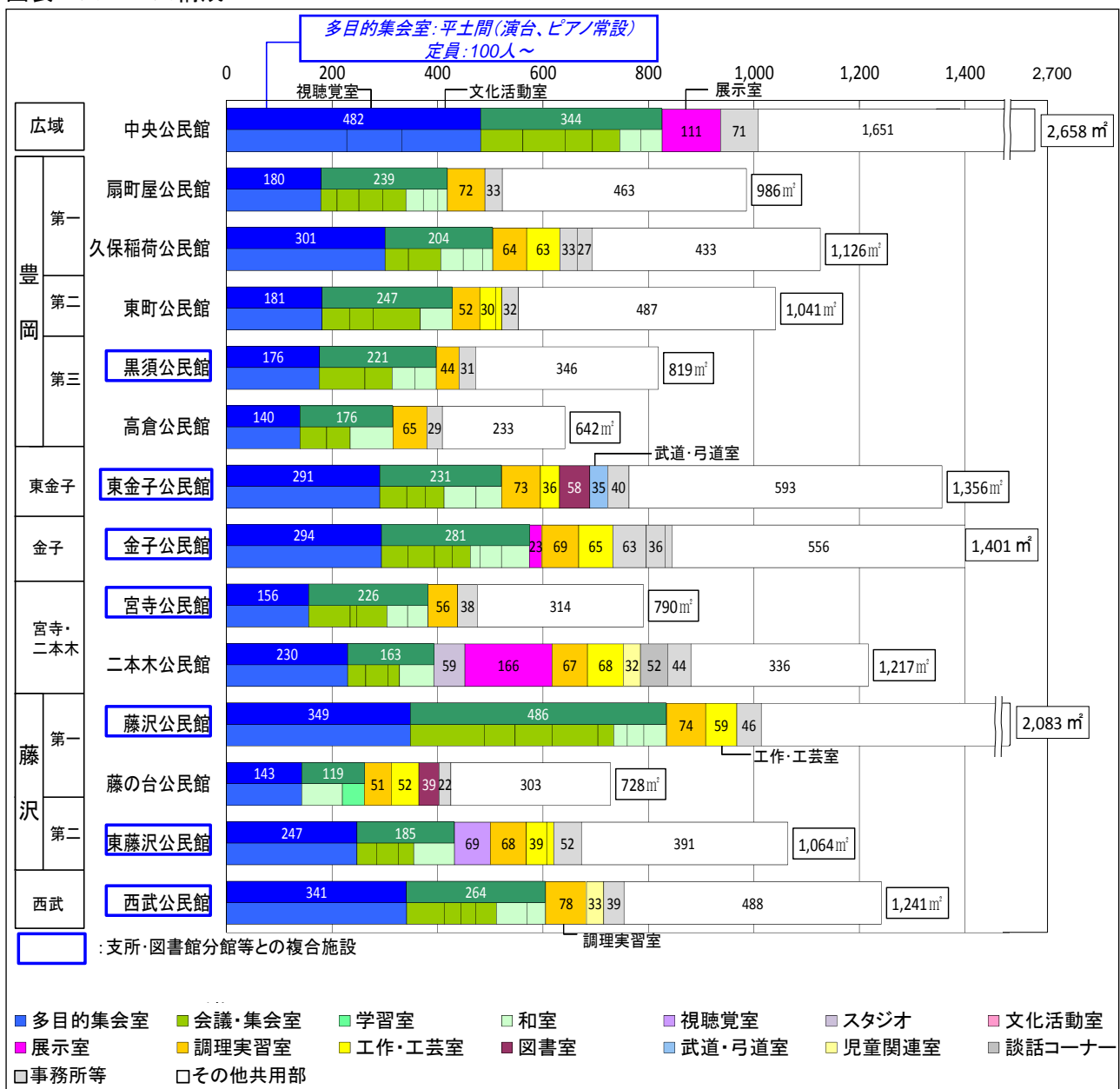
⑥ スペース構成

公民館の規模は、高倉公民館の642㎡から中央公民館の2,658㎡となっています。すべての公民館で、多目的ホール機能として140㎡～482㎡程度の平土間タイプで演台とピアノを常設している多目的集会室を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として会議室・学習室・和室、その他に調理室・工作室・視聴覚室となっています。

金子公民館と藤沢公民館は、図書館分館機能を有しており、宮寺公民館は図書館の窓口機能を有した配本所が整備されています。

根通り学習等供用施設は、旧金子公民館の機能を残して設置されていますが、JA いるま野金子支店の一部の敷地を無償賃借しているため、図表から除いています。

図表 スペース構成



※多目的集会室：会議室や集会室の中で床面積が100㎡を超え演台やスクリーン、ピアノ、マイク/スピーカの設備が整備されている部屋を便宜上「多目的集会室」と分類し集計している

2) 実態把握

① 建物状況

■ 公民館の建物総合評価結果

平成 25 年度の公民館 14 施設の建物状況について、評価を行いました。

※根通り学習等供用施設は、現在公民館分館として使用をしていないため集計からは除いています

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応						④環境対応			⑤維持管理					
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)	
				耐震診断・耐震改修												光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	
1	中央公民館	昭和48	2,658	診断済	40	40	○	○	○	○	○	○	×	×	×	4	341	110	1	128	41	
2	扇町屋公民館	昭和60	986	—	28	28	×	○	○	○	○	×	×	×	×	1,763	2,843	542	1,789	2,884	550	
3	久保稲荷公民館	平成3	1,126	—	22	22	×	○	×	○	○	×	×	×	×	2,834	3,786	62	2,517	3,363	55	
4	東町公民館	昭和54	1,041	診断済	34	34	×	○	○	○	○	×	×	×	×	2,436	4,101	1,381	2,340	3,940	1,327	
5	黒須公民館	昭和44	819	診断済	44	44	×	○	○	×	○	×	×	×	×	1,424	3,032	50	1,740	3,703	61	
6	高倉公民館	昭和52	642	診断済	36	36	×	○	×	○	○	×	×	×	×	1,427	3,495	273	2,225	5,449	426	
7	東金子公民館	昭和59	1,356	—	29	29	×	○	○	○	○	×	×	×	×	2,882	4,370	211	2,125	3,222	156	
8	金子公民館	平成5	1,401	—	20	20	○	○	○	○	○	×	×	×	×	4,193	5,748	1,199	2,994	4,104	856	
9	宮寺公民館	昭和58	790	—	30	30	×	○	○	×	×	×	×	×	×	2,025	3,093	635	2,563	3,914	804	
10	二本木公民館	平成18	1,217	—	7	7	—	○	○	○	○	×	×	×	×	1,854	3,500	144	1,524	2,876	118	
11	藤沢公民館	平成12	2,083	—	13	13	○	○	○	○	○	○	×	×	×	7,794	6,250	610	3,741	3,000	293	
12	藤の台公民館	昭和61	728	—	27	27	×	○	○	×	○	×	×	×	×	1,594	2,948	107	2,189	4,049	147	
13	東藤沢公民館	平成6	1,064	—	19	19	×	○	×	○	×	×	×	×	×	3,358	4,519	735	3,156	4,247	691	
14	西武公民館	昭和56	1,241	—	32	32	×	○	○	×	○	×	×	×	×	3,740	3,688	1,481	3,013	2,971	1,193	
合計・平均			17,152													37,328	51,713	7,541	2,176	3,015	440	

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記載例 実施済み:○
 未実施:×
 不要:—
 [赤枠]:床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) [紫枠]:平均値の1.4倍

中央公民館をはじめ 4 施設は、耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。(ただし耐震診断は実施済です。)また、いずれも豊岡地区の施設となっています。(パターン①)
 宮寺公民館、西武公民館は新耐震基準もしくは耐震改修工事が完了している建物ですが、老朽化が進行しており建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)
 扇町屋公民館をはじめ 5 施設は、新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)
 二本木公民館をはじめ 3 施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターン④)

	パターン① 耐震性 老朽化	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応																											
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>																											
	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>中央公民館</td> <td>昭和48</td> </tr> <tr> <td>東町公民館</td> <td>昭和54</td> </tr> <tr> <td>黒須公民館</td> <td>昭和44</td> </tr> <tr> <td>高倉公民館</td> <td>昭和52</td> </tr> </table> <p>< 4 施設 ></p>	中央公民館	昭和48	東町公民館	昭和54	黒須公民館	昭和44	高倉公民館	昭和52	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>宮寺公民館</td> <td>昭和58</td> </tr> <tr> <td>西武公民館</td> <td>昭和56</td> </tr> </table> <p>< 2 施設 ></p>	宮寺公民館	昭和58	西武公民館	昭和56	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>扇町屋公民館</td> <td>昭和60</td> </tr> <tr> <td>久保稲荷公民館</td> <td>平成3</td> </tr> <tr> <td>東金子公民館</td> <td>昭和59</td> </tr> <tr> <td>金子公民館</td> <td>平成5</td> </tr> <tr> <td>藤の台公民館</td> <td>昭和61</td> </tr> </table> <p>< 5 施設 ></p>	扇町屋公民館	昭和60	久保稲荷公民館	平成3	東金子公民館	昭和59	金子公民館	平成5	藤の台公民館	昭和61	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>二本木公民館</td> <td>平成18</td> </tr> <tr> <td>藤沢公民館</td> <td>平成12</td> </tr> <tr> <td>東藤沢公民館</td> <td>平成6</td> </tr> </table> <p>< 3 施設 ></p>	二本木公民館	平成18	藤沢公民館	平成12	東藤沢公民館
中央公民館	昭和48																														
東町公民館	昭和54																														
黒須公民館	昭和44																														
高倉公民館	昭和52																														
宮寺公民館	昭和58																														
西武公民館	昭和56																														
扇町屋公民館	昭和60																														
久保稲荷公民館	平成3																														
東金子公民館	昭和59																														
金子公民館	平成5																														
藤の台公民館	昭和61																														
二本木公民館	平成18																														
藤沢公民館	平成12																														
東藤沢公民館	平成6																														
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望めます。</p>																											

② 利用状況

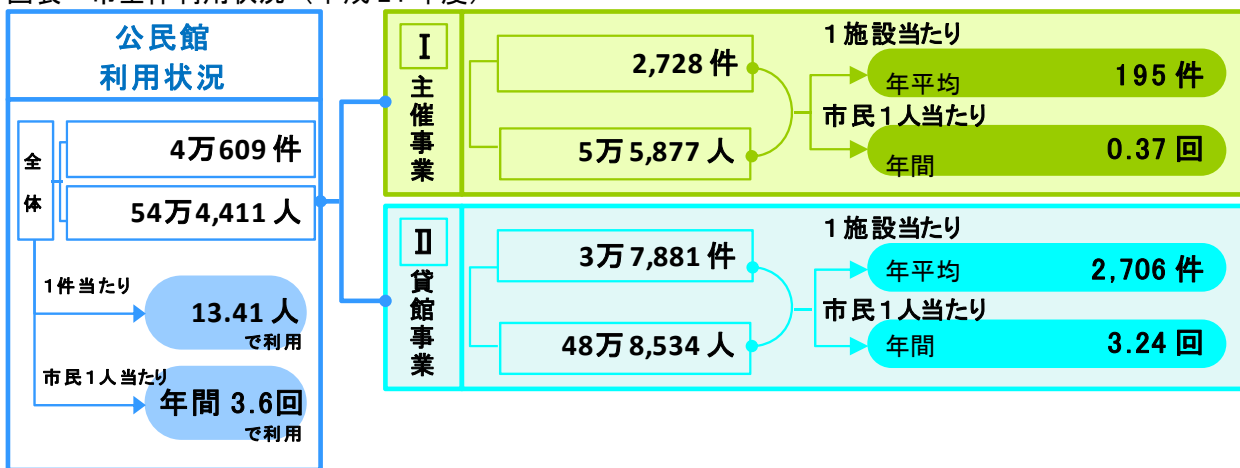
■ 全体の利用状況

平成 24 年度の公民館の全体利用件数は 4 万 609 件、利用者数は 54 万 4,411 人です。

利用目的別の内訳をみると、公民館主催イベントが 2,728 件・5 万 5,877 人、サークル活動や一般利用等の貸館事業が 3 万 7,881 件・48 万 8,534 人となっており、利用件数ベースでは主催事業利用が全体利用件数の約 7%であり、一般利用（サークル活動含む）による利用が約 74%と最も多くを占めています。

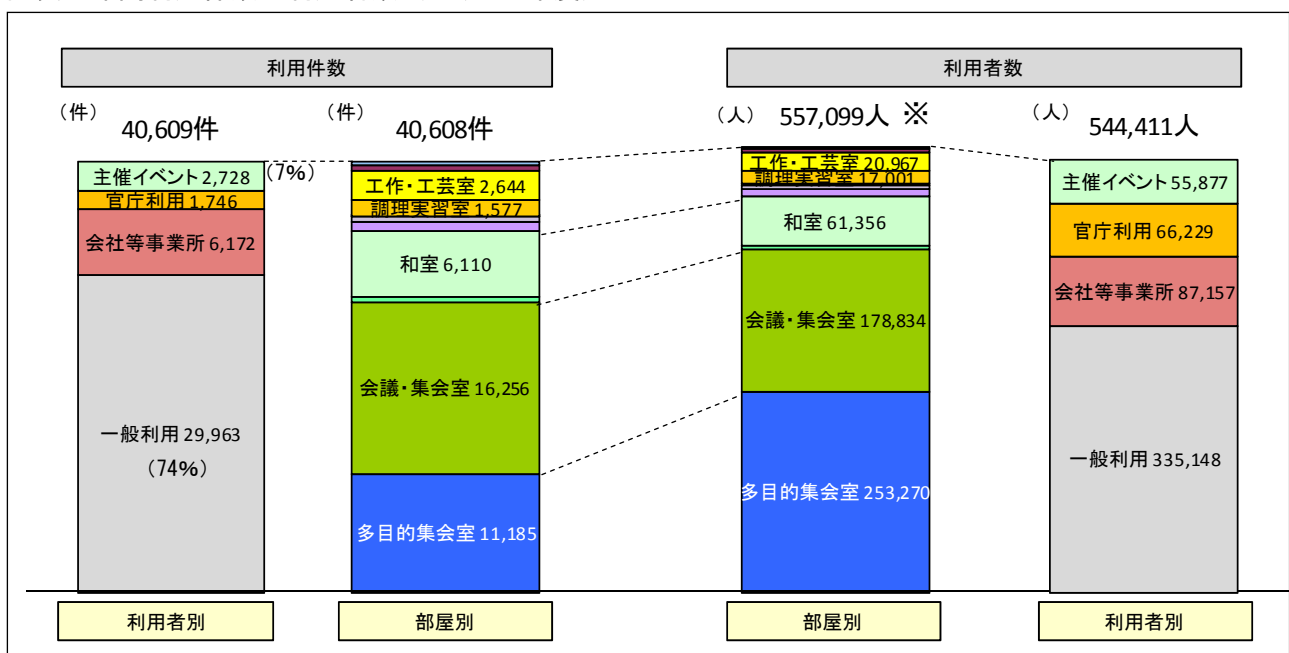
部屋別の利用状況では、会議・集会室が 1 万 6,256 件（約 40%）、次いで多目的集会室が 1 万 1,185 件（約 28%）となっています。利用者数でみると、多目的集会室が 25 万 3,270 人（約 45%）と半数近くとなっています。

図表 市全体利用状況（平成 24 年度）



人口：150,651人
(平成24年)

図表 年間利用件数・利用者数（平成 24 年度）



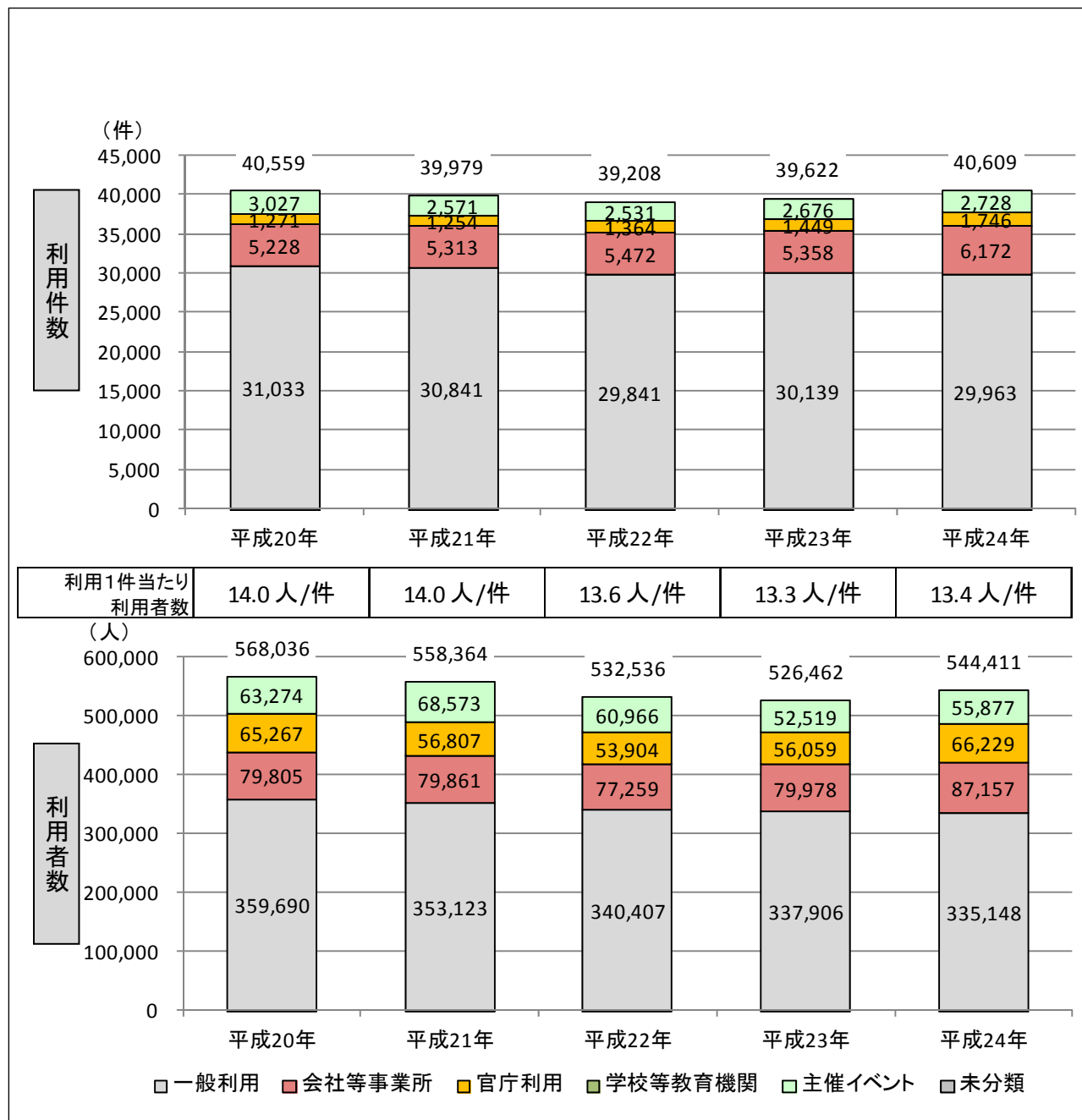
※部屋別利用者数は1コマ当たりの延数での積上げのため利用者別利用者数(実数)と若干異なります

■ 利用推移

利用件数の推移は、平成20年度4万559件から平成24年度4万609件、までほぼ横ばいで推移しています。また利用者数は、平成20年度56万8,036人から平成24年度54万4,411人と若干の減少傾向にあります。

利用1件当たりの利用者数は、平成20年度から平成24年度では約14人から約13人となっており利用状況に大きな変化はありません。

図表 利用件数及び利用者数の推移

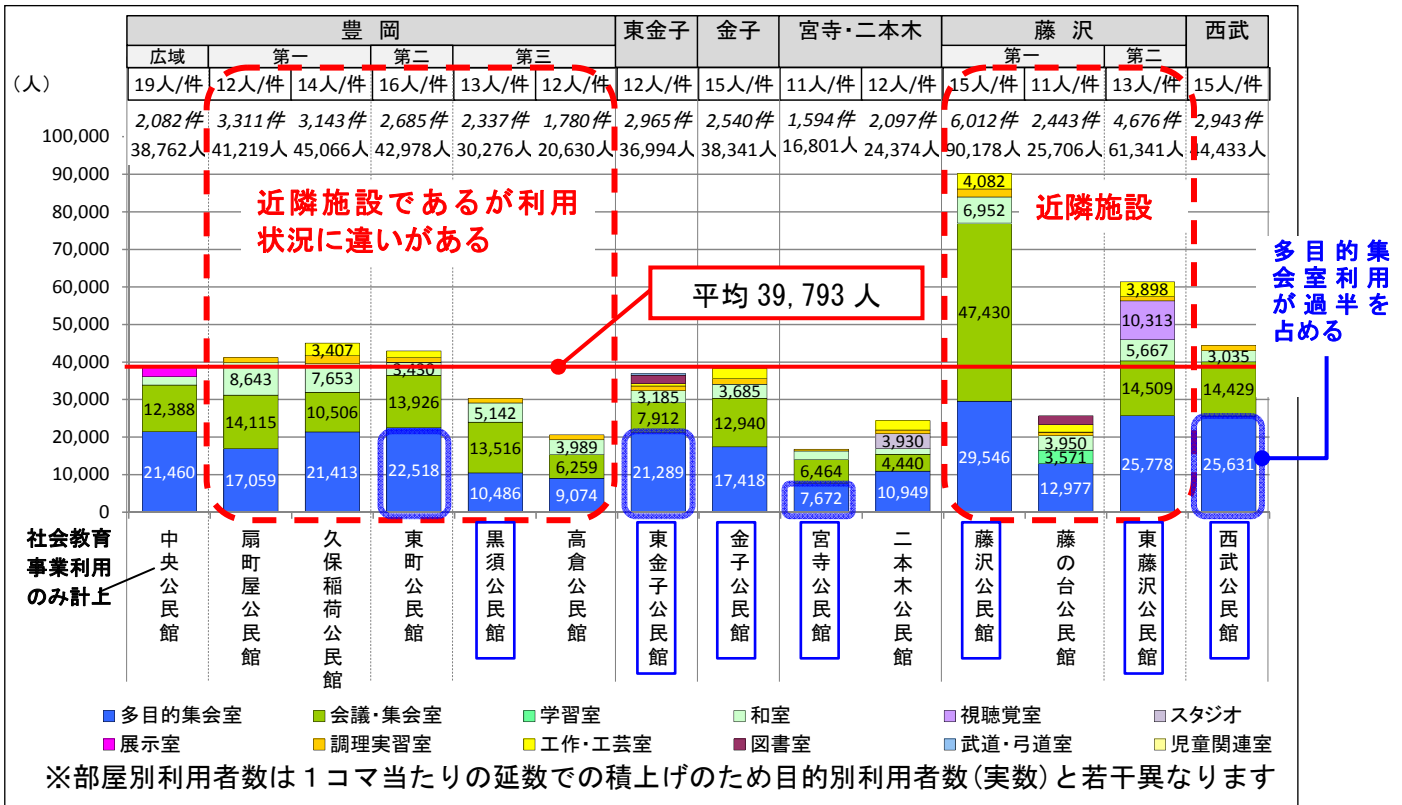


※利用件数には、宮寺公民館併設の宮寺配本所の利用件数を含んでいます

■ 施設別の利用状況

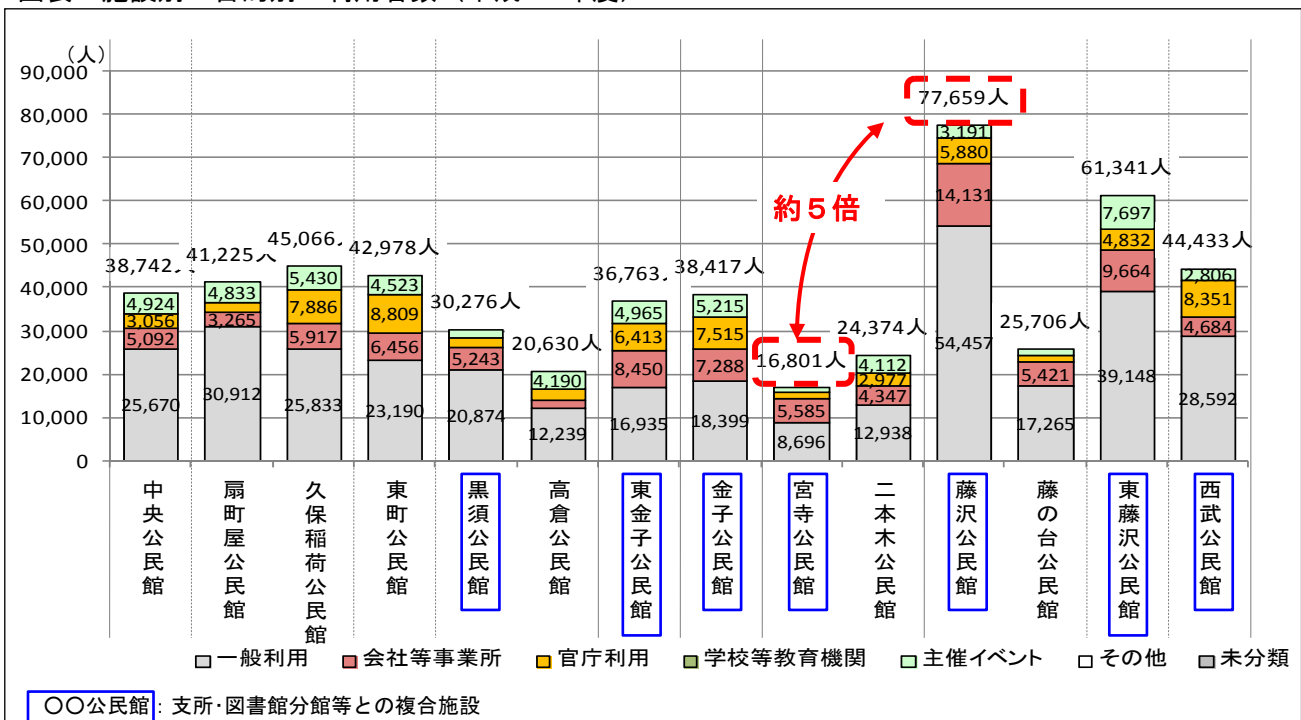
平成24年度の施設別利用件数と利用者数をみると、藤沢公民館の利用が6,012件・9万178人と最も多く、次いで東藤沢公民館となっています。中央公民館の利用は社会教育事業利用のみを公民館の利用として計上しています。

図表 施設別・部屋別 利用者数（平成24年度）



施設別の利用者数が最も多い藤沢公民館の7万7,659人と最も少ない宮寺公民館の1万6,801人では、利用者数に約5倍の開きがあります。

図表 施設別・目的別 利用者数（平成24年度）

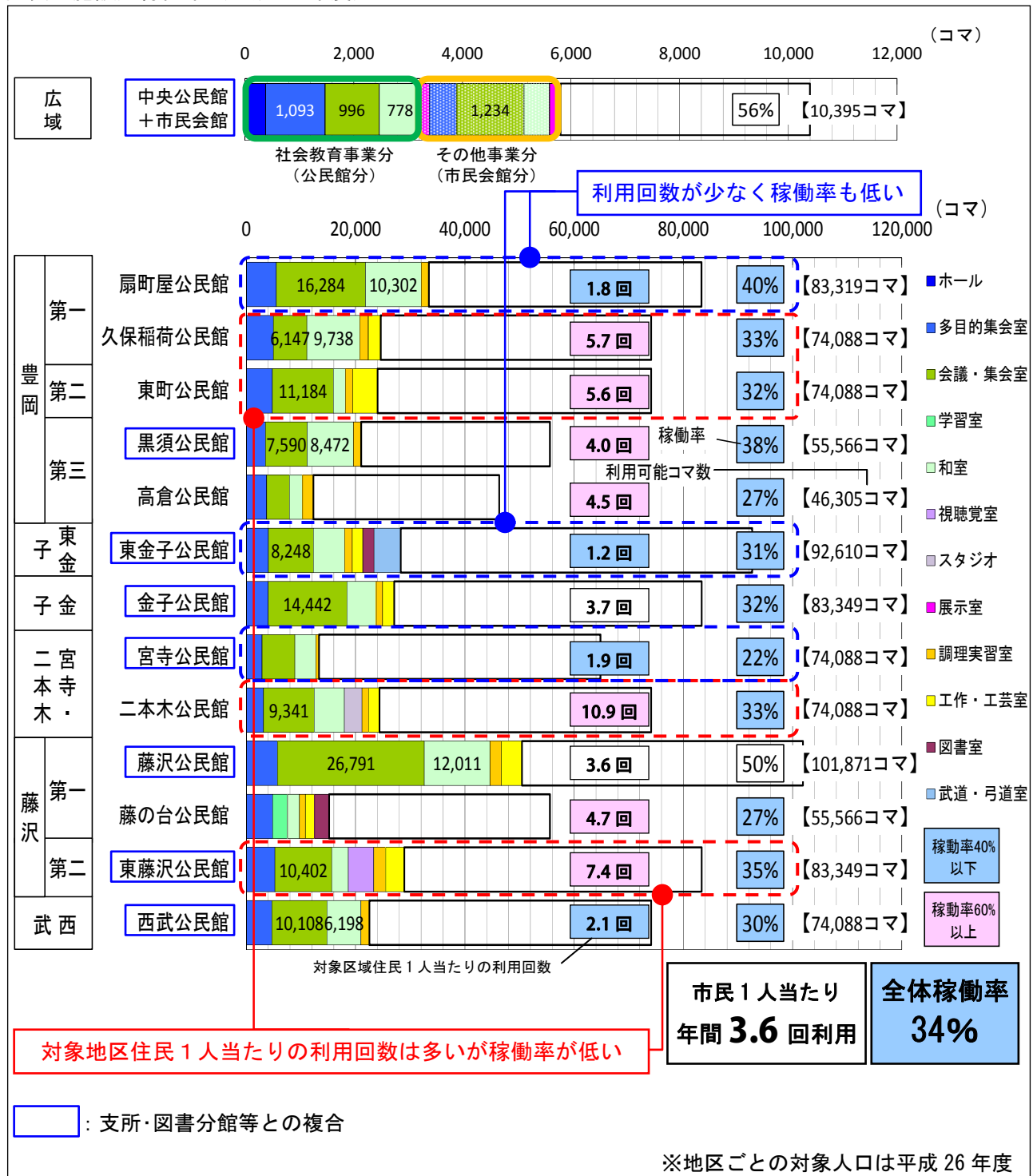


■ 施設別稼働率

公民館全 14 施設の全体稼働率は約 34%です。施設別の稼働率は宮寺公民館の約 22%から中央公民館の約 56%となっています。14 施設のうち、12 施設で 40%以下となっています。

対象区域人口 1 人当たりの利用回数をみると、東金子公民館の 1.2 回/人から二本木公民館の 10.9 回/人と差があります。宮寺公民館や東金子公民館、西武公民館は、稼働率が 22%、31%、30%と低く、地区住民 1 人当たりの利用回数も平均（市民 1 人当たりの利用回数 3.6 回）を下回っています。一方、二本木公民館や東藤沢公民館は、同様に稼働率が低くなっていますが、対象区域住民 1 人当たりの利用回数は、7 回以上と、市全体の平均を上回る利用となっています。

図表 施設別稼働率（平成 24 年度）



■ 地区公民館施設別部屋別稼働率

地区公民館 13 施設の部屋別稼働率は黒須公民館、二本木公民館を除き多目的集会室の稼働率が各施設別の稼働状況の中で最も高い稼働率となっています。黒須公民館は、和室と会議・集会室の稼働率が高く、二本木公民館は会議・集会室の稼働率が高くなっています。

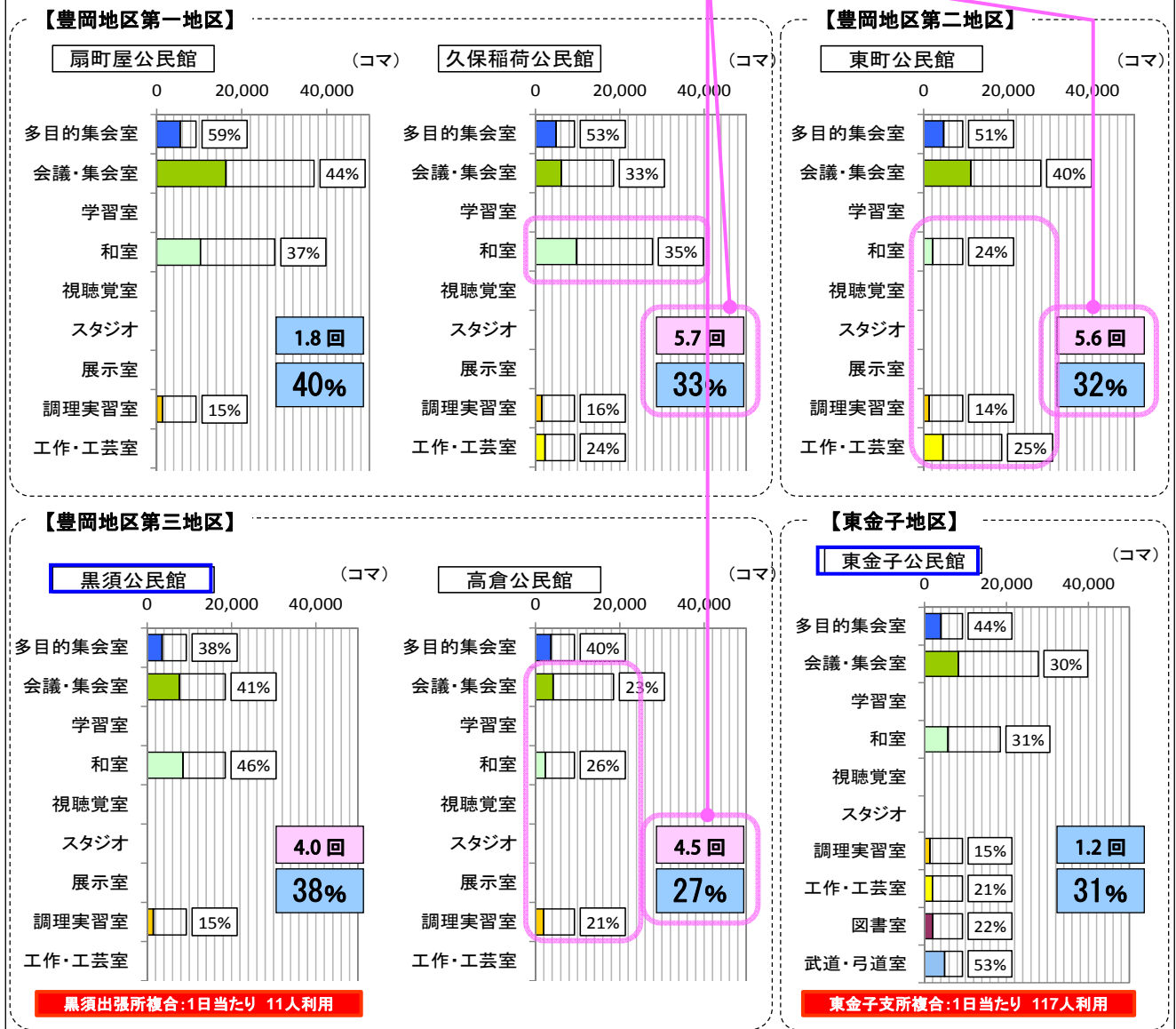
図表 部屋別施設別稼働率（平成 24 年度）

- 多目的集会室の稼働率が比較的高く 50%を超える施設がある
- 会議・集会室及び和室の利用可能コマ数が多く残っている
- いずれの施設も調理室の稼働率が6%から23%と低く、多目的集会室と比較すると同施設内で2倍程度の開きがある
- 部屋機能によって使われ方に違いがある

市民 1 人当たり
年間 **3.6** 回利用

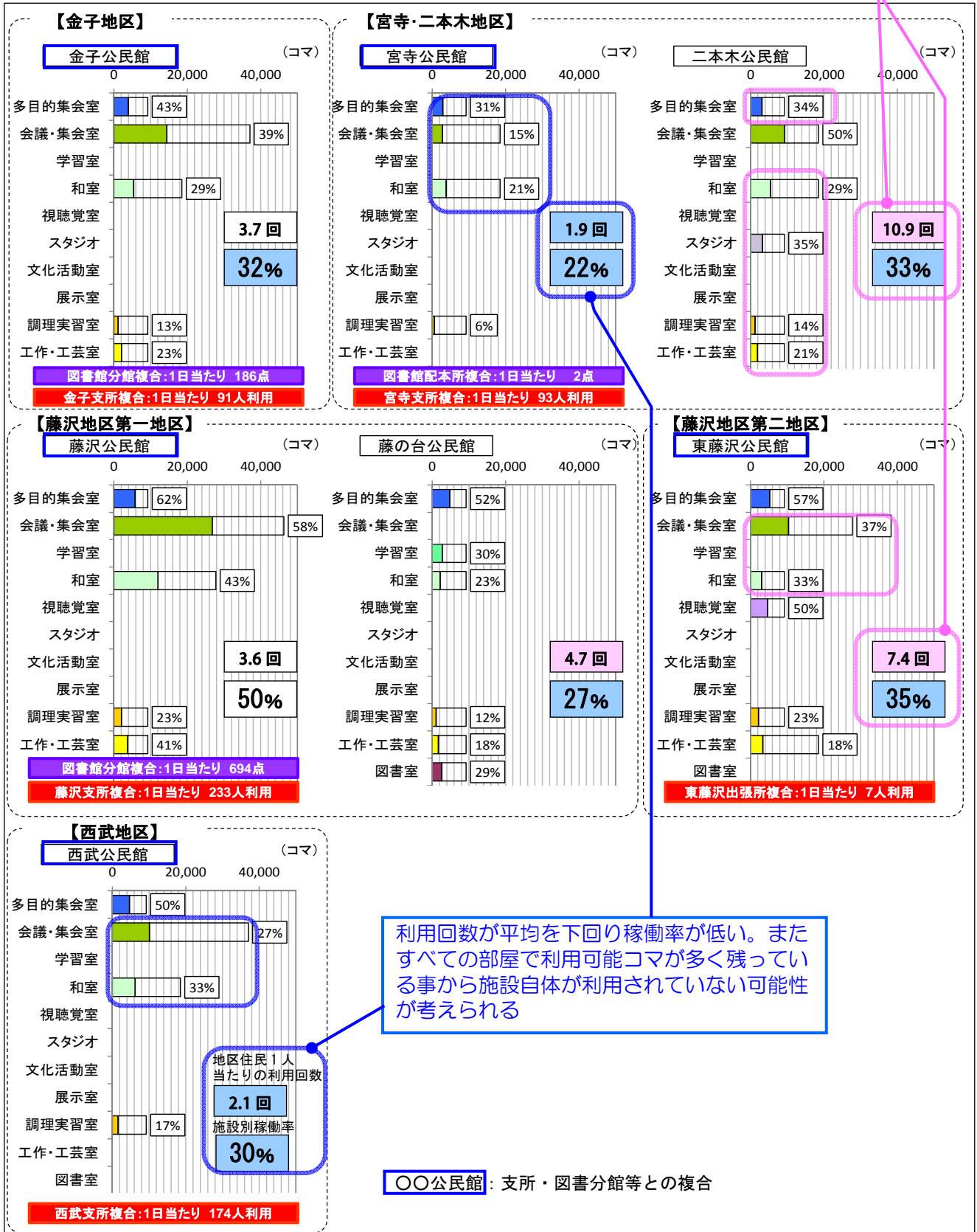
全体稼働率
34%

利用回数が多いが稼働率が低い。また部屋によっては利用可能コマが多く残っている事からスペース過多の可能性が考えられる



※中央公民館は広域対応施設であり、また市民会館と切り離しての部屋別利用率把握が難しいため文化施設の項で把握します

利用回数が多いが稼働率が低い。また部屋によっては利用可能コマが多く残っている事からスペース過多の可能性が考えられる



③ 運営状況

公民館の管理運営は、全 14 施設で市の直営となっています。

平成 24 年度の 14 施設の運営人員は 59 人です。内訳は、一般職員が 32 人、嘱託職員が 14 人、パート職員が 13 人となっています。

施設別では、中央公民館は 7 人、その他の 13 施設は、4 人の職員が一律に従事しています。

図表 運営人員 (平成 24 年度)

(人)

運営形態	中央公民館	扇町屋公民館	久保稲荷公民館	東町公民館	黒須公民館	高倉公民館	東金子公民館	金子公民館	宮寺公民館	二本木公民館	藤沢公民館	藤の台公民館	東藤沢公民館	西武公民館	合計	
	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営		
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	嘱託職員	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	指定管理者職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パート職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	28
事業活動に要する人員	一般職員(正規職員)	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	17
	嘱託職員	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	指定管理者職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パート職員	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	計	5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	31
合計	一般職員(正規職員)	6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	32
	嘱託職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	指定管理者職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パート職員	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	合計	7	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	59

地区公民館全施設一律な人員構成

運営体制をみると、中央公民館は平日及び土曜日の日中は一般職員と嘱託職員が従事しており、平日は 7 人、土曜日 3 人で運営にあたっています。日曜日の運営は、委託業者の職員が従事しています。

地区の公民館は、平日及び土曜日の日中は、一般職員と嘱託職員、パート職員が従事しており、夜間は委託業者の職員が従事しています。平日は日中 4 人夜間 1 人、土曜日は日中 3 人夜間 1 人で運営にあたっています。日曜日の運営は、日中から夜間共に委託業者の職員が従事しており、1 人で運営にあたっています。

図表 運営体制 (平成 24 年度)

	平日			土曜			日曜		
	8:30	17:00	21:30	8:30	17:00	21:30	8:30	17:00	21:30
中央公民館	一般職員 6人			一般職員 2人			委託業者 1人		
	嘱託職員 1人			嘱託職員 1人			警備員 1人		
その他の公民館	一般職員 2人			一般職員 1人					
	嘱託職員 1人			嘱託職員 1人					
	パート 1人			パート 1人					
	委託業者 1人			委託業者 1人			委託業者 1人		

④ コスト状況

公民館の14施設の年間トータルコストは、6億1,362万円です。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		中央公民館	扇町屋公民館	久保稲荷公民館	東町公民館	黒須公民館	高倉公民館	東金子公民館	金子公民館
管理運営にかか るコスト	一般職員人件費	17,655,814	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907
	嘱託職員人件費	0	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980
	その他人件費	9,867	4,554	0	0	0	0	49,335	11,385
	車両・備品購入費	140,200	4,000	217,370	12,858	111,625	12,717	12,710	111,090
	修繕費	109,725	542,300	62,181	1,380,855	49,896	273,079	211,050	1,199,173
	改修費	0	546,630	1,280,412	271,950	139,545	0	388,895	0
	光熱水費	3,742	1,763,478	2,833,760	2,435,573	1,424,191	1,427,154	2,882,105	4,192,904
	委託費	341,334	2,842,599	3,786,150	4,100,835	3,031,620	3,495,426	4,369,567	5,747,781
	使用料及び賃借料	0	61,803	3,877,015	933,934	62,538	61,488	1,769,180	1,231,347
	その他物件費	379,850	362,000	383,475	414,829	368,653	358,143	467,368	405,176
	管理運営にかか るコスト	18,640,532	18,259,251	24,572,250	21,682,721	17,319,955	17,759,894	22,282,097	25,030,743
	事業にかか るコスト	一般職員人件費	35,311,628	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907
嘱託職員人件費		3,303,980	0	0	0	0	0	0	0
臨時職員人件費		0	1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793
その他人件費		4,800	0	31,936	0	6,072	0	0	22,011
委託費		25,200	0	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料		248,030	6,620	22,560	0	84,000	31,275	720	132,590
負担金補助及び交付金		2,910,000	7,000	7,000	0	6,000	7,000	4,000	5,000
その他物件費		2,245,152	466,069	388,865	412,343	278,329	296,917	277,827	519,911
事業活動		44,048,790	10,534,389	10,505,061	10,467,043	10,429,101	10,389,892	10,337,247	10,734,212
使用料及び賃借料		116,550	91,224	123,207	91,224	91,224	91,224	123,207	91,224
負担金補助及び交付金		179,200	0	0	0	0	0	0	0
その他物件費		339,593	82,883	49,267	446,329	99,392	60,004	563,172	536,118
事務・庶務	635,343	174,107	172,474	537,553	190,616	151,228	686,379	627,342	
事業にかか るコスト	44,684,133	10,708,496	10,677,535	11,004,596	10,619,717	10,541,120	11,023,626	11,361,554	
現金収支を伴うコスト 計	63,324,665	28,967,747	35,249,785	32,687,317	27,939,672	28,301,014	33,305,723	36,392,297	
【収入の部】									
収入	使用料収入	1,130,575	1,043,500	1,211,050	1,227,630	676,010	513,425	1,064,771	906,900
	諸収入	87,950	47,689	106,565	61,777	132,802	114,356	118,694	214,173
収入の合計		1,218,525	1,091,189	1,317,615	1,289,407	808,812	627,781	1,183,465	1,121,073
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	21,266,720	7,886,000	9,006,160	8,326,320	6,549,600	5,132,240	10,850,160	11,204,800
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		84,591,385	36,853,747	44,255,945	41,013,637	34,489,272	33,433,254	44,155,883	47,597,097
収支差額(ネットコスト)		83,372,860	35,762,558	42,938,330	39,724,230	33,680,460	32,805,473	42,972,418	46,476,024
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】									
管理運営にかか るコスト	一般職員人件費	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	132,418,605	
	嘱託職員人件費	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980	3,303,980	42,951,740	
	その他人件費	0	4,554	0	6,831	0	0	86,526	
	車両・備品購入費	225,960	8,000	0	8,613	11,812	13,062	890,017	
	修繕費	635,082	143,850	610,459	107,069	735,105	1,480,735	7,540,559	
	改修費	336,105	63,903	5,250	227,892	399,630	127,575	3,787,787	
	光熱水費	2,025,417	1,853,819	7,794,239	1,593,910	3,358,040	3,739,510	37,327,842	
	委託費	3,093,394	3,499,765	6,249,741	2,948,166	4,518,651	3,687,534	51,712,563	
	使用料及び賃借料	70,308	73,983	102,648	67,158	81,438	65,058	8,457,898	
	その他物件費	381,404	427,723	740,250	379,673	385,588	411,085	5,865,217	
	管理運営にかか るコスト	18,899,557	18,207,484	27,634,474	17,471,199	21,622,151	21,656,446	291,038,754	
	事業にかか るコスト	一般職員人件費	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	8,827,907	150,074,419
嘱託職員人件費		0	0	0	0	0	0	3,303,980	
臨時職員人件費		1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793	1,226,793	15,948,309	
その他人件費		15,180	18,216	8,349	8,349	0	0	114,913	
委託費		0	0	0	0	0	0	25,200	
使用料及び賃借料		113,850	38,250	98,825	144,540	53,000	1,100	975,360	
負担金補助及び交付金		0	7,000	0	0	5,500	11,500	2,970,000	
その他物件費		369,781	334,415	335,486	365,216	370,251	413,816	7,074,378	
事業活動		10,553,511	10,452,581	10,497,360	10,572,805	10,483,451	10,481,116	180,486,559	
使用料及び賃借料		116,550	91,224	91,224	116,550	91,224	116,550	1,442,406	
負担金補助及び交付金		0	0	0	0	0	0	179,200	
その他物件費		394,060	87,428	163,578	102,329	230,355	103,618	3,258,126	
事務・庶務	510,610	178,652	254,802	218,879	321,579	220,168	4,879,732		
事業にかか るコスト	11,064,121	10,631,233	10,752,162	10,791,684	10,805,030	10,701,284	185,366,291		
現金収支を伴うコスト 計	29,963,678	28,838,717	38,386,636	28,262,883	32,427,181	32,357,730	476,405,045		
【収入の部】									
収入	使用料収入	429,750	962,600	2,378,530	927,075	1,839,890	1,080,975	15,392,681	
	諸収入	154,190	92,304	175,145	118,081	63,987	131,741	1,619,454	
収入の合計		583,940	1,054,904	2,553,675	1,045,156	1,903,877	1,212,716	17,012,135	
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	6,322,160	9,733,600	16,667,840	5,824,640	8,512,400	9,930,640	137,213,280	
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		36,285,838	38,572,317	55,054,476	34,087,523	40,939,581	42,288,370	613,618,325	
収支差額(ネットコスト)		35,701,898	37,517,413	52,500,801	33,042,367	39,035,704	41,075,654	596,606,190	

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は2億9,104万円（47%）、事業にかかるコスト（人件費・委託費等）は1億8,537万円（30%）、減価償却相当額は1億3,721万円（22%）です。

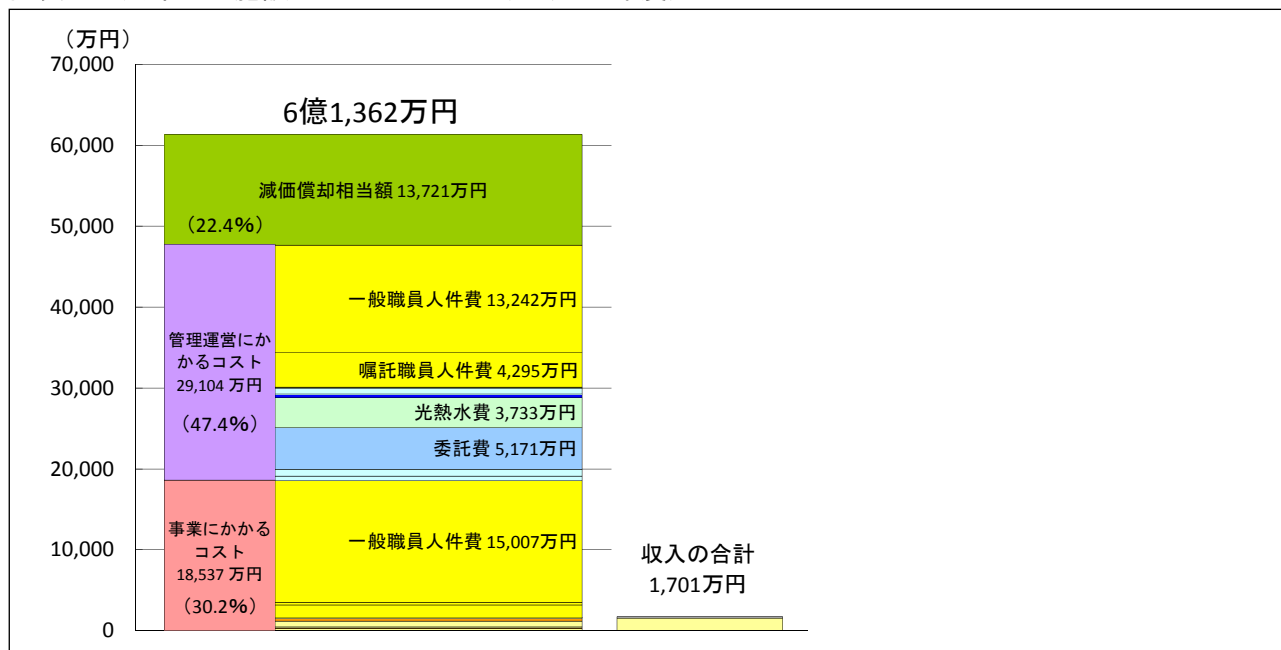
職員人件費は合計3億4,490万円で、トータルコストの約56%を占めています。

管理運営にかかるコスト2億9,104万円のうち、人件費は1億7,546万円でトータルコストの約29%となっています。

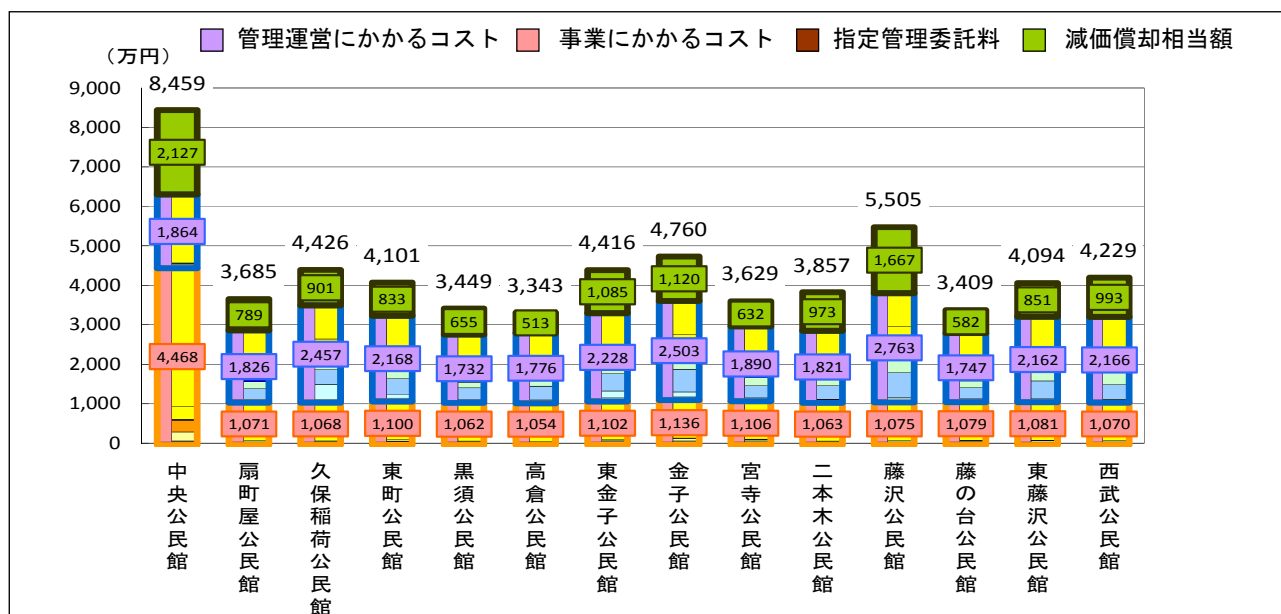
事業にかかるコストのうち、事業運営に関する人件費は1億6,944万円でトータルコストの約28%となっています。

施設別トータルコストでは、中央公民館は8,459万円、その他、高倉公民館の3,343万円から藤沢公民館の5,505万円で、14施設の平均は、4,383万円となっています。

図表 公民館 全施設トータルコスト（平成24年度）



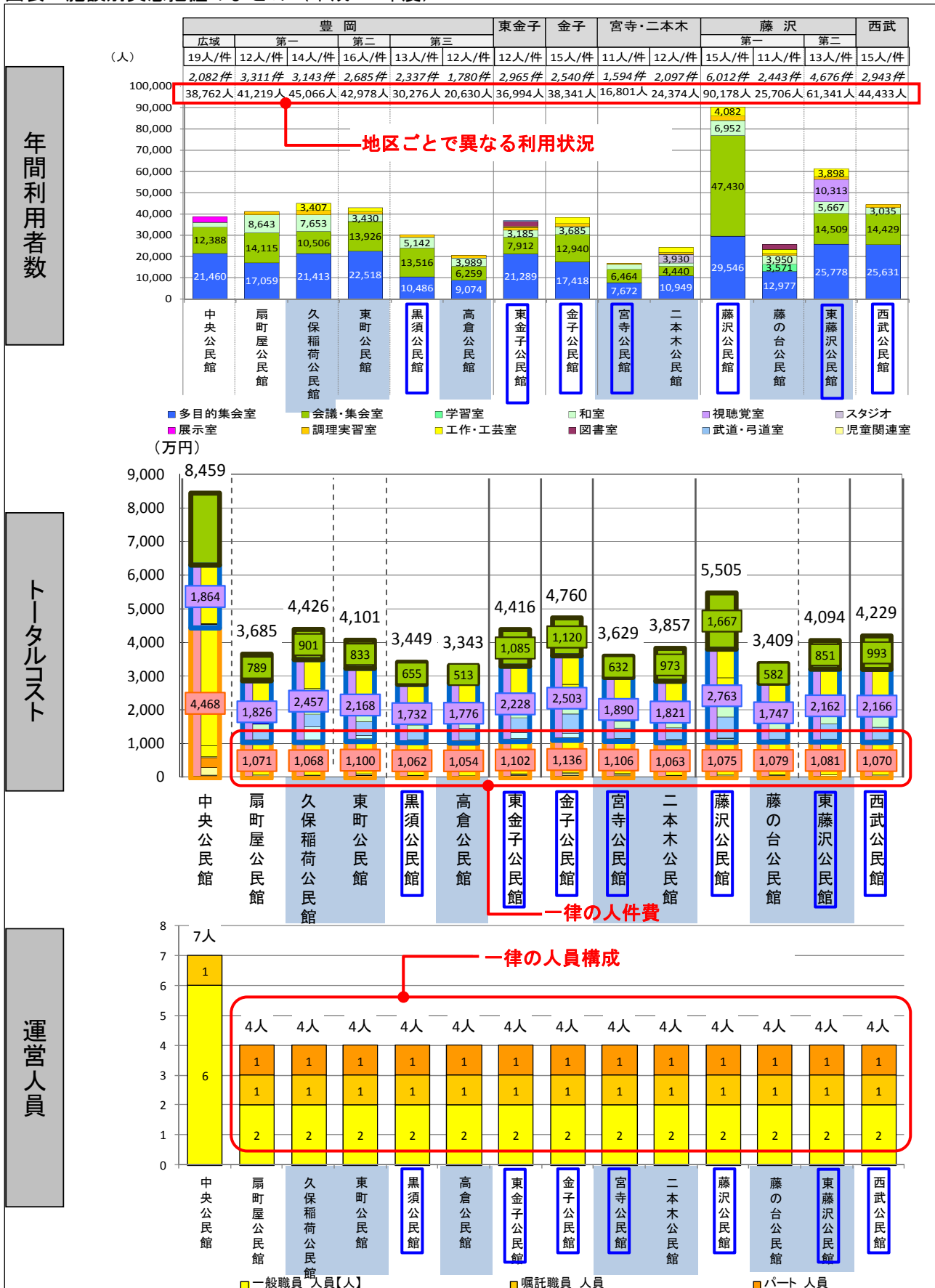
図表 公民館 施設別トータルコスト（平成24年度）



3) 評価・分析

地区ごとで、利用状況は異なりますが、各公民館一律の人件費がかっている事がわかります。

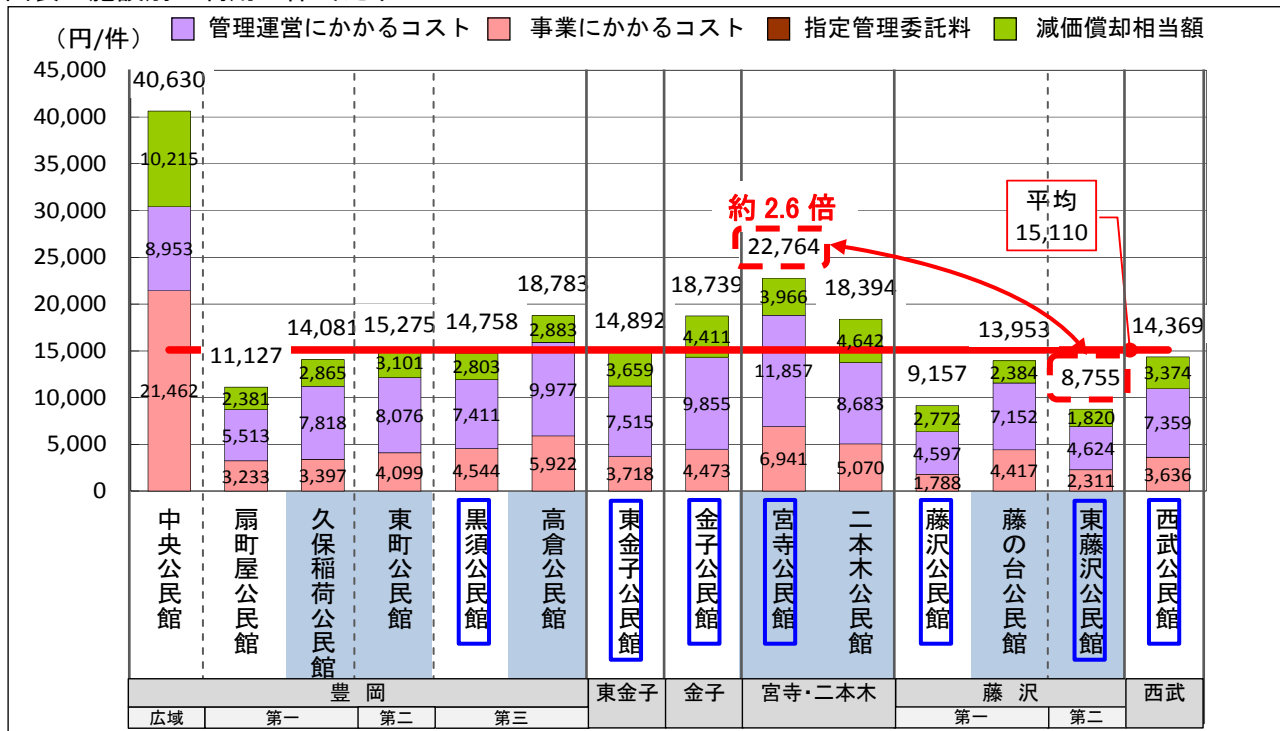
図表 施設別実態把握のまとめ (平成 24 年度)



■ 利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、東藤沢公民館の8,755円/件から宮寺公民館の2万2,764円/件となっています。なお、公民館の平均は1万5,110円/件となっています。

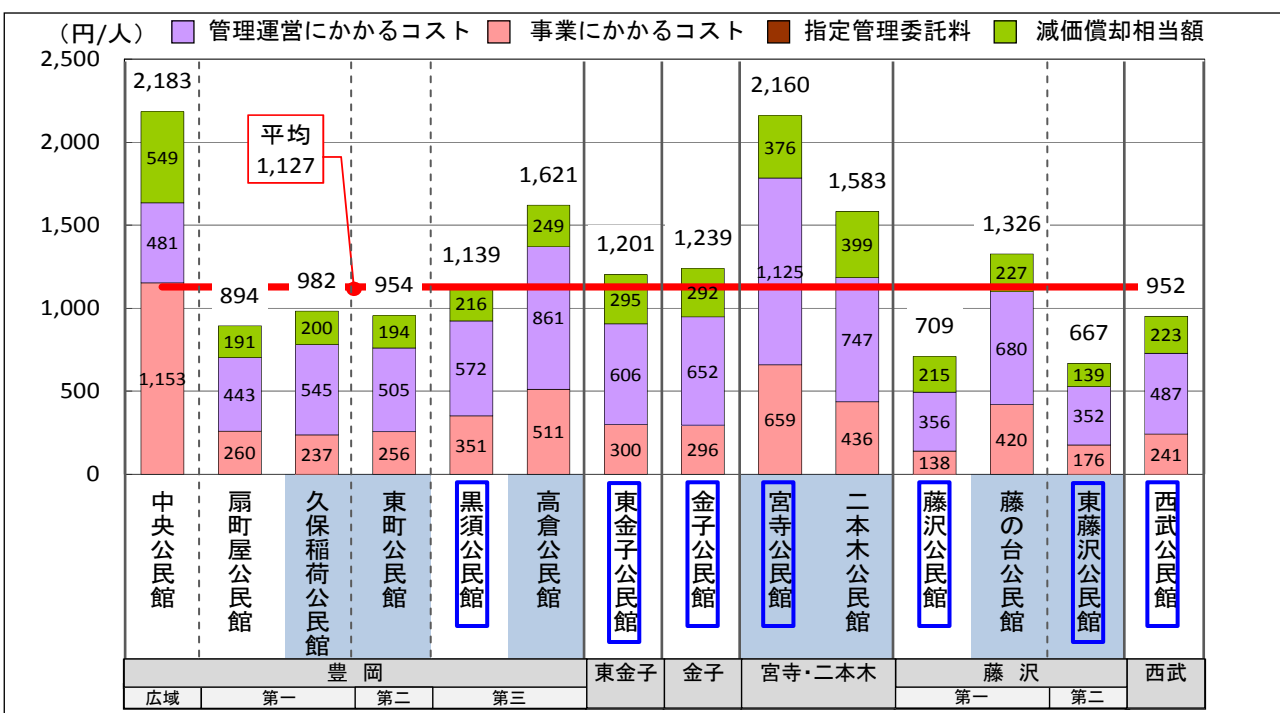
図表 施設別 利用1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、東藤沢公民館の667円/人から宮寺公民館の2,160円/人となっています。なお、公民館の平均は1,127円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



〇〇公民館：支所・図書館分館等との複合施設 56
 ○〇公民館：1施設当たりの対象人口が1万人以下

4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 14 施設中 4 施設が耐震化未実施であり、早急な対応が必要。いずれも豊岡地区に集中している。
- ② 公民館全施設で、100 m²以上、100 人以上収容可能な多目的集会機能の部屋を保有。
(名称は、大会議室や、第一集会室等それぞれで異なる)

<利用状況>

- ③ 公民館の市全体の稼働率は 34%と全体的に低い
- ④ 利用者数は、公民館ごとで最大 5 倍違いがある。また同地区内で隣あう施設間で、利用者数の違いがある。この傾向は豊岡・藤沢地区で顕著に見られる。(藤沢地区内一藤沢公民館と藤の台公民館で 3 倍の違い、豊岡地区一久保稲荷公民館と高倉公民館で 2 倍の違い)
- ⑤ 地区間だけでなく同地区内でも施設の対象人口が異なり、施設当たりの対象人口の大小が利用者状況に関係している。

<目的別の利用実態>

- ⑥ 目的別利用件数をみると一般利用(サークル等)の利用が約 74%に対し主催イベントの利用が約 7%となっている。

<部屋別の利用実態>

- ⑦ 部屋別の稼働率から、同一施設内でも多目的集会室の様に 50%前後利用されている部屋もあれば 20%を下回る調理室等もあり、部屋機能によって稼働率に 2 倍以上の違いがある。
- ⑧ 施設によっては、利用回数が多いが稼働率が低い。また部屋によっては利用可能コマが多く残っているためスペース過多の可能性が考えられる。
- ⑨ 施設によっては、利用件数が低く稼働率も低い。またすべての部屋で利用可能コマが多く残っている事から施設自体が利用されていない可能性が考えられる。

<コスト状況>

- ⑩ 地区により対象人口が異なる一方、利用状況に関係なく運営人員とコストが一律となっており、1 人当たりのコストパフォーマンスでは最大と最小で 3 倍の差が出るほど施設間で違いが生じている。

■課題のまとめ

- 耐震未対応の 4 施設と老朽化が進行している 7 施設のへの早急な対応
- 各施設の利用機能の見直しが必要
- 運営方式(運営人員)の見直しが必要
- 稼働率、利用回数、コストパフォーマンス等のバラつきから施設適正量の見直しが必要(地区当たりの施設数及び施設の管轄範囲・対象人口の見直し)

(2) 文化施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民会館、産業文化センター、文化創造アトリエ・アミーゴ（以下グラフでは、文化創造アトリエと表記）を保有しています。

市民会館は中央公民館との併設となっており、産業文化センターは、図書館本館との複合施設です。3施設の管理運営は、指定管理となっています。

設置目的：	
市民会館	音楽ホール・集会施設・劇場の3つの機能を生かした文化事業を実施することで、魅力あるまちづくりを推進するとともに、市民の日頃の文化活動やその発表の場としての活用を図ることを目的とする
産業文化センター	産業振興を図るとともに、魅力ある文化事業を実施し、市民の日頃の文化活動やその発表の場としての活用を図ることを目的とする
文化創造アトリエ	市民自らが音楽、演劇、その他の芸術・芸能活動の練習、発表を行うとともに、市民交流、地域産業の振興を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併設施設		土地 所有	備考
						公民館	図書館		
豊岡 第二	1 市民会館	豊岡3-10-10	5,530.73	昭和48	RC造	● (貸室共用)		市	平成16年に部分改修実施
	2 産業文化センター	向陽台1-1-7	3,607.35	昭和58	RC造		●	市	平成8年に部分改修実施
西武	3 文化創造アトリエ	仏子766-3	1,796.63	※	木造、RC造			国・県	平成12年に部分改修実施
合計			10,934.71						

※不明（60年以上経過）

〇〇施設：施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
市民会館	午前9時～午後9時30分 (準備、後片付けの時間を含み ます。)	毎週月曜日 (この日が国民の祝日の場合、開館となり ません。) 年末年始(12月29日から1月3日)	315日
産業文化センター			
文化創造アトリエ・アミーゴ	午前9時～午後10時30分	年末年始 (12/29から1/3)	359日

③事業内容

＜市民会館＞

各種演奏会、演劇会、講演会、発表会、映画会のためにホールを提供しています。また、会議室・和室等の貸室も提供しています。ホールは特に音響効果が優れていることから、コンサート、レコーディングにも数多く利用されています。

・主催イベント：共催コンサート、ジャズフェスティバル、ミュージカル、バレエ発表会・芸能公演会等

＜産業文化センター＞

ホール、集会室、実習室等を設置し、施設の提供（貸館業務）、コンサート・落語などの開催（主催事業）を行っています。コミュニティホール内のホールは、演奏会、講演会、映画会などに利用されています。コミュニティホール、教育研究所、商工会、勤労者福祉サービスセンター、図書館本館からなる複合施設です。

＜文化創造アトリエ・アミーゴ＞

音楽、演劇、表現活動等文化の創造活動を支援しています。貸館業務を行っており、NPO 法人スタッフが貸館利用内容、方法等についてご相談を受け付けています。織物工房では、市民スタッフが各種の体験教室を行っています。

また文化事業として、音楽や美術・古典などの講座を実施（市民ディレクターが運営）しています。

・主催イベント：コンサート、落語、アートサロン等

④ 予約方法・使用料金等

市民会館	申請は、市内及びダイアプラン4市の利用者は利用する日の6ヶ月前の月初（休館日の場合は翌開館日）8：30から先着順にて受付します。
産業文化センター	※市外からの利用者は、5ヶ月前より予約可能です。
文化創造アトリエ	利用申請前に、あらかじめ相談が必要となり直接来館の上、利用申請が必要です。ダイアプラン4市（入間市、所沢市、飯能市、狭山市）に住所を有する方は、使用日から起算して6ヶ月前の初日から、その他の方は4ヶ月前からの申し込みとなります。

■ 使用料金

市民会館と中央公民館は、同一施設で、各諸室を共有しています。また両施設で使用料が異なる特徴があります。

市民会館

(円)

時間区分		午前	午後	夜間	全日		
使用区分		9時～正午	1時～5時	午後5時30分～ 午後9時30分	午前9時～ 午後9時30分		
ホール	入場料無料の場合	平日	12,000	20,000	28,000	54,000	
		土曜・日曜・祝日	16,000	26,000	36,000	70,000	
	入場料等を徴収する場合	平日	500円以下	15,000	25,000	35,000	68,000
			500円を超え1,000円以下	18,000	30,000	42,000	81,000
		土曜・日曜・祝日	1,000円を超えるもの	24,000	40,000	56,000	108,000
			500円以下	19,000	32,000	45,000	86,000
土曜・日曜・祝日	500円を超え1,000円以下	24,000	40,000	56,000	108,000		
	1,000円を超えるもの	32,000	54,000	76,000	146,000		
楽屋	1号室	平日	400	500	600	1,400	
		土曜・日曜・祝日	500	600	700	1,600	
	2号室	平日	400	500	600	1,400	
		土曜・日曜・祝日	500	600	700	1,600	
	3号室	平日	500	600	700	1,600	
		土曜・日曜・祝日	600	700	800	1,900	
シャワー室		※料金は曜日に関係なく一律 600 (1室につき)					
会議室・展示室 ※料金は曜日に関係なく一律	1号室(大会議室)		2,800	3,800	4,600	10,000	
	3号・4号室(中会議室)		1,300	1,800	2,100	4,600	
	5号・6号室(和室)		500	700	800	1,800	
	8号室(小会議室)		800	1,000	1,300	2,800	
	9号室(多目的室)		1,400	1,900	2,300	5,000	
	10号室(小会議室)		800	1,000	1,300	2,800	
	11号室(文化活動室)		2,100	2,800	3,400	7,500	
	展示室		1,500	2,100	2,500	5,500	

産業文化センター

(円)

時間区分		午前	午後	夜間	全日		
使用区分		9時～正午	1時～5時	午後5時30分～ 午後9時30分	午前9時～ 午後9時30分		
ホール	入場料等を徴収しない場合	平日	6,600	11,400	16,600	31,100	
		土曜・日曜・祝日	8,600	14,800	21,600	40,500	
	入場料等を徴収する場合	平日	500円以下	8,300	14,300	20,800	39,100
			500円を超え1,000円以下	9,800	17,000	24,700	46,400
		土曜・日曜・祝日	1,000円を超えるもの	13,200	22,800	33,200	62,300
			500円以下	10,500	18,100	26,400	49,500
土曜・日曜・祝日	500円を超え1,000円以下	13,200	22,800	33,200	62,300		
	1,000円を超えるもの	17,800	30,700	44,700	83,900		
集会室・研修室 ※料金は曜日に関係なく一律	1階 第1集会室(A)		900	1,600	2,300	4,300	
	1階 第1集会室(B)		900	1,600	2,300	4,300	
	2階 第2集会室(A)		1,500	2,700	3,900	7,300	
	2階 第2集会室(B)		1,500	2,700	3,900	7,300	
	2階 学習室		300	600	900	1,600	
	2階 研修室(A)		800	1,400	2,000	3,800	
	2階 研修室(B)		800	1,400	2,000	3,800	
	3階 小研修室		600	1,000	1,400	2,700	

文化創造アトリエ・アミーゴ

(円)

利用区分\時間区分		午前	午後	夜間	全日
		午前9時～ 正午	午後1時～ 午後5時	午後6時～ 午後10時 30分	午前9時～ 午後10時 30分
本館(アミーゴ1)	和室	200	300	400	800
	多目的ルーム	500	700	800	1,800
スタジオ棟(アミーゴ2)	スタジオ	600	700	800	2,000
サロン棟(アミーゴ3)	サロン(和)	200	300	400	800
	サロン(洋)・キッチン	500	600	700	1,600
	テラス	200	200	200	600
パティオ(アミーゴ4)	パティオ	400	500	600	1,400
ホール棟(アミーゴ5)	ギャラリー	700	800	1,000	2,400
	ホール	1,000	1,200	1,500	3,500
染色工房棟(アミーゴ7)	講義室1	300	400	500	1,100
	講義室2	200	300	400	800
備考	利用料金は、利用申込された時点で全額を前納していただきます。				
	既納の利用料金は原則として返却しません。				
	利用施設や期日等の変更は、再度お申し込みをしていただきます。				

■ 配置状況

市民会館と産業文化センターが豊岡地区第二地区、文化創造アトリエ・アミーゴが西武地区に設置されています。

図表中の赤枠は、耐震化が未実施の施設です。

図表 文化施設位置図



⑤ スペース構成

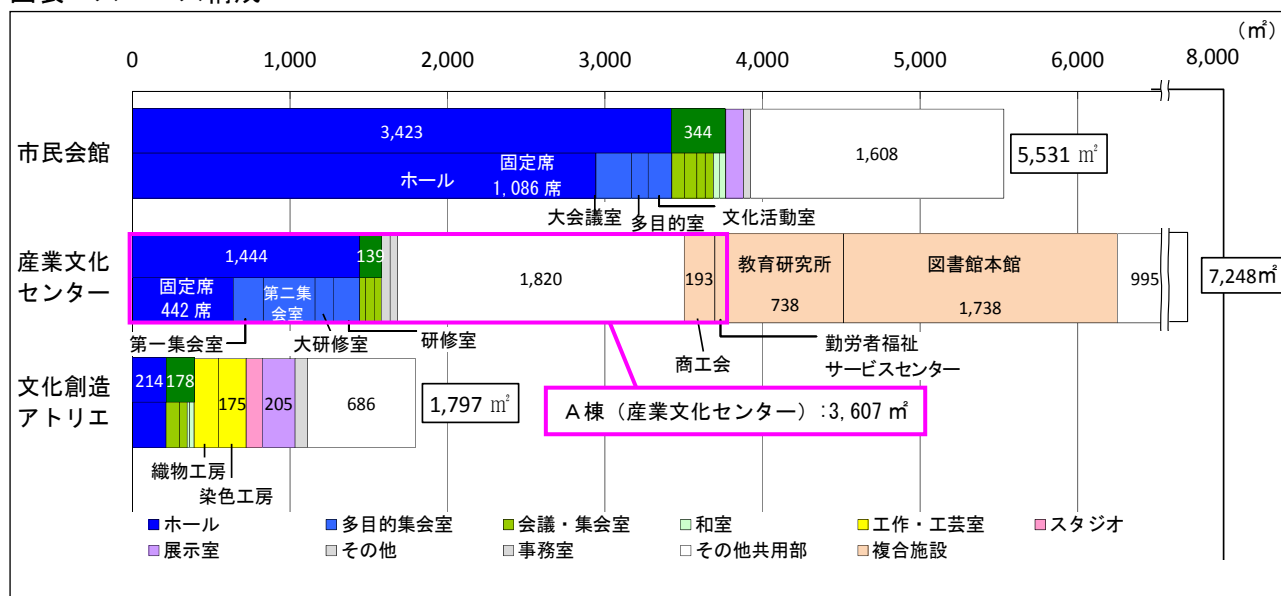
文化施設の規模は、市民会館の5,531 m²から文化創造アトリエ・アミーゴの1,797 m²となっています。全ての文化施設で、ホール機能を保有しています、また、市民会館と産業文化センターでは多目的集会機能として120 m²~230 m²の平土間タイプの多目的集会室を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として会議室・和室・文化活動室・サロン・学習室、その他に展示室を保有しています。

市民会館では、ホールは2,941 m²、固定席1,086席の大規模なものを保有しています。またホール以外の貸室は併設の中央公民館と共用です。

産業文化センターでは、ホールは600 m²、固定席442席（うち40席は可動）のものを保有しています。

文化創造アトリエ・アミーゴでは、織物工房、染色工房を保有しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 文化施設の建物総合評価結果

平成 25 年度の文化施設 3 施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理				
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	大規模改修または直近の年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)	
1	市民会館	昭和48	5,531	診断済	40	40	○	○	○	○	○	○	×	×	×	1,407	749	254	135
2	産業文化センター	昭和58	3,607	—	30	30	○	○	○	○	○	×	×	×	※4	3,631	※4	1,007	
3	文化創造アトリエ	※3	1,797	—	60	60	—	○	○	×	×	×	×	×	722	715	402	398	

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器・高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記載例 実施済み=○
 未実施=×
 不要=—
 □: 床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) □: 平均値の1.4倍

※3 不明(60年以上経過)
 ※4 指定管理料に含む

市民会館は、耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。ただし、耐震診断は実施済です。(パターン①)

産業文化センター、文化創造アトリエ・アミーゴは耐震性能が確保されている建物ですが、老朽化が進行しており建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

評価	パターン①	パターン②
	耐震性	老朽化
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>
該当施設	<p>該当施設 市民会館 建築年度 昭和48</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 産業文化センター 文化創造アトリエ 建築年度 昭和58 ※1</p> <p>< 2 施設 ></p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>

※1 不明(60年以上経過)

② 利用状況

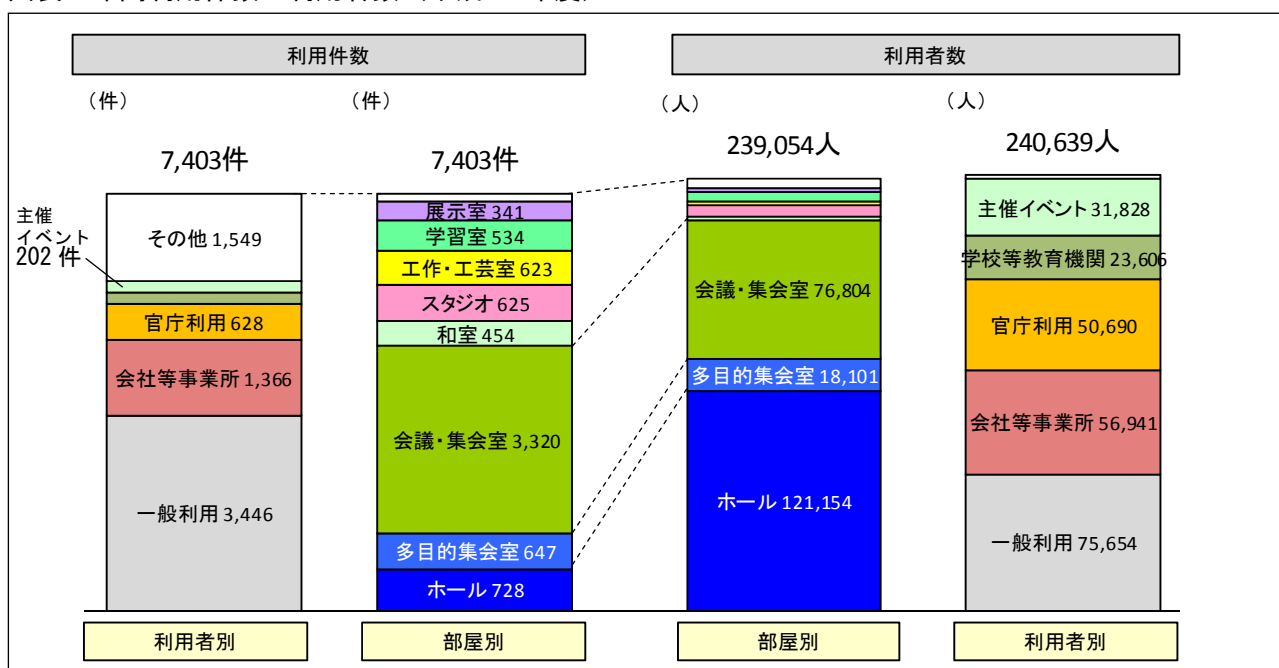
■ 全体の利用状況

平成 24 年度の文化施設の全体利用件数は 7,403 件、利用者数は 24 万 639 人です。

利用目的別の内訳をみると主催イベントが 202 件・3 万 1,828 人、サークル活動や一般利用等の貸館事業が 3,446 件・7 万 5,654 人となっており、利用件数ベースでは主催イベント利用が全体利用件数の約 3%、利用者数は 3 万 1,828 人の約 13%となっています。一般利用（サークル活動含む）による利用が約 47%、利用者数は 7 万 5,654 人の約 31%となっています。

部屋別の利用状況では、会議・集会室が 3,320 件（約 45%）、次いでホールが 728 件（約 10%）となっています。利用者数でみると、ホールが 12 万 1,154 人（約 51%）と半数を超えています、このうち 5 万 7,913 人が市民会館ホール、5 万 2,346 人が産業文化センターの利用です。

図表 年間利用件数・利用者数（平成 24 年度）



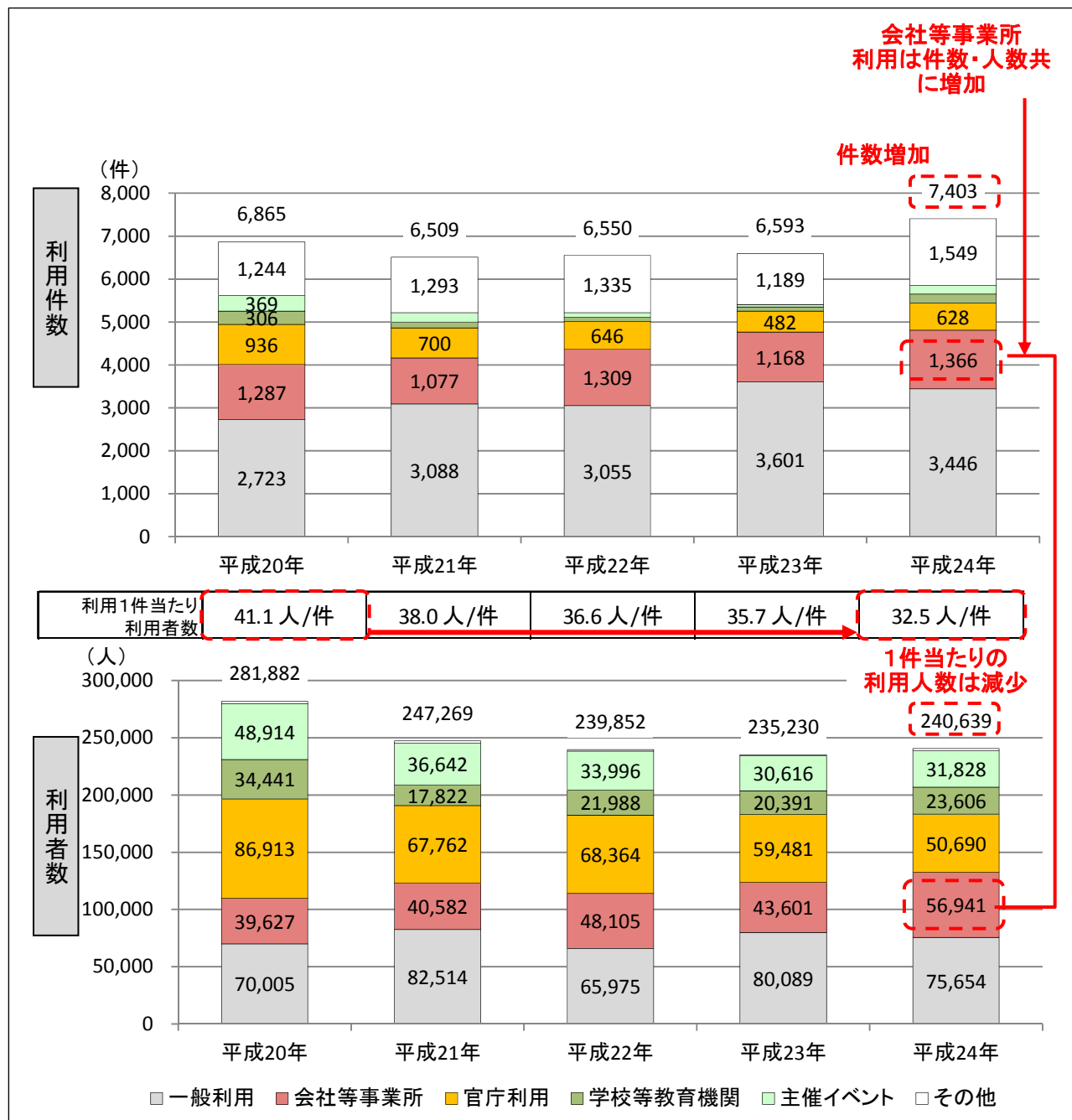
※部屋別利用者数は 1 コマ当たりの延数での積上げのため利用者別利用者数(実数)と若干異なります

■ 利用推移

利用件数の推移は、平成20年度から平成23年度まで減少傾向で推移していましたが、平成24年度に7,403件まで増加しています。利用者数では、平成20年度28万1,882人から平成24年度24万639人と減少傾向で推移しています。

利用1件当たりの利用者数は、平成21年度から平成23年度ではほぼ横ばいですが、平成24年度に32.5人/件まで減少しています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



■ 施設別の利用状況

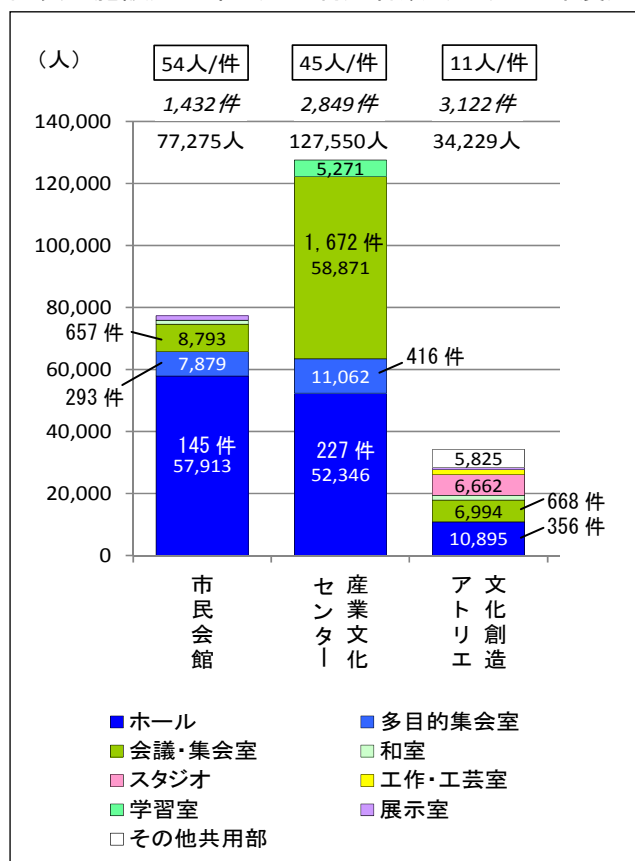
平成 24 年度の施設別利用件数と利用者数をみると、市民会館の利用が 1,432 件・7 万 7,275 人、産業文化センターが 2,849 件・12 万 7,550 人、文化創造アトリエ・アミーゴが 3,122 件・3 万 4,229 人となっています。

市民会館の部屋別利用者数の状況を見ると、ホールの利用者が全体の過半数を占めています。部屋別の利用件数を見てみると市民会館の会議機能の利用件数が 657 件、約 46%、ホールは 145 件、約 10%となっており、ホール利用は 1 件当たり 399 人となっています。

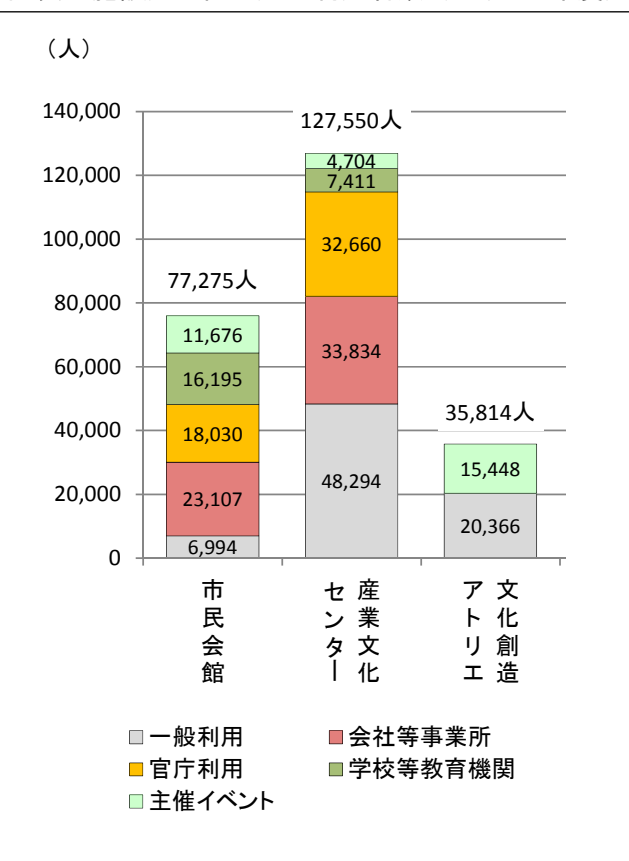
産業文化センターの部屋別利用者数の状況を見ると、会議・集会室利用者が 58,871 人、約 46%と最も多く、次いでホールの 52,346 人、41%となっています。部屋別の利用件数を見てみると会議機能の利用件数が 1,672 件、約 59%、ホールは 227 件、約 8%となっており、ホール利用は 1 件当たり 231 人となっています。

文化創造アトリエ・アミーゴの部屋別利用者数の状況は、ホール、会議・集会室、スタジオ、その他共用部の利用が 5,825 人～10,895 人、約 17%～32%となっています。部屋別の利用件数を見てみるとホールの利用件数が 356 件、約 11%となっており、文化施設 3 施設のホール利用件数の中で最も高くなっています。

図表 施設別・部屋別 利用者数 (平成 24 年度)



図表 施設別・目的別 利用者数 (平成 24 年度)



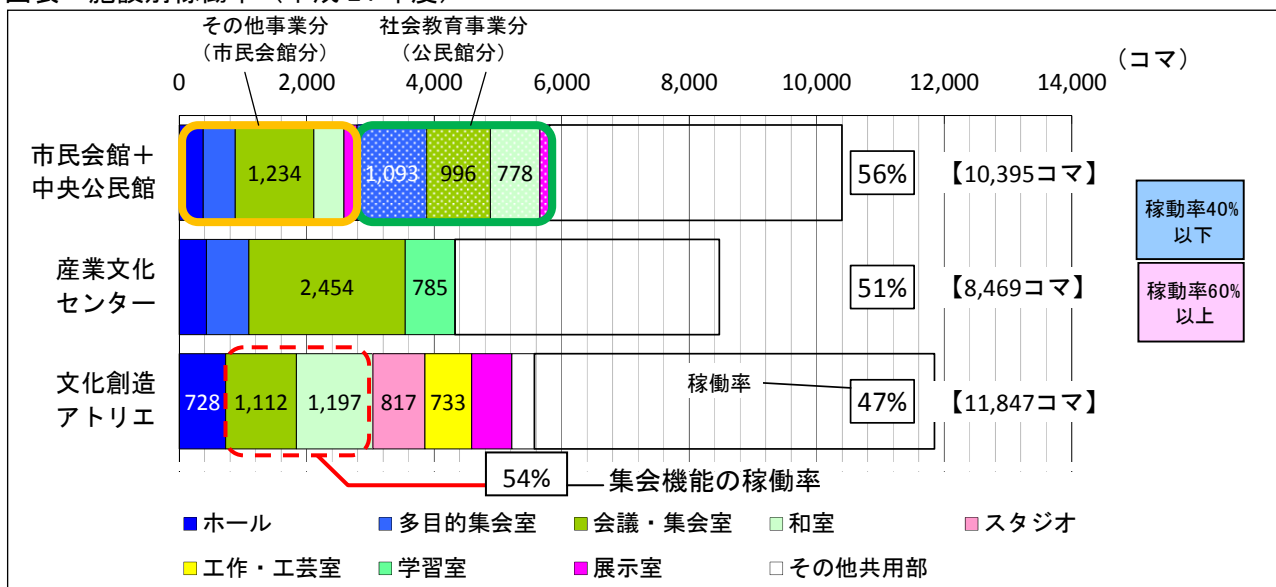
※部屋別利用者数、目的別利用者数は延べ数であり、集計単位が異なるため、数値が異なります

■ 施設別稼働率及び施設別部屋別稼働率

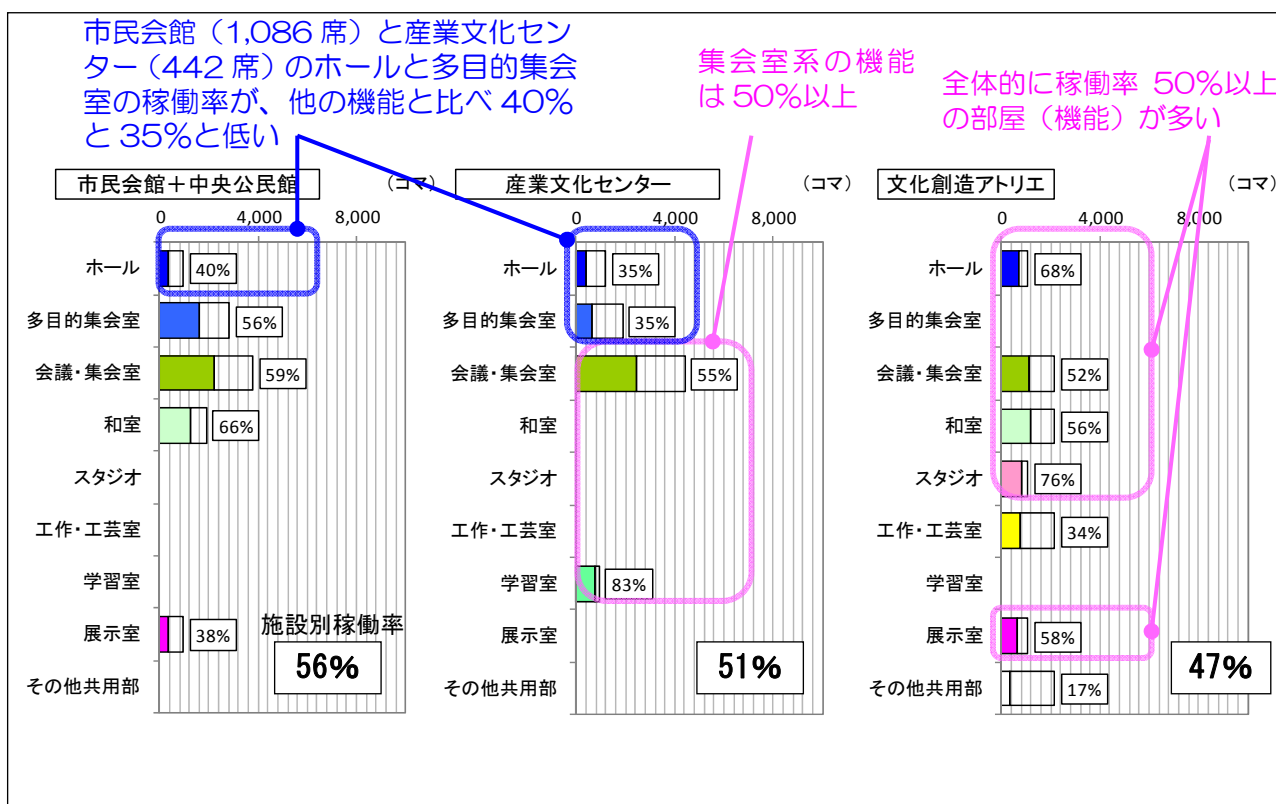
市民会館の全体稼働率は各諸室を供用している中央公民館と合わせて約 56%、産業文化センターは約 51%、文化創造アトリエ・アミーゴは約 47%です。

部屋別機能別に見た場合、市民会館のホール機能は 40%、100㎡100人以上収容可能な多目的集会室は 56%、会議・集会室は 59%となっています。産業文化センターは、ホール、多目的集会室は 35%、会議・集会室は 55%、学習室は 83%となっています。文化創造アトリエ・アミーゴのホールは 68%、スタジオは 76%、集会機能は 54%と、市の保有する他の集会施設と比較すると高い稼働率となっています。

図表 施設別稼働率（平成 24 年度）



図表 施設別部屋別稼働率



③ 運営状況

文化施設 3 施設の管理運営は、指定管理者が行っています。

平成 24 年度の 3 施設の運営人員は 23 人です。内訳は、一般職員が 9 人、嘱託職員が 1 人、契約職員が 5 人、パート職員が 8 人となっています。

施設別では、市民会館は 8 人、産業文化センターは 6 人、文化創造アトリエ・アミーゴは 9 人の職員が従事しています。

図表 運営人員（平成 24 年度）

(人)

		市民会館	産業文化センター	文化創造アトリエ	合計
運営形態		指定管理	指定管理	指定管理	
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	1	1	2	4
	嘱託職員	0	0	0	0
	パート職員	0	0	0	0
	計	1	1	2	4
事業活動に要する人員	一般職員(正規職員)	1	1	3	5
	嘱託職員	1	0	0	1
	契約職員	3	2	0	5
	パート職員	2	2	4	8
	計	7	5	7	19
合計	一般職員(正規職員)	2	2	5	9
	嘱託職員	1	0	0	1
	契約職員	3	2	0	5
	パート職員	2	2	4	8
	合計	8	6	9	23

運営体制をみると、市民会館と産業文化センターは、同じ指定管理者が管理運営を行っています。

市民会館は平日及び土日・祝日とも、指定管理者3人とパート職員1人が従事しており、夜間は、窓口業務を委託職員が1人、施設管理を委託職員（警備員）1人が従事しています。また平日、土日祝日とも6人で運営にあたっています。

産業文化センターは平日及び土日・祝日とも、指定管理者2人とパート職員2人が従事しており、夜間は、窓口業務を委託職員が1人、施設管理を委託職員（警備員）2人が従事しています。また平日、土日祝日とも6人で運営にあたっています。

文化創造アトリエ・アミーゴは、平日及び土曜日の日中は、NPO職員3人がローテーションで従事し夜間は委託職員（警備員）1人が従事しています。また平日、土日祝日とも4人で運営にあたっています。

図表 運営体制（平成24年度）

	平日				土日・祝日							
	8:30	17:00	19:30	21:30	8:30	17:00	19:30	21:30				
市民会館	指定管理者 3人		窓口	委託 1人	指定管理者 3人		窓口	委託 1人				
	パート 1人				パート 1人							
			委託 1人	警備員			委託 1人	警備員				
産業文化センター	指定管理者 2人		窓口	委託 1人	指定管理者 2人		窓口	委託 1人				
	パート 2人				パート 2人							
			委託 2人	警備員			委託 2人	警備員				
文化創造アトリエ	8:30	12:00	16:45	17:00	20:00	22:45	8:30	12:00	16:45	17:00	20:00	22:45
	指定管理者 2人 (パート含む)				指定管理者 2人 (パート含む)							
		指定管理者 1人 (パート含む)			指定管理者 1人 (パート含む)							
			委託警備員 1人			委託警備員 1人						

④ コスト状況

文化施設の3施設の年間トータルコストは、3億7,869万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(修繕費、改修費等)は1,469万円(4%)、施設の維持管理(光熱水費含む)を委託している指定管理委託料は2億9,090万円(77%)、減価償却相当額は7,310万円(19%)です。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

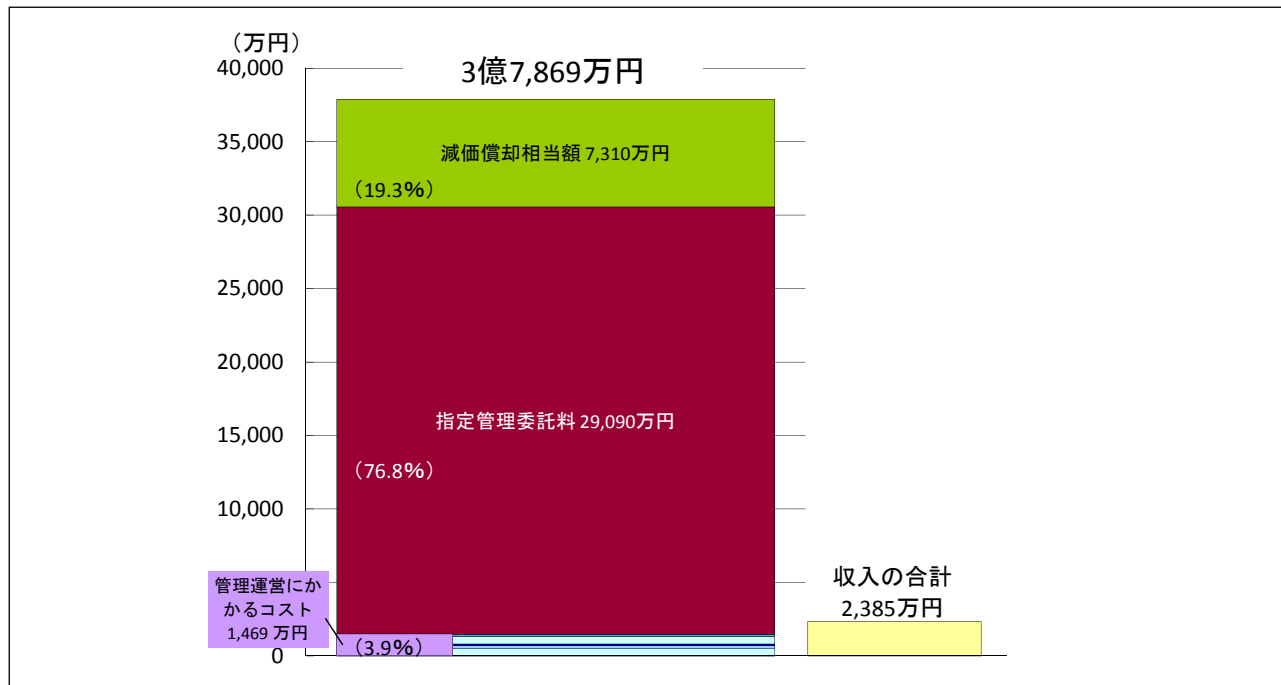
(円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		市民会館	産業文化センター	文化創造アトリエ	合計
管理運営にかかるコスト	車両・備品購入費	448,140	929,113	0	1,377,253
	修繕費	748,503	3,630,900	714,976	5,094,379
	改修費	0	0	986,737	986,737
	委託費	1,407,000	0	722,400	2,129,400
	使用料及び賃借料	1,961,894	0	3,019,590	4,981,484
	その他物件費	48,216	68,452	0	116,668
	管理運営にかかるコスト	4,613,753	4,628,465	5,443,703	14,685,921
指定管理委託料		126,354,510	126,577,378	37,963,450	290,895,338
現金収支を伴うコスト 計		130,968,263	131,205,843	43,407,153	305,581,259
【収入の部】					
収入	使用料収入	9,654,330	14,197,690	0	23,852,020
収入の合計		9,654,330	14,197,690	0	23,852,020
II.現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	44,245,840	28,858,800	0	73,104,640
III.総括					
コストの部合計(トータルコスト)		175,214,103	160,064,643	43,407,153	378,685,899
収支差額(ネットコスト)		165,559,773	145,866,953	43,407,153	354,833,879

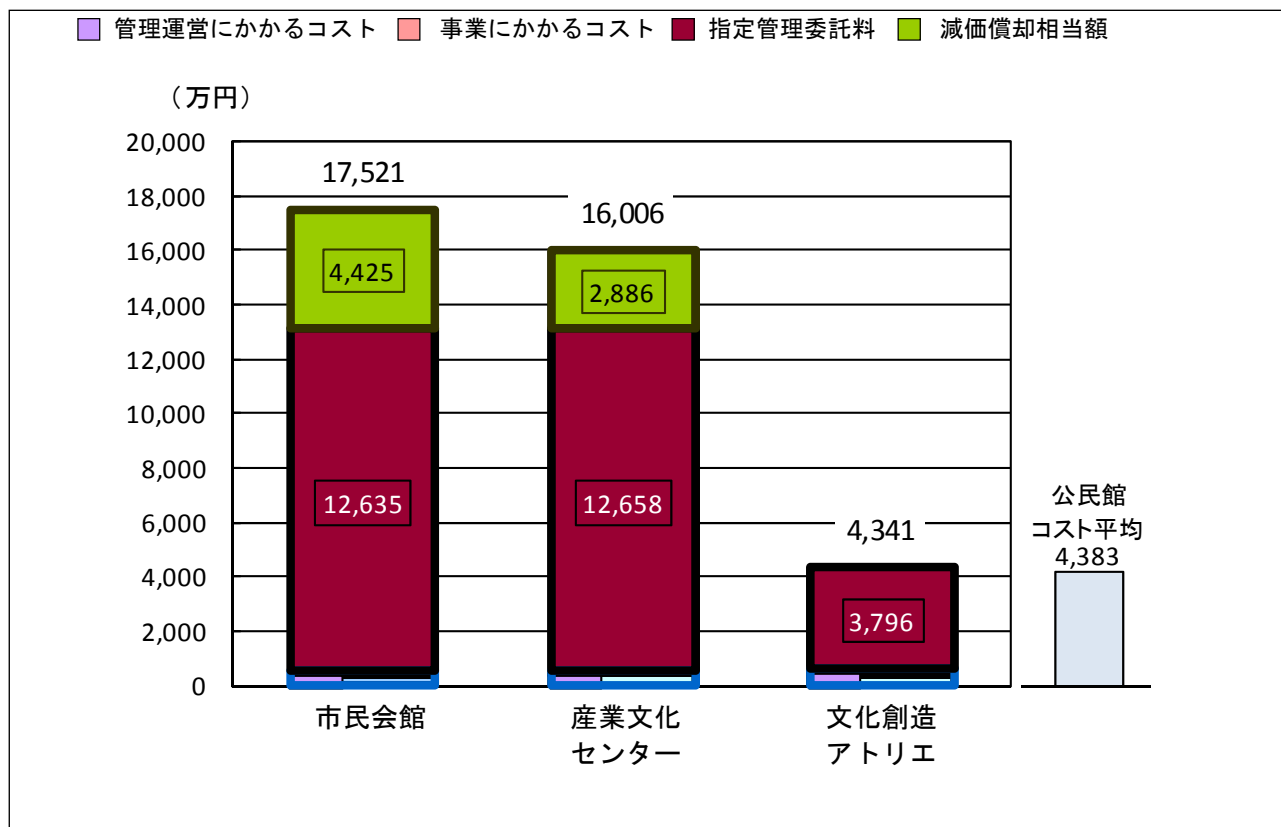
※文化創造アトリエの収入については、利用料金制により、指定管理者の歳入となります

施設別トータルコストでは、市民会館は1億7,521万円、産業文化センターは1億6,006万円、文化創造アトリエ・アミーゴは4,341万円となっています。

図表 文化施設 全施設トータルコスト（平成24年度）



図表 文化施設 施設別トータルコスト（平成24年度）

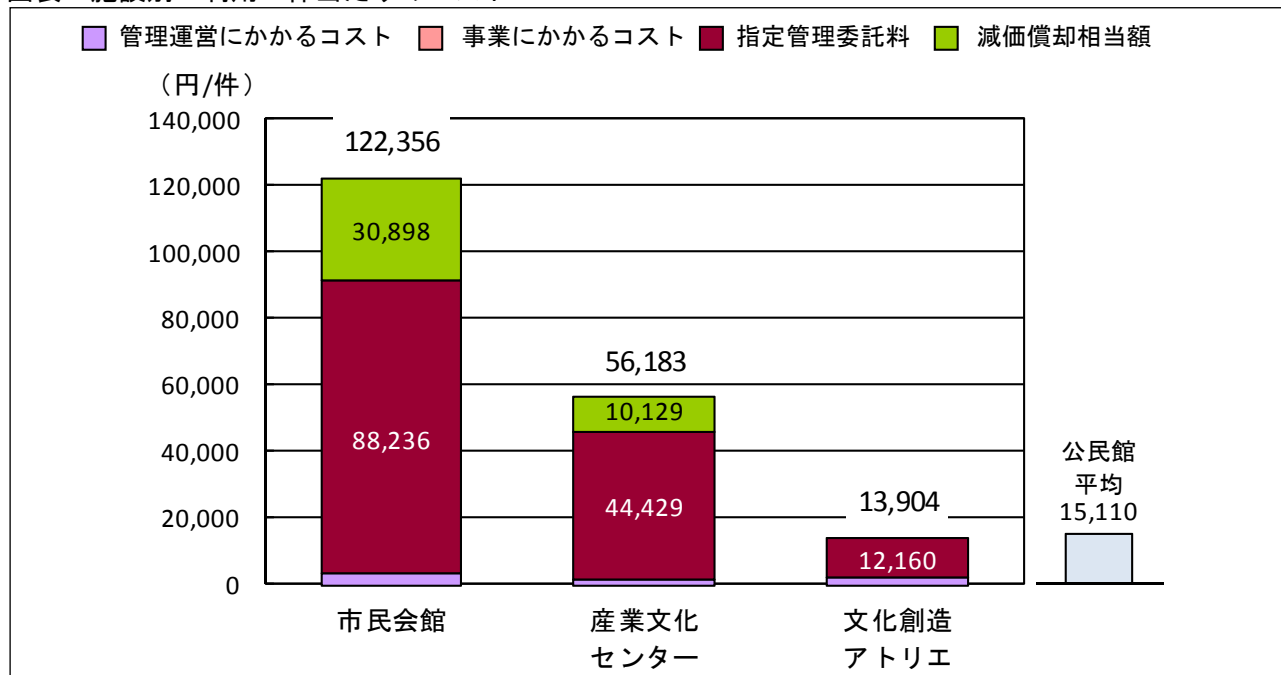


3) 評価・分析

■ 利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、市民会館は12万2,356円/件、産業文化センターは5万6,183円/件、文化創造アトリエ・アミーゴは1万3,904円/件となっています。

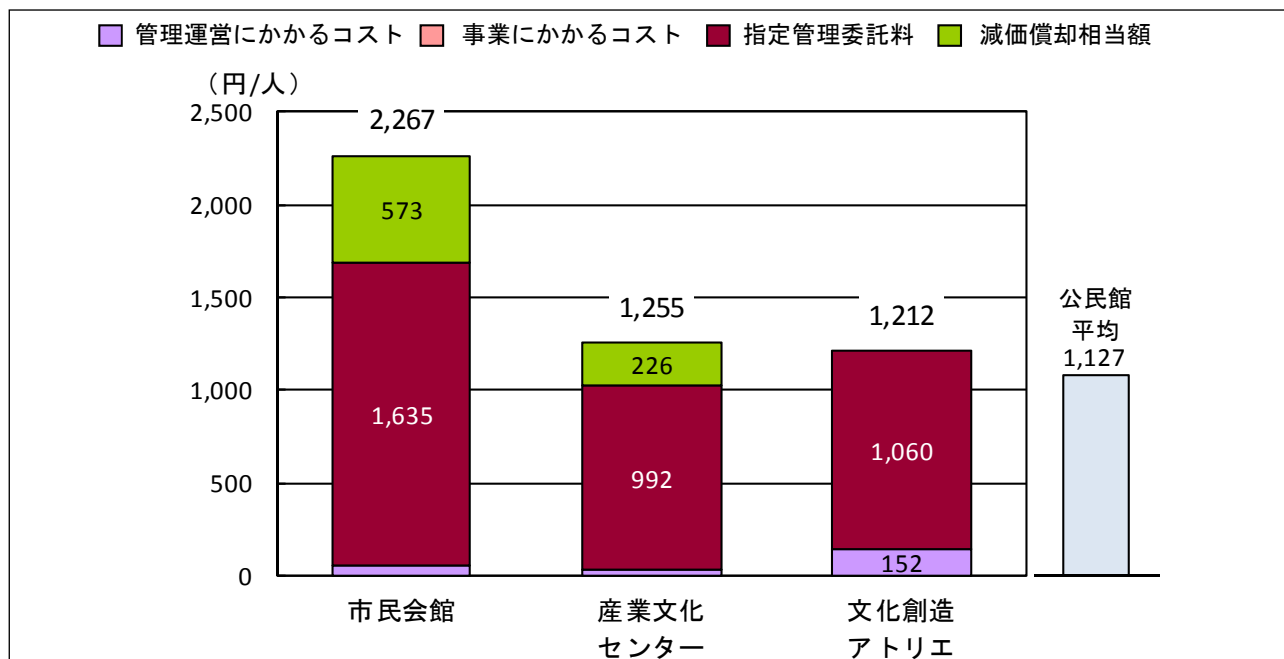
図表 施設別 利用1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、市民会館は2,267円/人、産業文化センターは1,255円/人、文化創造アトリエ・アミーゴは1,212円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 市民会館は、耐震化未実施であり、早急な対応が必要。

<利用状況>

- ② 利用推移を見ると、利用件数と利用者数は横ばいの推移であるが、内訳では利用件数あたりの利用者数が減少している。
- ③ 市民会館（1,086 席）と産業文化センター（442 席）のホールの稼働率が、同施設の他の機能と比べ 40%と 35%と低い。
- ④ 施設別部屋別稼働率を見てみると、産業文化センターのホールと多目的集会室の稼働率が 35%程度と、施設内の部屋の中で低くなっている。

<運営状況>

- ⑤ 市民会館と中央公民館は、同一施設で、各諸室を共有しているが、両施設で使用料が異なる。
- ⑥ 市民会館と産業文化センターは、同一の指定管理業者である。

<コスト状況>

- ⑦ 市民会館は、中央公民館と諸室を兼用しているため、利用者を中央公民館と分けあう形となっており、実質利用者数が低くなっている。しかし運営コストや、人件費は、産業文化センターと同等以上にかかっているため、割高になっている。

■課題のまとめ

- 耐震未対応の市民会館への早急な対応
- 市民会館と中央公民館との運営体制の見直しが必要
(2 施設で異なる料金設定や、中央公民館と運営の共有化等)
- 部屋機能配置のあり方の見直しが必要
(低稼働率の部屋機能に対するニーズの見直し)
(周辺施設との機能の重複による施設配置のあり方等)

(3) その他広域対応集会施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、男女共同参画推進センター、市民活動センター、青少年活動センターを保有しています。男女共同参画推進センターと青少年活動センターの管理運営は、市の直営となっています。市民活動センターの管理運営は、民間業者に委託しています。

男女共同参画推進センターと市民活動センターは複合施設となっています。

設置目的：	
男女共同参画推進センター	男女がお互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮して、対等な立場で政治・経済・社会・文化など、あらゆる活動に参画することのできる社会、家事・育児・介護なども責任を分かち合い、支えあうことのできる男女共同参画社会の実現を目的とする
市民活動センター	市民が主役の元気なまちづくりを推進するとともに、営利を目的としない自主的な社会貢献活動の支援と、さまざまな市民活動の交流の場としての活用を図ることを目的とする
青少年活動センター	加治丘陵の豊かな自然の中で行う、文化・スポーツ活動やキャンプ等の野外活動、自然体験、その他さまざまな体験活動を通じて、豊かな社会づくりに積極的に取り組むことのできる青少年の育成を目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併 設施設	土地 所有	備考
						その他集 会施設		
豊 岡 第 二	1 男女共同参画推進 センター	豊岡4-2-2	447.51	昭和55	RC造	●	市	平成15年に部 分改修実施
	2 市民活動センター		1,081.81		RC造			
東金子	3 青少年活動セン ター	小谷田1681-1	2,579.80	昭和44	RC造		市	平成15年に部 分改修実施
合計			4,109.12					

〇〇施設 : 施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
男女共同参画 推進センター	午前9時から 午後9時30分	年末年始 (12/29から1/3)	平日 245日 休日 114日 (こども室のみ)
市民活動センター			平日 244日 休日 115日
青少年活動センター	午前9時から午後10時 (日帰り使用時間)		平日 244日 休日 115日

③ 事業内容

＜男女共同参画推進センター＞

男女共同参画活動を行っている団体を対象に施設の提供、講座・教室の開催（主催イベント）を行っています。

- ・再就職セミナー・センスアップセミナー・護身術講座・子育て講座等
- ・ガールスカウト会議・女性職員情報交換会等
- ・女性相談：面接・電話相談・法律相談等

＜市民活動センター＞

市に登録されているNPO法人や市民活動団体が、打合せや講座・教室の開催を行っています。

- ・まちづくり勉強会・市民活動支援講座・自治会向けパソコン教室・パワーポイント講座・人財塾等
- ・市民活動団体ポスター展及び交流会・各種ワークショップ等

＜青少年活動センター＞

青少年及び育成者の団体を対象に施設提供を行う他、青少年を対象にした各種体験事業、指導者及び団体育成事業、団体との協働事業を行っています。

- ・社会体験：中学生体験事業（むささびひろばまつり）、むささびの森のクリスマス等
- ・自然体験：むささび観察会、むささびの森クラブ等
- ・科学学習：子ども実験教室等
- ・芸術文化：七宝焼きたいけん・森のあとりえ等
- ・指導者養成：青少年活動者研修
- ・団体協働事業：むささびひろばまつり、ファミリーバーベキュースペシャル
- ・団体協力・共催事業：冒険の森〔入間遊び場づくり協会〕・彩の国郷土かるた大会〔入間市子ども会育成会連絡協議会〕

④ 予約方法・使用料金等

男女共同参画推進センター	会議室を除いて利用には登録が必要ありません。 会議室は3カ月前から予約を受け付けています。使用には使用許可申請書の提出が必要です。 会議室を利用できるのは市内又は所沢市、飯能市、狭山市で男女共同参画推進活動を行っている団体などです。
市民活動センター	利用には団体の登録が必要です。 活動室は利用月の3カ月前から予約を受け付けています。 利用できるのは特定非営利活動法人（NPO法人）、公共又は公益活動を行う団体、まちづくりのためのボランティア団体です。
青少年活動センター	利用できるのはダイアプラン（入間市、所沢市、狭山市、飯能市）内に拠点がある青少年団体・青少年指導者の団体・青少年の健全育成を目的とする団体です。

■ 使用料金

男女共同参画推進センター、市民活動センターは無料です。

青少年活動センターは、本館で宿泊する場合にシーツクリーニング代が1人205円必要です。

⑤ 配置状況

男女共同参画推進センター・市民活動センターを豊岡地区第二地区、青少年活動センターを東金子地区に配置しています。

図表 その他広域対応集会施設位置図



⑥ スペース構成

男女共同参画推進センター・市民活動センターは 1,529 m²、青少年活動センターは 2,580 m² となっています。

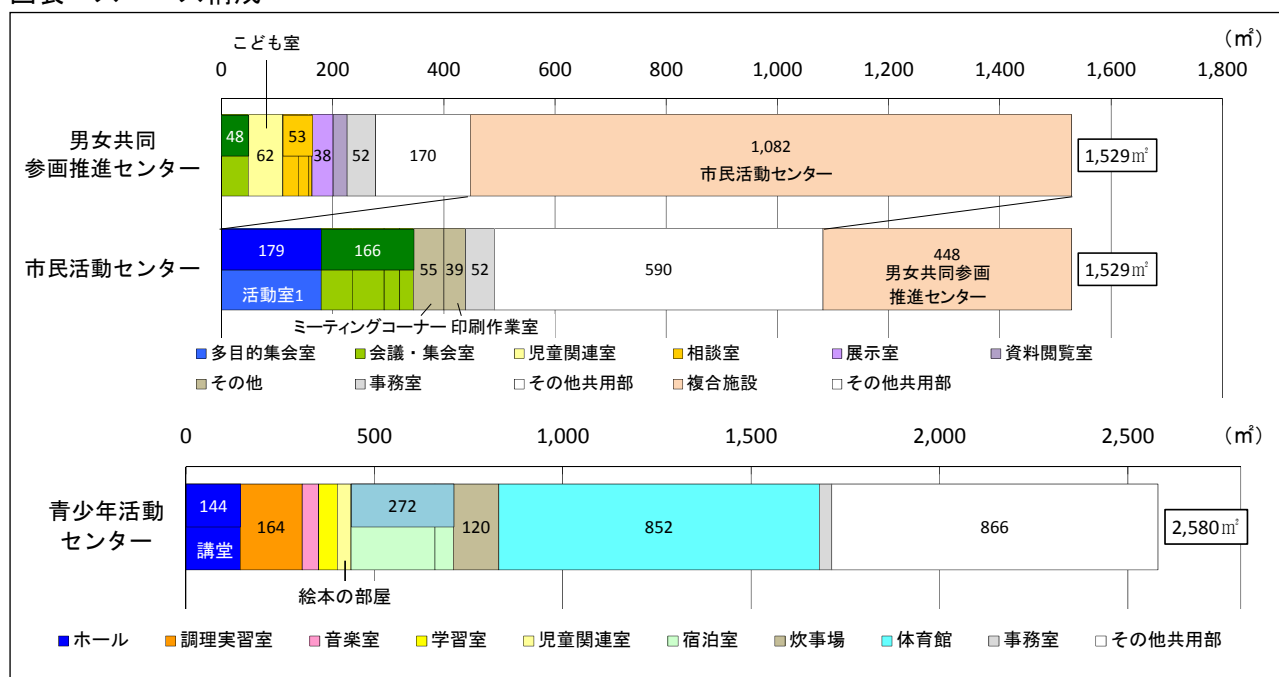
男女共同参画推進センターと市民活動センターは複合施設となっています。

男女共同参画推進センターは、相談室やこども室、展示交流室等を保有しています。

市民活動センターは、活動室やミーティングコーナー、印刷作業室を保有しています。

青少年活動センターは、宿泊のできる青少年活動施設としての機能を有しており、会議室、食堂、調理室、宿泊室等の本館施設の他に、体育館、野外活動施設（キャンプ場・炊事場）があります。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ その他広域対応集会施設の建物総合評価結果

平成25年度のその他広域対応集会施設3施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応	⑤維持管理												
		建築年度	延床面積 (㎡)		耐震診断・耐震改修	築年数	直近の部分改修	部分改修または経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用スロープ	車いす用スロープ		自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)			
1	男女共同参画推進センター	昭和55	448	診断済	33		33	○	○	○	○	○	○	×	×	×	2,206	4,965	39	4,929	11,095	87				
2	市民活動センター	昭和55	1,082	診断済	33		33	○	○	○	○	○	×	×	×	※	2,293	18	※	2,119	17					
3	青少年活動センター	昭和44	2,580	実施済	44		44	×	○	×	○	×	×	×	×	3,130	9,242	1,170	1,213	3,582	454					

※市民活動センターの施設にかかる修繕費及び、光熱水費は、男女共同参画推進センターが支払いをしている

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等	記載例	実施済み=○
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備		未実施 = ×
		不要 ⇒ -

 : 床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計)
 : 平均値の1.4倍

男女共同参画推進センター・市民活動センターは、耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。ただし、耐震診断は実施済です。(パターン①)

青少年活動センターは、埼玉県から移管を受けた時に耐震化対応が実施された施設ですが、老朽化が進行しており、建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

評価	パターン①	パターン②
	耐震性 老朽化	老朽化
評価	<ul style="list-style-type: none"> 耐震安全性が確保されていない さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行している ⇒建替え又は部分改修などの老朽化対策の検討が必要な施設
該当施設	該当施設 男女共同参画推進センター 昭和55 市民活動センター 昭和55	該当施設 青少年活動センター 昭和44
コメント	・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。	・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

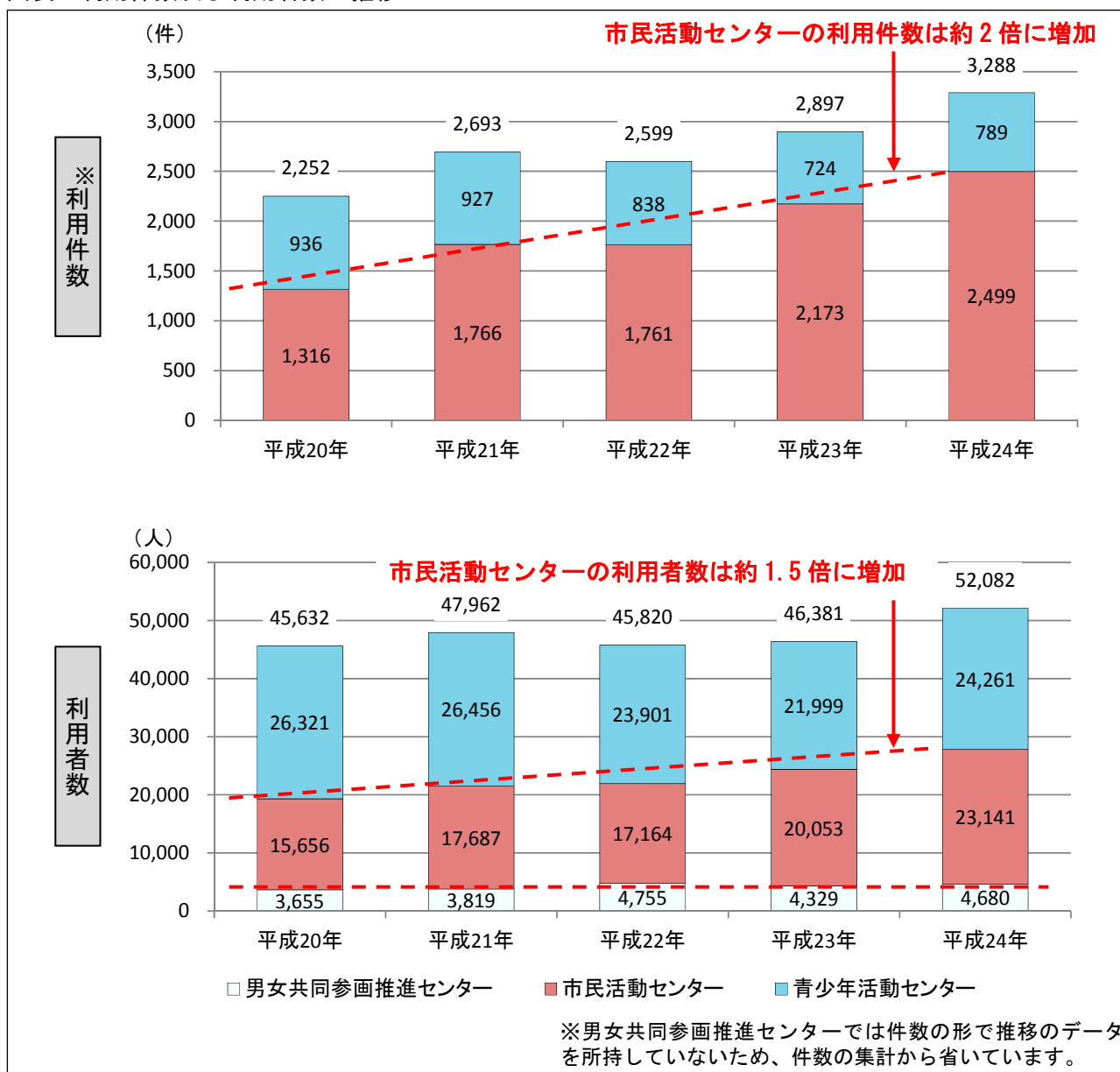
② 利用状況

■ 利用推移

利用件数の推移は、平成20年度2,252件から平成24年度3,288件まで増加傾向で推移しています。また利用者数も、平成20年度4万5,632人から平成24年度5万2,082人と増加傾向で推移しています。これは市民活動センターの官庁利用が増加しているためです。

なお、男女共同参画推進センターでは件数の形で推移のデータを所持していないため、件数の集計から省いています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



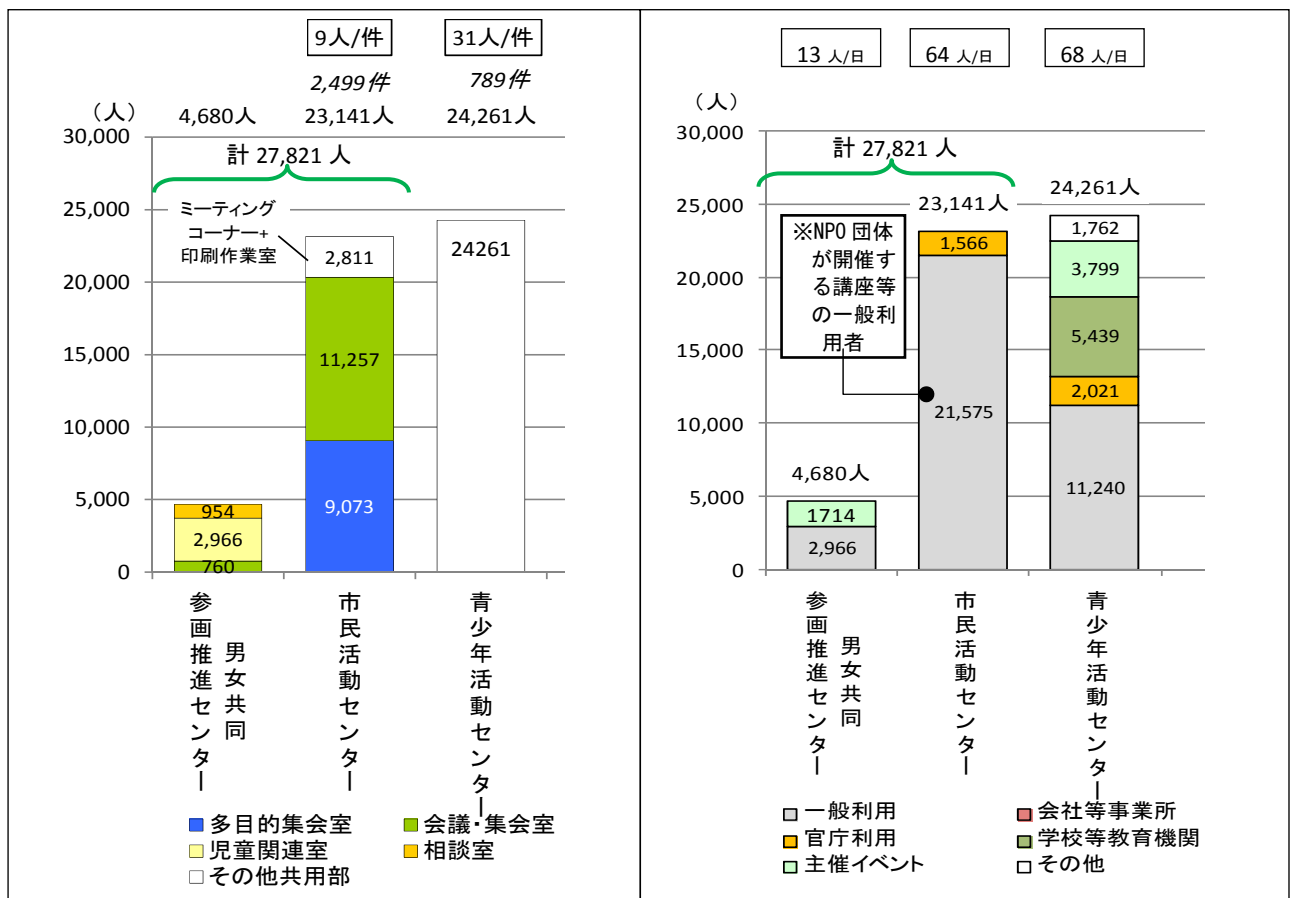
■ 施設別の利用状況

平成 24 年度の施設別利用件数と利用者数をみると、男女共同参画推進センターの利用が 4,680 人、市民活動センターの利用が 2 万 3,141 人、青少年活動センター 2 万 4,261 人となっています。

市民活動センターの部屋別利用状況を見ると、会議・集会室の 1 万 1,257 人（49%）次いで多目的集会室の 9,073 人（39%）となっています。

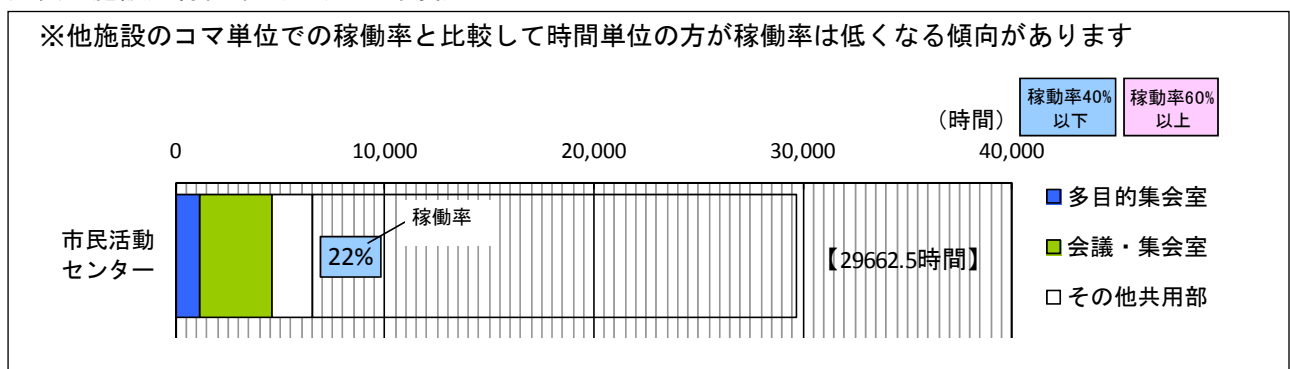
青少年活動センターの利用目的別の内訳をみると、サークル活動や一般利用等の貸館事業が 1 万 1,240 人（46%）と最も多く、主催事業が 3,799 人（16%）となっています。

図表 施設別・部屋別 利用者数（平成 24 年度） 図表 施設別・目的別 利用者数（平成 24 年度）



施設別稼働率は、対象者に一般市民が含まれており、部屋ごとの利用時間が集計されている市民活動センターで算出しました。利用可能時間に対しての利用時間で稼働率は 22% となっています。

図表 施設別稼働率（平成 24 年度）



③ 運営状況

男女共同参画推進センターと、青少年活動センターの管理運営は、直営となっています。

市民活動センターの管理運営は、民間業者に委託しています。

平成24年度の3施設の運営人員は9人です。内訳は、一般職員（一般職員）が5人、嘱託職員が1人、パート人員が3人となっています。

施設別では、男女共同参画推進センターと青少年活動センターは、4人の職員が従事しており、市民活動センターは、委託業務のため施設の管理運営に関して、パート職員が1人従事しています。

図表 運営人員（平成24年度）

(人)

		男女共同 参画推進 センター	市民活動 センター	青少年 活動セン ター	合計
運営形態		直営	委託	直営	
管理運営に 要する人員	一般職員（正規職員）	1	0	0	1
	嘱託職員	0	0	1	1
	パート職員	0	1	0	1
	計	1	1	1	3
事業活動に 要する人員	一般職員（正規職員）	1	0	3	4
	嘱託職員	0	0	0	0
	パート職員	2	0	0	2
	計	3	0	3	6
合計	一般職員（正規職員）	2	0	3	5
	嘱託職員	0	0	1	1
	パート職員	2	1	0	3
	合計	4	1	4	9

(3) その他広域対応集会施設

運営体制をみると、男女共同参画推進センターは、平日は一般職員とパート職員が従事しており、土日祝日には委託事業者の職員が従事しています。平日は4人、土日・祝日は1人で運営にあたっています。

市民活動センターは、平日は委託事業者職員が運営を行っており、パート職員1人が施設の管理運営に従事しています。

青少年活動センターは、日中は一般職員3人と嘱託職員1人とその他職員が1人従事しており、夜間はその他職員がローテーションして1人従事しています。宿泊利用対応時は、宿直として、22時から翌朝8時30分までその他職員が1人従事しています。

図表 運営体制（平成24年度）

	平日		土日祝日	
	9:00	21:30	9:00	21:30
男女共同参画推進センター	一般職員 2人 パート 2人		その他 1人	
市民活動センター	8:30	17:00	8:30	17:00
	委託事業者職員 パート 1人		委託事業者職員 パート 1人	

	【平常時】			【宿泊利用対応時】		
	8:30	17:00	22:15	8:30	17:00	22:15
青少年活動センター	一般職員 3人 嘱託職員 1人 その他 1人			一般職員 3人 嘱託職員 1人 その他 1人		

● 年間130日程宿泊対応として
その他職員が宿直として1人従事

④ コスト状況

その他広域対応集会施設の3施設の年間トータルコストは、1億2,489万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は4,289万円(34%)、事業にかかるコスト(人件費・委託費等)は4,913万円(39%)、減価償却相当額は3,287万円(26%)です。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

(円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		男女共同 参画推進 センター	市民活動 センター	青少年活動 センター	合計
管理 運営に かかる コ スト	一般職員人件費	11,820,000	0	0	11,820,000
	嘱託職員人件費	0	0	3,824,000	3,824,000
	修繕費	38,955	17,881	1,170,016	1,226,852
	光熱水費	2,205,810	0	3,129,981	5,335,791
	委託費	4,965,240	2,292,732	9,242,115	16,500,087
	使用料及び賃借料	1,913,134	568,200	373,045	2,854,379
	その他物件費	618,121	99,522	612,850	1,330,493
	管理運営にかかるコスト	21,561,260	2,978,335	18,352,007	42,891,602
事業 にか かる コ ス ト	一般職員人件費	9,174,000	0	27,697,000	36,871,000
	臨時職員人件費	1,907,812	0	0	1,907,812
	その他人件費	241,640	0	0	241,640
	委託費	0	3,372,740	840,000	4,212,740
	負担金補助及び交付金	0	0	1,166,650	1,166,650
	その他物件費	3,428,017	183,460	792,904	4,404,381
	事業活動	14,751,469	3,556,200	30,496,554	48,804,223
	使用料及び賃借料	37,590	0	0	37,590
	その他物件費	0	0	285,774	285,774
	事務・庶務	37,590	0	285,774	323,364
事業にかかるコスト	14,789,059	3,556,200	30,782,328	49,127,587	
現金収支を伴うコスト 計		36,350,319	6,534,535	49,134,335	92,019,189
【収入の部】					
収入	使用料収入	0	0	106,198	106,198
収入の合計		0	0	106,198	106,198
II.現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	3,580,080	8,654,480	20,638,400	32,872,960
III.総括					
コストの部合計(トータルコスト)		39,930,399	15,189,015	69,772,735	124,892,149
収支差額(ネットコスト)		39,930,399	15,189,015	69,666,537	124,785,951

※市民活動センターの施設に対する修繕費及び、光熱水費は、男女共同参画推進センターが支払いをしている

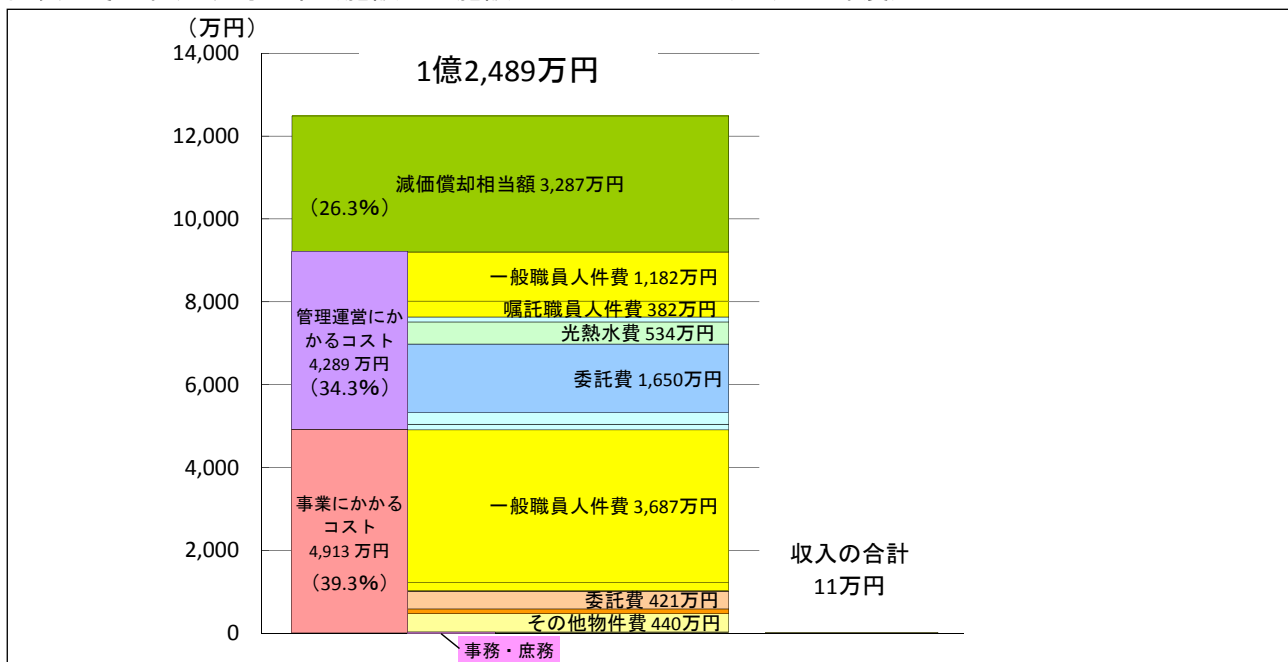
職員人件費は合計 5,466 万円で、トータルコストの約 44%を占めています。

管理運営にかかるコストうち、人件費は 1,564 万円でトータルコストの約 12%となっています。

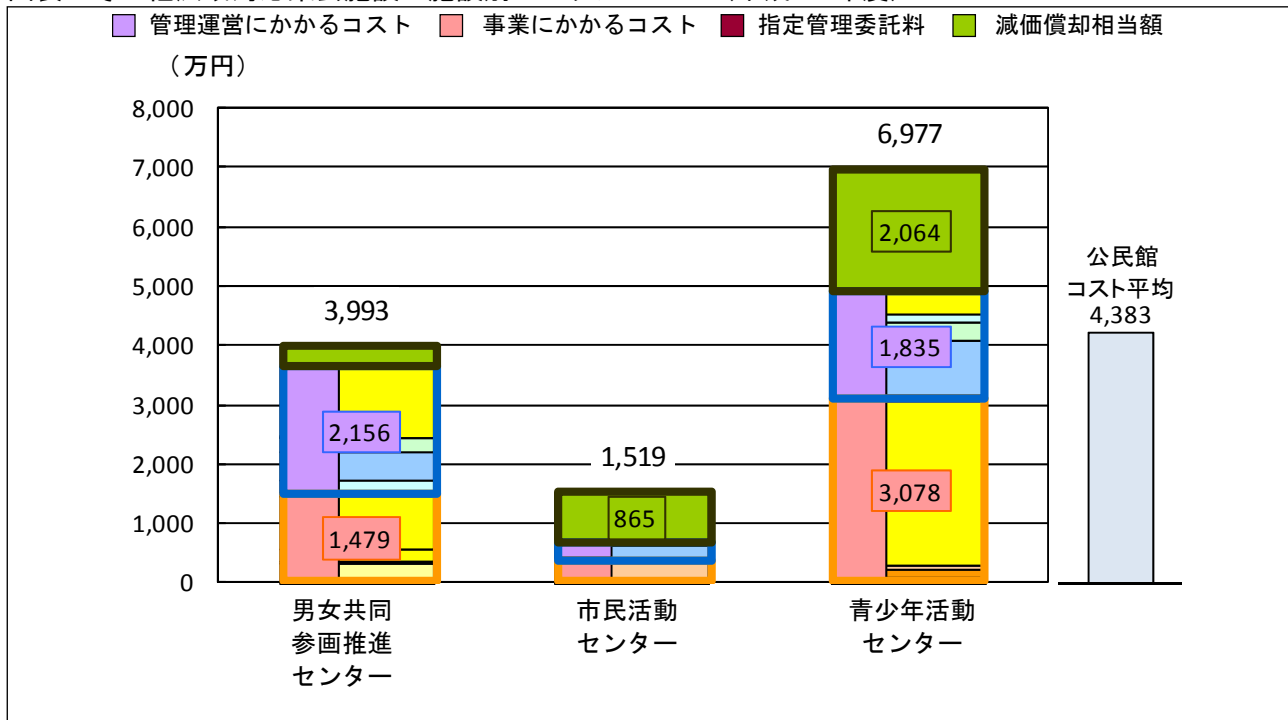
事業にかかるコストのうち、事業に関する人件費は 3,902 万円で、トータルコストの約 31%となっています。

施設別トータルコストでは、男女共同参画センターは 3,993 万円、市民活動センターは 1,519 万円、青少年活動センターは 6,977 万円となっています。

図表 その他広域対応集会施設 全施設トータルコスト（平成 24 年度）



図表 その他広域対応集会施設 施設別トータルコスト（平成 24 年度）

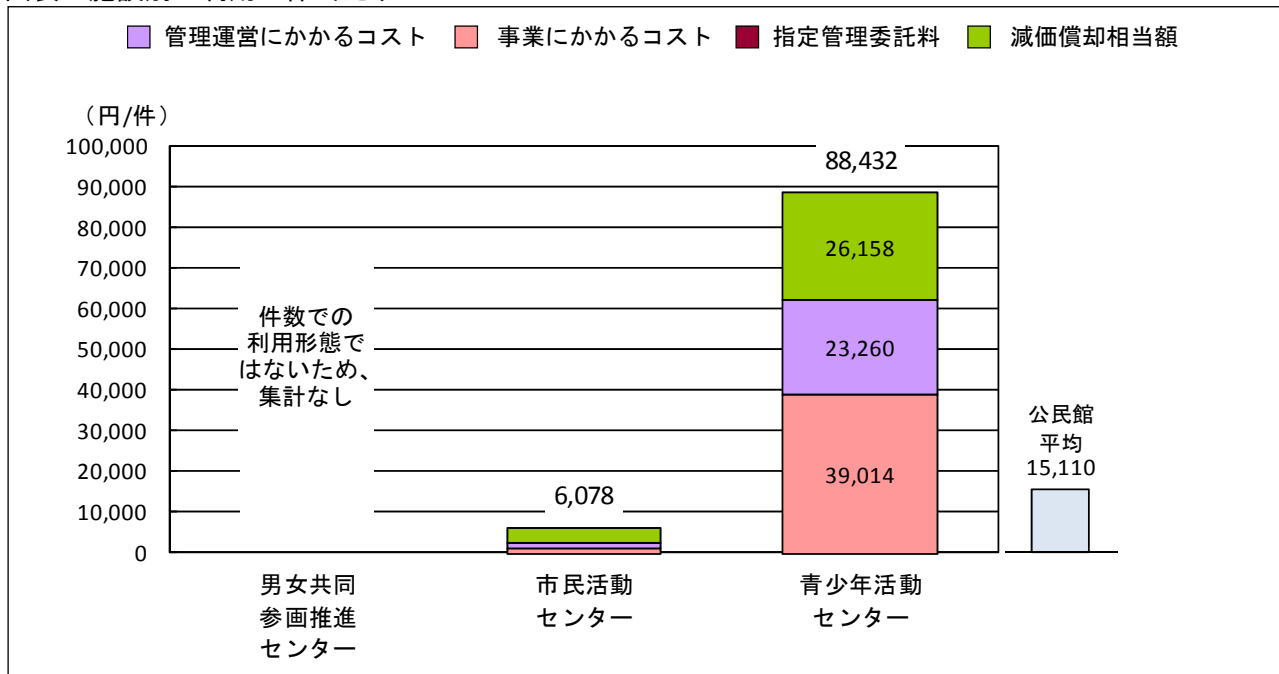


3) 評価・分析

■ 利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、市民活動センターが6,078円/件、青少年活動センターが8万8,432円/件となっています。

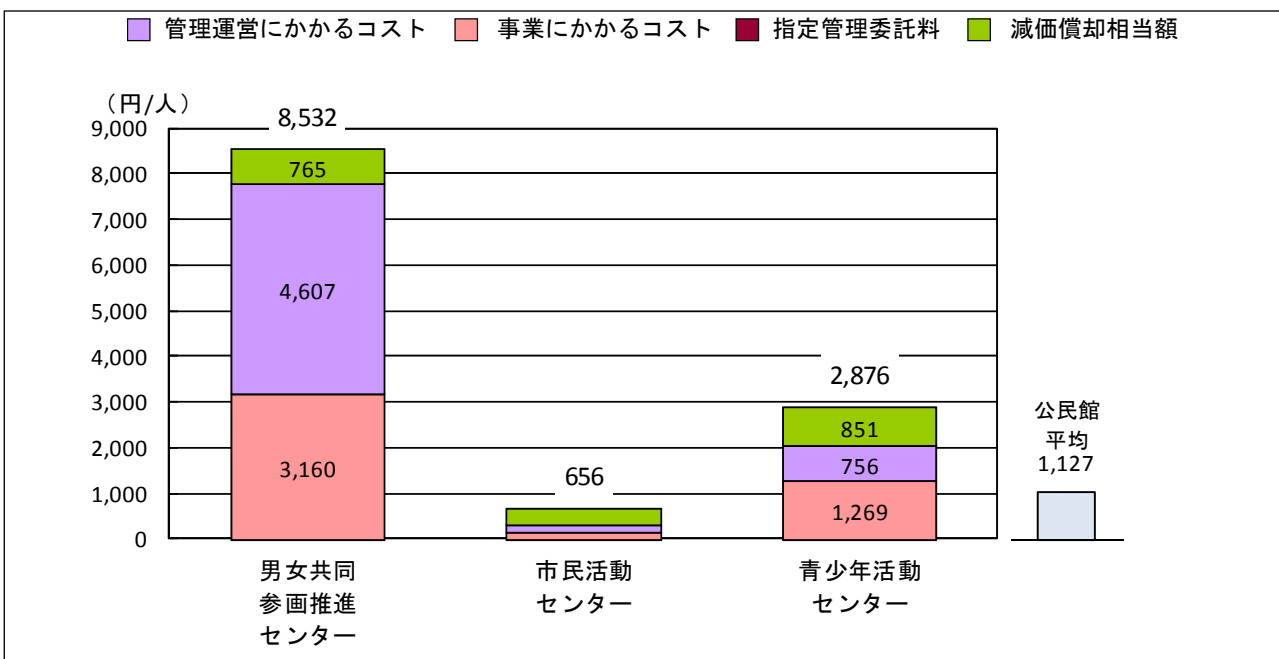
図表 施設別 利用1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、市民活動センターの656円/人から男女共同参画推進センターの8,532円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 男女共同参画推進センター・市民活動センターは、耐震化未実施であり、早急な対応が必要。
- ② 青少年活動センターは、山の中腹に位置し、交通アクセスは、バスもしくは車となるが、利用者数に対し駐車場が不足している。

<利用状況>

- ③ 各施設の利用対象者は以下に限定されている。
男女共同参画推進センター：ダイアプラン（入間市、所沢市、狭山市、飯能市）内で男女共同参画推進活動を行っている団体（こども室は一般利用可）
市民活動センター：登録された NPO 法人及び市民活動団体
青少年活動センター：ダイアプラン内の、青少年団体・青少年指導者の団体
- ④ 1 日当たりの利用者数は、男女共同参画推進センター：13 人/日、市民活動センター：64 人/日、青少年活動センター：68 人/日となっている。

■課題のまとめ

- 男女共同参画推進センター・市民活動センターは耐震未対応であり早急な対応が必要
- その他広域対応集会施設 3 施設とも老朽化対応が必要
- 利用目的が、それぞれ限定されており、利用者が限定されている
- 現在の利用実態（利用件数及び利用者数）と施設の規模（部屋数及び部屋機能）が適正であるか検討する必要がある

(4) 保養系施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、農業者の育成と、農業振興と市民のコミュニケーションの場として保養系施設を2施設保有しています。農業研修センターの管理運営は、市の直営となっています。農村環境改善センターの管理運営は指定管理となっています。

設置目的：	
農業研修センター	茶生産における技術研修の場を提供することにより、優秀な農業者を育成するとともに、情報交換及び研究の場として活用することで、特産狭山茶の振興を図ることを目的とする
農村環境改善センター	農業経営の合理化及び農村地域住民の福祉の向上を図るとともに、農業の健全な発展を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
金子	1 農業研修センター	中神790	549.70	平成7	S造	個人	
	2 農村環境改善センター	下谷ヶ貫915-3	1,402.43	昭和61	RC造	市	
合計			1,952.13				

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
農業研修センター	午前9時から 午後10時	年末年始 (12/29から1/3)	76日
農村環境改善センター	午前9時から 午後9時30分	年末年始 (12/29から1/3)	平日244日 休日115日

※農業研修センターは申請により開館

③ 事業内容

<農業研修センター>

研修工場では、荒茶製造機を利用して仕上げ及び加工を行う再製室を設置し、茶農業者・各種農業団体等の技術研修を行っています。

<農村環境改善センター>

大小の会議室・研修室・多目的ホール（屋内運動場）・テニスコートを設置し、施設の提供を行っています。

④ 予約方法・使用料金等

各施設ともあらかじめ使用許可申請手続きが必要です。使用する日の1か月前から3日前までに申請書を農村環境改善センター窓口に提出します。また、その他に電話受付とインターネット受付が可能です。

■ 使用料金

各施設とも、原則として有料です。

登録している農業団体等、利用の目的・利用団体等によっては使用料の減免制度があります。

農村環境改善センター使用料金

団体				(単位 円)
時間区分	午前	午後	夜間	全日
使用区分	午前9時～ 正午	午後1時～ 午後5時	午後5時30分 ～午後9時30分	午前9時 ～午後9時30分
多目的ホール	1,000	1,500	2,000	4,000
調理実習室	700	800	1,000	2,200
生活研修室	400	500	600	1,300
視聴覚・図書室	500	600	700	1,600
和室会議室・大	500	600	700	1,600
和室会議室・小	300	400	500	1,000
洋室会議室・大	500	600	700	1,600
洋室会議室・小	400	500	600	1,300
多目的ホール(個人)				(単位 円)
時間区分	使用料			
使用単位	一般・学生	児童・生徒		
使用者1人2時間につき	100	50		
テニスコートの使用料(1面2時間)				(単位 円)
テニスコート	使用料			
	一般・学生	500		
	児童・生徒	250		
テニスコートの利用時間				(単位 円)
期間	利用時間			
5月～8月	8:30～18:30			
9月～4月	8:30～16:30			
※入間市・所沢市・飯能市・狭山市の区域内に住所を有しない個人・法人・団体等、または、同区域内に住所を有しない者を主たる対象者として使用する場合は、規定使用料に100分の50を加算する。				

※農業研修センターは市民対応施設ではないため、省略しています

⑤ 配置状況

保養系施設は、金子地区に2施設が設置されています。

図表 保養系施設位置図

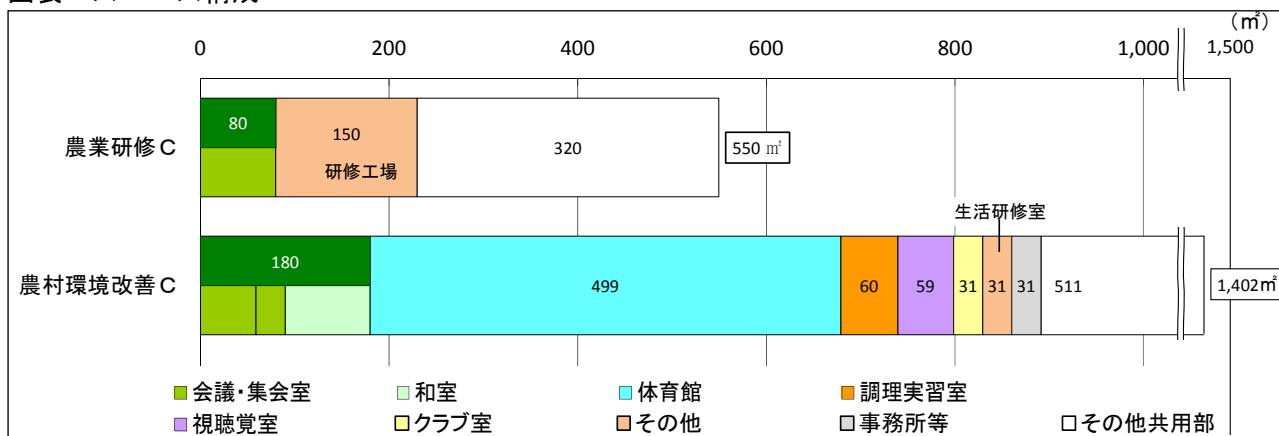


⑥ スペース構成

農業研修センターは550㎡となっています。主な保有スペースは、会議・集会機能として研修室、その他に研修工場を保有しています。

農村環境改善センターは1,402㎡となっています。主な保有スペースは、会議・集会機能として洋室会議室・和室会議室、その他に体育館・調理実習室・視聴覚室・図書室・クラブ室・生活研修室を保有しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 保養系施設の建物総合評価結果

平成25年度の保養系施設2施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理							
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)		床面積当たり (円/㎡)		
1	農業研修センター	平成7	550	-	18	18	×	○	×	×	×	×	×	×	×	820	635	63	1,491	1,155	114
2	農村環境改善センター	昭和61	1,402	-	27	27	×	○	○	○	○	×	×	×	×	2,021	※	1,441	※	※	

※1 手すり・鍵・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例 実施済み=○
未実施=×
不要=—

床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) : 平均値の1.4倍

※指定管理委託料に含む

農村環境改善センターは、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

農業研修センターは比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部実施されていないため、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターン④)

評価	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
	評価	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 農村環境改善センター 昭和61</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 農業研修センター 平成7</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

② 利用状況

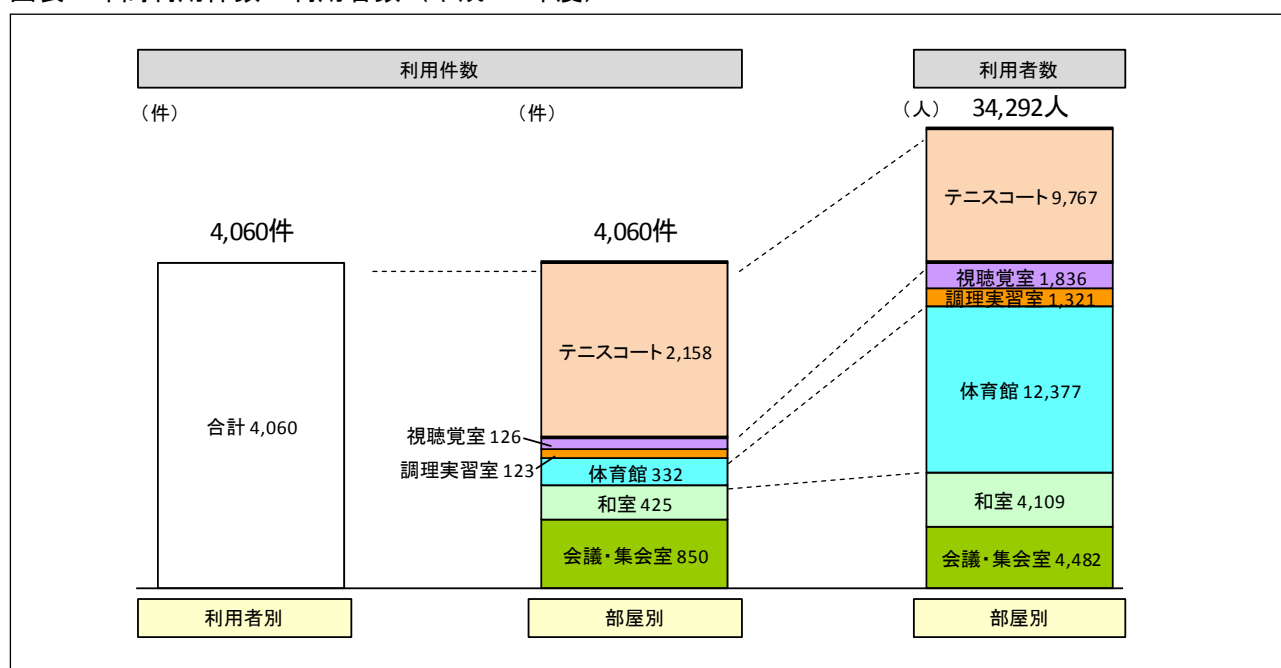
※農業研修センターは市民対応施設ではないため、利用情報は省略しています

■ 農村環境改善センターの利用状況

平成24年度の農村環境改善センターの全体利用件数は4,060件、利用者数は3万4,292人です。利用者別での利用件数は把握していませんが、主な利用者項目として一般利用、会社事業所、官庁利用、学校教育機関利用、主催イベント利用があります。

部屋別の利用状況では、テニスコートが2,158件（約53%）と過半を占めており、次いで会議・集会室が850件（約21%）となっています。テニスコート利用では、市外の近隣自治体からの利用もあります。

図表 年間利用件数・利用者数（平成24年度）

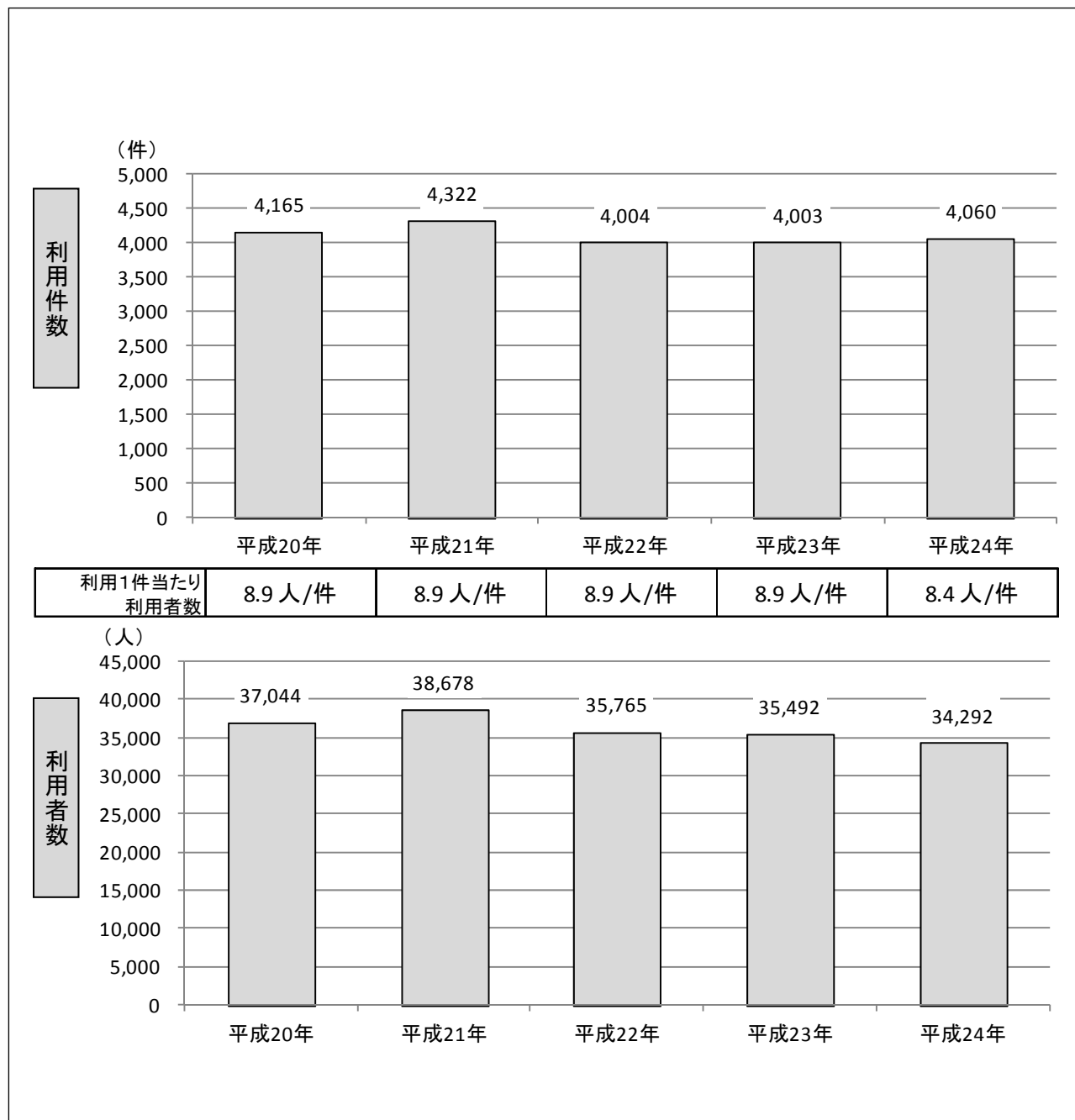


■ 農村環境改善センターの利用推移

利用件数の推移は、平成20年度4,165件から平成24年度4,060件までほぼ横ばいで推移しています。また利用者数は、平成20年度3万7,044人から平成24年度3万4,292人と減少傾向で推移しています。

利用1件当たりの利用者数は、平成20年度から平成24年度では約9人から約8人となっています。

図表 利用件数及び利用者数の推移

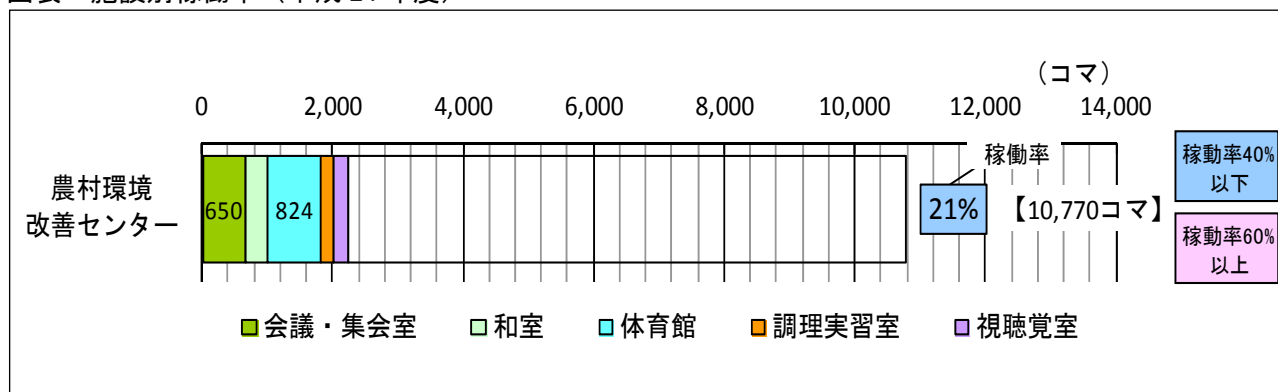


■ 農村環境改善センターの稼働率及び部屋別稼働率

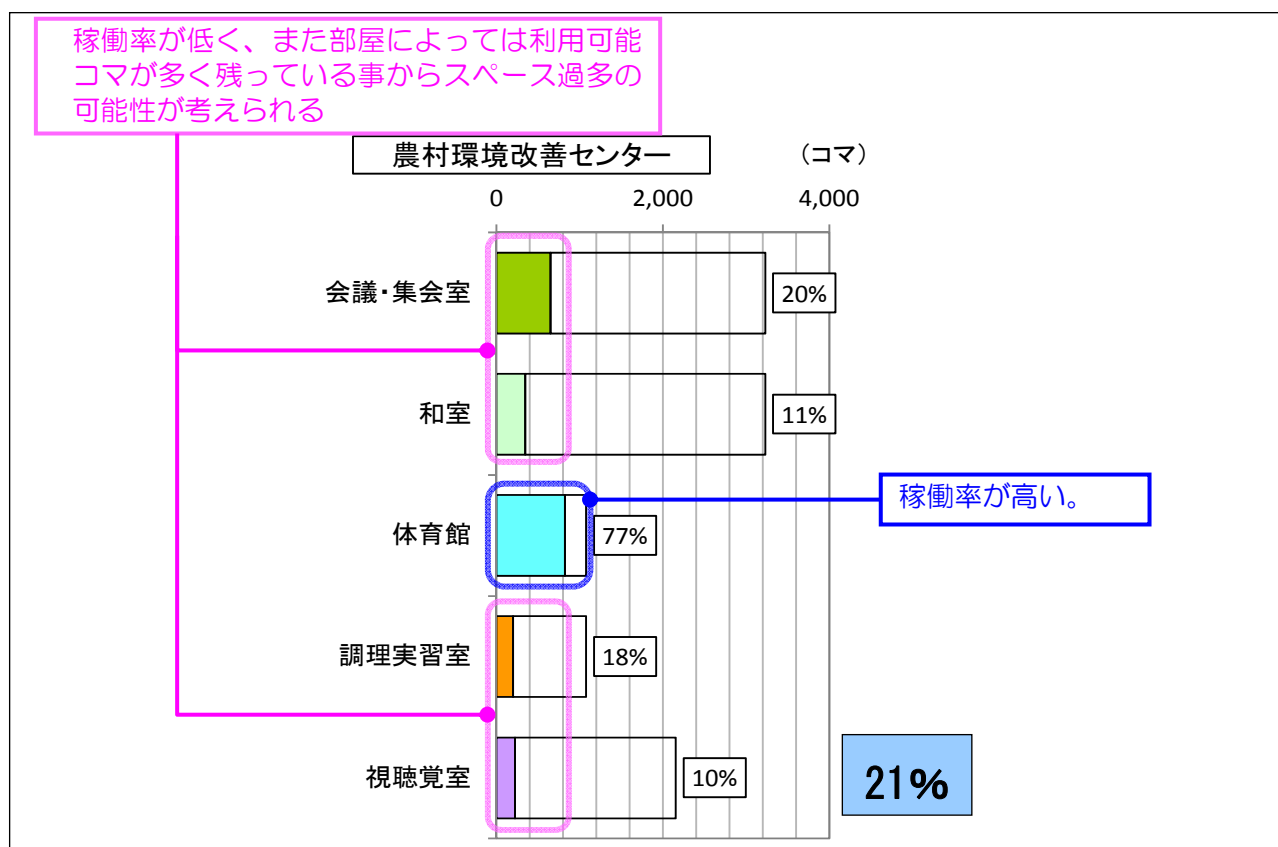
農村環境改善センターの全体稼働率は約 21%です。

部屋別に見た場合、会議・集会室は 20%、和室は 11%、体育館は 77%、調理実習室は 18%、視聴覚室は 10%となっています。体育館は 77%と高い稼働率となっていますが、その他は稼働率が 20%以下と低くなっています。

図表 施設別稼働率（平成 24 年度）



図表 部屋別施設別稼働率



③ 運営状況

農業研修センターの管理運営は、市の直営となっています。農村環境改善センターの管理運営は、指定管理となっています。

平成 24 年度の 2 施設の運営人員は 5 人です。内訳は、嘱託職員が 1 人、パート職員が 1 人、その他人員が 3 人となっています。

施設別では、農業研修センターは 1 人、農村環境センターは 4 人の職員が従事しています。

図表 運営人員（平成 24 年度）

				(人)
		農業研修センター	農村環境改善センター	合計
運営形態		委託	指定管理	
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	0	0	0
	嘱託職員	0	1	1
	パート職員	0	2	2
	その他	1	1	2
	計	1	4	5

運営体制をみると、農村環境改善センターは平日の日中は嘱託職員 1 人、パート職員 2 人が、夜間はその他職員 1 人が従事しています。土日祝日はその他 1 人が全日従事しています。

図表 運営体制（平成 24 年度）

	平日				土日祝日			
	8:30	13:00	17:00	22:00	8:30	17:00	22:00	
農村環境改善センター	パート1人		パート1人		その他 1人		その他 1人	
	嘱託職員 1人							

④ コスト状況

保養系施設の2施設の年間トータルコストは、4,962万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は1,162万円(23%)、施設の維持管理を委託している指定管理委託料は2,144万円(43%)、減価償却相当額は1,656万円(33%)です。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

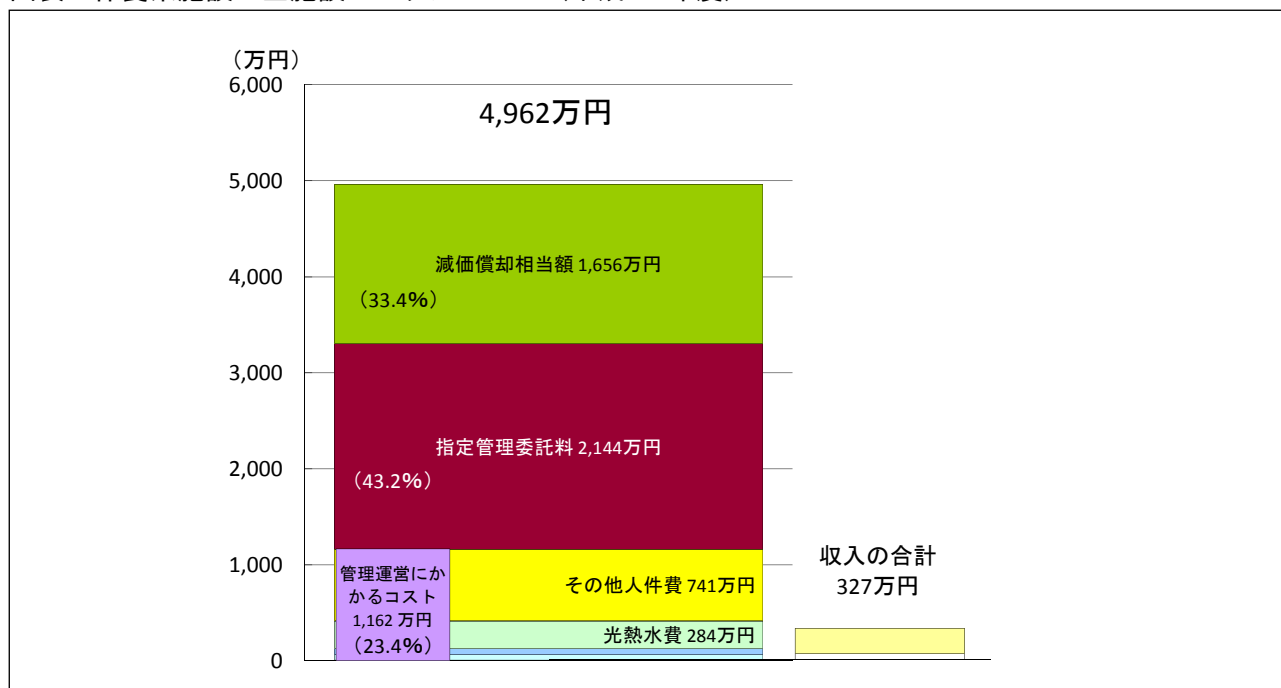
(円)

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		農業研修センター	農村環境改善センター	合計
管理運営にかかるコスト	その他人件費	0	7,413,143	7,413,143
	修繕費	62,500	0	62,500
	光熱水費	819,663	2,021,491	2,841,154
	委託費	634,704	0	634,704
	使用料及び賃借料	591,135	0	591,135
	その他物件費	72,911	0	72,911
	管理運営にかかるコスト	2,180,913	9,434,634	11,615,547
指定管理委託料		0	21,443,074	21,443,074
現金収支を伴うコスト 計		2,180,913	30,877,708	33,058,621
【収入の部】				
収入	分担金及び負担金(収入)	0	616,000	616,000
	使用料収入	0	2,655,360	2,655,360
収入の合計		0	3,271,360	3,271,360
II.現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	5,820,353	10,742,017	16,562,370
III.総括				
コストの部合計(トータルコスト)		8,001,266	41,619,725	49,620,991
収支差額(ネットコスト)		8,001,266	38,348,365	46,349,631

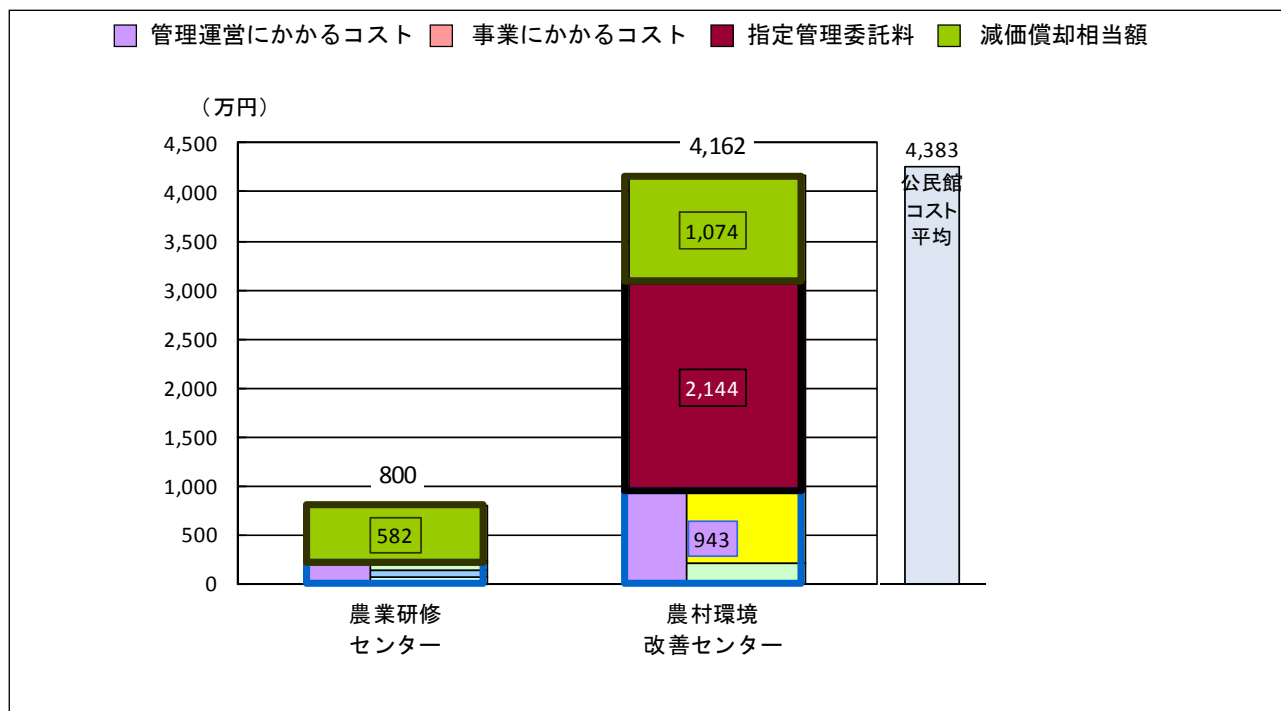
職員人件費は合計 741 万円で、トータルコストの約 15%を占めています。

施設別トータルコストは、農業研修センターが 800 万円、農村環境改善センターが 4,162 万円です。

図表 保養系施設 全施設トータルコスト（平成 24 年度）



図表 保養系施設 施設別トータルコスト（平成 24 年度）



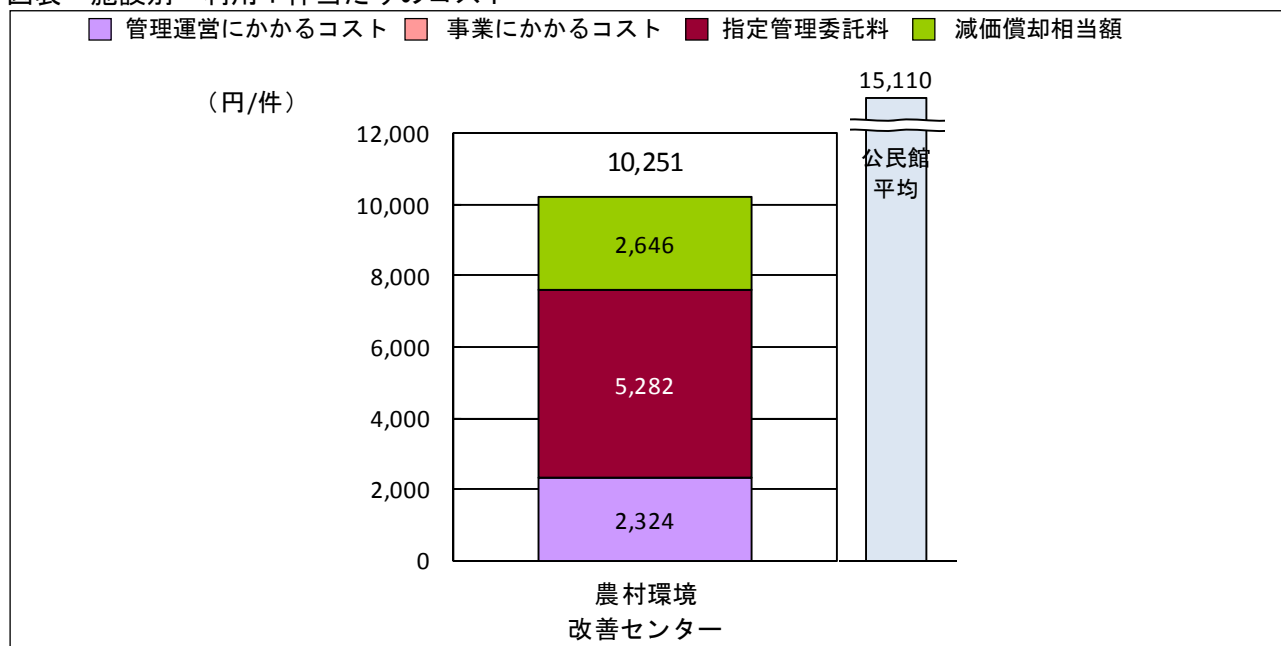
3) 評価・分析

※農業研修センターは市民対応施設ではないため、省略しています

■ 農村環境改善センターの利用1件当たりのコスト

農村環境改善センターの年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1万251円/件となっています。

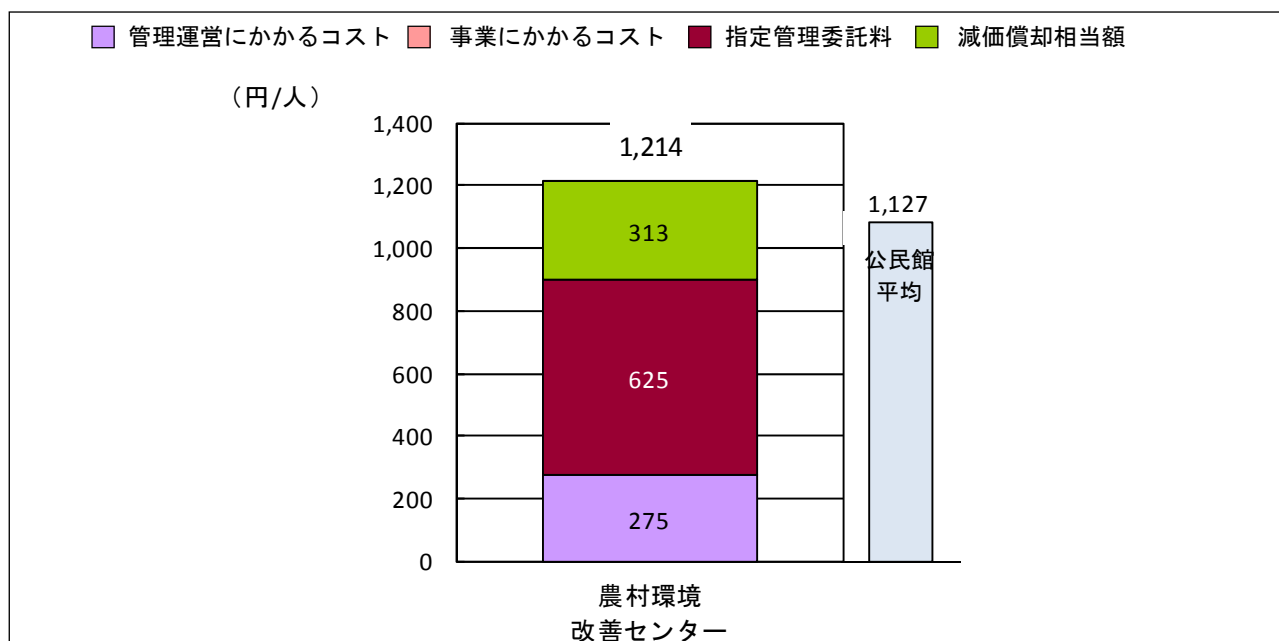
図表 施設別 利用1件当たりのコスト



■ 農村環境改善センターの利用者1人当たりのコスト

農村環境改善センターの年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、1,214円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<利用状況>

- ① 農村環境改善センターは、利用対象である農業関係者の他に一般利用も可能となっており、利用の過半数が、一般利用となっている。
- ② 利用属性として、テニスコート等の利用者の中には、市外（所沢市等）からの利用も見られる。
- ③ 全体稼働率は21%と低くなっている。
- ④ 部屋別稼働率をみると、体育館が77%（個人利用含む）と高くなっているが、会議・集会室や和室等のその他の機能は、10%から20%と低くなっており、ニーズに偏りがみられる。

<運営状況>

- ⑤ 農村環境改善センターは、指定管理の職員4人が従事しており、日中から夜間とローテーションにて、1人又は2人体制で運営を行っている。

■課題のまとめ

- 部屋別稼働率をみると、体育館が77%と高く、それ以外の部屋機能の稼働率が低いことから、利用者属性や、利用者の年齢層等の利用実態をより正確に把握し、利用向上を図る必要がある。
- 利用向上を実現するためにも農村環境改善センター周辺の施設である公民館や老人憩いの家及び他地区も含めた施設数と機能と施設配置バランスの実態を把握し集約化・複合化の検討をする必要がある。

(5) 産業系施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、産業系施設として勤労福祉センターを1施設保有しています。勤労福祉センターの管理運営は、指定管理となっています。

設置目的：勤労者の文化教養活動の推進及び市民福祉の増進を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
宮寺・ 二本木	1 勤労福祉センター	宮寺4102-17	747.53	昭和61	RC造	市	

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
勤労福祉センター	午前8時30分から 午後10時	年末年始 (12/27から1/5)	355日

③ 事業内容

<勤労福祉センター>

会議室、研修室、和室を設置し、施設の提供（貸館業務）を行っています。

④ 予約方法・使用料金等

あらかじめ利用申し込み手続きが必要です。使用する日の6か月前から前日までに、勤労福祉センターに利用申し込みを行います。

■ 使用料金

勤労福祉センターは、原則として有料です。

登録している労働関係団体等、利用の目的・利用団体等によっては使用料の減免制度があります。

勤労福祉センター

(円)

時間区分	午前	午後	夜間	全日
使用区分	午前8時30分 から正午	午後1時から午 後5時	午後5時30分 から午後10時	午前8時30分 から午後10時
大会議室	800円	1,200円	1,600円	3,200円
中会議室	400円	600円	800円	1,600円
研修室(A)	400円	600円	800円	1,600円
研修室(B)	400円	600円	800円	1,600円
和室(A)	200円	300円	400円	800円
和室(B)	200円	300円	400円	800円

■ 配置状況

勤労福祉センターは宮寺・二本木地区に設置されています。

図表 産業系施設位置図



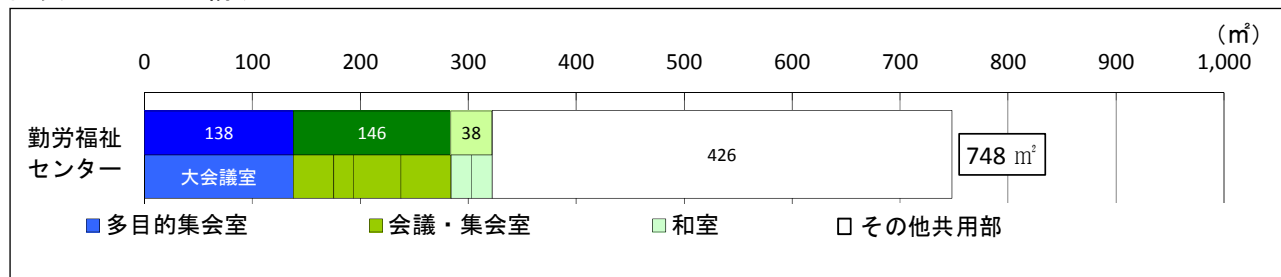
⑤ スペース構成

勤労福祉センターは748㎡となっています。

勤労福祉センターは、会議・集会機能として会議室・研修室・和室を保有しています。

また、多目的ホール機能として約140㎡の平土間タイプで演台と音響設備を常設している多目的集会室を保有しています。

図表 スペース構成



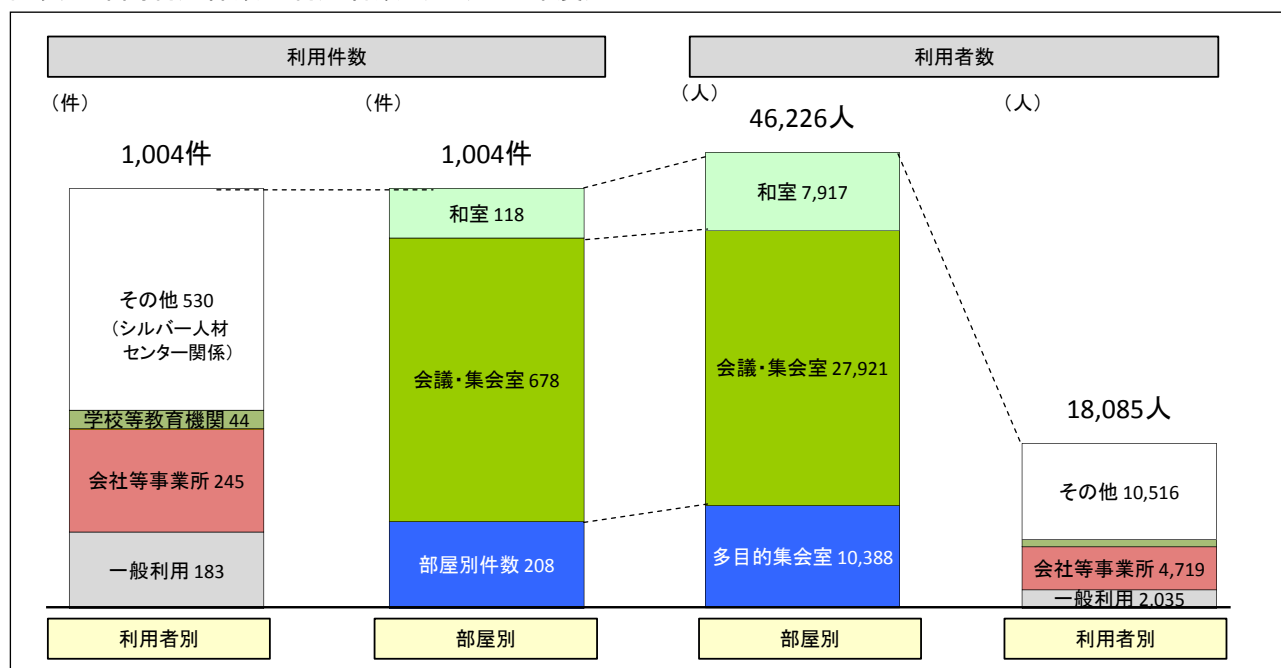
② 利用状況

■ 利用状況

平成24年度の勤労福祉センターの利用件数は1,004件、利用者数は1万8,085人です。利用目的別の内訳をみると、その他利用（シルバー人材センター関係）が530件（53%）、次いで会社等事業所が245件、一般利用が183件となっています。

部屋別の利用状況では、会議・集会室が2万7,921人（約60%）と大部分を占めており、次いで多目的集会室が10,388人、和室が7,781人となっています。

図表 年間利用件数・利用者数（平成24年度）



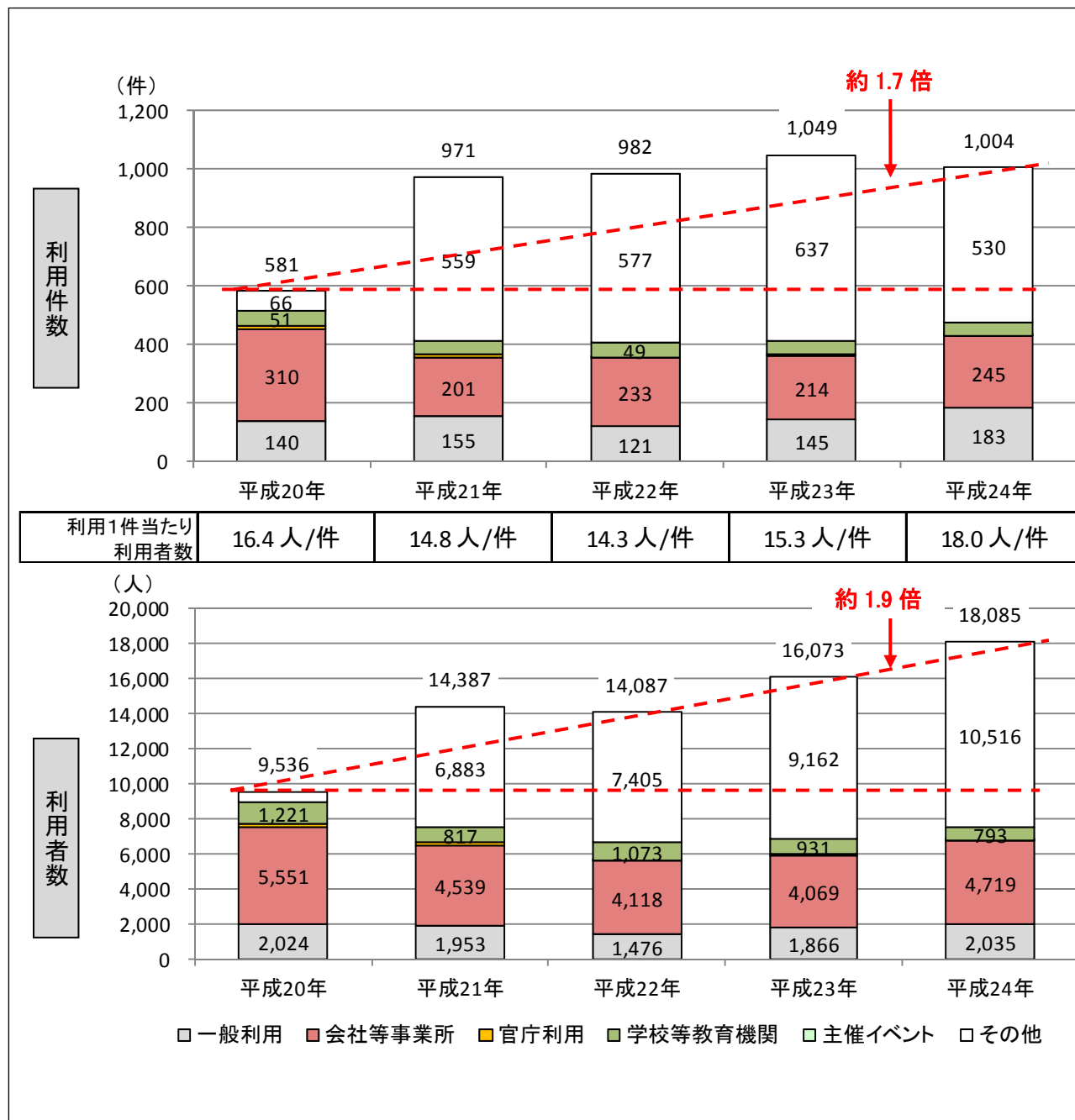
※部屋別利用者数は1コマ当たりの延数での積上げのため利用者別利用者数(実数)と異なります

■ 利用推移

利用件数の推移は、平成20年度581件から平成23年度1,049件まで増加傾向で推移していましたが、平成24年度は1,004件に減少しています。また利用者数の推移は、平成20年度9,536人から平成24年度1万8,085人まで増加傾向で推移しています。

利用1件当たりの利用者数は、平成20年度から平成22年度では減少していましたが、平成24年度では約18人となっています。

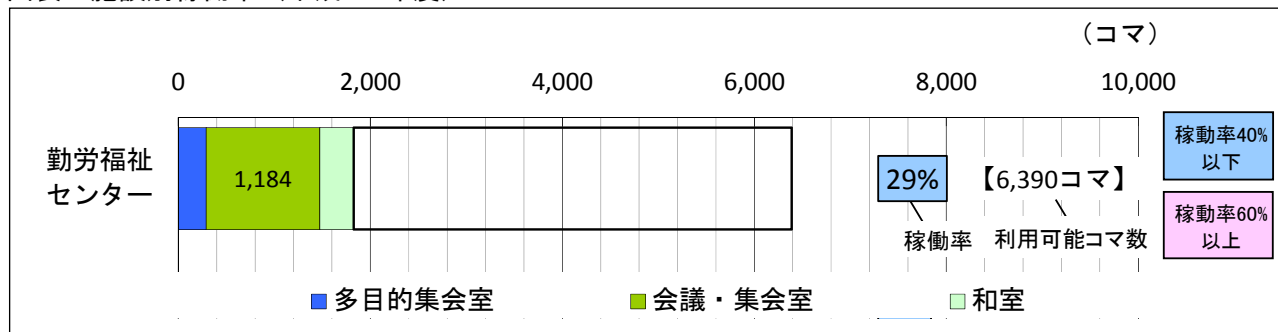
図表 利用件数及び利用者数の推移



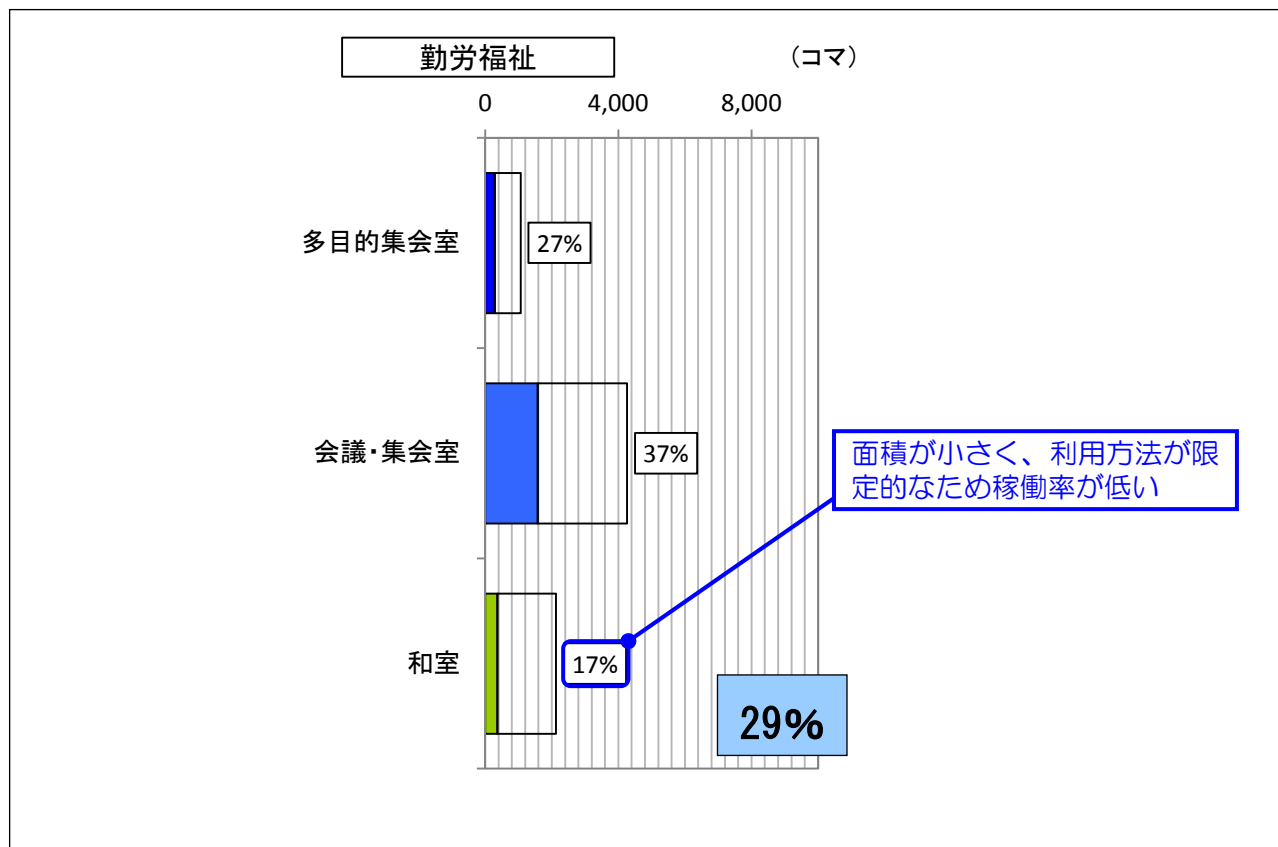
■ 施設別稼働率及び施設別部屋別稼働率

勤労福祉センターの稼働率は約29%です。機能別に見た場合、会議・集会室は37%、多目的集会室は27%となっています。

図表 施設別稼働率（平成24年度）



図表 部屋別施設別稼働率



③ 運営状況

勤労福祉センターの管理運営は、指定管理者が行っています。

平成24年度の運営人員は9人です。内訳は、その他の人員が9人となっています。

図表 運営人員（平成24年度）

(人)

		勤労福祉センター
運営形態		指定管理
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	0
	嘱託職員	0
	パート職員	0
	その他	9
	計	9

運営体制をみると、平日は午前中2人、午後～夜間1人で運営にあたっています。土日・祝日は日中1人夜間1人で運営にあたっています。

図表 運営体制（平成24年度）

	平日					土日・祝日		
	8:00	8:30	11:00	15:00	22:00	8:30	15:00	22:00
勤労福祉センター		その他1人		その他1人		その他1人		その他1人
		その他1人						

④ コスト状況

勤労福祉センターの年間トータルコストは、1,232万円です。

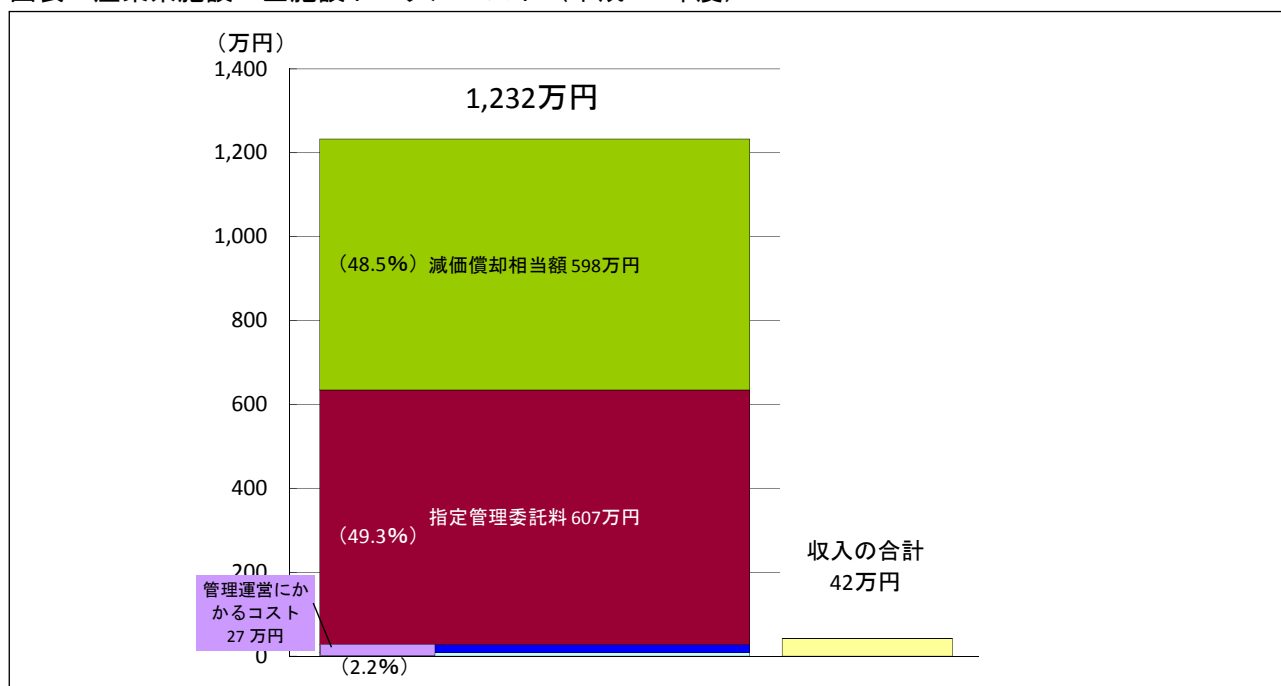
年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（改修費・保険料等）は27万円（2%）、施設の維持管理を委託している指定管理委託料は607万円（49%）、減価償却相当額は598万円（49%）です。

図表 施設別行政コスト計算書（平成24年度）
(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		勤労福祉センター
か管 か理 とる運 コ営 スに	車両・備品購入費	0
	修繕費	0
	改修費	189,000
	その他物件費	82,984
	管理運営にかかるコスト	271,984
指定管理委託料		6,072,000
現金収支を伴うコスト 計		6,343,984
【収入の部】		
収入	使用料収入	424,540
	諸収入	230
収入の合計		424,770
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	5,980,240
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		12,324,224
収支差額(ネットコスト)		11,899,454

※指定管理委託料の内訳は、施設の光熱水費、事務費、物件費（管理委託料等）維持補修費（修繕費）、事業費です

図表 産業系施設 全施設トータルコスト（平成24年度）

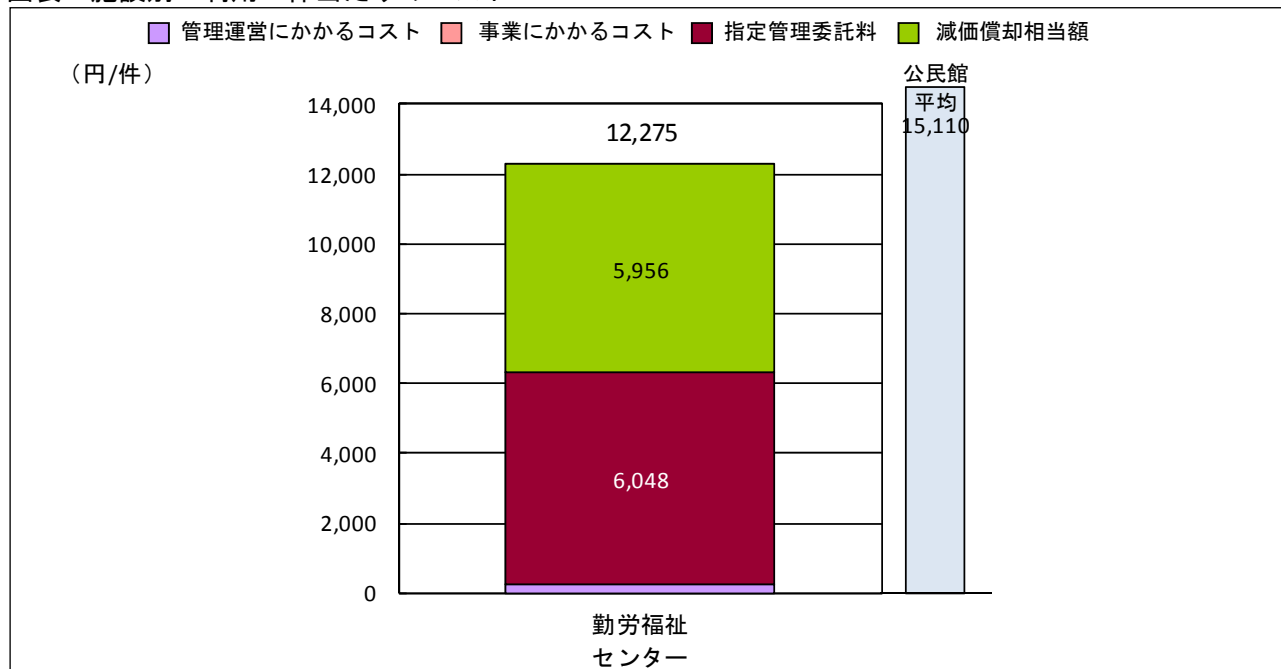


3) 評価・分析

■ 利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1万2,275円/件となっています。

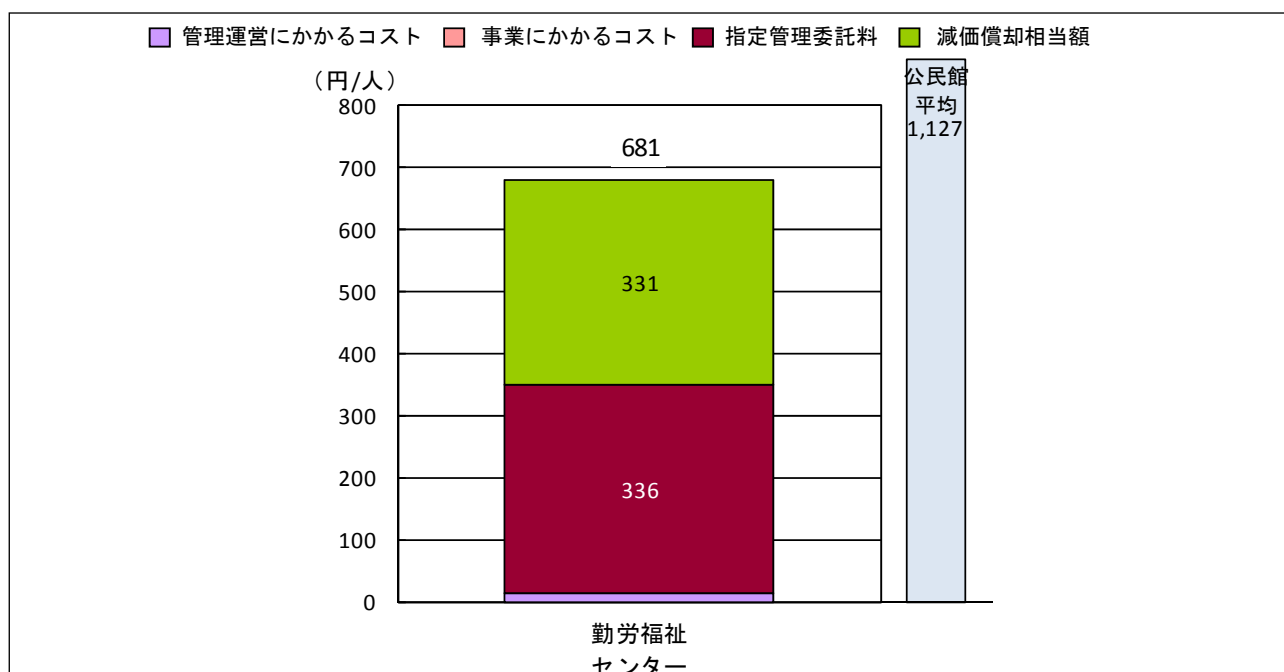
図表 施設別 利用1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用1人当たりにかかるコストを算出すると、681円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 施設の設置状況として、シルバー人材センターの事務所と工業団地と隣接している。

<利用状況>

- ② 全体的に稼働率が低く、利用者数と施設規模にミスマッチが生じている事が考えられる。
- ③ 利用目的別利用者の内訳は、その他利用（シルバー人材センター関係者）が58%を占め、次いで施設に隣接の工業団地等の会社等事業所の26%となっている。一般利用は10%となっており、利用者の固定化が考えられる。

■課題のまとめ

- 各部屋機能の見直しを行い利用向上を図る必要がある。
- 利用向上を実現するためにも勤労福祉センター周辺の施設である公民館や老人憩いの家及び他地区も含めた施設数と機能と施設配置バランスの実態を把握し集約化・複合化の検討をする必要がある。

(6) 老人憩いの家

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、老人憩いの家を50施設の内48施設を所有し、2施設を無償使用しています。施設の運営管理は、地域の老人クラブによる管理委託となっています。

設置目的：高齢者の生きがいがづくりや、心身の健康増進、地域でのコミュニケーションを図るとともに、いつでも気軽に利用できる憩いの場を提供することを目的とする

老人憩いの家の施設規模は、西部長生会老人憩いの家の62.93㎡から西武明寿会老人憩いの家の112.62㎡となっており、平均82㎡となっています。保有機能は、会議・集会室（洋室）と和室となっており各施設1室から3室を保有しています。

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	保有機能		土地 所有	備考
						会議・集 会室	和室		
豊岡	第一	1 霞川団地陽明会老人憩いの家	扇町屋2-9-1	75.36	昭和59	木造		3室	国・県
	2 久保稲荷平成会老人憩いの家	久保稲荷3-32-31	84.88	平成3	木造		1室	個人	
	3 扇町屋豊老会老人憩いの家	扇町屋5-1-21	85.00	平成4	木造		2室	市	
	第二	4 八区東会老人憩いの家	東町1-14-4	86.94	昭和58	木造	3室		市
	5 入間ヶ丘高寿会老人憩いの家	東町7-10-23	63.46	昭和59	木造		2室	市	
	6 黒須団地寿会老人憩いの家	黒須1-12-37	64.59	昭和61	木造		2室	個人	
	7 鍵山福寿会老人憩いの家	鍵山3-10-21	82.81	昭和61	木造		1室	市	
	8 高倉高老会老人憩いの家	高倉4-6-17	84.05	平成5	木造		1室	市	
	9 黒須長生会老人憩いの家	黒須1-10-36	76.59	平成6	木造		2室	個人	H25年度 土地購入
	10 春日町交友会老人憩いの家	春日町1-11-29	93.78	平成8	木造		1室	個人	
	11 ダイヤモンドクラブ老人憩いの家	宮前町2-7	74.11	平成15	木造	1室	1室	個人	
東金子	12 あらく寿会老人憩いの家	新久783-1	77.42	昭和59	木造	1室	2室	市	
	13 下小谷田寿会老人憩いの家	小谷田297-1	82.81	昭和61	木造		2室	個人	
	14 八津池シニアクラブ老人憩いの家	上小谷田3-2-33	82.81	昭和62	木造		2室	市	
	15 入間台ことぶき会老人憩いの家	新久866-255	82.81	昭和62	木造		2室	市	
	16 上小谷田寿会老人憩いの家	小谷田1448-1	82.81	昭和63	木造		1室	市	
	17 新久台さくらの会老人憩いの家	新久970-64	82.40	平成2	木造		1室	市	
	18 小谷田一丁目福寿会老人憩いの家	小谷田1-7-52	88.19	平成9	木造		2室	市	
金子	19 根岸長寿会老人憩いの家	根岸462-14	65.83	昭和57	木造	2室		市	
	20 花ノ木長寿会老人憩いの家	花ノ木158-3	68.62	昭和59	木造		2室	市	
	21 下谷ヶ貫長寿会老人憩いの家	下谷ヶ貫839-1	72.46	昭和59	木造		2室	個人	
	22 南峯長寿会老人憩いの家	南峯285-1	82.81	昭和60	木造		1室	個人	
	23 上谷ヶ貫長寿会老人憩いの家	上谷ヶ貫643-1	82.81	平成2	木造		1室	個人	

(6) 老人憩いの家

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	保有機能		土地 所有	備考	
						会議・集 会室	和室			
金子	24 西三ツ木長寿会老人憩いの家	西三ツ木275-18	84.88	平成4	木造		1室	個人		
	25 木蓮寺長寿会老人憩いの家	木蓮寺721-3	86.12	平成5	木造		2室	市		
	26 寺竹長寿会老人憩いの家	寺竹585-4	84.47	平成5	木造		2室	個人		
宮寺・二本木	27 宮寺松葉会老人憩いの家	宮寺2051-1	82.81	昭和60	木造		2室	個人		
	28 宮寺北部不老会老人憩いの家	宮寺4102-34	82.81	昭和61	木造		2室	市		
	29 二本木寿会不老会老人憩いの家	二本木1102-8	82.81	昭和61	木造		2室	市		
	30 小ヶ谷戸寿会老人憩いの家	宮寺695-1	82.81	昭和61	木造		2室	個人		
	31 南部不老会老人憩いの家	宮寺533-4	82.81	昭和62	木造		2室	市		
	32 北中野不老会老人憩いの家	宮寺2317-20	82.76	平成元	木造		2室	個人		
	33 宮寺ひむがしクラブ老人憩いの家	宮寺344-3	86.12	平成7	木造		2室	個人		
	34 的場ことぶき会老人憩いの家	宮寺279-3	85.76	平成10	木造		1室	個人		
	35 武蔵台地区むさしの会老人憩いの家	宮寺2965-2	83.78	平成10	木造		1室	市		
	36 荻原楽生会老人憩いの家	宮寺554-2	79.08	平成11	木造		1室	個人		
	37 北中野福寿会老人憩いの家	宮寺2821-11	79.50	平成14	木造	1室	1室	市		
38 むさし藤沢台悠友クラブ老人憩いの家	宮寺2957-64	77.42	平成18	木造	2室		市			
藤沢	第一	39 上藤沢第一千歳会老人憩いの家	上藤沢876-1	79.50	昭和59	木造		1室	個人	
		40 上藤沢第二千歳会老人憩いの家	上藤沢268-7	82.40	昭和63	木造		2室	個人	
		41 上ノ原ふれあい会老人憩いの家	上藤沢403-21	82.81	平成12	木造	1室	1室	個人	
	第二	42 藤沢第二支部長寿会老人憩いの家	下藤沢800-1	96.06	平成9	木造		2室	個人	
		43 藤沢第三支部長寿会老人憩いの家	下藤沢1047-24	82.40	平成元	木造		2室	個人	
		44 角栄東部長生会老人憩いの家	東藤沢5-29-10	82.76	昭和63	木造		2室	市	
西武	45 藤沢睦会老人憩いの家	東藤沢3-3-20	82.40	平成3	木造		2室	個人	H26.8 解体・返還	
	46 西部長生会老人憩いの家	東藤沢6-16-16	62.93	昭和57	木造	1室		市		
西武	47 西武清寿会老人憩いの家	仏子363-8	76.18	昭和59	木造	1室		個人		
	48 新光はなみずき会老人憩いの家	野田1134-57	101.85	昭和63	木造		2室	市		
	49 仏子しろがね友の会老人憩いの家	仏子227-2	83.63	平成2	木造		1室	市		
	50 西武明寿会老人憩いの家	仏子1152-1	112.62	昭和57	木造	1室		個人		
合計			4,092.83			14室	72室			

昭和 56 : 建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す

② 開館時間・開館日数

老人憩いの家は、基本的に地域の老人クラブが市より管理委託を受け、維持管理運営を行っているため、開館時間、開館日等は特に定めていません。

③ 事業内容

市内に居住する高齢者に対し、健全な憩いの場を与え、心身の健康管理を図るための施設として、地域老人クラブがサークル活動等を行っています。なお、営利を目的とした利用はできません。

④ 予約方法・使用料金等

利用対象者は、原則として60歳以上の市内居住者となっています。利用申し込みは、管理委託先の老人クラブが受け付けています。

■ 使用料金

各施設とも、原則として利用料は無料ですが、必要に応じて光熱水費等実費分の負担があります。

⑤ 配置状況

老人憩いの家は、9地区に各2～12施設ずつ設置されています。

1施設当たりの対象地区面積は、藤沢第二地区が0.32km²/施設で最も小さくなっています。1施設当たりの対象地区面積が最も広い地区は、金子地区の1.75km²/施設となっています。1施設当たりの60歳以上の人口は、宮寺・二本木地区が287人で最も少なく、豊岡第二地区が2,716人と最も多くなっています。

図表 老人憩いの家位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 老人憩いの家の建物総合評価結果

平成25年度の老人憩いの家50施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応				⑤維持管理				
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロッック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)		床面積当たり (円/㎡)	
																光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	霞川田地陽明会	昭和59	75	—	29	29	×	×	×	×	○	×	×	×	×						
2	久保稲荷平成会	平成3	85	—	22	22	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
3	扇町屋豊老会	平成4	85	—	21	21	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
4	八区東会	昭和58	87	—	30	30	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
5	入間ヶ丘高寿会	昭和59	63	—	29	29	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
6	黒須団地寿会	昭和61	65	—	27	27	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
7	鍵山福寿会	昭和61	83	—	27	27	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
8	高倉高老会	平成5	84	—	20	20	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
9	黒須長生会	平成6	77	—	19	19	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
10	春日町交友会	平成8	94	—	17	17	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
11	ダイヤモンドクラブ	平成15	74	—	10	10	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
12	あらく寿会	昭和59	77	—	29	29	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
13	下小谷田寿会	昭和61	83	—	27	27	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
14	八津池シニアクラブ	昭和62	83	—	26	26	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
15	入間台ことぶき会	昭和62	83	—	26	26	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
16	上小谷田寿会	昭和63	83	—	25	25	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
17	新久台さくらの会	平成2	82	—	23	23	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
18	小谷田一丁目福寿会	平成9	88	—	16	16	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
19	根岸長寿会	昭和57	66	—	31	31	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
20	花ノ木長寿会	昭和59	69	—	29	29	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
21	下谷ヶ貫長寿会	昭和59	72	—	29	29	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
22	南峯長寿会	昭和60	83	—	28	28	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
23	上谷ヶ貫長寿会	平成2	83	—	23	23	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
24	西三ツ木長寿会	平成4	85	—	21	21	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
25	木蓮寺長寿会	平成5	86	—	20	20	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
26	寺竹長寿会	平成5	84	—	20	20	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
27	宮寺松葉会	昭和60	83	—	28	28	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
28	宮寺北部不老会	昭和61	83	—	27	27	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
29	二本木寿会不老会	昭和61	83	—	27	27	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
30	小ヶ谷戸寿会	昭和61	83	—	27	27	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
31	南部不老会	昭和62	83	—	26	26	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
32	北中野不老会	平成元	83	—	24	24	—	×	×	×	×	×	×	×	×						
33	宮寺ひむがしクラブ	平成7	86	—	18	18	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
34	的場ことぶき会	平成10	86	—	15	15	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
35	武蔵台地区むさしの会	平成10	84	—	15	15	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
36	荻原養生会	平成11	79	—	14	14	—	×	×	×	○	×	×	×	×						
37	北中野福寿会	平成14	80	—	11	11	—	×	×	×	○	×	×	×	×						

維持管理費の性質が異なるため評価から除く

(6) 老人憩いの家

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修経過年数	車いす用エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)		床面積当たり (円/㎡)	
38	むさし藤沢台悠友クラブ	平成18	77	-	7	7	-	×	×	×	○	×	×	×	×	維持管理費の性質が異なるため評価から除く				
39	上藤沢第一千歳会	昭和59	80	-	29	29	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
40	上藤沢第二千歳会	昭和63	82	-	25	25	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
41	上ノ原ふれあい会	平成12	83	-	13	13	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
42	藤沢第二支部長寿会	平成9	96	-	16	16	-	×	○	×	○	×	×	×	×					
43	藤沢第三支部長寿会	平成元	82	-	24	24	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
44	角栄東部長生会	昭和63	83	-	25	25	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
45	藤沢睦会	平成3	82	-	22	22	-	×	×	×	×	×	×	×	×					
46	西部長生会	昭和57	63	-	31	31	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
47	西武清寿会	昭和59	76	-	29	29	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
48	新光はなみずき会	昭和63	102	-	25	25	-	×	×	×	○	×	×	×	×					
49	仏子しろがね友の会	平成2	84	-	23	23	-	×	×	×	×	×	×	×	×					
50	西武明寿会	昭和57	113	-	31	31	-	×	×	×	○	×	×	×	×					

※1 手すり・鍵・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記号例 実施済み○ 未実施 = × 不要 → -
 床面積当たり(円/㎡)の平均値 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) 平均値の1.4倍

八区東会老人憩いの家をはじめ4施設は、耐震性能は確保しているものの、老朽化が進行しており、建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

霞川団地陽明会老人憩いの家を始め34施設は、いずれも新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

黒須長生会老人憩いの家を始め12施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターン④)

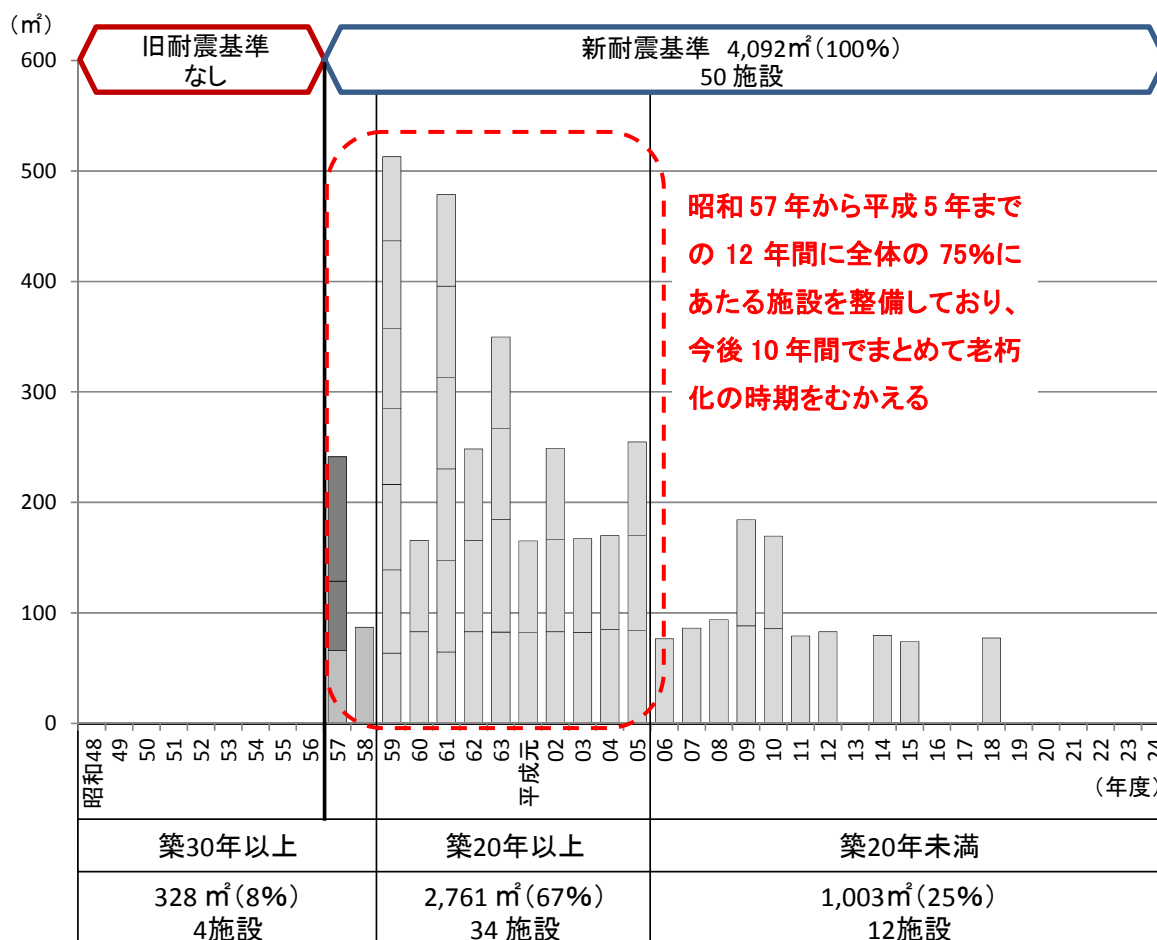
評価	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>①耐震安全性 ②維持管理費 ③バリアフリー対応状況 ④環境対応状況</p> <p>現状2 ②老朽化状況</p> <p>区分基準: パターン①以外で②-1の施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>①耐震安全性 ②維持管理費 ③バリアフリー対応状況 ④環境対応状況</p> <p>現状3 ②老朽化状況</p> <p>区分基準: パターン①以外で②-2の施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>①耐震安全性 ②維持管理費 ③バリアフリー対応状況 ④環境対応状況</p> <p>現状4 ③バリアフリー対応状況</p> <p>区分基準: パターン①～④以外で③又は④が1～2の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度</p> <p>八区東会 昭和58 根岸長寿会 昭和57 西部長生会 昭和57 西武明寿会 昭和57</p> <p>< 4施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度</p> <p>霞川団地陽明会 昭和59 久保福寿平成会 平成3 扇町屋豊老会 平成4 人間ヶ丘高寿会 昭和59 黒須団地寿会 昭和61 鍵山福寿会 昭和61 高倉高老会 平成5 下小谷田寿会 昭和59 八津池シニアクラブ 昭和62 入間台ことぶき会 昭和62</p> <p>該当施設 建築年度</p> <p>小上谷田寿会 昭和63 新久台さくら会 平成2 花ノ木長寿会 昭和59 下谷ヶ貫長寿会 昭和59 南峯長寿会 昭和60 上谷ヶ貫長寿会 平成2 西三ツ木長寿会 平成4 木蓮寺長寿会 平成5 寺竹長寿会 平成5 宮寺松葉会 昭和60 宮寺北部不老会 昭和61</p> <p>< 34施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度</p> <p>黒須長生会 平成6 春日町交友会 平成8 ダイヤモンドクラブ 昭和61 小谷田一丁目福寿会 平成9 宮寺ひむがしクラブ 平成7 場ことぶき会 平成10 武蔵台地区むさしの会 平成10 荻原楽生会 平成11 北中野福寿会 平成14 むさし藤沢台悠友クラブ 平成18 上ノ原ふれあい会 平成12 藤沢第二支部長寿会 平成9</p> <p>< 12施設 ></p>
コメント	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

■ 築年別整備状況

施設別の築年別整備状況をみると、老人憩いの家の中で、築30年以上を経過している施設は、4施設、328㎡と、全体の8%となっています。

ただし昭和57年から平成5年までの12年間に全体の75%にあたる38施設が整備されており今後10年間に集中して老朽化の時期をむかえます。

築20年未満の施設は12施設、1,003㎡(25%)となっています。



② 利用状況

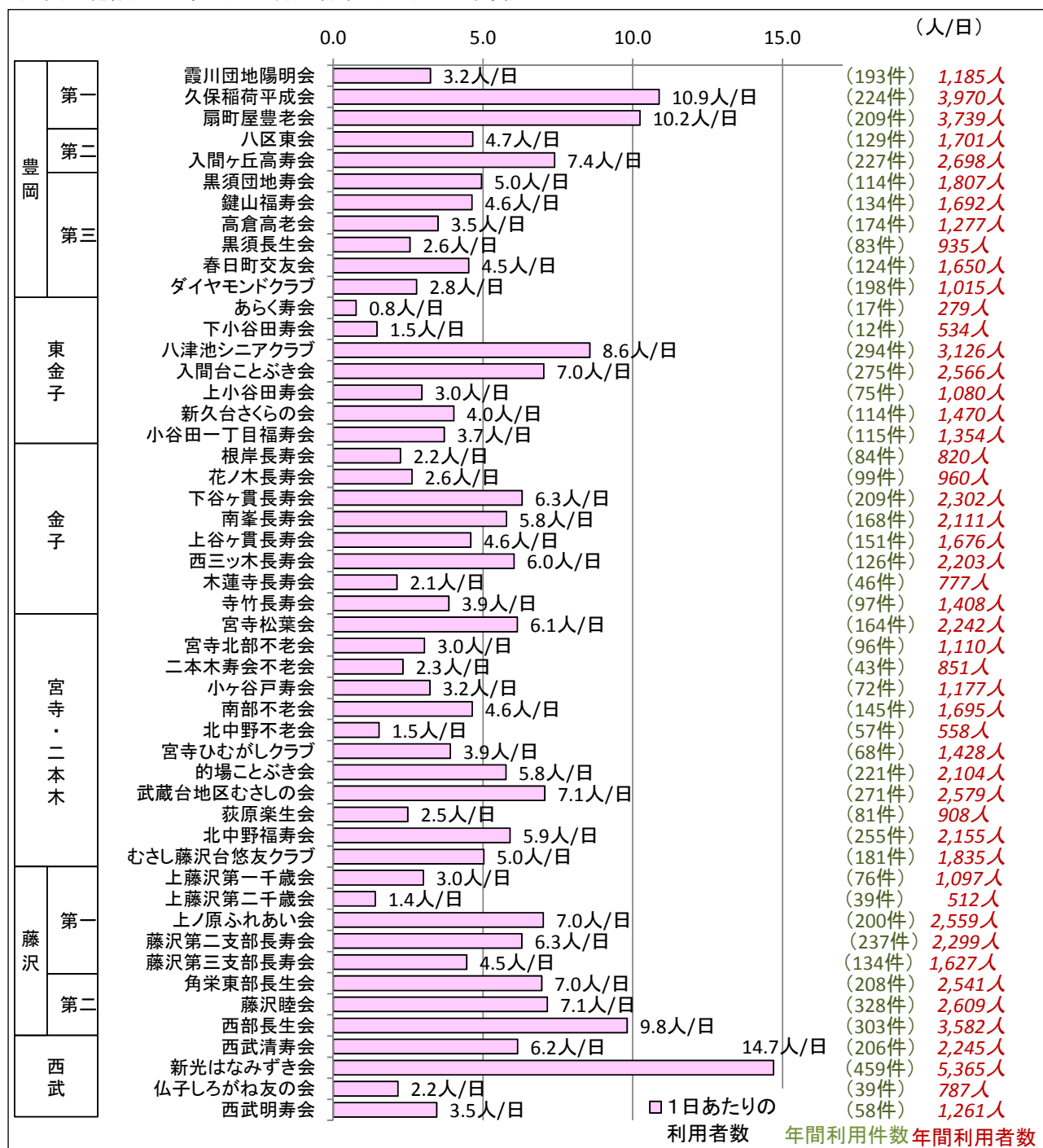
■ 全体の利用状況

平成24年度の老人憩いの家の利用件数は7,632件、利用者数は8万9,461人です。

■ 施設別の利用状況

平成24年度の施設別利用者数をみると、新光はなみずき会老人憩いの家の利用が1日14.7人と最も多く、次いで久保稲荷平成会老人憩いの家、扇町屋豊老会老人憩いの家となっています。

図表 施設別・部屋別 利用者数（平成24年度）



③ コスト状況

老人憩いの家の50施設の年間トータルコストは、3,668万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(建物管理委託費等)は154万円(4%)、事業にかかるコスト(人件費・委託費等)は904万円(25%)、減価償却相当額は2,610万円(71%)です。なお、光熱水費等の一部として、補助金を支出しています。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		霞川団地陽明会	久保稲荷平成会	扇町屋豊老会	八区東会	入間ヶ丘高寿会	黒須団地寿会	鍵山福寿会	高倉高老会	黒須長生会
にかかると管理運営	負担金補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理運営にかかるコスト	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
事業にかかるコスト	修繕費	0	0	9,870	0	0	0	0	0	0
	委託費	0	0	12,600	0	0	0	63,630	0	0
	使用料及び賃借料	0	458,845	0	0	0	0	0	0	453,379
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	0	0	0	0	0	0	10,000	0	0
	事務・庶務	0	458,845	22,470	0	0	0	73,630	0	453,379
事業にかかるコスト	0	458,845	22,470	0	0	0	73,630	0	453,379	
現金収支を伴うコスト 計		30,000	488,845	52,470	30,000	30,000	30,000	103,630	30,000	483,379
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	0	1,388,945	1,390,909	0	0	0	0	1,375,364	1,253,291
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)		30,000	1,877,790	1,443,379	30,000	30,000	30,000	103,630	1,405,364	1,736,670
収支差額(ネットコスト)		30,000	1,877,790	1,443,379	30,000	30,000	30,000	103,630	1,405,364	1,736,670

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		春日町交友会	ダイヤモンドC	あらく寿会	下小谷田寿会	八津池シニアクラブ	入間台ことぶき会	上小谷田寿会	新久台さくらの会	小谷田一丁目福寿会
にかかると管理運営	負担金補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理運営にかかるコスト	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
事業にかかるコスト	修繕費	0	0	20,685	0	281,569	0	117,000	0	0
	委託費	0	0	63,630	0	0	0	0	32,760	18,900
	使用料及び賃借料	453,500	504,270	0	330,800	0	0	0	0	0
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	0	0	10,000	0	0	15,750	0	5,000	278
	事務・庶務	453,500	504,270	94,315	330,800	281,569	15,750	117,000	37,760	19,178
事業にかかるコスト	453,500	504,270	94,315	330,800	281,569	15,750	117,000	37,760	19,178	
現金収支を伴うコスト 計		483,500	534,270	124,315	360,800	311,569	45,750	147,000	67,760	49,178
II. 現金収支を伴わないもの										
コスト	減価償却相当額	1,534,582	1,212,709	0	0	0	0	0	0	1,443,109
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)		2,018,082	1,746,979	124,315	360,800	311,569	45,750	147,000	67,760	1,492,287
収支差額(ネットコスト)		2,018,082	1,746,979	124,315	360,800	311,569	45,750	147,000	67,760	1,492,287

(6) 老人憩いの家

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		根岸長寿会	花ノ木長寿会	下谷ヶ貫長寿会	南峯長寿会	上谷ヶ貫長寿会	西三ツ木長寿会	木蓮寺長寿会	寺竹長寿会	宮寺松葉会	
スト にかか るコ スト	管理運営	負担金補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
		その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
		管理運営にかかるコスト	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
事業 にかか るコ スト	事務・ 庶務	修繕費	44,100	65,100	20,685	0	0	0	0	0	
		委託費	294,000	63,630	63,630	0	0	60,690	60,690	0	63,630
		使用料及び賃借料	0	0	0	370,440	0	139,055	0	341,436	127,600
		負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他物件費	6,700	10,000	10,000	0	0	5,000	5,000	0	10,000
	事務・庶務	344,800	138,730	94,315	370,440	0	204,745	65,690	341,436	201,230	
	事業にかかるコスト	344,800	138,730	94,315	370,440	0	204,745	65,690	341,436	201,230	
現金収支を伴うコスト 計		374,800	168,730	124,315	400,440	30,000	234,745	95,690	371,436	231,230	
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	0	0	0	0	0	1,388,945	1,409,236	1,382,236	0	
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)		374,800	168,730	124,315	400,440	30,000	1,623,690	1,504,926	1,753,672	231,230	
収支差額(ネットコスト)		374,800	168,730	124,315	400,440	30,000	1,623,690	1,504,926	1,753,672	231,230	

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		宮寺北部不 老会	二本木寿会 不老会	小ヶ谷戸寿 会	南部不老会	北中野不老 会	宮寺ひむが しC	的場ことぶ き会	武蔵台地区 むさしの会	荻原楽生会	
スト にかか るコ スト	管理運営	負担金補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
		その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
		管理運営にかかるコスト	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
事業 にかか るコ スト	事務・ 庶務	修繕費	35,595	0	0	0	0	47,250	0	9,450	367,500
		委託費	0	53,760	63,630	63,630	32,760	60,690	60,690	21,000	60,690
		使用料及び賃借料	0	0	97,200	0	141,807	211,991	177,450	0	132,525
		負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他物件費	0	7,000	10,000	10,000	5,000	5,000	5,000	0	5,000
	事務・庶務	35,595	60,760	170,830	73,630	179,567	324,931	243,140	30,450	565,715	
	事業にかかるコスト	35,595	60,760	170,830	73,630	179,567	324,931	243,140	30,450	565,715	
現金収支を伴うコスト 計		65,595	90,760	200,830	103,630	209,567	354,931	273,140	60,450	595,715	
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	0	0	0	0	0	1,409,236	1,403,345	1,370,945	1,294,036	
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)		65,595	90,760	200,830	103,630	209,567	1,764,167	1,676,485	1,431,395	1,889,751	
収支差額(ネットコスト)		65,595	90,760	200,830	103,630	209,567	1,764,167	1,676,485	1,431,395	1,889,751	

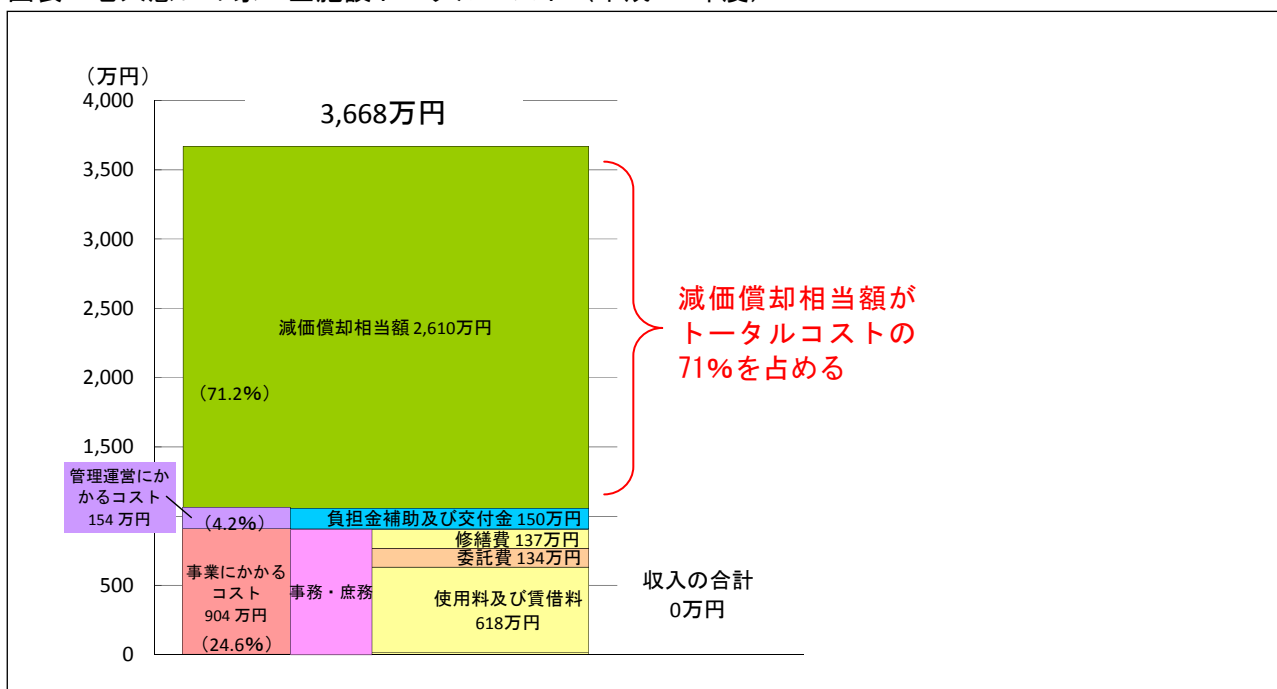
(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		北中野福寿 会	むさし藤沢 台悠友C	上藤沢第一 千歳会	上藤沢第二 千歳会	上ノ原ふれ あい会	藤沢第二支 部長寿会	藤沢第三支 部長寿会	角栄東部長 生会	藤沢睦会	
スト にかか るコ スト	管理運営	負担金補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
		その他物件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
		管理運営にかかるコスト	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	
事業 にかか るコ スト	事務・ 庶務	修繕費	0	0	0	139,500	0	0	139,500	0	0
		委託費	60,690	0	53,760	0	0	0	0	0	0
		使用料及び賃借料	0	0	181,720	390,822	335,988	0	395,296	0	429,200
		負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他物件費	5,000	0	7,000	0	0	0	0	0	0
	事務・庶務	65,690	0	242,480	530,322	335,988	0	534,796	0	429,200	
	事業にかかるコスト	65,690	0	242,480	530,322	335,988	0	534,796	0	429,200	
現金収支を伴うコスト 計		95,690	30,000	272,480	560,322	365,988	30,000	564,796	30,000	459,200	
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	1,300,909	1,266,873	0	0	1,355,073	1,571,891	0	0	1,348,364	
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)		1,396,599	1,296,873	272,480	560,322	1,721,061	1,601,891	564,796	30,000	1,807,564	
収支差額(ネットコスト)		1,396,599	1,296,873	272,480	560,322	1,721,061	1,601,891	564,796	30,000	1,807,564	

(円)

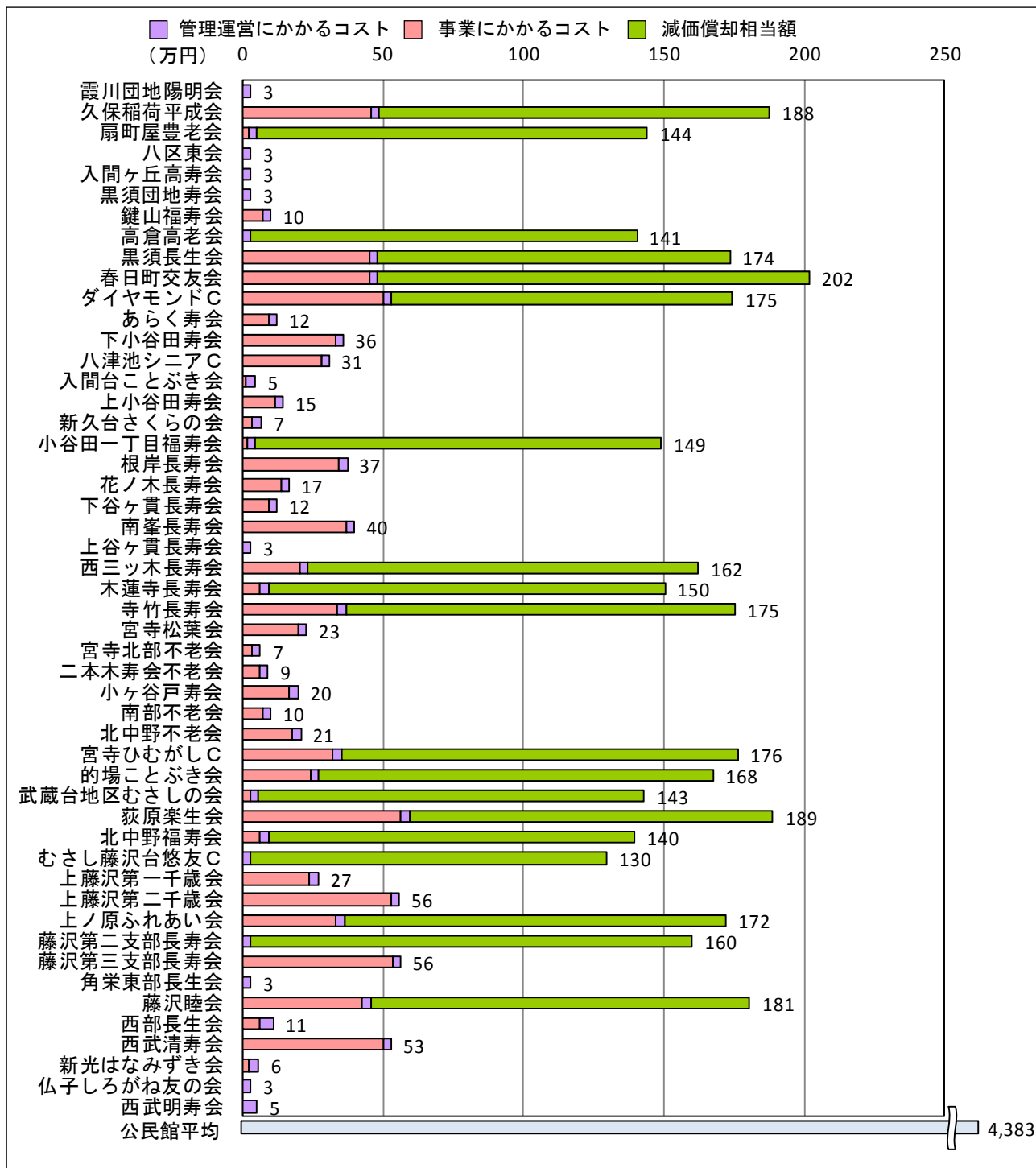
I.現金収支を伴うもの【コストの部】		西部長生会	西武清寿会	新光はなみ ずき会	仏子しろが ね友の会	西武明寿会	合計
にかか るコ スト	管理運営						
	負担金補助及び交付金	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	1,500,000
	その他物件費	18,840	0	0	0	22,700	41,540
	管理運営にかかるコスト	48,840	30,000	30,000	30,000	52,700	1,541,540
事業に かか るコ スト	事務・庶務						
	修繕費	47,250	0	27,300	0	0	1,372,354
	委託費	15,750	0	0	0	0	1,344,840
	使用料及び賃借料	0	501,736	0	0	0	6,175,060
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	0	0	0	0	0	146,728
	事務・庶務	63,000	501,736	27,300	0	0	9,038,982
	事業にかかるコスト	63,000	501,736	27,300	0	0	9,038,982
現金収支を伴うコスト 計		111,840	531,736	57,300	30,000	52,700	10,580,522
II.現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	0	0	0	0	0	26,100,000
III.総括							
コストの部合計(トータルコスト)		111,840	531,736	57,300	30,000	52,700	36,680,522
収支差額(ネットコスト)		111,840	531,736	57,300	30,000	52,700	36,680,522

図表 老人憩いの家 全施設トータルコスト (平成 24 年度)



施設別トータルコストでは、霞川団地陽明会老人憩いの家他7施設の3万円から春日町交友会老人憩いの家の202万円で、50施設の平均は、73万円となっています。

図表 老人憩いの家 施設別トータルコスト（平成24年度）

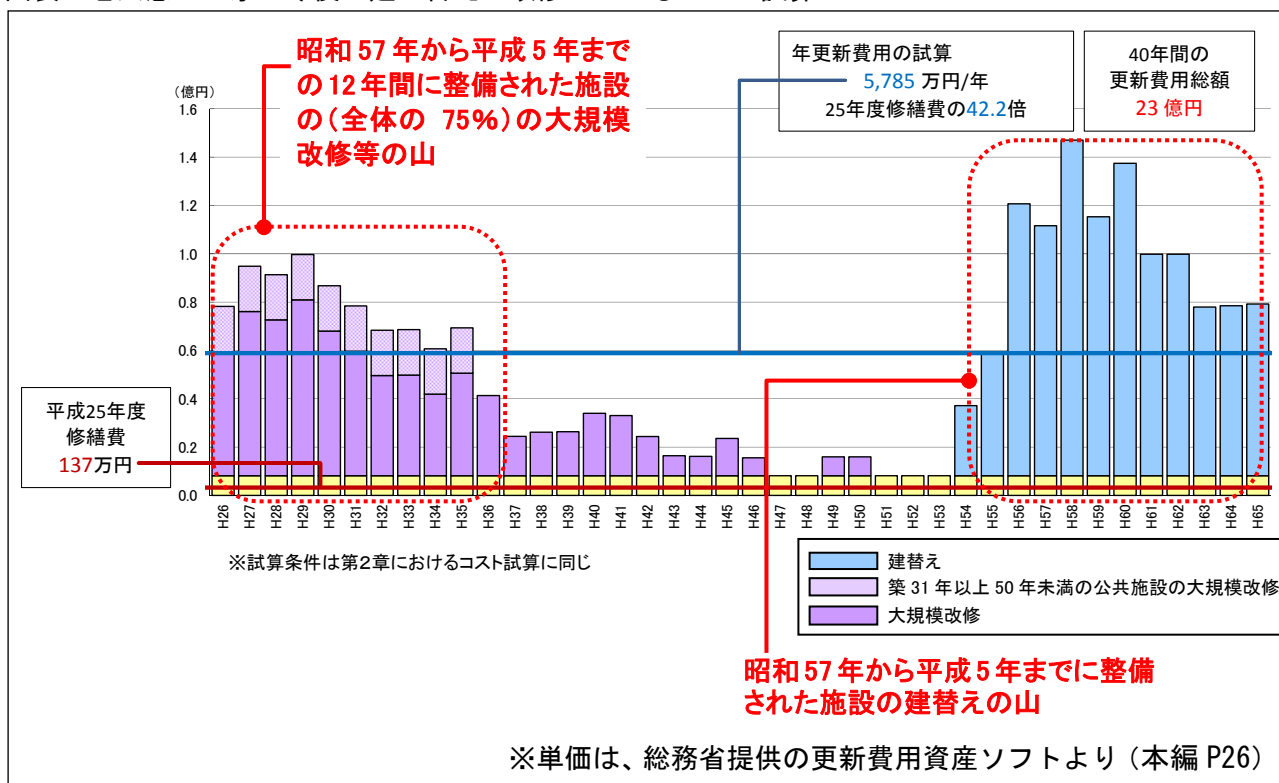


3) 評価・分析

■ 老人憩いの家の将来における更新費用推計

老人憩いの家 50 施設全てをこのまま維持・更新していく場合にかかる将来コストを予測しました。今後 40 年間で約 23 億円、年間平均 5,785 万円が必要とされ、平成 24 年度の修繕費用 137 万円を大きく上回る費用が必要になると予測されます。整備時期が、昭和 57 年から平成 5 年の間に集中している事もあり、今後 10 年間は、築 30 年を超え大規模改修等が必要な施設の大きな山がある事から、50 施設全てをこのまま維持・更新していくことは困難であることがわかります。

図表 老人憩いの家 今後の建て替え・改修にかかるコスト試算



3) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 50 施設中 4 施設が築 30 年以上経過し老朽化が進んでいる。ただし昭和 57 年から平成 5 年までの 12 年間に全体の 75%にあたる 38 施設が整備されており今後 10 年間に集中して老朽化が進む。

<コスト状況>

- ② トータルコスト 3,668 万円うち 71%が減価償却費となっている。1 施設当たりのコストは低いものの、施設を保有しているだけで多くのコストが発生することになる。
- ③ 今後の建替え・改修にかかるコストを試算をしたところ、今後 10 年間に、大規模改修費の大きな山、30 年後に建替えの大きな山を向かえることとなり、50 施設（内 2 施設無償使用）全てをこのまま維持・更新していくことは困難である。

■課題のまとめ

- 老朽化が進み、大規模改修の時期を迎える施設は、地元老人クラブもしくは自治会への譲渡を含めた老人憩いの家のあり方の検討が必要
- 各老人憩いの家の周辺に整備されている保養系施設、産業系施設、学校等の空きスペースや稼働率の低い部屋の有効活用を見据え、集約化・複合化を見据えた検討が必要

(7) 博物館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、博物館を1館保有しています。博物館の管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：自然、歴史、民俗、産業、美術、工芸などを取り扱う総合博物館として、これらの資料を系統的に収集、保存、調査研究、公開することにより、郷土の文化に対する理解を深めるとともに、美術館的機能、文書館的機能、情報センター機能を兼ね備えた複合施設として、より一層市民の学習活動、文化活動の向上を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
宮寺・ 二本木	1 博物館	二本木100	6,245.05	平成5	RC造	市	平成25年より、本庁舎被災時の災害対策本部に指定

② 開館時間・開館日数

開館時間は、午前9時から午後5時まで開館しています（入館は午後4時30分まで）

休館日は、毎週月曜日と、祝日の翌日、年末年始（12/27から1/5）、及び館内整理日（祝日を除く毎月第4火曜日）となっています。

平成24年度の開館日数は、平日は201日、休日は98日でした。

③ 事業内容

主催事業として各種展覧会、講座・講演会を開催するほか、市民に創作発表の場（市民ギャラリー）、文化活動の場（茶室、体験学習室、講座室）を提供しています。

地域の重要な文書などを収集・公開し、その活用をはかる文書館機能、地域やお茶に関する図書類・映像ソフトの閲覧、視聴ができるライブラリー機能、地域の歴史・民俗・自然・文化等に関する調査研究を行い、講座や刊行物等によって公開する地域の情報センター機能を持っています。

狭山茶をはじめとする日本各地や世界のお茶の製造・喫茶風習、茶道文化などに関する調査研究、情報提供を行っており、お茶の博物館としての機能を有しています。また、主催事業の他に出前講座（学校教育支援講座・入間市生涯学習茶の都（ちゃのくに）出前講座等）を行っています。

④ 予約方法・使用料金等

茶室〔青丘庵〕、特別展示室・市民ギャラリー、講座室、体験学習室は貸室として利用できません。

使用日の6ヶ月前から 博物館資料閲覧室カウンターにて受け付けします。

■ 使用料金

常設展示の観覧は有料です。

	個人	団体(20人以上)
大人	200 円	160 円
高・大学生	100 円	80 円
小・中学生	50 円	40 円

※ 小学校就学前の方及び 65 歳以上の方は無料です

※ 小学校就学前の方のみでのご観覧はお断りいたします。中学生以上の方の同伴が必要です

※ 団体料金は、有料観覧者 20 人以上の場合に適用されます

※ 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳又は療育手帳をご持参の方及び、その介護者(障害者 1 人に対し 1 人まで)無料です

※ 5 月 18 日(国際博物館の日)、11 月 1 日(市制施行記念日)及び 11 月 14 日(埼玉県民の日)は無料です

※特別展示の観覧料は、別途必要な場合があります

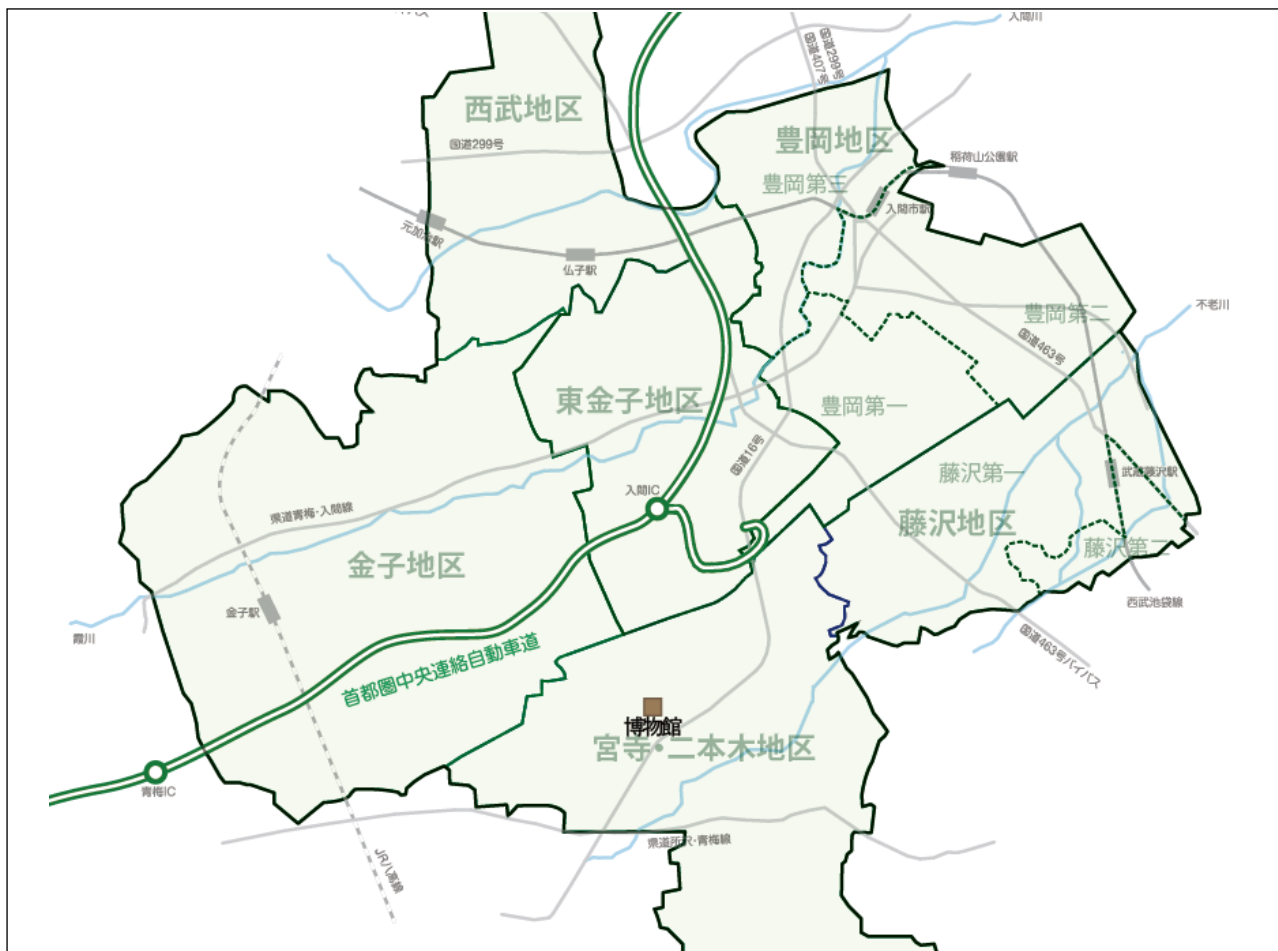
貸室の利用料金は以下の通りです。

	9 時～12 時	1 時～5 時	午後 5 時半～ 午後 9 時半	午前 9 時～ 午後 9 時半
茶室[青丘庵]	2,100 円	2,800 円	2,800 円	7,700 円
特別展示室	-----	-----	-----	2,600 円
市民ギャラリー	-----	-----	-----	3,500 円
講座室	-----	2,000 円	2,000 円	-----
体験学習室	450 円	600 円	600 円	1,650 円

⑤ 配置状況

博物館は宮寺・二本木地区に設置されています。

図表 博物館位置図



⑥ スペース構成

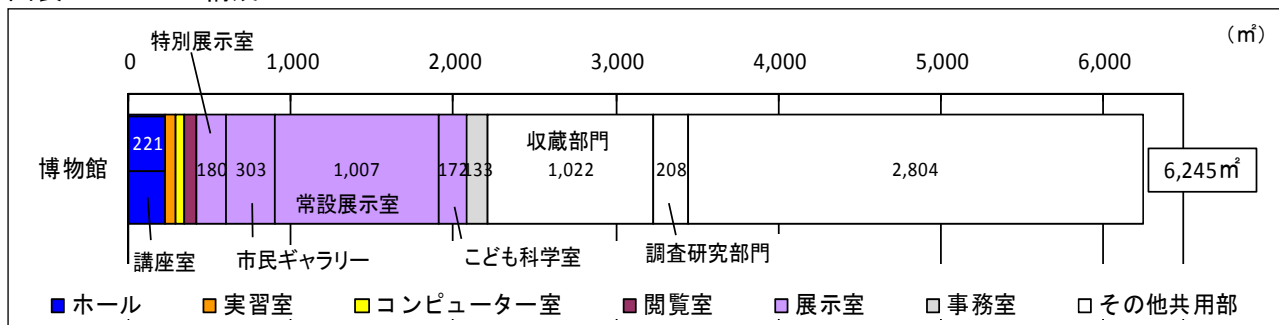
博物館は6,245㎡となっています。

特別展示室・常設展示室等の展示室を持ち、200インチの大型スクリーンを持つ142席の講座室を保有しています。

その他の主な保有スペースは、温度差などを管理し、良好な状態で資料を保存するための収蔵庫などの収蔵部門、研究室などの調査研究部門、実習室機能として体験学習室、その他に資料閲覧室、情報センター室等を保有しています。

また、館外に茶室〔青丘庵〕、体験茶園を保有しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 博物館の建物総合評価結果

平成 25 年度の博物館の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応				⑤維持管理				
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)	
1	博物館	平成5	6,245	—	20	20	○	○	○	○	○	×	×	×	×	14,902	35,457	3,493	2,386	5,678	559

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 =×
	不要 ⇒—

床面積当たり(円/㎡)の平均値 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) : 平均値の1.4倍

新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

パターン③ 今後 老朽化

・老朽化が進行している
 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設

該当施設: 博物館
 建築年度: 平成5

< 1 施設 >

コメント: ・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

② 利用状況

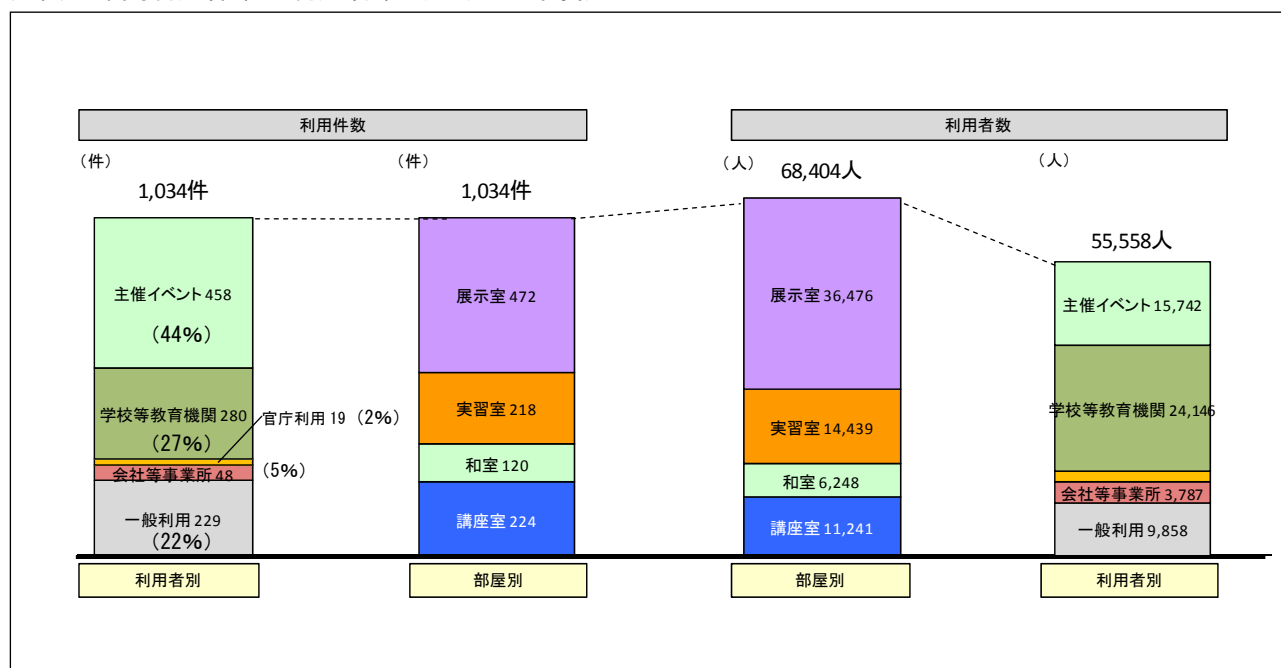
■ 全体の利用状況

平成 24 年度の博物館の全体利用件数は 1,034 件、利用者数は 5 万 5,558 人です。

利用目的別の内訳をみると、主催イベントが 458 件、学校等教育機関利用が 280 件となっており、利用件数ベースでは主催イベント利用が全体利用件数の約 44%であり、次いで、学校等教育機関による利用が約 27%となっています。

部屋別の利用件数ベースでは、展示室が 472 件（約 46%）と半数近くを占めており、次いで講座室が 224 件（約 22%）となっています。

図表 年間利用件数・利用者数（平成 24 年度）



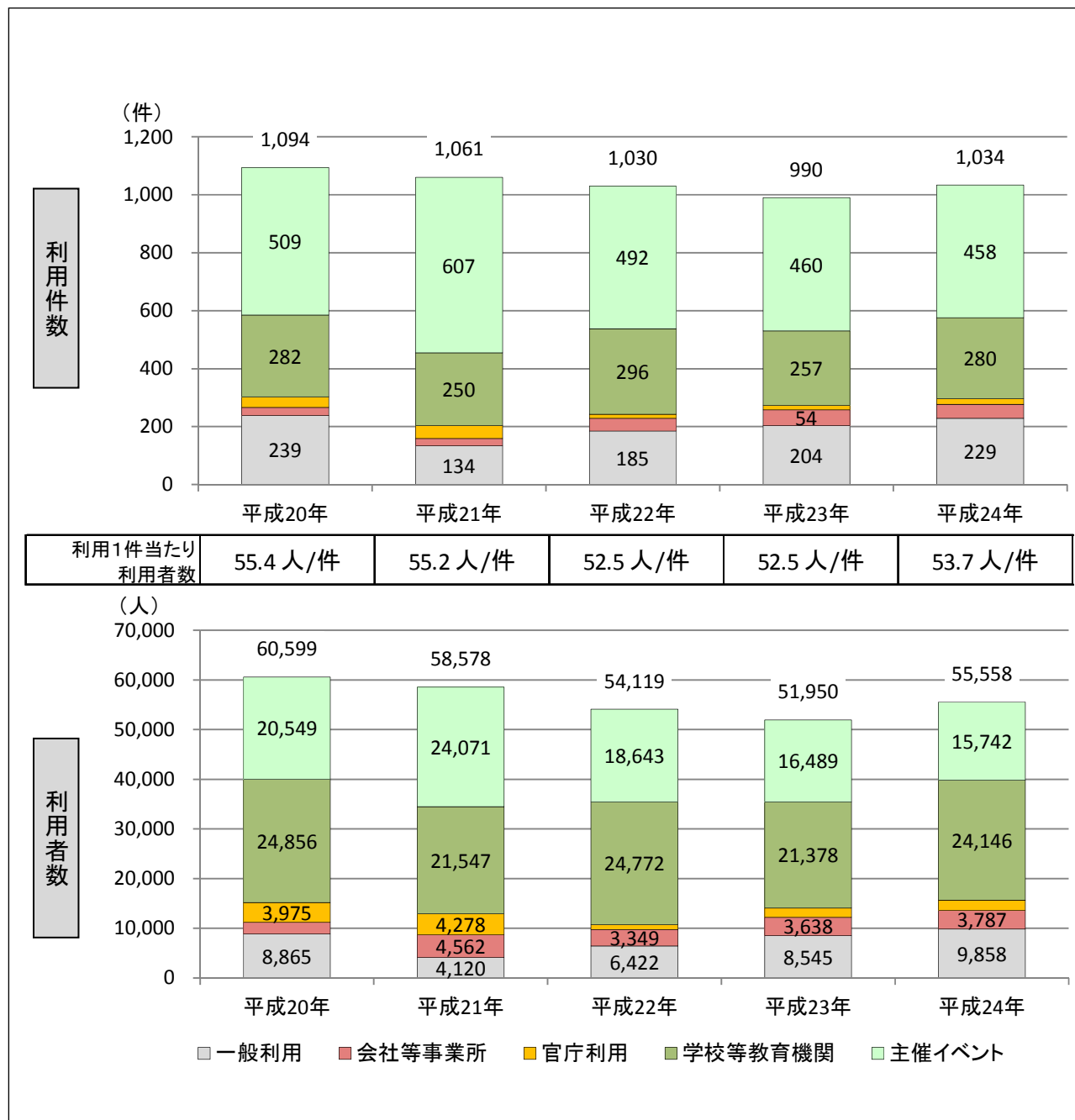
※部屋別利用者数は 1 コマ当たりの延数での積上げのため目的別利用者数(実数)と異なります

■ 利用推移

利用件数の推移は、平成20年度1,094件から平成23年度990件まで減少傾向で推移していましたが、平成24年度1,034件と増加しています。また利用者数は、平成20年度6万599人から平成23年度5万1,950人まで減少傾向で推移していましたが、平成24年度5万5,558人と増加しています。

利用1件当たりの利用者数は、ほぼ横ばいで推移しています。

図表 利用件数及び利用者数の推移

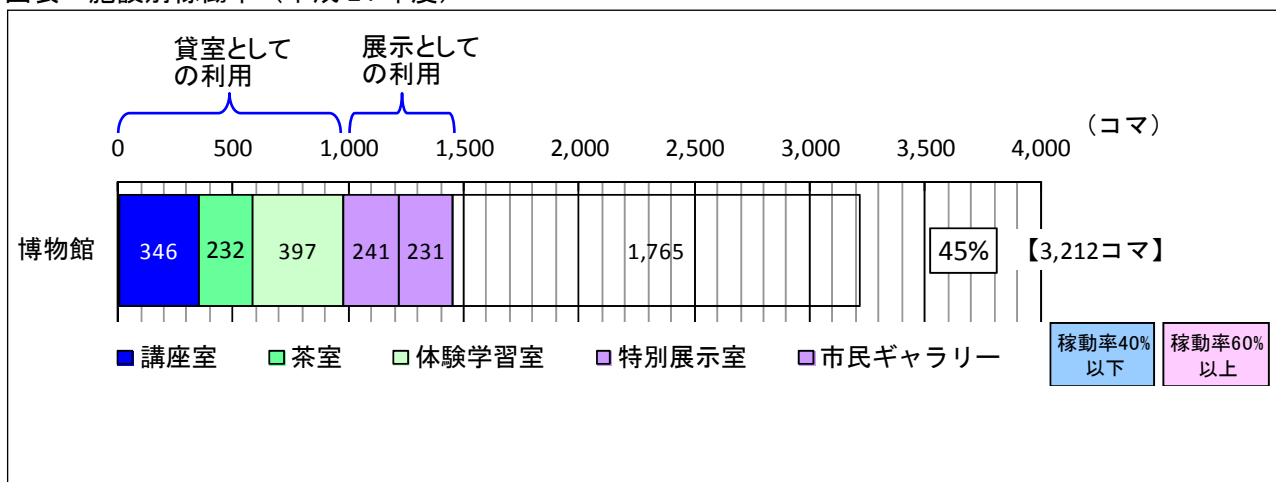


■ 施設別稼働率及び施設別部屋別稼働率

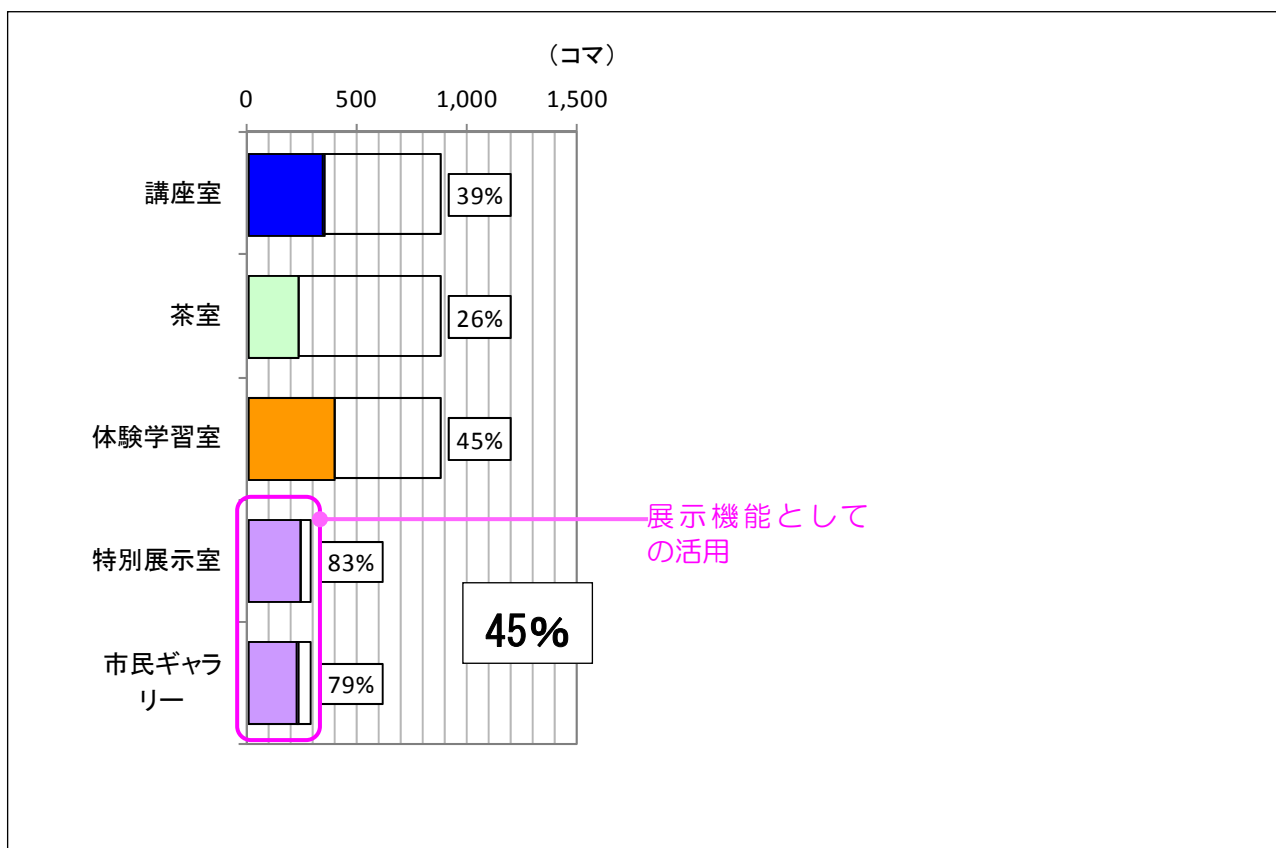
茶室〔青丘庵〕、特別展示室・市民ギャラリー、講座室、体験学習室は貸室として利用できます。貸室全体の稼働率は約45%です。

機能別に見た場合、講座室は39%、茶室は26%、体験学習室は45%、特別展示室は83%、市民ギャラリーは79%となっています。特別展示室と市民ギャラリーは高い稼働率となっていますが、作品・資料等の展示スペースとして活用しており、利用の形態が会議・集会機能とは異なります。

図表 施設別稼働率（平成24年度）



図表 部屋別施設別稼働率



③ 運営状況

博物館の管理運営は、市の直営となっています。

平成 24 年度の博物館の運営人員は 34 人です。内訳は、一般職員が 14 人、嘱託職員が 2 人、パート職員が 17 人、その他の人員が 3 人となっています。

図表 運営人員（平成 24 年度）

		博物館
運営形態		直営
管理運営に 要する人員	一般職員(正規職員)	4
	嘱託職員	1
	パート職員	
	その他	
	計	5
事業活動に 要する人員	一般職員(正規職員)	10
	嘱託職員	1
	パート職員	17
	その他	3
	計	31
合計	一般職員(正規職員)	14
	嘱託職員	2
	パート職員	17
	その他	3
	合計	36

運営体制をみると、博物館は一般職員と嘱託職員が 16 人全日従事しており、また、解説員としてパート職員が午前 5 人、午後 5 人で展示の解説を行っています。他に、資料整理員 3 人、総合窓口事務員 1 人の体制で運営しています。

図表 運営体制（平成 24 年度）

		9:00	13:00	15:00	17:00
		8:30			
博物館	一般職員 14人	[8:30 - 17:00]			
	嘱託職員 2人	[8:30 - 17:00]			
	午前展示解説員 (パート) 5人	[8:30 - 13:00]		[15:00 - 17:00]	
	総合窓口事務員 1人	[8:30 - 17:00]			
	資料整理(パート) 3人	[8:30 - 13:00]			

※代表的な運営体制となります

④ コスト状況

博物館の年間トータルコストは、2億9,229万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は8,875万円(30%)、事業にかかるコスト(人件費・委託費等)は1億5,358万円(53%)減価償却相当額は4,996万円(17%)です。

職員人件費は合計1億1,977万円で、トータルコストの約41%を占めています。

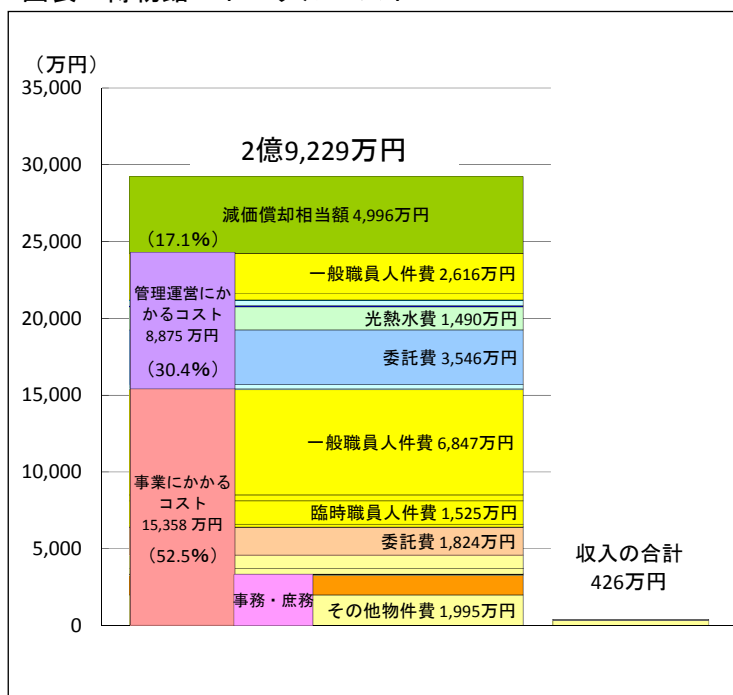
管理運営にかかるコストのうち、人件費は3,036万円でトータルコストの約10%となっています。

事業にかかるコストのうち、人件費は8,941万円でトータルコストの約31%となっています。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

		(円)	
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		博物館	
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	26,160,781	
	嘱託職員人件費	4,200,000	
	車両・備品購入費	207,270	
	修繕費	3,492,728	
	改修費	798,000	
	光熱水費	14,899,994	
	委託費	35,456,869	
	使用料及び賃借料	2,633,680	
	その他物件費	901,098	
	管理運営にかかるコスト	88,750,420	
事業にかかるコスト	事業活動	一般職員人件費	68,466,226
		嘱託職員人件費	3,880,384
		臨時職員人件費	15,250,088
		その他人件費	1,811,200
		光熱水費	2,323
		委託費	18,236,696
		使用料及び賃借料	8,856,036
		負担金補助及び交付金	72,000
		その他物件費	3,557,777
		事業活動	120,132,730
	事務・庶務	修繕費	7,245
		委託費	144,000
		使用料及び賃借料	647,807
負担金補助及び交付金	12,700,242		
その他物件費	19,948,263		
事務・庶務	33,447,557		
事業にかかるコスト	153,580,287		
現金収支を伴うコスト 計		242,330,707	
【収入の部】			
収入	使用料収入	3,426,560	
	諸収入	834,890	
収入の合計		4,261,450	
II. 現金収支を伴わないもの			
コスト	減価償却相当額	49,960,400	
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		292,291,107	
収支差額(ネットコスト)		288,029,657	

図表 博物館 トータルコスト

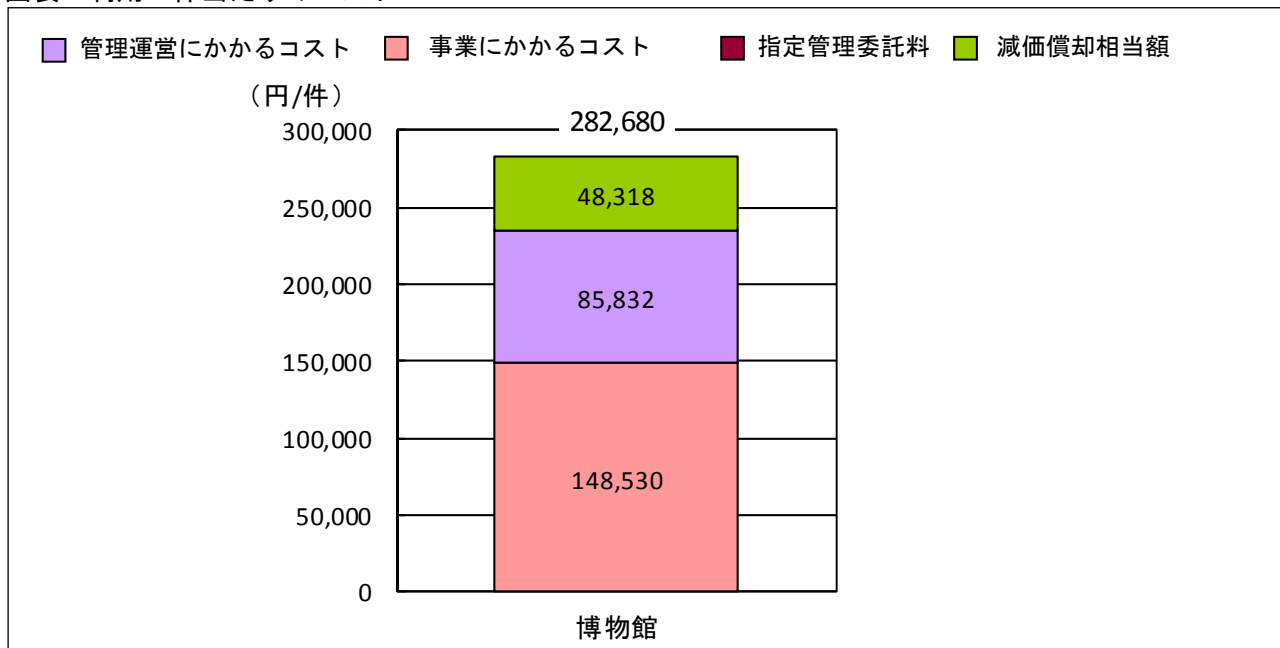


3) 評価・分析

■ 利用 1 件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、28 万 2,680 円/件となっています。

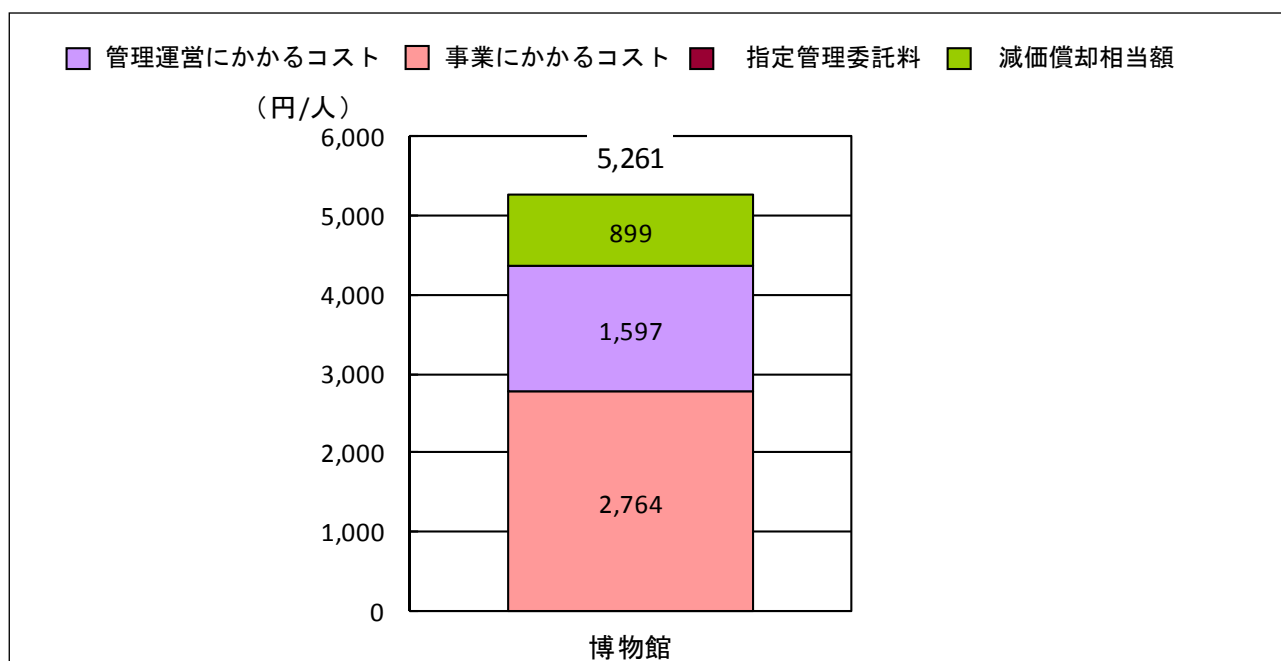
図表 利用 1 件当たりのコスト



■ 利用者 1 人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用 1 人当たりにかかるコストを算出すると、5,261 円/人となっています。

図表 利用者 1 人当たりのコスト



(8) 児童センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、児童センターを保有しています。児童センターの管理運営は市の直営となっています。

設置目的：子どもたちに、遊びや科学の学習を通して生活体験の場を提供し、人間性豊かな、心身ともに健康な児童の育成を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
豊岡 第二	1 児童センター	向陽台1-1-6	3,852.82	昭和62	SRC造	市	

② 開館時間・開館日数

開館時間は、午前9時から午後5時まで開館しています。休館日は、毎週月曜日と、祝日（5月5日を除く）及び年末年始（12月29日から1月3日）となっています。ただし試行により、平成23年度からハッピーマンデーの日は開館しています。

平成24年度の開館日数は、平日は197日、休日は103日でした。

③ 事業内容

天体観測室、プラネタリウム室、おもちゃ図書館、集会室等を設置し、施設の提供、講座・教室の開催（主催イベント）を行っています。

- ・科学学習：15倍望遠鏡づくり・天文ライブ・ピカピカLED工作等
- ・体験学習：和紙ちぎり絵・何ができるかな？自由工作・組み木を作ろう等
- ・体育大会：卓球大会等

プラネタリウムは平日午後3時から、土・日は午前11時と午後3時から投影します。土・日の午後1時30分からはドームシアター(恐竜の映画)を上映します。

④ 予約方法・使用料金等

どなたでも自由に来館して施設を利用することができます。

■ 使用料金

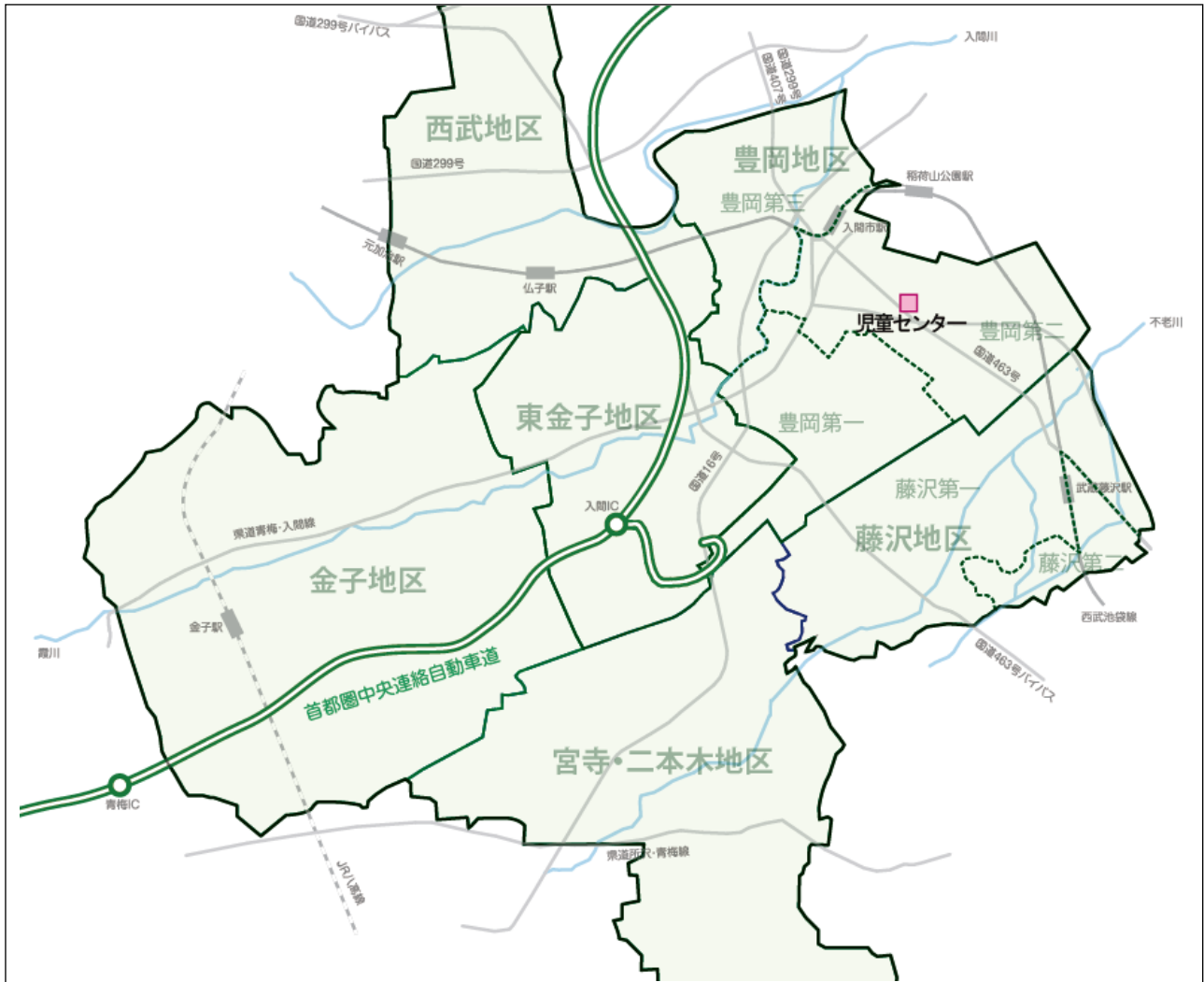
入館は基本無料となっており、プラネタリウム観覧料として、子ども(小・中・高生)は50円、大人100円を徴収しています。

障害者手帳提示の方とその付き添いの方、学習目的の団体を対象に減免制度があります。

⑤ 配置状況

児童センターは豊岡第二地区に設置されています。

図表 児童センター位置図

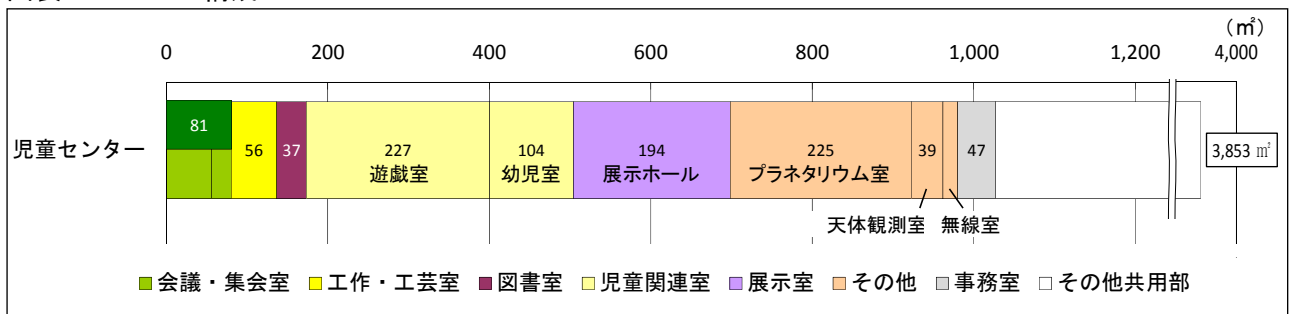


⑥ スペース構成

児童センターは 3,853 m² となっています。

児童センターではプラネタリウム室・天体観測室・展示ホール等を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として集会室・研修室、その他に幼児室・遊戯室・無線室・工作室・図書室等を保有しています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 児童センターの建物総合評価結果

平成 25 年度の児童センターの建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または経過年数の大規模改修	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)		床面積当たり (円/㎡)		
																光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	児童センター	昭和62	3,853	—	26	26	×	○	○	×	×	×	×	○	×	2,169	7,235	2,762	563	1,878	717

※1 手すり・鏡・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 =×
	不要 =—

: 床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計)
 : 平均値の1.4倍

児童センターは新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

パターン③ 今後 老朽化

・老朽化が進行している
 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設

該当施設: 児童センター 建築年度: 昭和62

< 1 施設 >

コメント: ・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

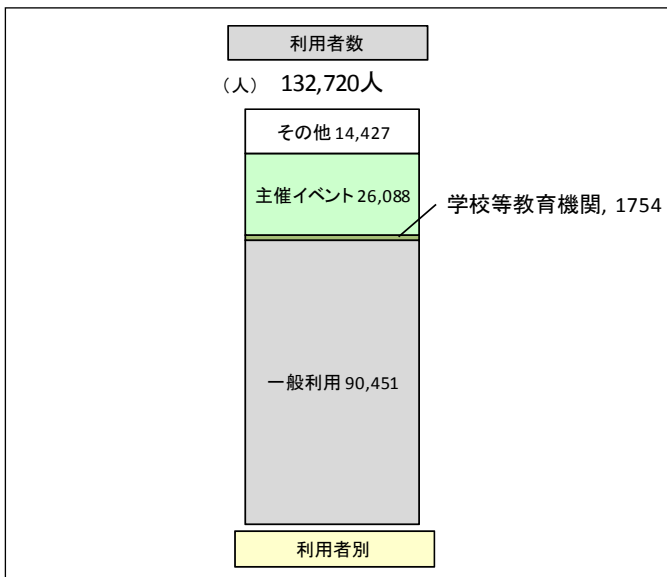
② 利用状況

■ 全体の利用状況

平成 24 年度の児童センターの全体利用者数は 13 万 2,720 人です。

利用目的別の内訳をみると、一般利用が 9 万 451 人、主催イベントが 2 万 6,088 人、学校等教育機関利用が 1 754 人となっています。

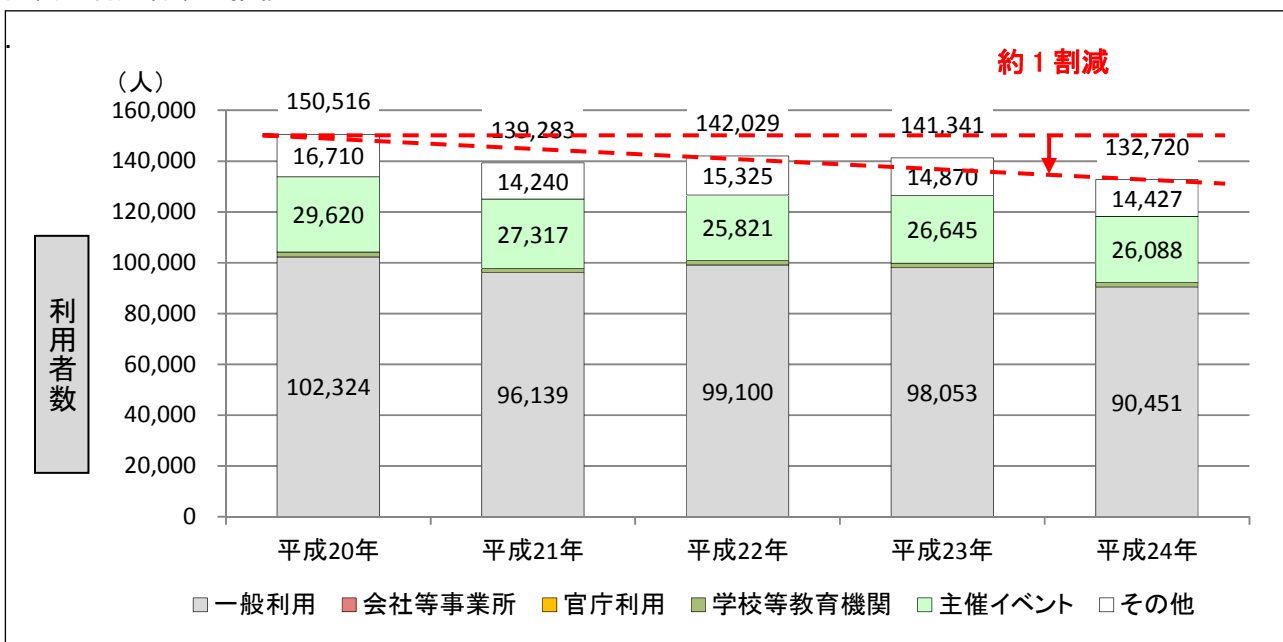
図表 年間利用者数（平成 24 年度）



■ 利用推移

利用件数の推移は、平成 20 年度 15 万 516 人から平成 24 年度 13 万 2,720 人と減少傾向で推移しています。

図表 利用者数の推移



③ 運営状況

児童センターの管理運営は、市の直営となっています。

平成24年度の運営人員は10人です。内訳は、一般職員が5人、嘱託職員が2人、パート職員が2人、その他の人員が1人となっています。

図表 運営人員（平成24年度）

(人)

		児童センター
運営形態		直営
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	0
	嘱託職員	1
	パート職員	0
	その他	0
	計	1
事業活動に要する人員	一般職員(正規職員)	5
	嘱託職員	1
	パート職員	2
	その他	1
	計	9
合計	一般職員(正規職員)	5
	嘱託職員	2
	パート職員	2
	その他	1
	合計	10

④ コスト状況

児童センターの年間トータルコストは、9,381万円です。

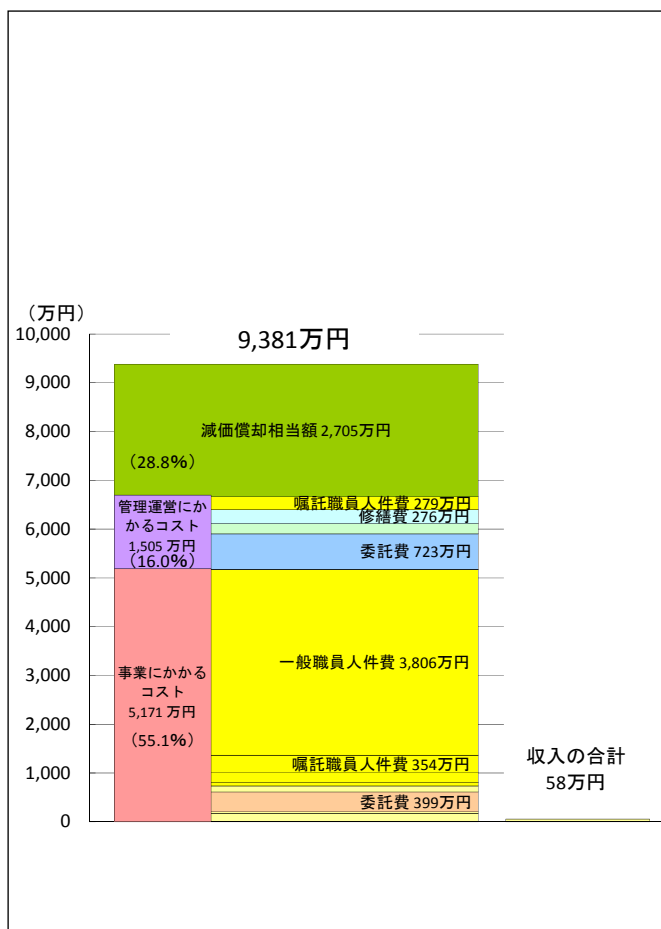
年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は1,505万円(16%)、事業にかかるコスト(人件費・委託費等)は5,171万円(55%)減価償却相当額は2,705万円(29%)です。

職員人件費は合計4,712万円で、トータルコストの約50%を占めています。管理運営にかかるコストのうち、人件費は279万円でトータルコストの約3%となっています。事業にかかるコストのうち、人件費は4,434万円でトータルコストの約47%となっています。

図表 行政コスト計算書(平成24年度)

図表 児童センター トータルコスト(平成24年度)

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		児童センター
管理運営にか かるコスト	嘱託職員人件費	2,785,200
	修繕費	2,761,920
	光熱水費	2,168,695
	委託費	7,234,668
	その他物件費	98,082
	管理運営にかかるコスト	15,048,565
事業にかか るコスト	一般職員人件費	38,061,035
	嘱託職員人件費	3,538,750
	臨時職員人件費	2,118,960
	其他人件費	618,130
	修繕費	1,254,750
	委託費	3,990,000
	使用料及び賃借料	414,156
	その他物件費	1,709,874
	事業にかかるコスト	51,705,655
現金収支を伴うコスト 計		66,754,220
【収入の部】		
収入	使用料収入	578,460
収入の合計		578,460
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	27,051,715
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		93,805,935
収支差額(ネットコスト)		93,227,475

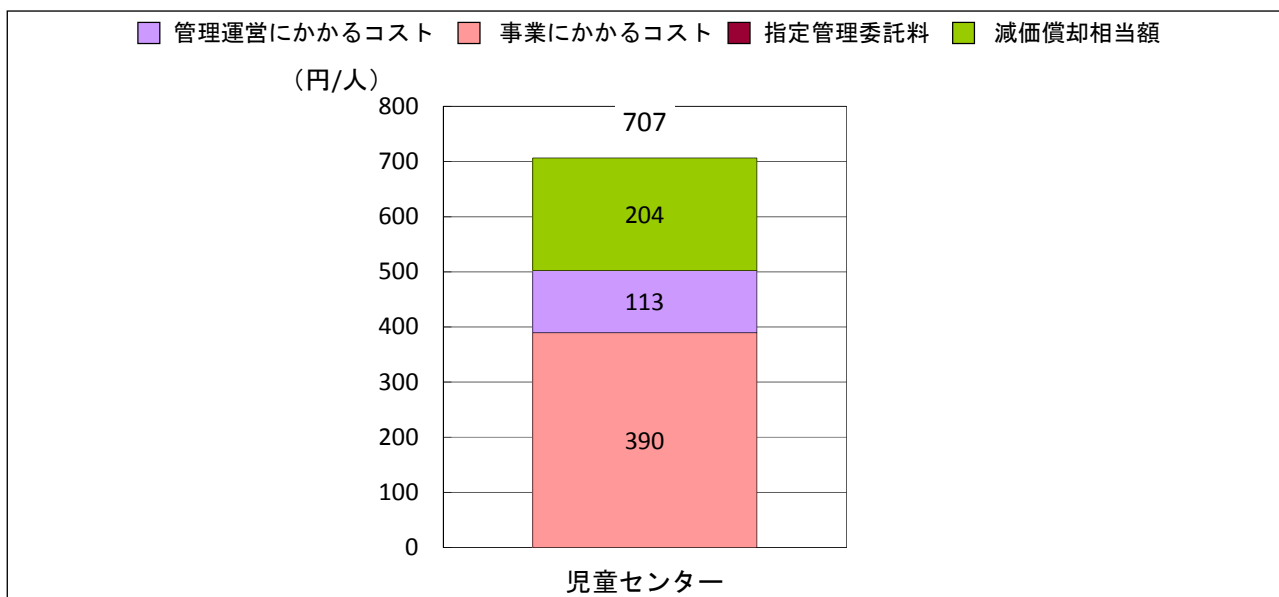


3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用1人当たりにかかるコストを算出すると、707円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



(9) 図書館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、図書館を5施設保有しています。図書館の管理運営は、市の直営となっています。

図書館本館は産業文化センターと併設しています。西武分館は単独施設、金子分館、宮寺配本所、藤沢分館は、公民館との複合施設です。

設置目的：市民の読書を推進する知的基盤として、さまざまな資料や情報を収集、保存、提供する情報拠点施設を目指すとともに、市民生活の課題解決を支援し、地域の発展を促進する各種サービスをすべての市民に提供していくことと併せて、地域資料や行政資料の収集を行うことで、本市の歴史を未来に伝え、市民の郷土愛を育むことを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併設施設			土地 所有	備考
						産業系施 設	公民館	支所		
豊岡 第二	1 図書館本館	向陽台1-1-7	3,640.50	昭和58	RC造	●			市	平成8年に部 分改修実施
金子	2 図書館金子分館	寺竹535-1	307.77	平成5	RC造		●	●	市	
宮寺・ 二本木	3 宮寺配本所	宮寺2405-1	57.75	昭和58	RC造		●	●	市	
藤沢 第一	4 図書館藤沢分館	下藤沢846-1	835.98	平成12	RC造		●	●	市	
西武	5 図書館西武分館	仏子1084-12	2,120.10	平成4	RC造				市	
合計			6,962.10							

昭和56：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

② 開館時間・開館日数

	開館時間	休館日	開館日数
図書館本館	平日：午前9時半から午後5時 ※水曜：午前9時半から午後7時 ※金曜：午前9時半から午後7時(6月から8月)	月曜日 年末年始 (12/29 から 1/3) 館内整理日 (毎月末) 特別整理日 (年間7日程度) ※宮寺配本所：月、水、 土、日(祝日を除く)休 館	平日185日 休日112日
西武分館 公民館併設分館	午前9時半から午後5時		
宮寺配本所	午前9時半から午後4時		143日

※平成25年4月から宮寺配本所は、水曜日開館となります

※平成26年10月1日から図書館本館の開館時間は、午前9時から午後8時(土、日、祝日は午後5時)までとなります

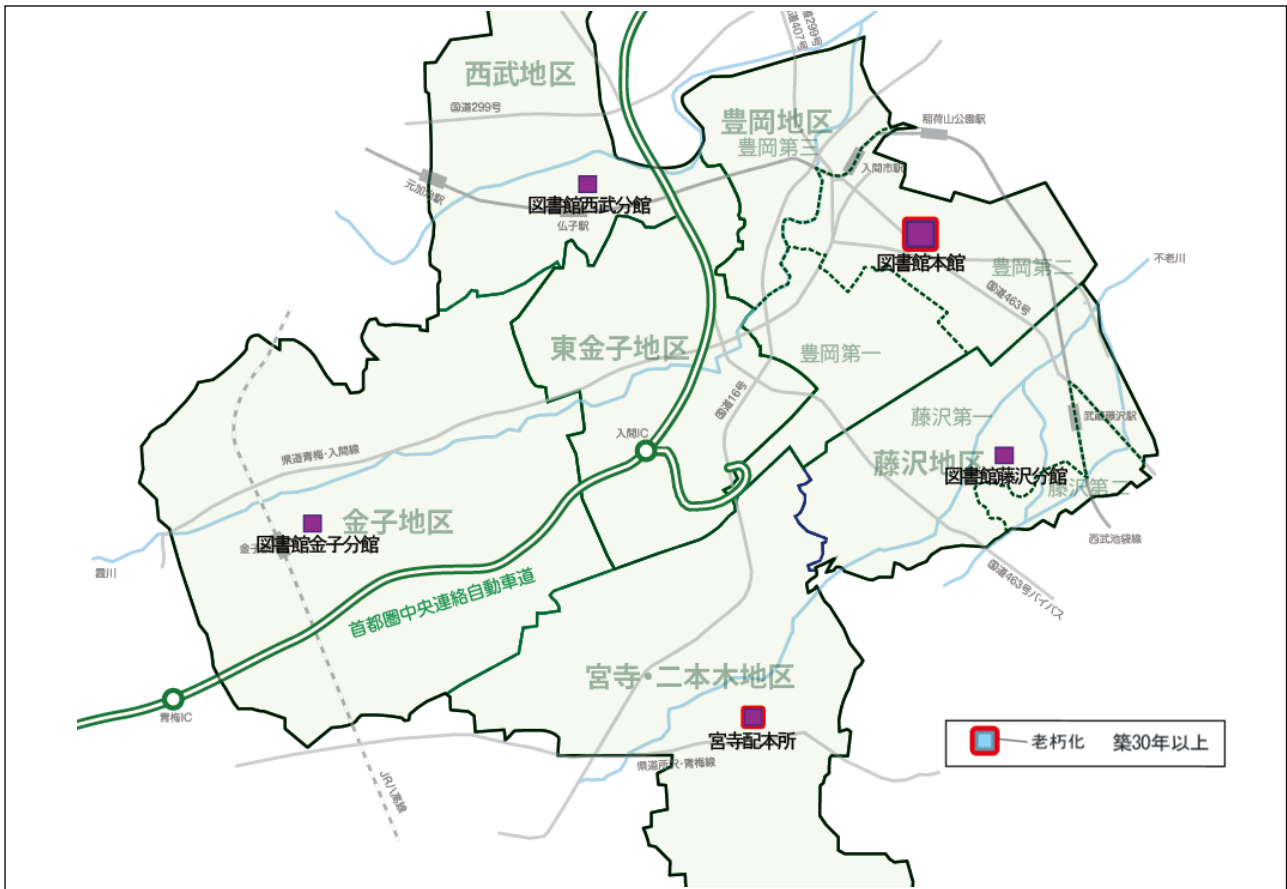
③ 事業内容

図書の貸し出し、閲覧、市民からの相談業務にあたる他に図書館本館、及び分館において子どもから、お年寄りまで自由に参加できる主催事業を行っています。

・主催イベント：おたのしみ会・おはなし会・古典朗読会・工作ワークショップ・映画上映会等
西武分館のみ分館自体に会議室等を設けて貸室事業を行っています。

④ 配置状況

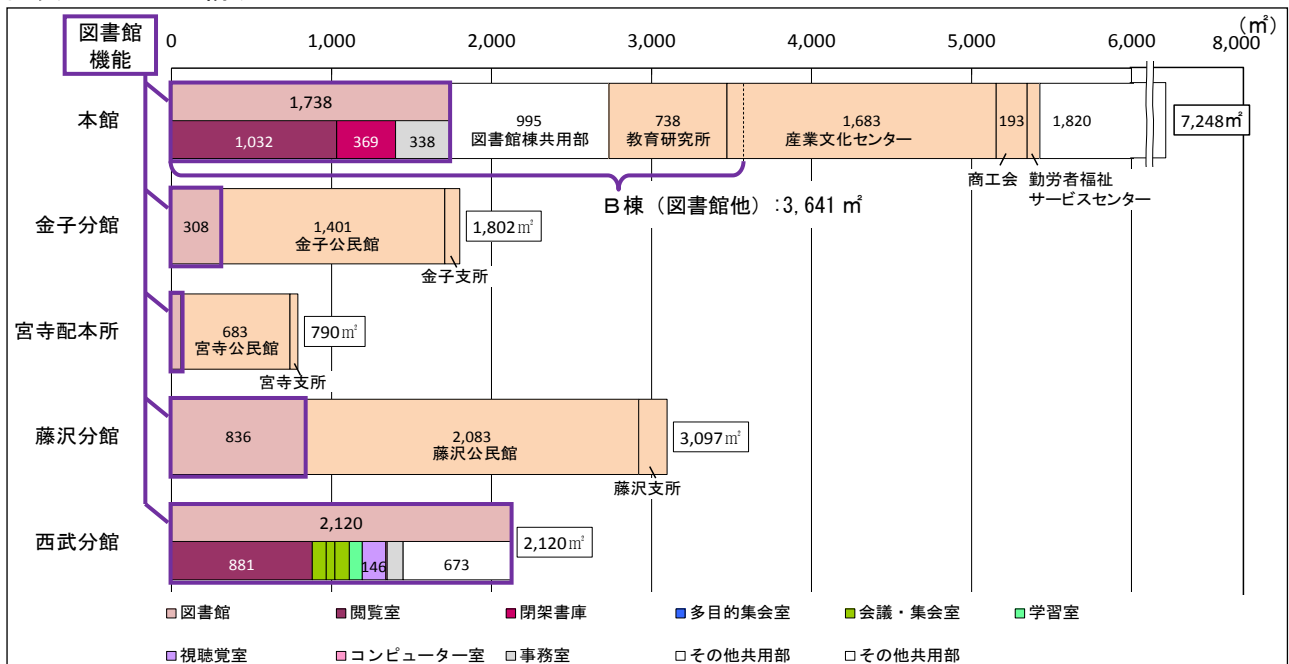
図表 図書館位置図



⑤ スペース構成

図書館の規模は、宮寺配本所の50㎡から図書館本館の3,641㎡となっています。図書館西武分館は集会機能を保有しています。またそれ以外の4館についても複合先施設の機能として集会機能を保有しています。

図表 スペース構成



⑥ 蔵書数

図書館の総蔵書数は55万2,141点です。内、図書資料（一般書・児童図書・雑誌）は54万202点（98%）です。

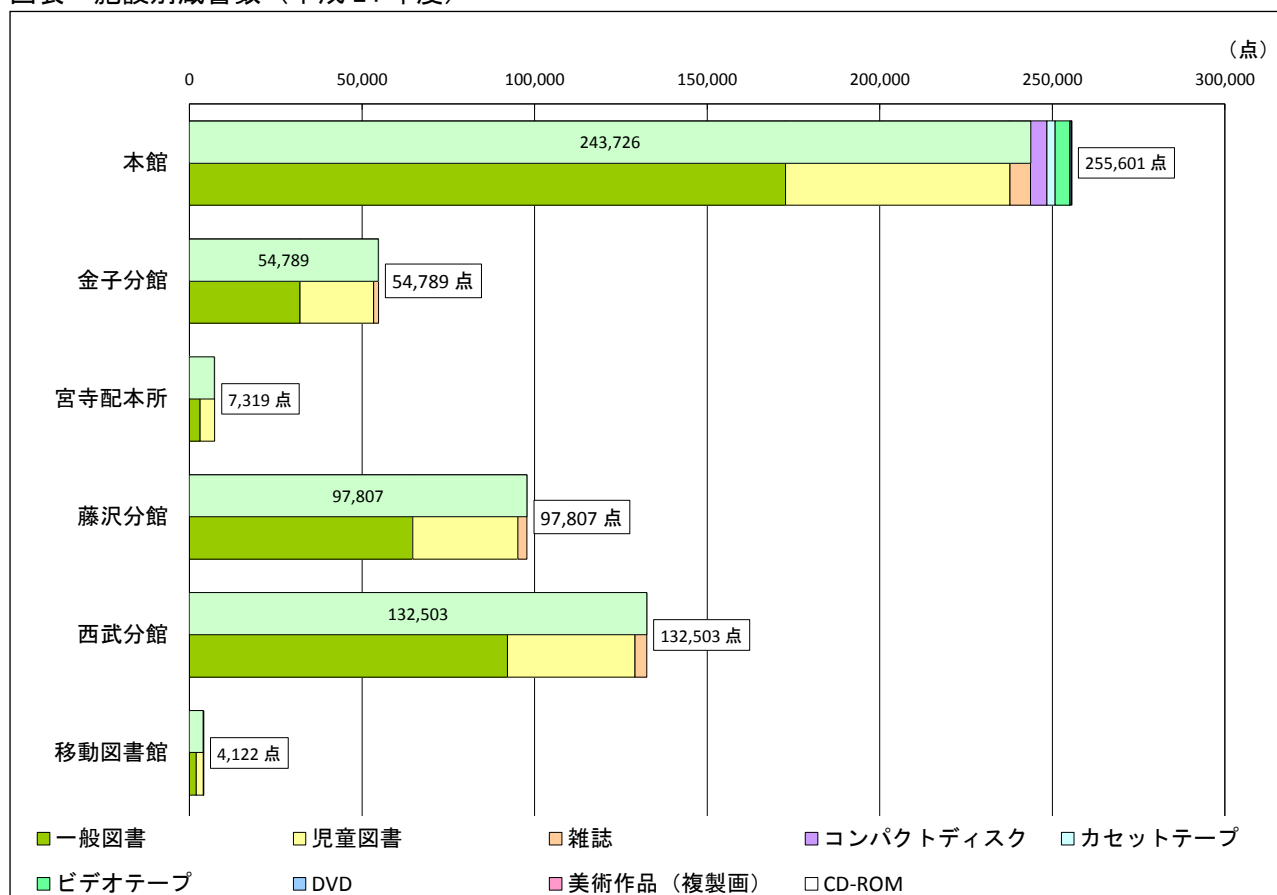
施設別内訳は、移動図書館の4,122点から図書館本館の25万5,601点です。

図表 施設別蔵書数（平成24年度）

	図書資料				コンパクト ディスク	カセット テープ	ビデオ テープ	DVD	美術作品 (複製画)	CD-ROM	合計
	一般図書	児童図書	雑誌	計							
本館	172,711	65,073	5,942	243,726	4,732	2,377	4,243	462	40	21	255,601
移動図書館	1,959	2,079	15	4,053	69						4,122
金子分館	32,056	21,288	1,445	54,789							54,789
宮寺配本所	3,106	4,213		7,319							7,319
藤沢分館	64,683	30,445	2,679	97,807							97,807
西武分館	92,152	36,953	3,398	132,503							132,503
合計	366,667	160,051	13,479	540,197	4,801	2,377	4,243	462	40	21	552,141

出典：図書館統計資料

図表 施設別蔵書数（平成24年度）



出典：図書館統計資料

2) 実態把握

① 建物状況

■ 図書館の建物総合評価結果

平成 25 年度の図書館 5 施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理							
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
1	本館	昭和58	3,641	—	30	30	○	○	○	○	○	○	×	×	×	産業文化センターに含む					
2	金子分館	平成5	308	—	20	20	○	○	○	○	○	○	×	×	×	公民館に含む					
3	宮寺配本所	昭和58	58	—	30	30	×	○	○	×	×	×	×	×	×						
4	藤沢分館	平成12	836	—	13	13	○	○	○	○	○	○	×	×							
5	西武分館	平成4	2,120	—	21	21	○	○	○	○	○	○	×	×	×	4,046	5,097	1,438	1,908	2,404	678

※1 手すり・錠・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 床面積当たり (円/㎡) の平均値 (床面積当たり (円/㎡) の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) 平均値の1.4倍

※図書館は5施設中4施設で施設維持管理費を複合先施設で負担しているため、施設維持管理費の比較を行っていません。

図書館本館、宮寺配本所は、耐震性能は確保されているものの、老朽化が進行しており建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

金子分館、西武分館は、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

藤沢分館は、比較的新しい施設ですが、環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望めます。(パターン④)

評価	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 本館 昭和58 宮寺配本所 昭和58</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 金子分館 平成5 西武分館 平成4</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 藤沢分館 平成12</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望めます。</p>

② 利用状況

■ 全体の利用状況

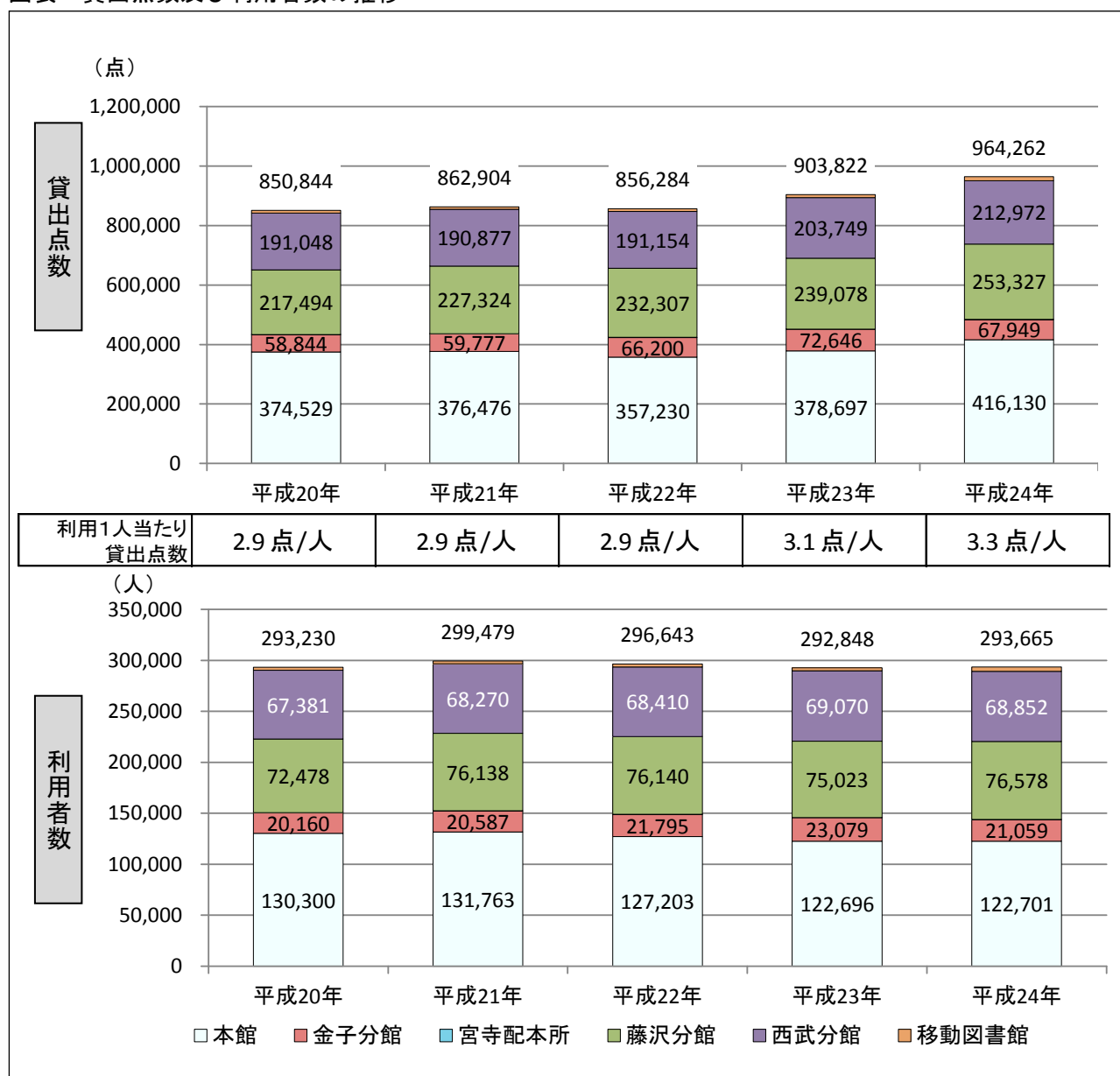
平成24年度の図書館の全体利用点数は96万4,262点、利用者数は29万3,665人です。

■ 利用推移

貸出点数の推移は、平成20年度85万844点から平成24年度96万4,262点まで徐々に増加傾向で推移しています。また利用者数は、平成20年度29万3,230人から平成24年度29万3,665人とほぼ横ばいで推移しています。

利用者1人当たりの貸出点数は、平成20年度約2.9点/人から平成24年度約3.3点/人となっており微増傾向にあります。

図表 貸出点数及び利用者数の推移

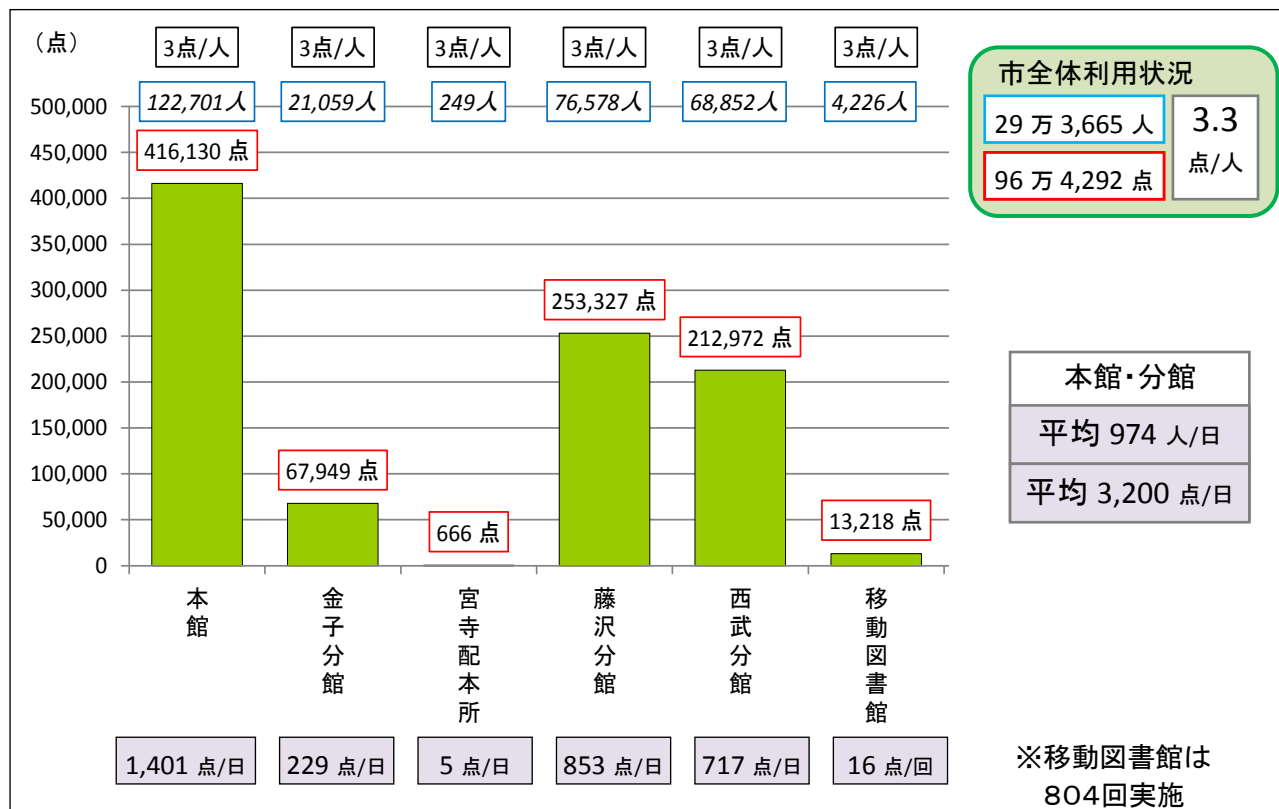


出典: 入間市の教育

■ 施設別の利用状況

平成24年度の施設別貸出点数と利用者数をみると、図書館本館が41万6,130点・12万2,701人と最も多く、次いで藤沢分館となっています。

図表 施設別 貸出点数・利用者数（平成24年度）



出典：入間市の教育

■ 図書館相互利用状況（所沢、飯能、狭山、入間）

入間市の図書館は入間市に在住・在勤・在学の方の他、所沢市、飯能市、狭山市に在住の方も利用することができます。

市外からの利用割合は金子分館の9%（1,896人）から藤沢分館の19%（1万4,338人）となっています。

図表 図書館相互利用状況（所沢市、飯能市、狭山市、入間市）（平成24年度）

	(人)						
	所沢市民	飯能市民	狭山市民	その他 (4市以外)	市外利用 者計	市外利用 者率	入間市民
本館・配本所 ・移動図書館	3,648	2,039	8,848	886	15,421	(12%)	111,755
金子分館	173	1,411	209	103	1,896	(9%)	19,163
藤沢分館	11,302	335	2,153	548	14,338	(19%)	62,240
西武分館	318	10,519	796	496	12,129	(18%)	56,723

③ 運営状況

図書館の管理運営は、全5施設が市の直営となっています。ただし、宮寺配本所は併設施設の公民館の職員が兼任しています。

平成24年度の4施設の運営人員は66人です。内訳は、一般職員が19人、再任用職員が5人、嘱託職員が1人、パート職員が41人となっています。

施設別では、本館は30人、金子分館は7人、藤沢分館は12人、西武分館は17人従事しています。

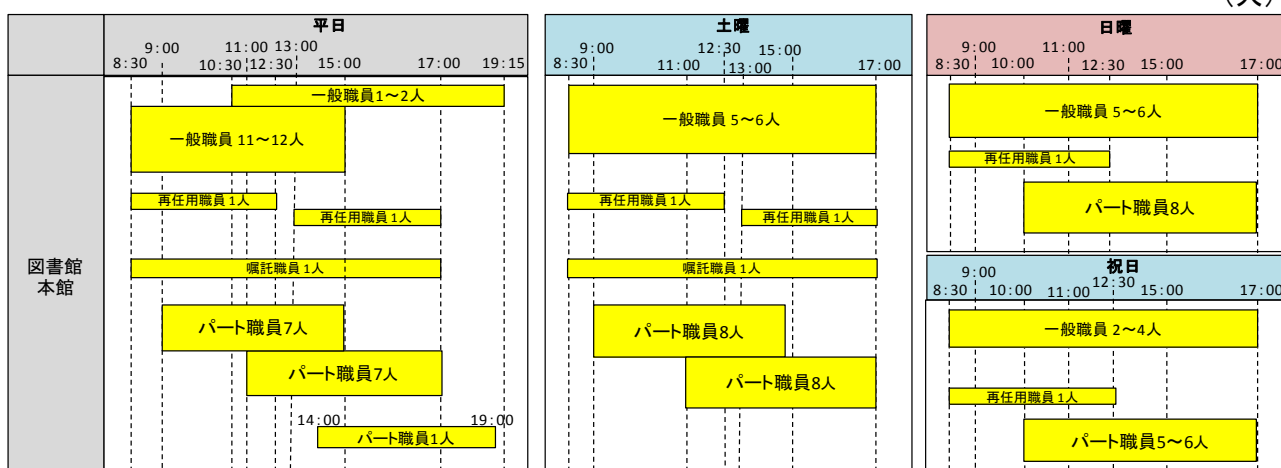
図表 運営人員 (平成24年度)

(人)

		本館	金子分館	宮寺配本所	藤沢分館	西武分館	合計
運営形態		直営	直営	直営(兼務)	直営	直営	
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	3	1	0	1	1	6
	再任用職員	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0
	パート職員	1	0	0	0	0	1
	計	4	1	0	1	1	7
事業活動に要する人員	一般職員(正規職員)	8	1	0	2	2	13
	再任用職員	2	0	0	1	2	5
	嘱託職員	1	0	0	0	0	1
	パート職員	15	5	0	8	12	40
	計	26	6	0	11	16	59
合計	一般職員(正規職員)	11	2	0	3	3	19
	再任用職員	2	0	0	1	2	5
	嘱託職員	1	0	0	0	0	1
	パート職員	16	5	0	8	12	41
	合計	30	7	0	12	17	66

図表 運営体制 (平成24年度)

(人)



④ コスト状況

図書館の4施設の年間トータルコストは、2億9,027万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は5,523万円(19%)、事業にかかるコスト(人件費・委託費等)は1億7,981万円(62%)、減価償却相当額は5,523万円(19%)です。

図書館本館、金子分館、藤沢分館では、複合先の施設が施設にかかるコストを負担しています。

図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		本館	金子分館	藤沢分館	西武分館	合計
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	11,820,000	10,765,000	10,765,000	10,765,000	44,115,000
	修繕費	0	0	0	1,437,755	1,437,755
	光熱水費	0	0	0	4,045,604	4,045,604
	委託費	0	0	0	5,097,498	5,097,498
	使用料及び賃借料	0	0	0	140,984	140,984
	その他物件費	0	0	0	392,454	392,454
	管理運営にかかるコスト	11,820,000	10,765,000	10,765,000	21,879,295	55,229,295
事業にかかるコスト	一般職員人件費	73,137,000	8,466,000	13,830,000	13,830,000	109,263,000
	嘱託職員人件費	6,465,000	0	1,931,000	3,862,000	12,258,000
	臨時職員人件費	13,472,000	3,868,000	8,420,000	10,104,000	35,864,000
	委託費	0	0	0	1,290,366	1,290,366
	使用料及び賃借料	0	0	0	217,996	217,996
	車両・備品購入費	9,032,305	2,057,162	3,457,286	3,457,286	18,004,039
	その他物件費	1,127,841	385,741	660,438	737,076	2,911,096
	事業にかかるコスト	103,234,146	14,776,903	28,298,724	33,498,724	179,808,497
現金収支を伴うコスト 計	115,054,146	25,541,903	39,063,724	55,378,019	235,037,792	
【収入の部】						
収入	使用料収入	0	0	0	418,419	418,419
	諸収入	0	0	0	36,950	36,950
収入の合計		0	0	0	455,369	455,369
II. 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	29,124,000	2,462,160	6,687,840	16,960,800	55,234,800
III. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)		144,178,146	28,004,063	45,751,564	72,338,819	290,272,592
収支差額(ネットコスト)		144,178,146	28,004,063	45,751,564	71,883,450	289,817,223

※図書館本館の光熱水費等は産業文化センターに含まれます

※金子分館・藤沢分館の光熱水費等は公民館に含まれます

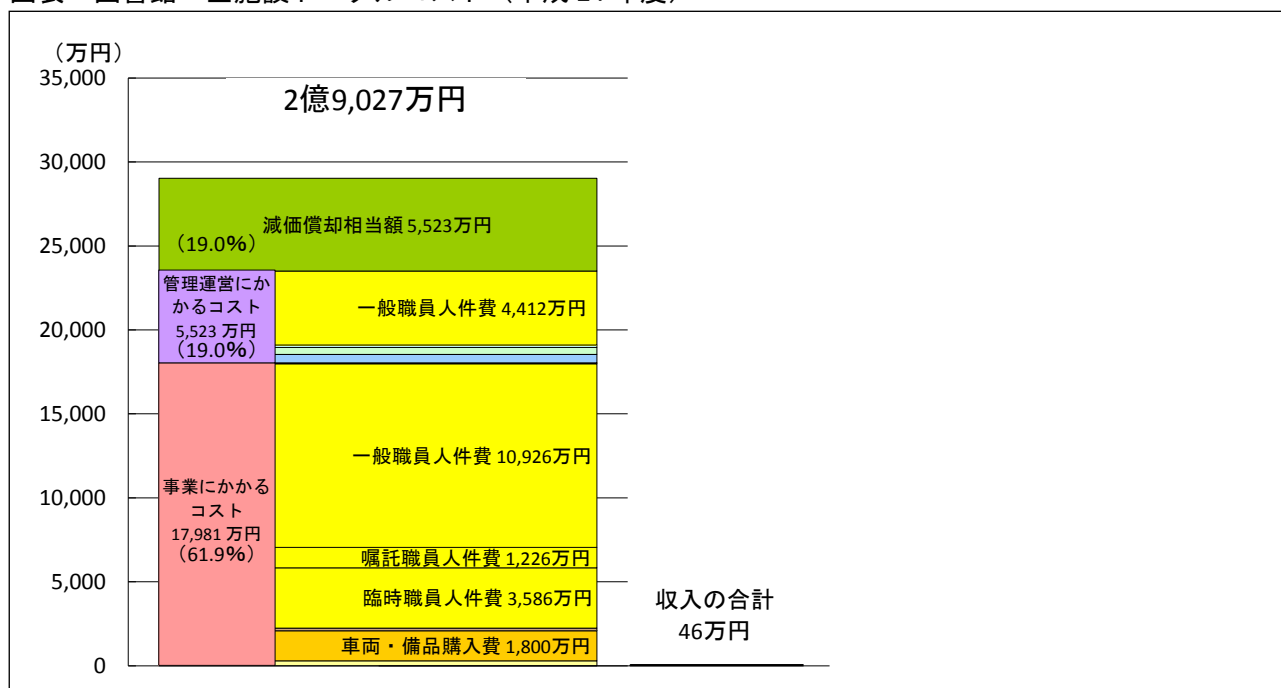
職員人件費は合計 2 億 150 万円で、トータルコストの約 69%を占めています。

管理運営にかかるコストのうち、人件費は 4,412 万円でトータルコストの約 15%となっています。

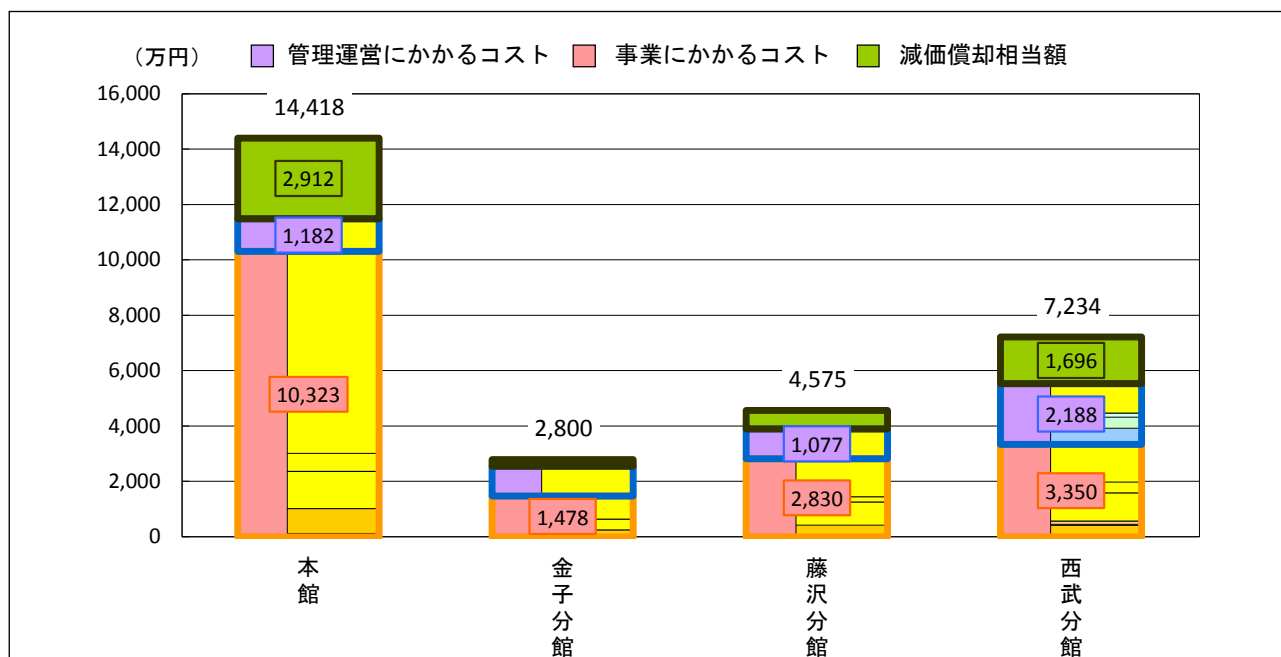
事業にかかるコストのうち、人件費は 1 億 5,739 万円でトータルコストの約 54%となっています。

施設別トータルコストでは、金子分館 2,800 万円から図書館本館 1 億 4,418 万円となっています。

図表 図書館 全施設トータルコスト（平成 24 年度）



図表 図書館 施設別トータルコスト（平成 24 年度）

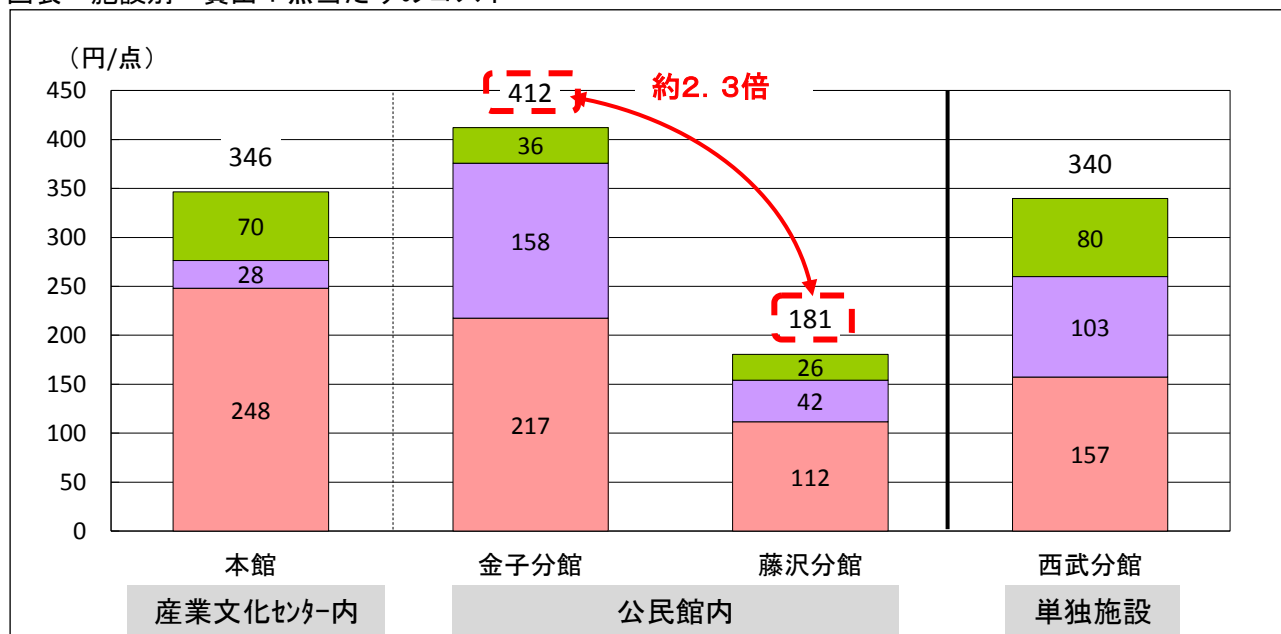


3) 評価・分析

■ 利用1件当たりのコスト

年間貸出点数とトータルコストから、貸出1件当たりにかかるコストを算出すると、藤沢分館の181円/点から金子分館の412円/点となっています。

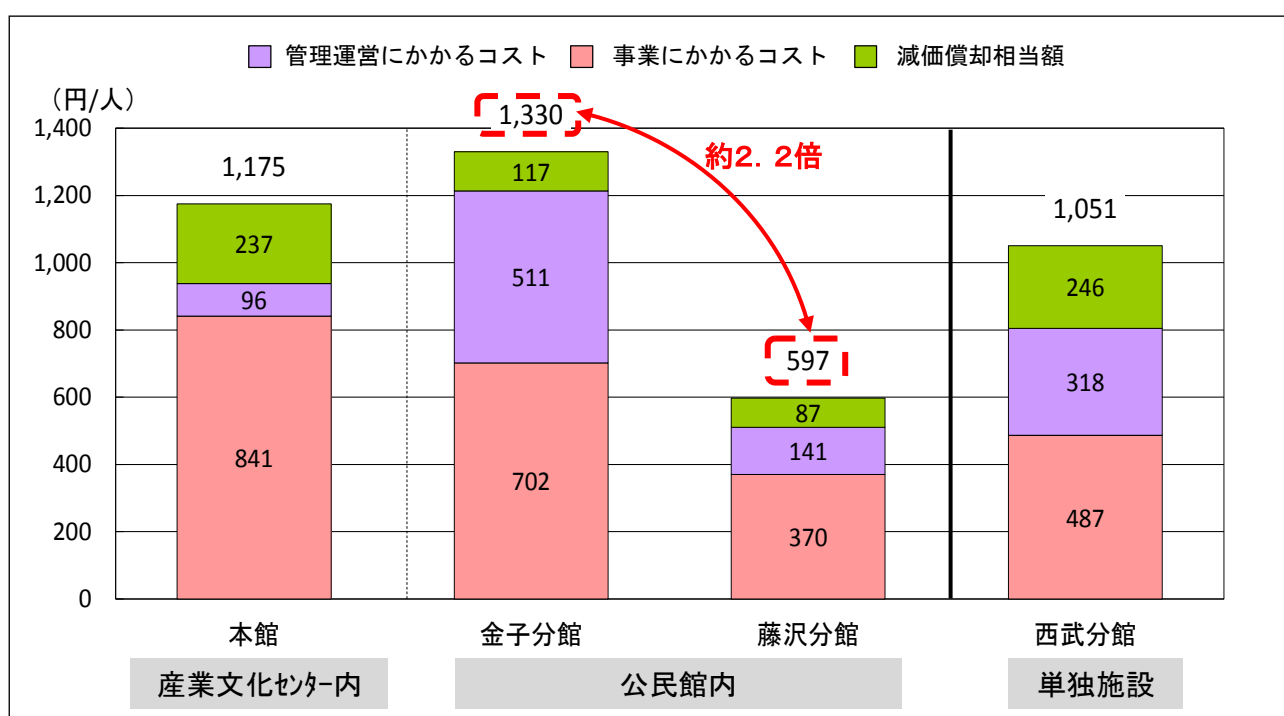
図表 施設別 貸出1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、藤沢分館の597円/人から金子分館の1,330円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



(10) 小学校・中学校

1) 施設概要

① 施設一覧

本市には、小学校 16 校、中学校 11 校の合計 27 校が設置されています。

設置目的：学校教育の内容や教育体制の充実、地域の人材・教材や文化等の活用、より良い教育環境の整備を図ることなどを通じて、豊かな人間性をもった子どもが育成できる社会、将来を担う子どもたちが生きる力を育み、生き生きと成長できる社会を実現することを目的とする

図表 施設一覧

(平成 26 年 4 月 6 日現在)

地区	名称	所在地	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	構造 (体育館)	児童生徒数 (人)	学級数 (学級)	耐震化未実施	備考		
小学校	豊岡	第一 1 扇小学校	久保稲荷4-1195-2	22,839.38	6,920.00	昭和49	RC造	S造	826	26	体育館		
		第二	2 豊岡小学校	向陽台1-1-14	27,766.25	7,235.00	昭和58	RC造	S造	511	18		
			3 東町小学校	向陽台2-1009-3	28,000.19	7,220.00	昭和55	RC造	S造	483	17	特別教室棟	
			4 藤沢北小学校	東町7-1-19	19,538.18	5,796.00	昭和53	RC造	S造	681	22	体育館	
		第三	5 黒須小学校	春日町2-14-60	13,935.18	6,253.00	昭和47	RC造	S造	442	15	体育館	
			6 高倉小学校	高倉4-14-7	21,116.31	5,961.00	昭和59	RC造	S造	357	14		
	東金子	7 東金子小学校	小谷田1524	23,908.62	6,157.00	昭和43	RC造	S造	344	14	体育館	平成6年に部分改修実施	
		8 新久小学校	新久500	23,220.37	5,912.00	昭和55	RC造	S造	306	12			
	金子	9 金子小学校	西三ツ木150	18,261.28	4,944.00	昭和40	RC造	RC造	482	17		平成18年に部分改修実施	
		二宮寺木・	10 宮寺小学校	宮寺594-1	11,747.73	4,150.00	昭和41	RC造	S造	238	10	体育館	平成3年に部分改修実施
	11 狭山小学校		二本木65	21,190.90	4,802.00	昭和46	RC造	S造	489	17			
	藤沢	第一	12 藤沢小学校	上藤沢384	20,130.34	6,546.00	昭和40	RC造	S造	523	19		平成元年に部分改修実施
			13 藤沢南小学校	上藤沢52	21,324.00	5,890.00	昭和46	RC造	S造	509	17	体育館	平成9年に部分改修実施
		第二	14 藤沢東小学校	東藤沢7-9-1	17,790.00	6,531.00	昭和50	RC造	S造	694	21	体育館	
	西武	15 西武小学校	野田512	19,715.82	5,970.00	昭和41	RC造	S造	742	24	体育館		
		16 仏子小学校	仏子165	23,313.29	6,271.00	昭和55	RC造	S造	318	12			
小学校合計			333,797.84	96,558.00				7,945	275	9棟			
中学校	豊岡	第一 1 向原中学校	久保稲荷3-34-1	29,460.00	6,191.00	昭和52	RC造	S造	530	15	体育館		
		第二	2 豊岡中学校	向陽台2-1-20	27,824.31	9,321.00	昭和59	RC造	RC造	416	13		
			3 東町中学校	向陽台2-1-22	28,010.92	7,217.00	昭和62	RC造	S造	232	8		
		第三	4 黒須中学校	鍵山3-13-17	29,088.00	5,683.00	昭和54	RC造	S造	277	9	体育館	
	東金子	5 東金子中学校	小谷田451-1	29,705.21	6,825.00	昭和57	RC造	S造	341	11			
	金子	6 金子中学校	西三ツ木187	24,218.55	6,816.00	昭和60	RC造	RC造	276	9			
	宮寺・二本木	7 武蔵中学校	宮寺3193	28,031.96	5,568.00	平成25	RC造	S造	343	10	体育館	平成6年に部分改修実施	
		藤沢	8 上藤沢中学校	上藤沢146-2	27,193.41	6,937.00	昭和58	RC造	S造	434	12		
	9 藤沢中学校		下藤沢1263-1	25,690.94	6,890.00	昭和39	RC造	S造	586	18		平成3年に部分改修実施	
	西武	10 西武中学校	仏子960-1	31,672.42	6,371.00	昭和44	RC造	S造	189	8		平成7年に部分改修実施	
		11 野田中学校	野田1741	30,690.30	7,603.00	平成1	RC造	S造	377	12			
中学校合計			311,586.02	75,422.00				4,001	125	3棟			
合計			645,383.86	171,980.00				11,946	400	12棟			

平成 27 年度
までにすべての
耐震化対応
工事実施予定

体育館 : 耐震化未実施の赤ハッチは、耐震化工事未実施の棟を示す 出典：平成 26 年度 入間市の教育
昭和○ : 建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築 30 年以上）を示す

② 配置状況及び地区別児童生徒数推計

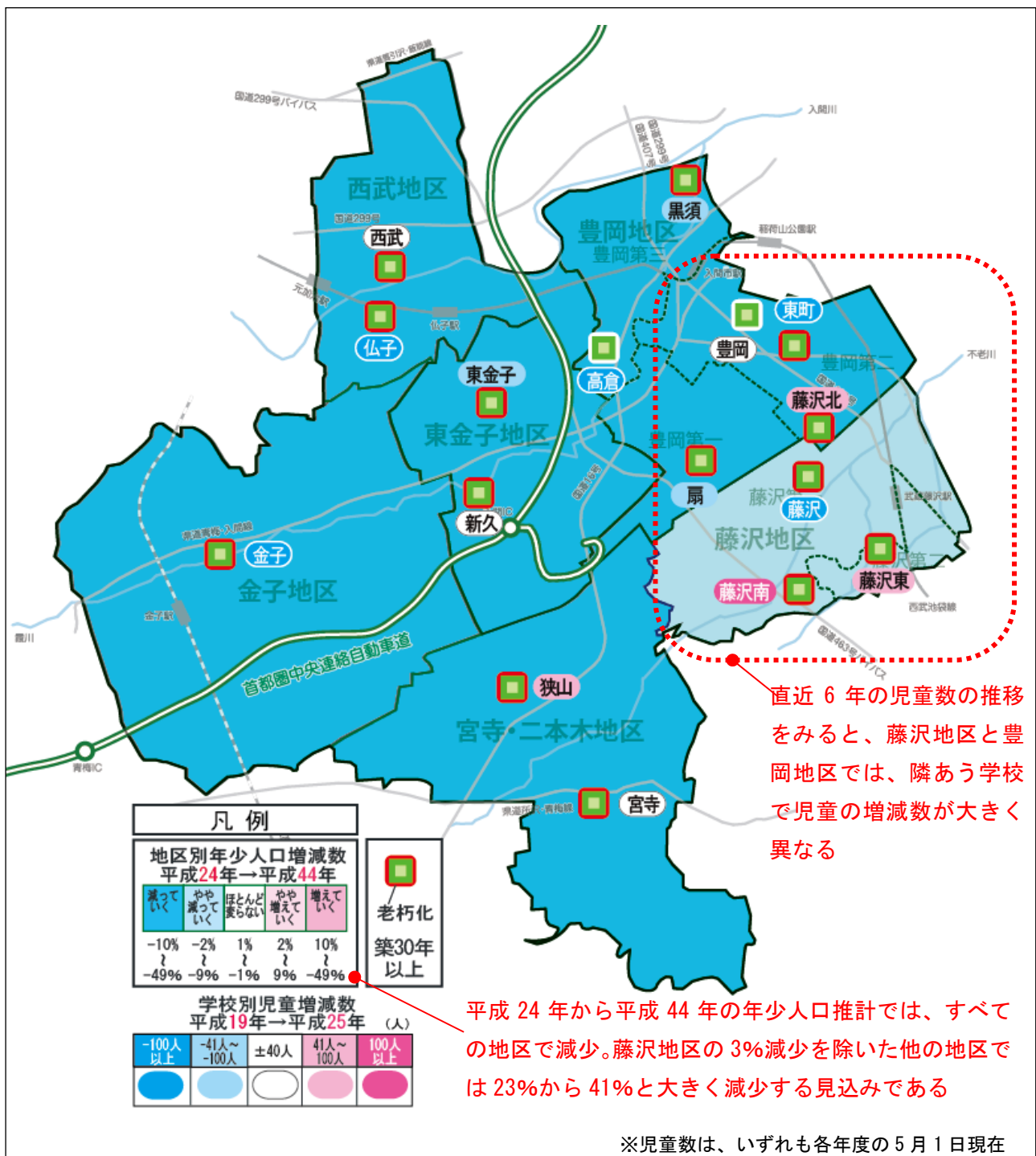
本市6地区9地区の小学校は、地区ごとに1から2校配置されています。

平成24年から平成44年の地区別年少人口の変化をみると、藤沢地区の3%減少を除いた5地区は23%から41%と大幅な減少予測となっています。

直近6年間(平成19年から平成25年)の学校別の児童生徒数も減少する学校が多くなっており、黒須小、扇小、東金子小、東町小、高倉小、金子小、仏子小、藤沢小は73人から166人減少しています。

また豊岡、宮寺・二本木、藤沢地区の一部の学校では、児童数が増加しており、藤沢南小学校は直近6年間で142人増加しています。

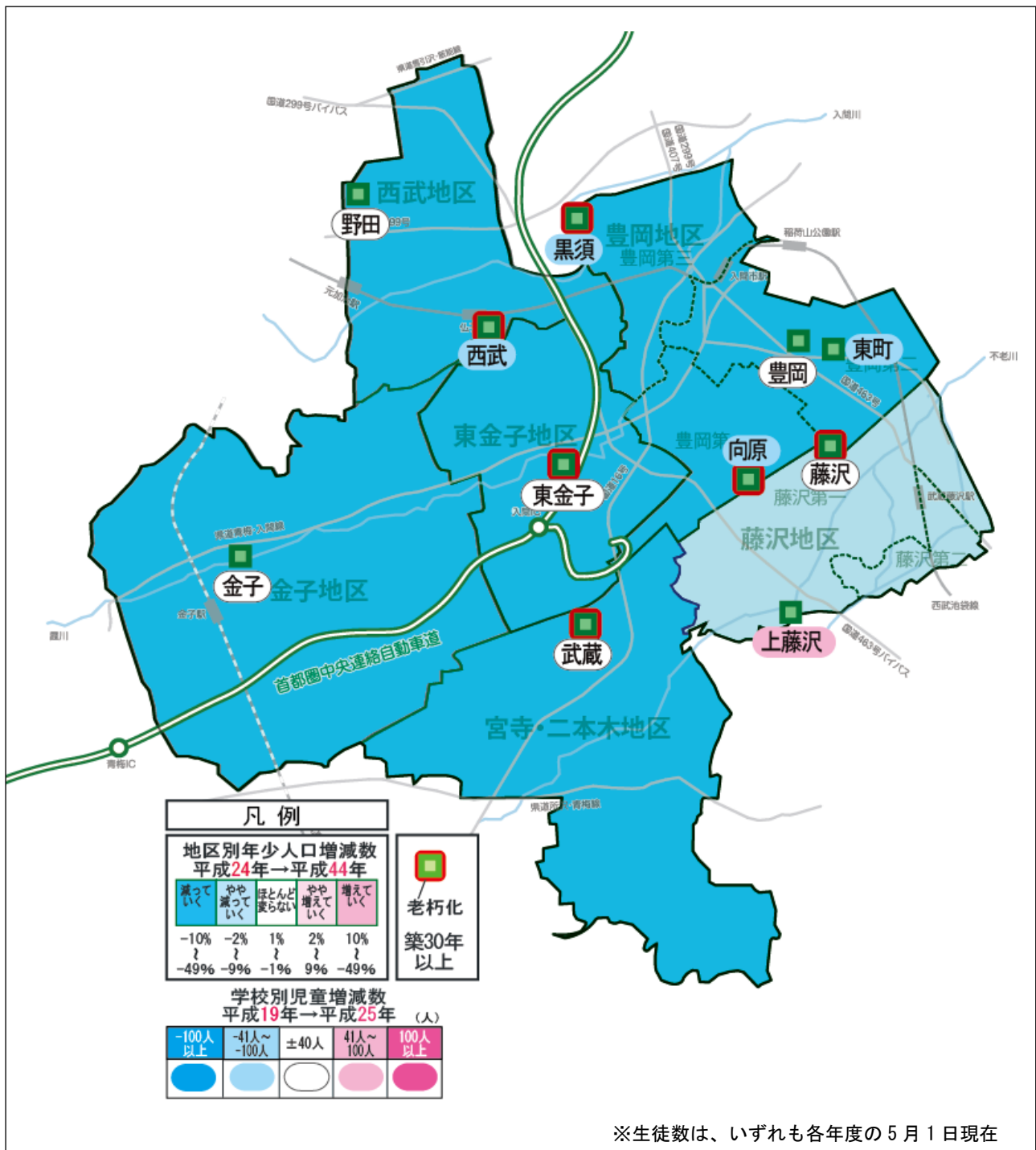
図表 小学校児童数の推計(平成19年-平成25年)及び地区別年少人口推計(平成24年-平成44年)



中学校は、1地区ごとに1から2校配置されています。

藤沢地区の藤沢第一地区の上藤沢中は直近6年間で45人増加しています。黒須中、西武中、東町中、向原中は、直近6年間で56人から86人減少しています。

図表 中学校生徒数の推計（平成19年-平成25年）及び地区別年少人口推計（平成24年-平成44年）



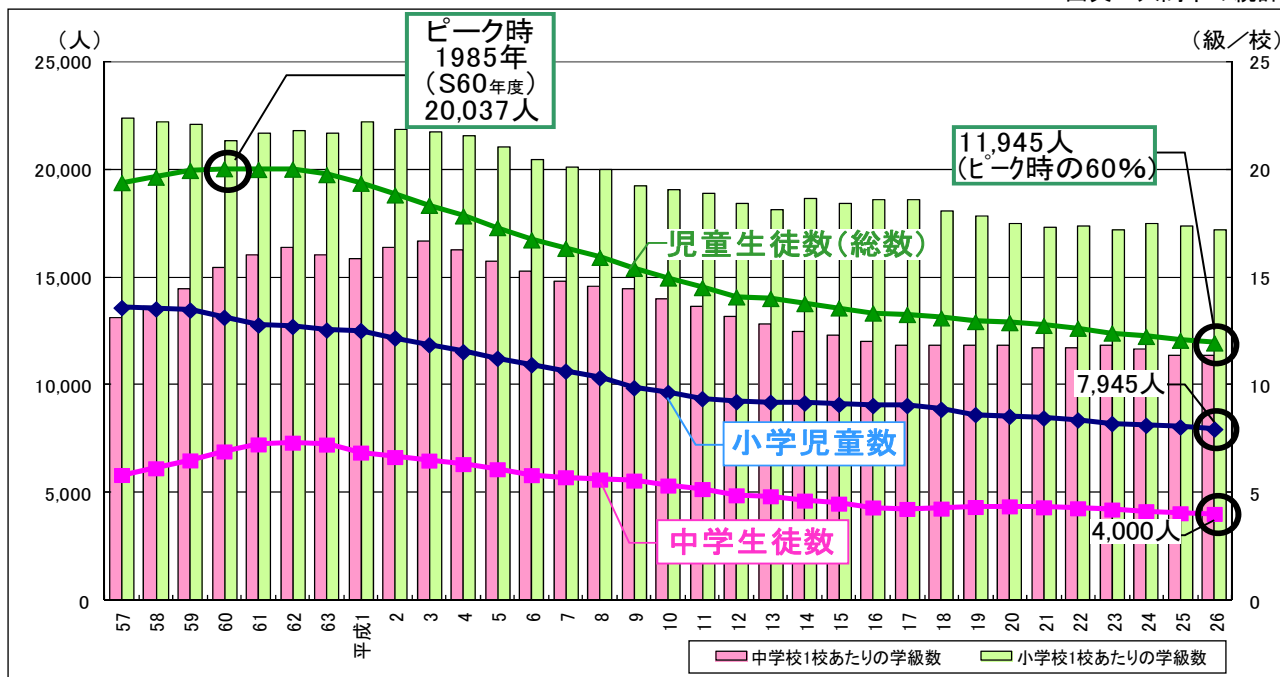
2) 実態把握

① 児童生徒数及び学級数の状況

児童生徒数及び学級数の状況を見ると、小中学校の児童生徒数は、昭和60年度の2万37人をピークに現在まで減少が続いており平成26年5月1日時点では、1万1,945人とピーク時の約60%となっています。今後も児童生徒数は、減少が見込まれています。

図表 児童生徒数の推移

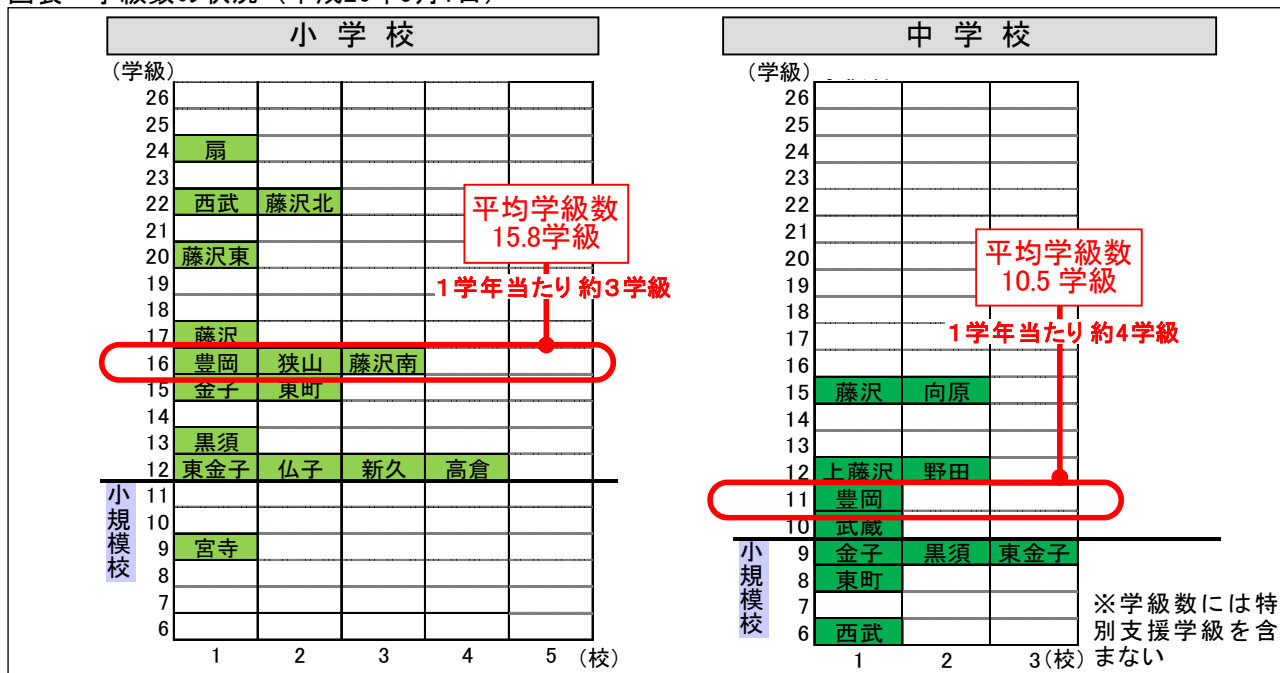
出典：入間市の統計



1校当たりの通常学級数の平均学級数をみると、昭和60年度で小学校20.4学級、中学校15.2学級であったのに対し、平成26年度では、小学校15.8学級、中学校10.5学級と、児童生徒数の減少の割合に比べ、通常学級数の変化は、小中学校ともに5学級程度の減少となっています。

平成26年度学校別通常学級数では、11学級以下の学校が、小学校で1校(約6%)、9学級以下の学校が中学校で5校(約45%)となっており、小学校と中学校では1校当たりの学級数に違いが見られます。

図表 学級数の状況(平成26年5月1日)

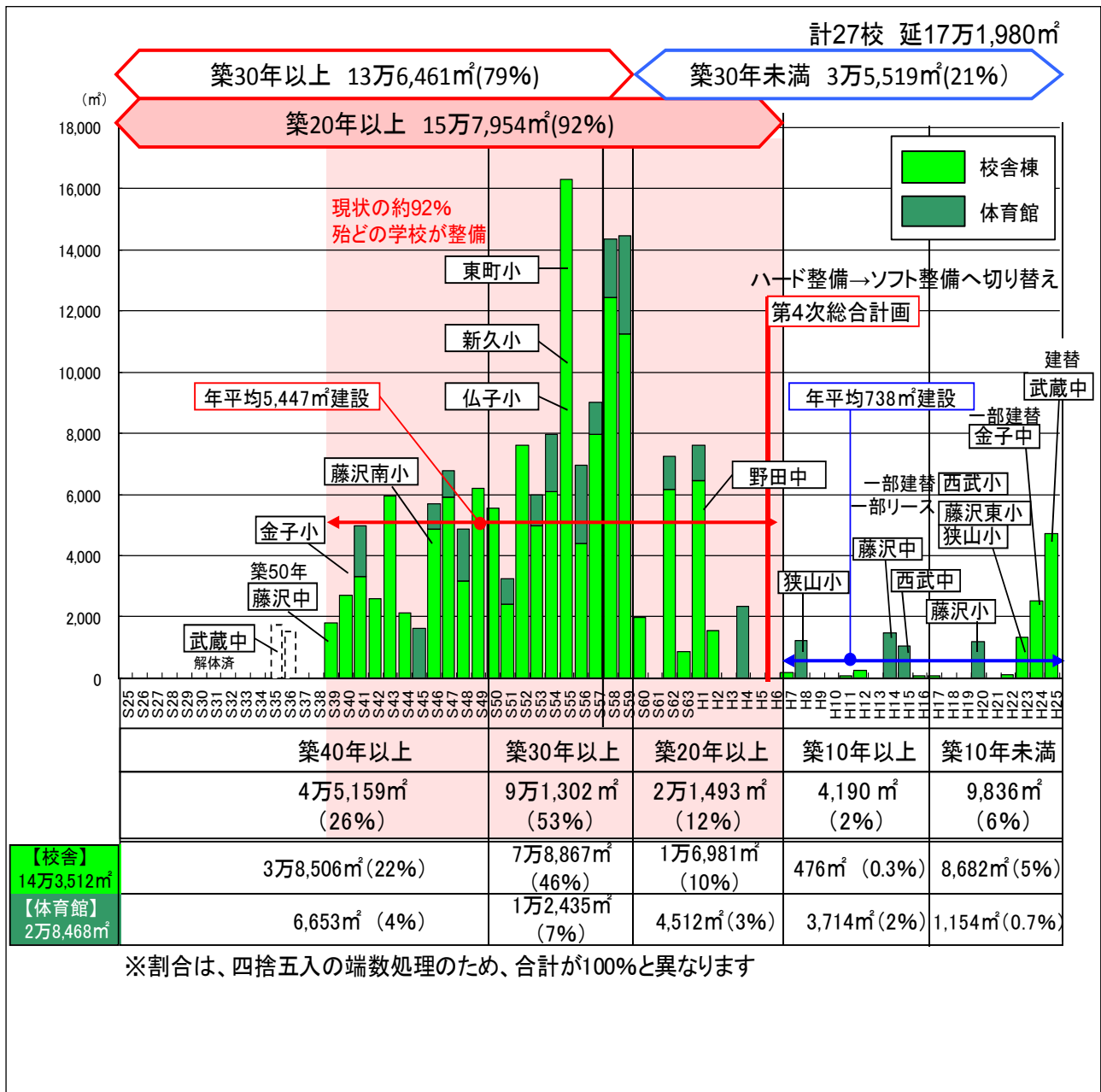


② 施設の整備状況及び耐震状況

小学校・中学校の施設の整備状況は、昭和39年から平成4年の約29年間に、全体の約92%の施設が建設されています。この期間に毎年約5,447㎡建設されていた事になります。平成6年の第4次総合振興計画策定以降は、体育館の建替え整備が続き平成23年より耐震化対策として一部校舎の建替え、平成25年度は武蔵中の体育館を除く全校舎の建替えをしています。この期間は、平均すると年約738㎡建設されています。

また、昭和59年以前に建設された施設は、築30年以上が経過しており、早急に大規模改修等の対応が必要な施設が13万6,461㎡、約79%となっています。

図表 築年別整備状況



■ 小学校の建物総合評価結果

平成 25 年度の小学校 16 校の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応				
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等
1	扇小学校	昭和49	6,920	実施済	39		39	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
2	豊岡小学校	昭和58	7,235	—	30		30	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
3	東町小学校	昭和55	7,220	診断済	33		33	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
4	藤沢北小学校	昭和53	5,796	実施済	35		35	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
5	黒須小学校	昭和47	6,253	実施済	41		41	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
6	高倉小学校	昭和59	5,961	—	29		29	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
7	東金子小学校	昭和43	6,157	実施済	45		45	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
8	新久小学校	昭和55	5,912	実施済	33		33	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○
9	金子小学校	昭和40	4,944	実施済	48		48	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
10	宮寺小学校	昭和41	4,150	実施済	47		47	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
11	狭山小学校	昭和46	4,802	実施済	42		42	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×
12	藤沢小学校	昭和40	6,546	実施済	48		48	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
13	藤沢南小学校	昭和46	5,890	実施済	42		42	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
14	藤沢東小学校	昭和50	6,531	実施済	38		38	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×
15	西武小学校	昭和41	5,970	実施済	47		47	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○
16	仏子小学校	昭和55	6,271	実施済	33		33	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
合計・平均			96,558														

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済 = ○
	未実施 = ×
	不要 = —

東町小学校は、耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。ただし、耐震診断は実施済です。(パターン①)

扇小学校をはじめ 15 校は、耐震性能は確保されているものの、老朽化が進行しており建替えまたは大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

※扇小学校をはじめ 9 校は、体育館、特別教室棟の耐震化対応が未実施となっていますが、平成 27 年度までに耐震化対応工事を完了する予定です。

高倉小学校は、新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

評価	パターン① 耐震性 老朽化	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化
	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 東町小学校 昭和55</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 蕨小学校 昭和49 豊岡小学校 昭和58 藤沢北小学校 昭和53 黒須小学校 昭和47 東金子小学校 昭和43 新久小学校 昭和55 金子小学校 昭和40 宮寺小学校 昭和41 狭山小学校 昭和46 藤沢小学校 昭和40 藤沢南小学校 昭和46 藤沢東小学校 昭和50 西武小学校 昭和41 仏子小学校 昭和55</p> <p>< 14 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 高倉小学校 昭和59</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・東町小学校の特別教室棟は旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。 ※平成27年度までに耐震化工事予定</p>	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>

■ 中学校の建物総合評価結果

平成25年度の中学校11校の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応				
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	大規模改修または経過年数	エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギーの導入	屋上・壁面緑化等
1	向原中学校	昭和52	6,284	実施済	36		36	×	×	×	×	○	×	×	×	×
2	豊岡中学校	昭和59	9,321	—	29		29	×	○	×	×	○	×	×	×	×
3	東町中学校	昭和62	7,217	—	26		26	×	○	×	×	○	×	×	×	×
4	黒須中学校	昭和54	5,608	—	34		34	○	○	○	×	○	×	×	×	×
5	東金子中学校	昭和57	6,825	—	31		31	×	×	×	×	○	×	×	×	×
6	金子中学校	昭和60	6,781	—	28		28	○	○	○	×	○	○	○	×	○
7	武蔵中学校	平成25	5,568	—	0		0	○	○	○	×	○	○	○	×	○
8	上藤沢中学校	昭和58	6,937	—	30		30	×	×	×	×	○	×	×	×	×
9	藤沢中学校	昭和39	6,879	実施済	49		49	×	○	×	×	○	×	×	×	×
10	西武中学校	昭和44	6,346	実施済	44		44	×	○	×	×	○	×	×	×	×
11	野田中学校	平成1	7,603	—	24		24	×	○	×	×	○	×	×	×	○
合計・平均			75,369													

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 =×
	不要 ⇒—

向原中学校をはじめ6校は、耐震性能は確保されているものの、老朽化が進行しており建替えまたは大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

※向原中学校をはじめ3校は、体育館の耐震化対応が未実施となっていますが、平成27年度までに耐震化対応工事を完了する予定です。

豊岡中学校をはじめ4校は、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

武蔵中学校は、新しい施設であり、現行基準に適合しています。また、環境対応についても、一部を除き対応しています。(パターン④)

	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応																												
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p>																												
該当施設	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>向原中学校</td><td>昭和52</td></tr> <tr><td>黒須中学校</td><td>昭和54</td></tr> <tr><td>東金子中学校</td><td>昭和57</td></tr> <tr><td>上藤沢中学校</td><td>昭和58</td></tr> <tr><td>藤沢中学校</td><td>昭和39</td></tr> <tr><td>西武中学校</td><td>昭和44</td></tr> </tbody> </table> <p>< 6 施設 ></p>	該当施設	建築年度	向原中学校	昭和52	黒須中学校	昭和54	東金子中学校	昭和57	上藤沢中学校	昭和58	藤沢中学校	昭和39	西武中学校	昭和44	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>豊岡中学校</td><td>昭和59</td></tr> <tr><td>東町中学校</td><td>昭和62</td></tr> <tr><td>金子中学校</td><td>昭和60</td></tr> <tr><td>野田中学校</td><td>平成1</td></tr> </tbody> </table> <p>< 4 施設 ></p>	該当施設	建築年度	豊岡中学校	昭和59	東町中学校	昭和62	金子中学校	昭和60	野田中学校	平成1	<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当施設</th> <th>建築年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>武蔵中学校</td><td>平成25</td></tr> </tbody> </table> <p>< 1 施設 ></p>	該当施設	建築年度	武蔵中学校	平成25
該当施設	建築年度																														
向原中学校	昭和52																														
黒須中学校	昭和54																														
東金子中学校	昭和57																														
上藤沢中学校	昭和58																														
藤沢中学校	昭和39																														
西武中学校	昭和44																														
該当施設	建築年度																														
豊岡中学校	昭和59																														
東町中学校	昭和62																														
金子中学校	昭和60																														
野田中学校	平成1																														
該当施設	建築年度																														
武蔵中学校	平成25																														
コメント	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>																												

■ スペース構成

小学校のスペース構成として、人口増加時期の同時期に建築された西武小と藤沢小、藤沢南小を比較しました。

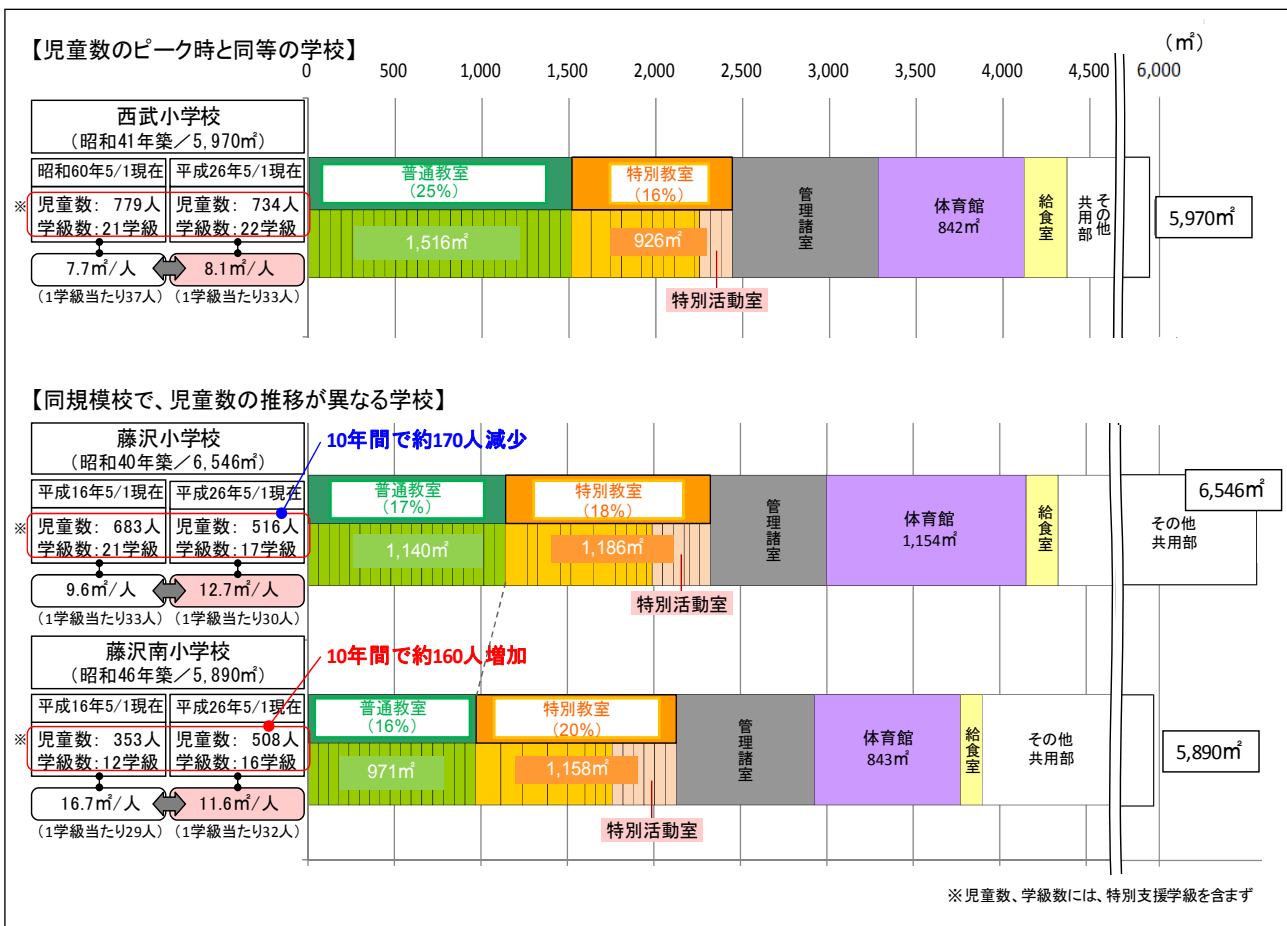
西武小は、市の児童生徒数がピークであった昭和60年度と現在の児童数がほぼ同等である特徴があります。普通教室の延床面積は、1,516㎡で学校全体面積の約25%となっています。

藤沢地区第一地区の藤沢小と藤沢南小は児童数と学級数が同規模であり、直近10年では藤沢小は約170人の減少、藤沢南小は約160人増加している特徴があります。

藤沢小は、直近10年で1人当たりの面積が約3㎡増加しており、普通教室等の延床面積は、1,140㎡で、学校全体面積の約17%となっています。

藤沢南小は、直近10年で1人当たりの面積が約5㎡減少しており、普通教室等の延床面積971㎡で、学校全体面積の約16%となっています。

図表 スペース構成比較（小学校）



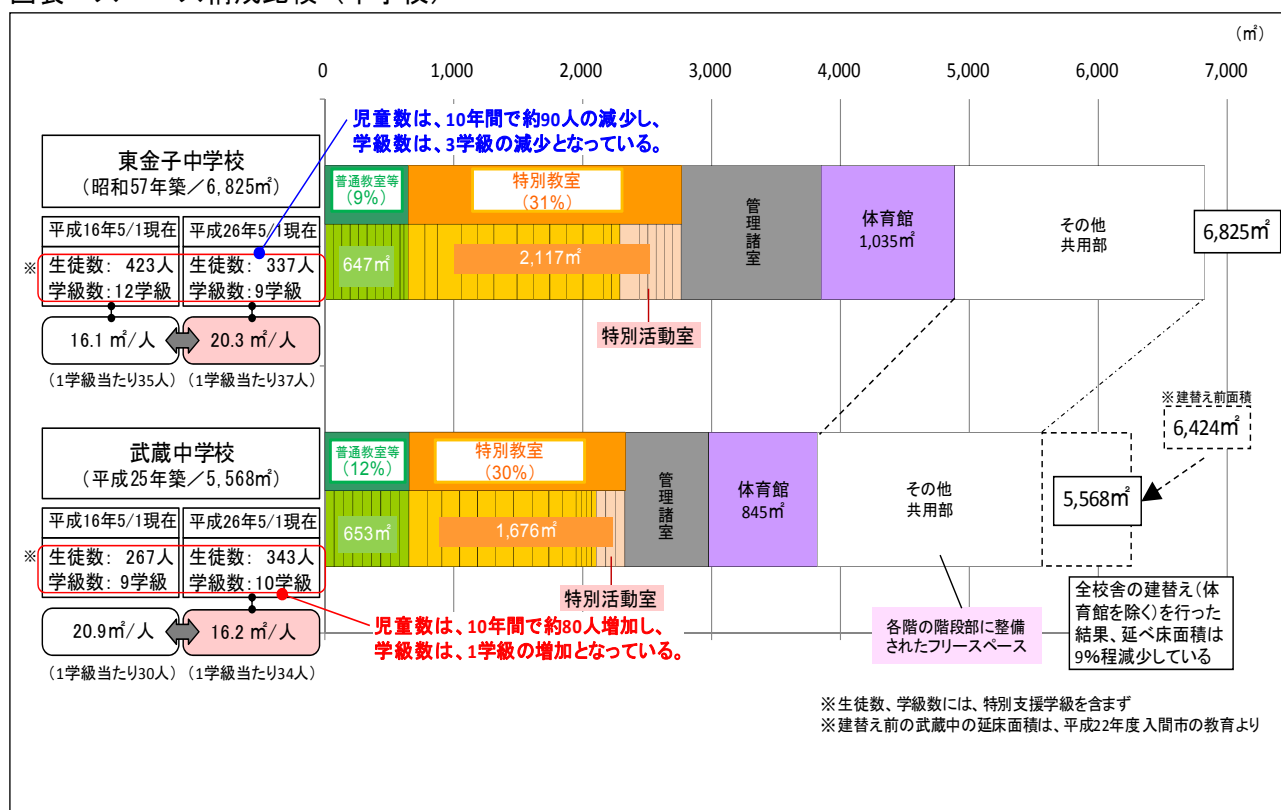
中学校のスペース構成として、平成25年に建替を行った武蔵中と、生徒数が同等規模であり、かつ人口増加時期に建設された東金子中を比較しました。

東金子中は、直近10年で生徒数が約90人減少しています。また普通教室の延床面積は、647㎡(約9%)となっています。

武蔵中は、直近10年間で生徒数が約80人増加し片廊下タイプから校舎内にホールを設けたタイプの校舎となっており、建替え前の6,424㎡から5,568㎡へ減床しています。また普通教室の延床面積は、653㎡(約12%)となっています。

両校では、建築時の整備状況が異なっているため、生徒1人当たりの保有面積は、東金子中は20.3㎡/人、武蔵中は16.2㎡/人となっています。

図表 スペース構成比較 (中学校)



③ 学校開放等の状況

本市では、学校開放事業として、小中学校の校庭と体育館を学校教育に支障のない範囲で、スポーツ活動を行う市民の団体等に開放しています。

図表 学校開放施設一覧

◎小学校体育館

地区名	学校名	平日	土曜	日曜・休日
豊岡	豊岡小学校	午後6:00～午後9:30	正午～午後9:30	午前8:00～午後5:00
	扇小学校	〃	〃	〃
	東町小学校	〃	〃	〃
	高倉小学校	〃	〃	〃
黒須	黒須小学校	〃	〃	〃
東金子	東金子小学校	〃	〃	〃
	新久小学校	〃	〃	〃
宮寺	宮寺小学校	〃	〃	午前8:00～午後9:30
二本木	狭山小学校	〃	〃	午前8:00～午後5:00
藤沢	藤沢小学校	午後6:00～午後9:00	正午～午後9:00	〃
	藤沢東小学校	午後6:00～午後9:30	正午～午後9:30	〃
	藤沢南小学校	〃	〃	〃
	藤沢北小学校	〃	〃	〃
西武	西武小学校	〃	〃	〃
	仏子小学校	〃	〃	〃
金子	金子小学校	〃	〃	〃

◎中学校体育館

地区名	学校名	平日	土曜	日曜・休日
豊岡	豊岡中学校	午後6:30～午後9:30	午後6:30～午後9:30	-
	向原中学校	〃	〃	午後6:30～午後9:30 (祝日は貸出なし)
	東町中学校	〃	〃	-
東金子	東金子中学校	午後7:00～午後9:30	午後7:00～午後9:30	-
藤沢	藤沢中学校	〃	〃	-
宮寺	武蔵中学校	午後6:30～午後9:30	午後6:30～午後9:30	-
西武	西武中学校	〃	〃	-
金子	金子中学校	〃	〃	-

図表 校庭・体育館開放時間

◎小学校校庭

地区名	学校名	土曜	日曜・休日
豊岡	豊岡小学校	正午～日没	日の出～日没
	扇小学校	開放していない	
	東町小学校	正午～日没	日の出～日没
	高倉小学校	〃	〃
黒須	黒須小学校	〃	〃
東金子	東金子小学校	〃	〃
	新久小学校	〃	〃
宮寺	宮寺小学校	〃	〃
二本木	狭山小学校	〃	〃
藤沢	藤沢小学校	開放していない	
	藤沢東小学校	正午～日没	日の出～日没
	藤沢南小学校	〃	〃
	藤沢北小学校	〃	〃
西武	西武小学校	開放していない	
	仏子小学校	正午～日没	日の出～日没
金子	金子小学校	〃	〃

◎中学校校庭

地区名	学校名	平日・土曜	日曜・休日
西武	西武中学校	午後7:00～午後9:30	日の出～午前7:30及び 午後7:00～午後9:30
金子	金子中学校	-	日の出～日没

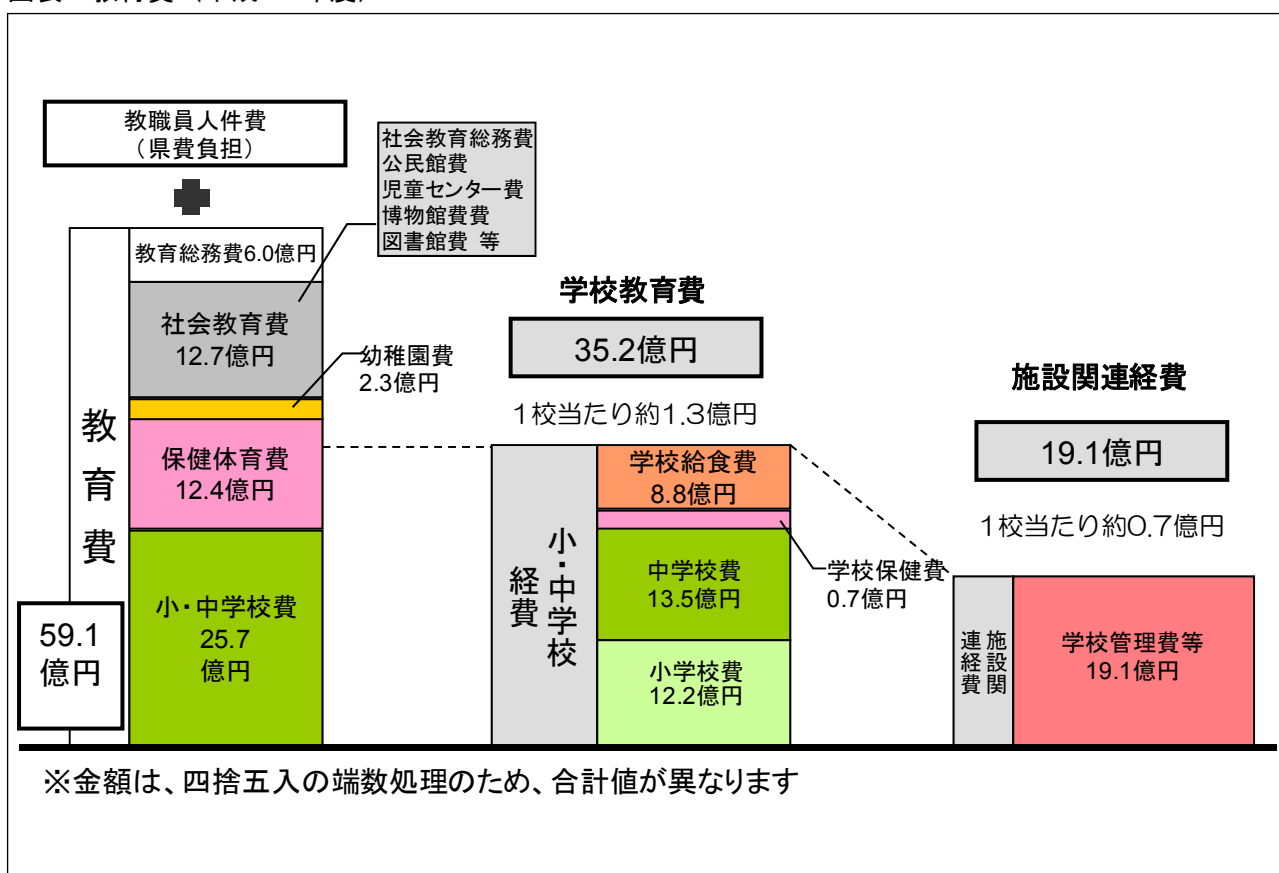
④ コスト状況

■ 教育費の状況

平成 24 年度決算による教育費は、約 59.1 億円（一般会計歳出の約 15%）です。内訳は、小・中学校費 25.7 億円、保健体育費 12.4 億円、社会教育費 12.7 億円等となっています。教育費のうち、光熱水費・保守点検費・建設整備費等の施設に関する「施設関連経費」は、約 19.1 億円（教育費の約 32%）で、1 校当たり約 7 千万円となっています。

施設関連経費には武蔵中と金子中の改築工事分が含まれているため、例年より多くなっています。

図表 教育費（平成 24 年度）



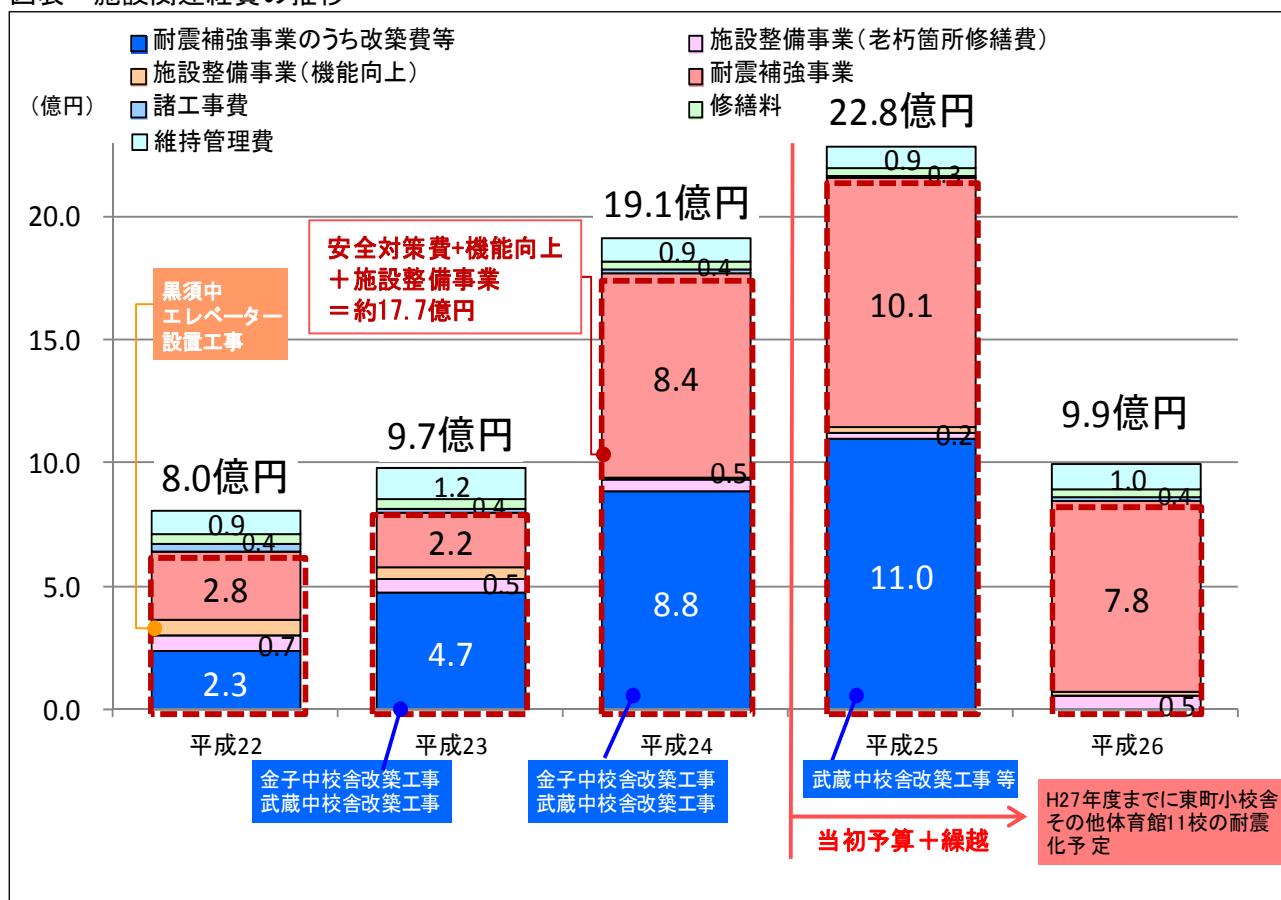
出典：平成 24 年度一般会計決算書

■ 施設関連経費の状況

平成 24 年度の施設関連経費約 19.1 億円の内訳は、耐震補強事業費のうち校舎等の改築・増築工事費等の整備費が 8.8 億円（施設関連経費の約 46%）、耐震補強事業費が約 8.4 億円（約 44%）、施設整備事業のうち老朽箇所修繕費が 0.5 億円（約 2%）となっています。

平成 22 年度から平成 26 年度の推移をみると、改築・増築工事費等の整備費として平成 23 年度から平成 24 年度は金子中校舎改築工事として、平成 23 年度から平成 25 年度は、武蔵中校舎改築工事費として施設関連経費を使用しています。また平成 27 年度までに東町小学校特別教室棟とその他 11 校の体育館の耐震化工事を予定しています。

図表 施設関連経費の推移



入間市決算項目		平成22	平成23	平成24	平成25	平成26
経常的経費	維持管理費	94,255,535	120,801,130	94,328,089	92,943,000	95,395,000
	修繕料	40,870,422	41,792,303	36,923,895	27,773,000	36,720,000
	諸工事費	28,849,343	12,954,721	11,017,229	7,962,000	11,538,000
	小計	163,975,300	175,548,154	142,269,213	128,678,000	143,653,000
安全対策費	耐震補強事業	282,143,400	222,846,750	835,320,445	1,009,460,000	779,533,000
整備費	耐震補強事業のうち改築費等	231,289,800	472,939,900	879,473,300	1,098,172,000	0
機能向上	施設整備事業	57,563,730	51,667,506	8,219,085	24,591,000	17,334,000
施設整備事業	老朽箇所修繕費	67,277,700	49,131,390	46,177,278	22,540,000	47,738,000
小計		638,274,630	796,585,546	1,769,190,108	2,154,763,000	844,605,000
合計		802,249,930	972,133,700	1,911,459,321	2,283,441,000	988,258,000

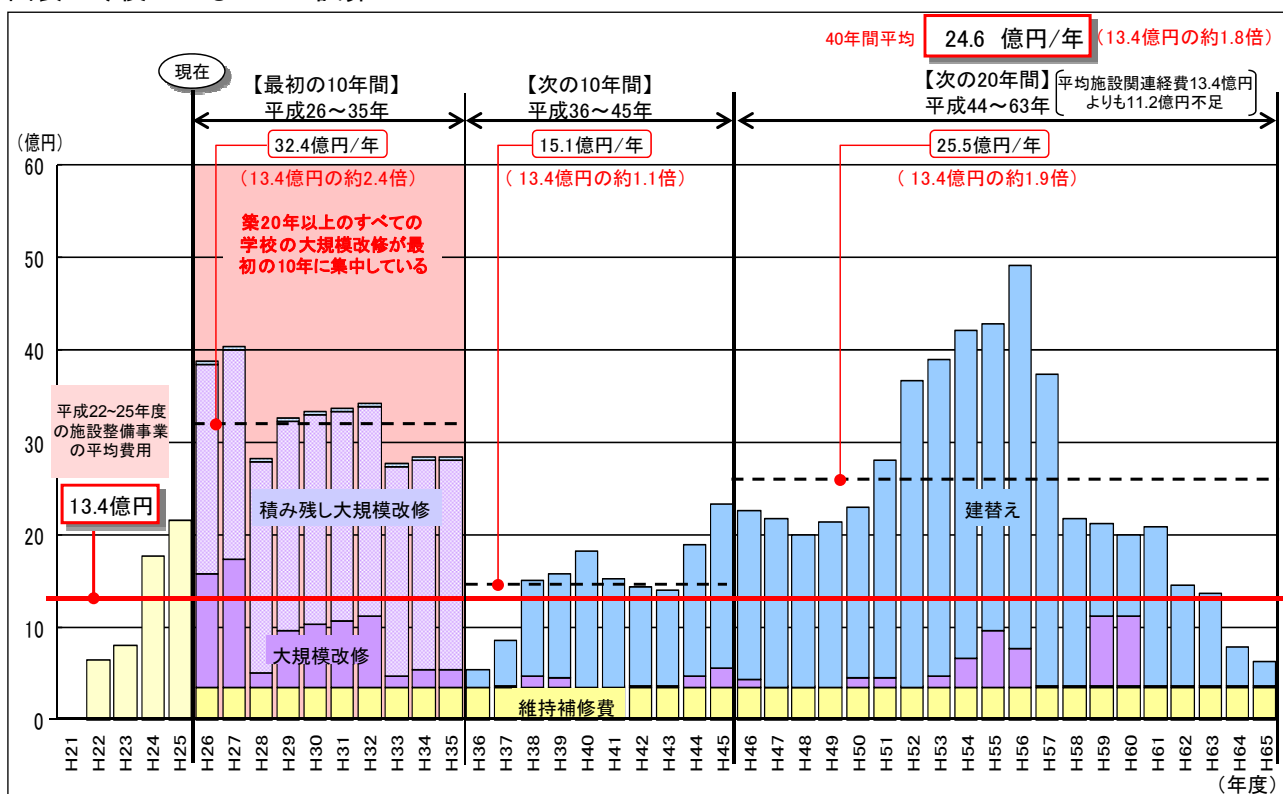
← 決算の数値 予算の数値 →

3) 今後 40 年間にかかるコスト試算 (シミュレーション)

今後 40 年間にかかるコストを試算すると、年平均 24.6 億円の費用が必要になります。これは、直近 4 年間の施設関連経費平均約 13.4 億円と比べると、毎年度約 11.2 億円不足する計算になります。

また学校施設の築年別整備状況 (P154) で述べたように昭和 39 年から平成 4 年の 29 年間に学校施設の 92%が建設されており、それが平成 26 から平成 36 年の 10 年間にすべて積み残し大規模改修等として積みあがっています。また平成 45 年から 61 年では建替え工事の大きな山をむかえます。市では今後 40 年間に、直近 10 年間と平成 45 年から 61 年の間で向かえる大きな 2 つの更新の山に適切に対応していく必要があります。

図表 今後かかるコスト試算



《試算条件》

a) 前提

- 現状の施設規模・施設内容を維持することを前提としてコスト試算を行う。
- 施設の統廃合による施設数の増減、及び増減築による建物面積の増減については考慮していない。

b) 条件

- 建築物の耐用年数は 60 年と仮定する。大規模改修は、建設後 30 年で行い、その後 30 年で建替えると仮定する。
- 建替え及び大規模改修予算は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、
建替え : 3 年間
大規模改修 : 2 年間に振り分けて、予算計上する。
- 平成 25 年度 (2013 年度) 以前に大規模改修の時期を迎えている施設のうち、築 31 年以上 50 年経過した施設については、最初の 10 年間 (平成 26 年度 (2014 年度) から平成 36 年度 (2024 年度)) で均等に大規模改修を実施する。

c) 単価

	建替え	大規模改修
学校教育系、子育て支援施設等	33 万円/㎡	17 万円/㎡

※単価は、総務省提供の更新費用資産ソフトより (本編 P26)

4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 小学校は、現時点で16校中15校(94%)が築30年を超え老朽化している。また16校すべて、昭和40年から昭和59年の20年間に整備されている。
- ② 中学校は、現時点で11校中7校が小学校同様に昭和39年から昭和59年の21年間に整備されている。
- ③ 平成5年度以降、一部の増築・改築工事と建替え以外には対応を行っていない。

<利用状況>

- ④ ピーク時(昭和60年度5月1日現在)に2万人あった児童生徒数は、現在(平成26年度5月1日現在)1万2千人まで減少しておりピーク時の60%となっている。
- ⑤ 年少人口は、地区単位では、全ての地区で減少が始まっている。しかし、学校単位で細かく見た場合、隣り合う学校に児童生徒数の増加と減少で100人単位の差がある地区(藤沢)があるなど、傾向が異なっている。

<スペース構成の変化>

- ⑥ 武蔵中学校は、平成25年度に校舎を更新、片廊下タイプから校舎内にホールを設けたタイプへと変化が見られ、更に6,424㎡から5,568㎡に減床している。
- ⑦ 金子中、武蔵中では、ソーラーパネルの設置や、エレベーターの整備、洋式トイレの整備、空調の整備等、設備関連で機能向上を図っている。

<コスト状況>

- ⑧ 平成22年から平成26年まで、西武小や、金子中、武蔵中の校舎の改築・増築に学校整備費として、2.3億円から11億円各年使用している。また平成27年までに市内全校の耐震化対応を実施する。平成26年度は、耐震補強事業費として約8億円程度(整備費含む)の予算を確保している。

■課題のまとめ

- 今後10年の学校施設の更新コストの年平均は、32.4億円と現在の施設関連経費13.4億円の3倍。
- 今後10年間、更新コスト試算の1つ目の山(32.4億円/年)を乗り越えるために、早急に小学校16校と中学校7校の積み残し大規模改修に対する対応策を検討する必要がある。
- 学校施設は、市の保有資産の54%を占めるため、学校施設を地域の拠点として有効活用していくことが必要である。
- 今後は、児童生徒数の減少による余裕スペースの対応、老朽化の対応を各学校の周辺の公共施設の状況を把握しながら、集約化・複合化を図り学校の多機能化の検討や統廃合を視野に入れた検討が必要である。

(11) 保育所・幼稚園

1) 施設概要

① 施設一覧

■ 保育所

本市では、公立保育所を11施設保有しています。そのうち黒須保育所は公設民営の施設となっています。公立保育所の総認可定員は1,134人で、入所率は85%となっています。

また、民間保育園は14園設置されています。民間保育園の総認可定員は1,285人で、入園率は110%となっています。

設置目的：家庭や地域社会の中で、子どもが健全に育つ環境を整備するとともに、保育にかけ
る児童に対して適切な保育サービスを提供することを目的とする

図表 施設一覧（平成25年度）

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数(人)				認可 定員 (人)	入所率	土地 所有	備考	
						児童数	うち 市内	3歳 未満	3歳 以上					
公立	豊岡 第三	1 豊岡保育所	扇町屋1-7-17	650.60	昭和46	RC造	139	139	36	103	150	93%	個人	
		2 高倉保育所	高倉5-1-11	530.70	昭和50	RC造	56	56	16	40	90	62%	個人	
		3 黒須保育所	宮前町849-1	438.63	昭和44	RC造	89	88	33	55	90	99%	市	公設民営
	東金子	4 東金子保育所	新久487-2	529.84	昭和48	RC造	79	77	17	60	90	88%	市	
	金子	5 金子第一保育所	南峯75	449.44	昭和43	RC造	65	65	14	51	120	54%	法人	
		6 金子第二保育所	花ノ木142	426.27	昭和45	RC造	53	51	14	37	84	63%	市	
	宮寺・二 本木	7 宮寺保育所	宮寺595-1	553.57	昭和49	RC造	74	71	16	55	120	62%	市	
		8 二本木保育所	二本木231-1	331.81	昭和42	RC造	53	53	13	40	60	88%	法人	
	藤沢	9 藤沢第二保育所	下藤沢276-1	1,007.25	平成13	RC造	126	125	44	81	120	105%	市	
		10 藤沢保育所	東藤沢8-197-1	1,081.37	平成11	RC造	122	121	37	94	120	102%	市	
	西武	11 西武中央保育所	野田519	555.60	昭和52	RC造	103	100	26	74	90	114%	市	
合計			6,555.08			959	946	266	690	1,134	85%			

〇〇施設：施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和〇：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

図表 <参考> 民間保育園施設一覧（平成25年度）

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数(人)				認可 定員 (人)	入園率	備考		
						児童数	うち 市内	3歳 未満	3歳 以上					
民間	豊岡	1 おおぎ保育園	扇台4-5-19	-	-	-	132	132	58	74	120	110%		
		2 あげぼの保育園	東町1-8-5	-	-	-	127	126	54	72	120	106%		
		第二	3 いるま保育園	東町4-1-24				135	134	50	84	120	113%	
			4 おおぎ第二保育園	豊岡1-8-24				72	72	39	33	60	120%	
	第三	5 豊岡保育園	宮前町2-2				124	119	40	79	120	103%		
		6 しらさぎ保育園	春日町2-12-1				102	95	37	58	90	113%		
		7 木の美保育園	河原町15-11 駅前第二ビル103				33	33	33	0	35	94%		
	東金子	8 茶々保育園	小谷田64				138	135	60	75	120	115%		
		9 あげぼの保育園	小谷田653-1				127	126	54	72	120	106%		
	宮寺・二 本木	10 ゆりかご保育園	宮寺3239-2				131	131	43	88	120	109%		
	藤沢	第一	11 こどものくに保育園	下藤沢1305-1				98	97	37	60	90	109%	
			12 わかばの森保育園	上藤沢687-2				23	22	22	0	20	115%	
		13 むさしっこ保育園	下藤沢494-1				68	66	32	34	60	113%		
	西武	14 杏ほいくえん	仏子1113-1	-	-	-	99	96	39	57	90	110%		
合計						1,409	1,384	598	786	1,285	110%			

■ 幼稚園

本市では、公立幼稚園を1園設置しています。公立幼稚園の認可定員は120人で、入園率は約66%となっています。

また、民間幼稚園は9園設置されています。民間幼稚園の総認可定員は2,442人で、入園率は84%となっています。

設置目的：人間形成の上で非常に重要な幼児期に、幼児と保護者を支援し、適当な環境を提供して、その心身の発達を促すことを目的とする

図表 施設一覧（平成25年度）

	地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数(人)					認可 定員 (人)	入園率	土地 所有	備考
							児童数	うち 市内	年少	年中	年長				
公立	東金子	1 あずま幼稚園	小谷田1433	342.00	昭和42	RC造	79	79	38		41	120	66%	市	一部借地

〇〇施設：施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和〇：建築年度の赤ハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

図表 <参考> 民間幼稚園施設一覧（平成25年度）

	地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	入所園児数(人)					認可 定員 (人)	入園率	備考
							児童数	うち 市内	年少	年中	年長			
民間	豊岡 第一	1 いるま幼稚園	久保稲荷1-25-3	※民間施設 のため記載 しません			282	269	69	93	107	312	90%	
	東金子	2 めぐみ幼稚園	小谷田1-7-9				259	241	58	101	82	320	81%	
	金子	3 武蔵野音楽大学 武蔵野幼稚園	中神741-1				110	77	11	38	28	210	52%	
	藤沢 第一	4 わかばの森幼稚園	上藤沢694-1				255	234	73	82	79	240	106%	
		5 若杉幼稚園	下藤沢1281-11				212	208	62	71	75	280	76%	
		6 白梅幼稚園	下藤沢750-1				265	249	79	77	93	320	83%	
	西武	7 角栄幼稚園	東藤沢4-15-20				200	154	47	60	47	280	71%	
		8 元加治幼稚園	野田1585				245	157	45	57	55	280	88%	
		9 あんず幼稚園	仏子1089-34				230	178	55	54	69	200	115%	
合計							2,058	1,767	499	633	635	2,442	84%	

② 配置状況

公立保育所は、1地区当たり1から3施設が整備されています。また豊岡地区に7施設、藤沢地区に3施設の民間保育園が整備されており、本市の中で、きめ細かく整備されています。

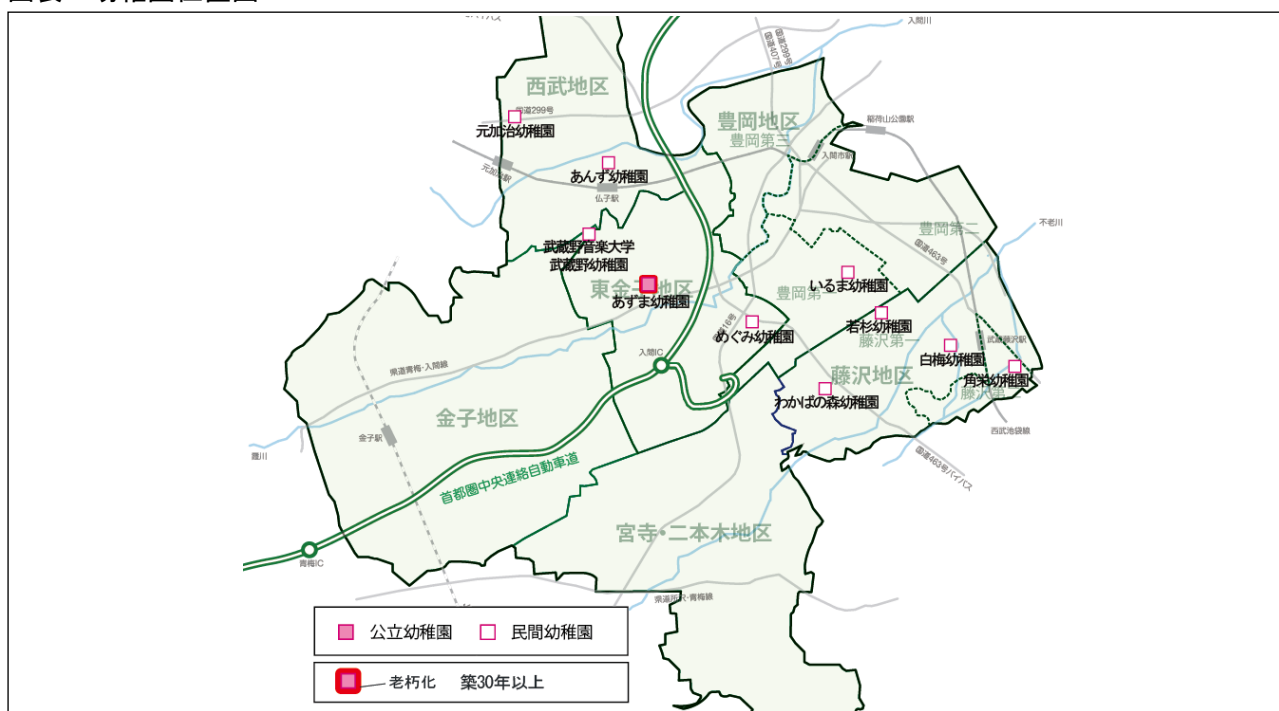
公立幼稚園は、東金子地区に1施設設置されています。

図表中の赤枠は、築30年以上経過し老朽化の時期をむかえる施設となっています。

図表 保育所・保育園位置図



図表 幼稚園位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 保育所の建物総合評価結果

平成25年度の保育所11施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応				⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用スロープ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)
														光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費				
1	豊岡保育所	昭和46	651	—	42		42	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	2,423	1,419	61	3,725	2,181	94
2	高倉保育所	昭和50	531	—	38		38	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	2,151	1,461	488	4,052	2,753	920
3	黒須保育所	昭和44	439	—	44		44	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	0	76,089	0	0	173,470	0
4	東金子保育所	昭和48	530	—	40		40	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	2,348	1,419	268	4,432	2,679	506
5	金子第一保育所	昭和43	449	—	45		45	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	2,229	1,258	3,765	4,959	2,800	8,376
6	金子第二保育所	昭和45	426	—	43		43	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	2,335	1,263	24	5,478	2,962	57
7	宮寺保育所	昭和49	554	—	39		39	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,226	1,416	304	4,022	2,558	549
8	二本木保育所	昭和42	332	—	46		46	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2,540	1,439	218	7,654	4,337	657
9	藤沢第二保育所	平成13	1,007	—	12		12	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	2,278	1,445	989	2,261	1,435	982
10	藤沢保育所	平成11	1,081	—	14		14	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	2,330	1,397	166	2,155	1,292	154
11	西武中央保育所	昭和52	556	—	36		36	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	2,330	1,223	350	4,195	2,202	631
合計・平均			6,555															23,190	89,831	6,634	3,538	13,704	1,012

※1 手すり・観・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記載例 実施済み○ 未実施△ 不要→
 床面積当たり(円/㎡)の平均値 (床面積当たり(円/㎡)の平均値÷それぞれの費用の合計/延床面積の合計) 平均値の1.4倍

豊岡保育所をはじめ9施設は、診断の結果耐震性能は確保されているものの、老朽化が進行しており建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

藤沢保育所と藤沢第二保育所は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望めます。(パターン④)

評価	パターン② 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先2 ②老朽化状況</p> <p>優先4 ④環境対応状況</p> <p>優先3 ③バリアフリー対応状況</p> <p>優先1 ①耐震安全性</p> <p>採分基準: パターン①以外で②=1の施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>優先4 ④環境対応状況</p> <p>優先3 ③バリアフリー対応状況</p> <p>優先2 ②老朽化状況</p> <p>優先1 ①耐震安全性</p> <p>採分基準: パターン①～③以外で③又は④が1～2の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度</p> <p>豊岡保育所 昭和46</p> <p>高倉保育所 昭和50</p> <p>黒須保育所 昭和44</p> <p>東金子保育所 昭和48</p> <p>金子第一保育所 昭和43</p> <p>金子第二保育所 昭和45</p> <p>宮寺保育所 昭和49</p> <p>二本木保育所 昭和42</p> <p>西武中央保育所 昭和52</p> <p>< 9 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度</p> <p>藤沢第二保育所 平成13</p> <p>藤沢保育所 平成11</p> <p>< 2 施設 ></p>
コメント	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望めます。</p>

■ 幼稚園の建物総合評価結果

平成25年度の幼稚園の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)
1	あずま幼稚園	昭和42	342	診断済	46	46	×	×	×	×	×	×	×	×	×	741	447	811	2,168	1,308	2,373

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記載例 実施済み ○ 未実施 △ 不詳 →
 床面積当たり (円/㎡) の平均値 (床面積当たり (円/㎡) の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) : 平均値の1.4倍

あずま幼稚園は耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。ただし、耐震診断は、実施済です。(パターン①)

パターン① 耐震性 老朽化

・耐震安全性が確保されていない
 ・さらに、老朽化が進行している
 ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設

優先1

①耐震安全性 ②老朽化状況
 ③バリアフリー対応状況 ④環境対応状況 ⑤維持管理費

該当施設 建築年度
 あずま幼稚園 昭和42

< 1 施設 >

コメント
 ・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。

② 利用状況

■ 入所児童数の推移

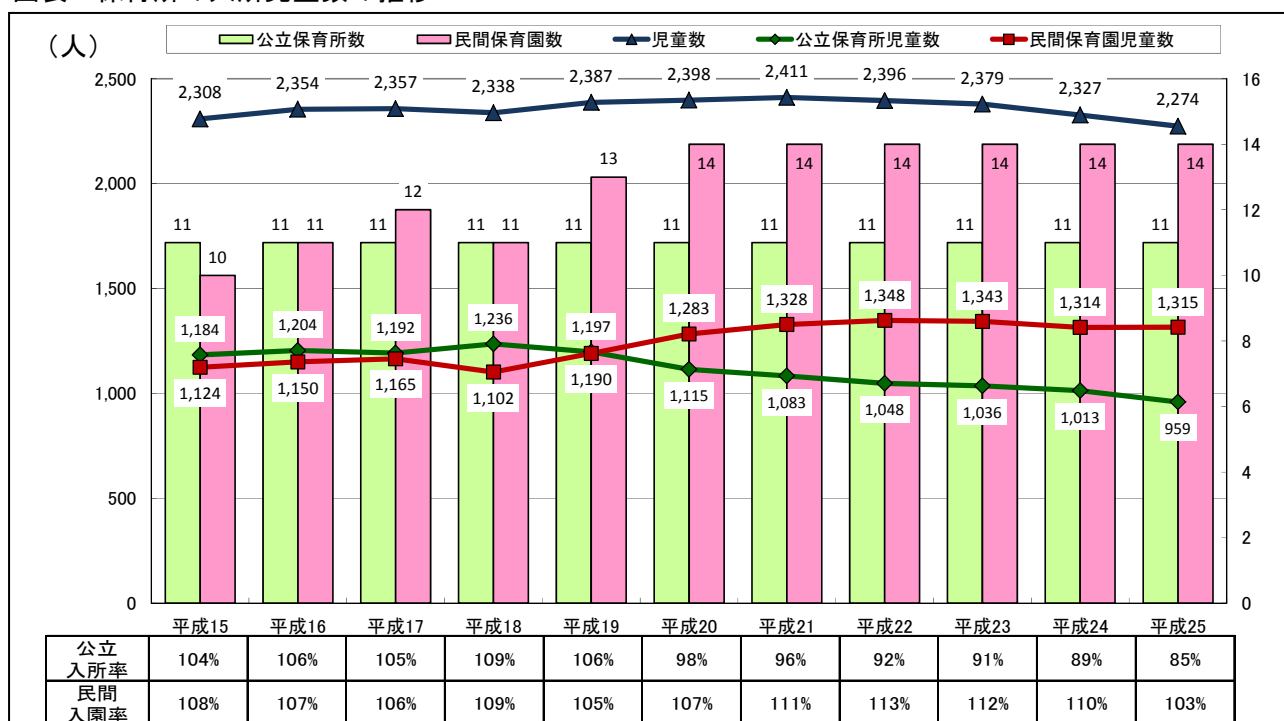
<保育所>

公立保育所の入所数の推移をみると、平成15年度1,184人から平成18年度1,236人まで微増しました。その後減少傾向に転じ、平成25年度959人まで減少しています。

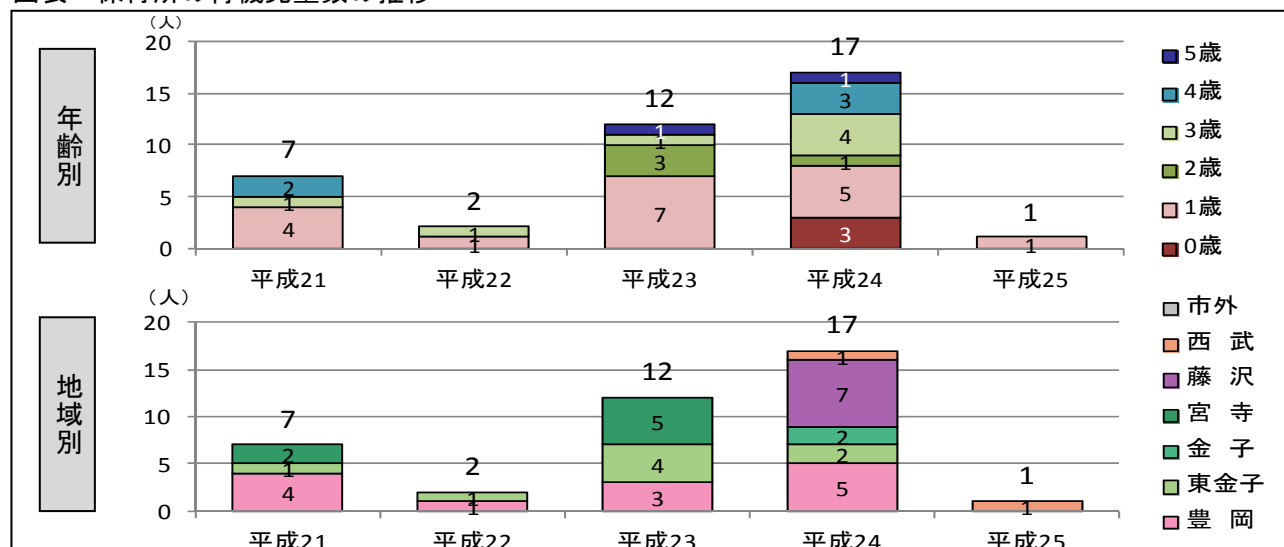
公立民間を合わせた児童数の推移をみると、平成15年度2,308人から平成21年度2,411人まで微増傾向でしたが、その後減少に転じ、平成25年度2,274人まで減少しています。

保育所の待機児童数をみると、平成21年度7人から平成24年度17人まで増加しましたが、平成25年度には1人に減少しています。内訳をみると、1歳児で常に発生しています。地区別では常に発生していた豊岡、東金子の待機児童が解消しています。

図表 保育所の入所児童数の推移



図表 保育所の待機児童数の推移



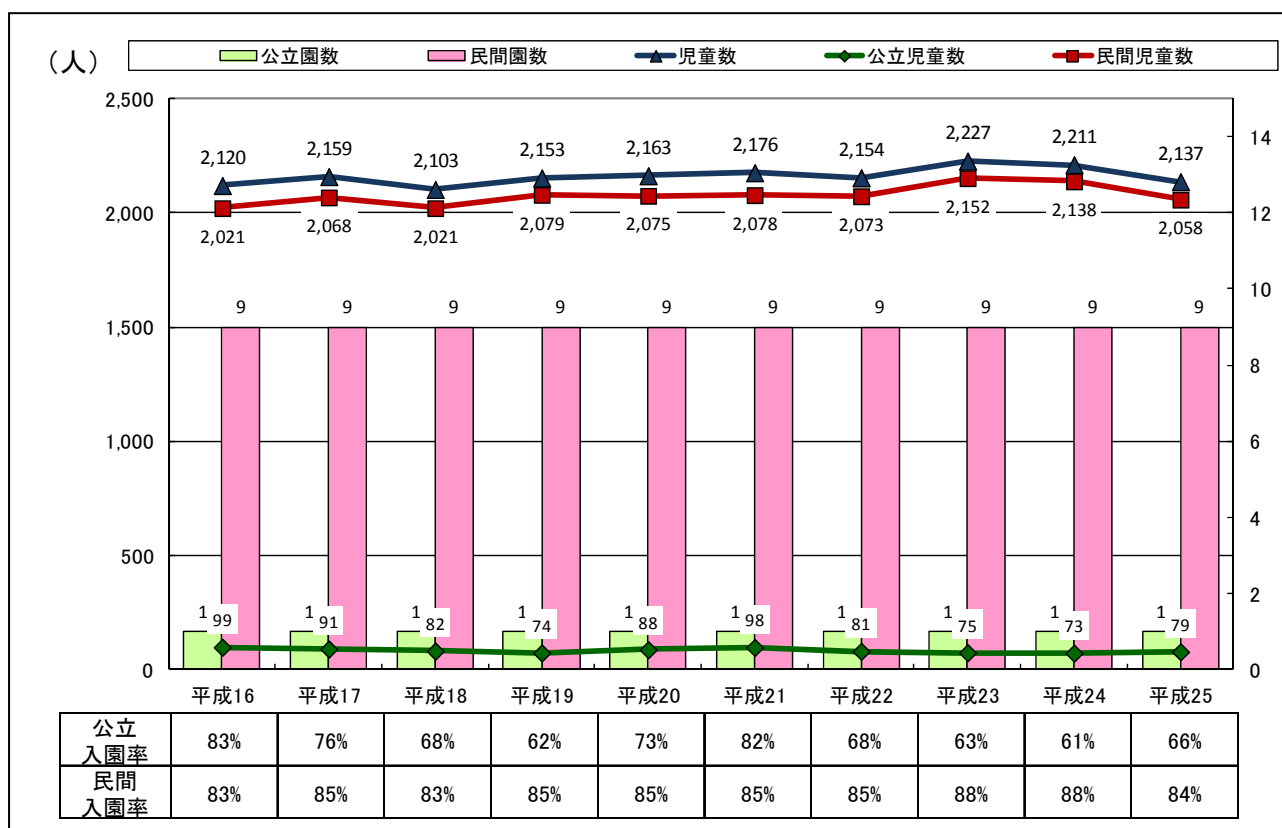
<幼稚園>

公立・民間幼稚園合わせた入園児童数の推移をみると、平成16年度2,120人から平成23年度2,227人まで、一時的に減少しながら全体では増加してきました。その後減少に転じ、平成25年度2,137人まで減少しています。

このうち、公立幼稚園の児童数は、平成16年度99人から一度減少し、平成21年度98人まで再び増加していますが、平成25年度79人まで再び減少しています。

園数は公立、民間ともに変化していません。

図表 幼稚園の入所園児数の推移

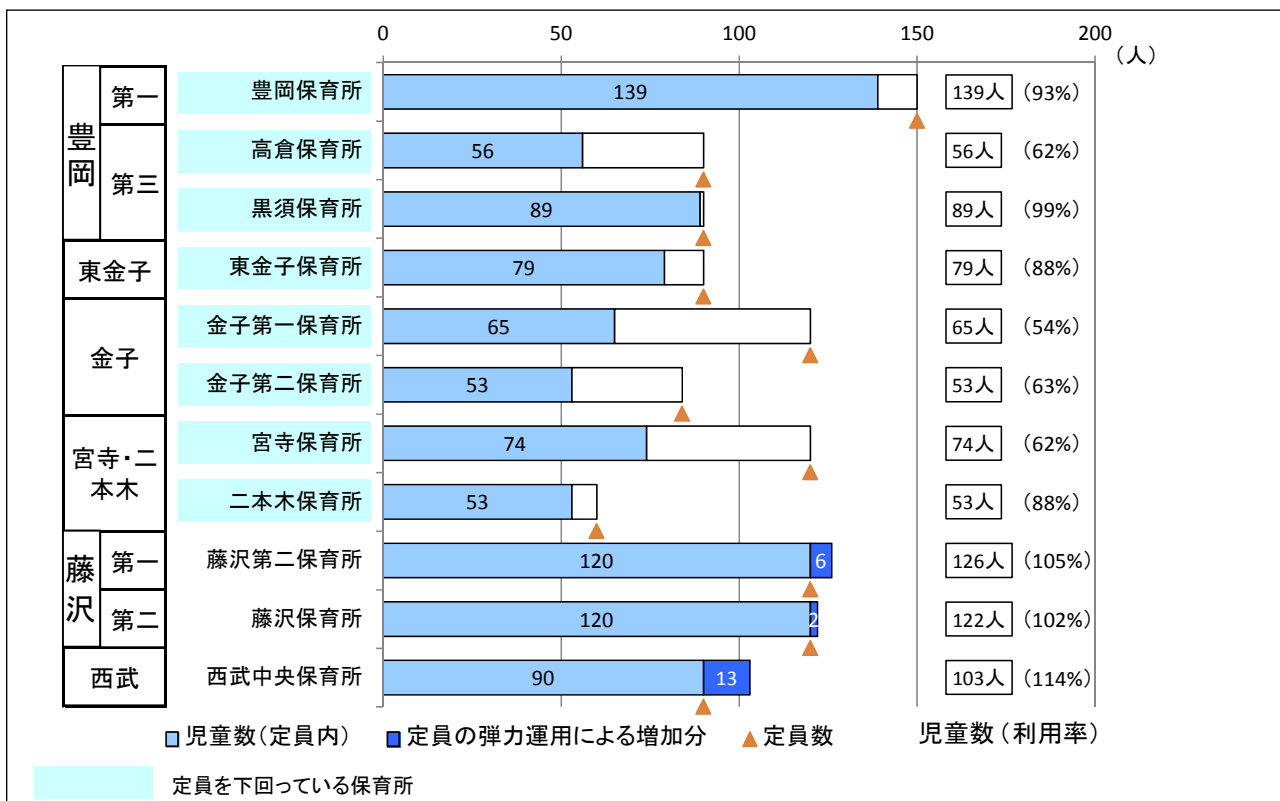


■ 施設別の入園状況

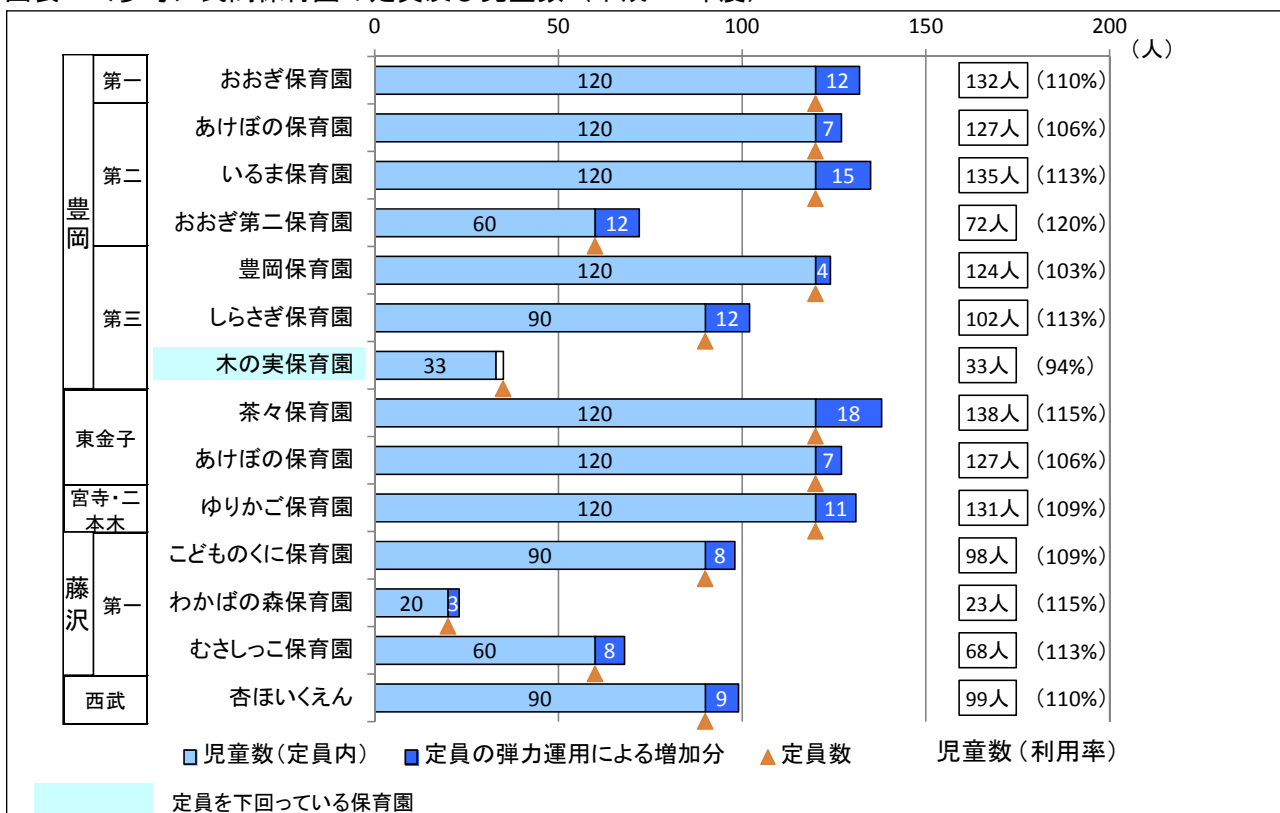
<保育所>

公立保育所の施設別の定員数と児童数は、11施設中8施設で定員を下回っています。一方、定員を超えている3施設は、定員の弾力的運用により運営を行っています。

図表 公立保育所の定員及び児童数（平成25年度）



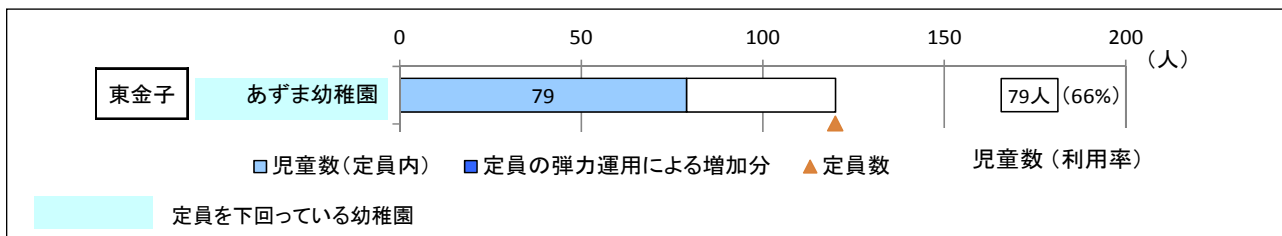
図表 <参考> 民間保育園の定員及び児童数（平成25年度）



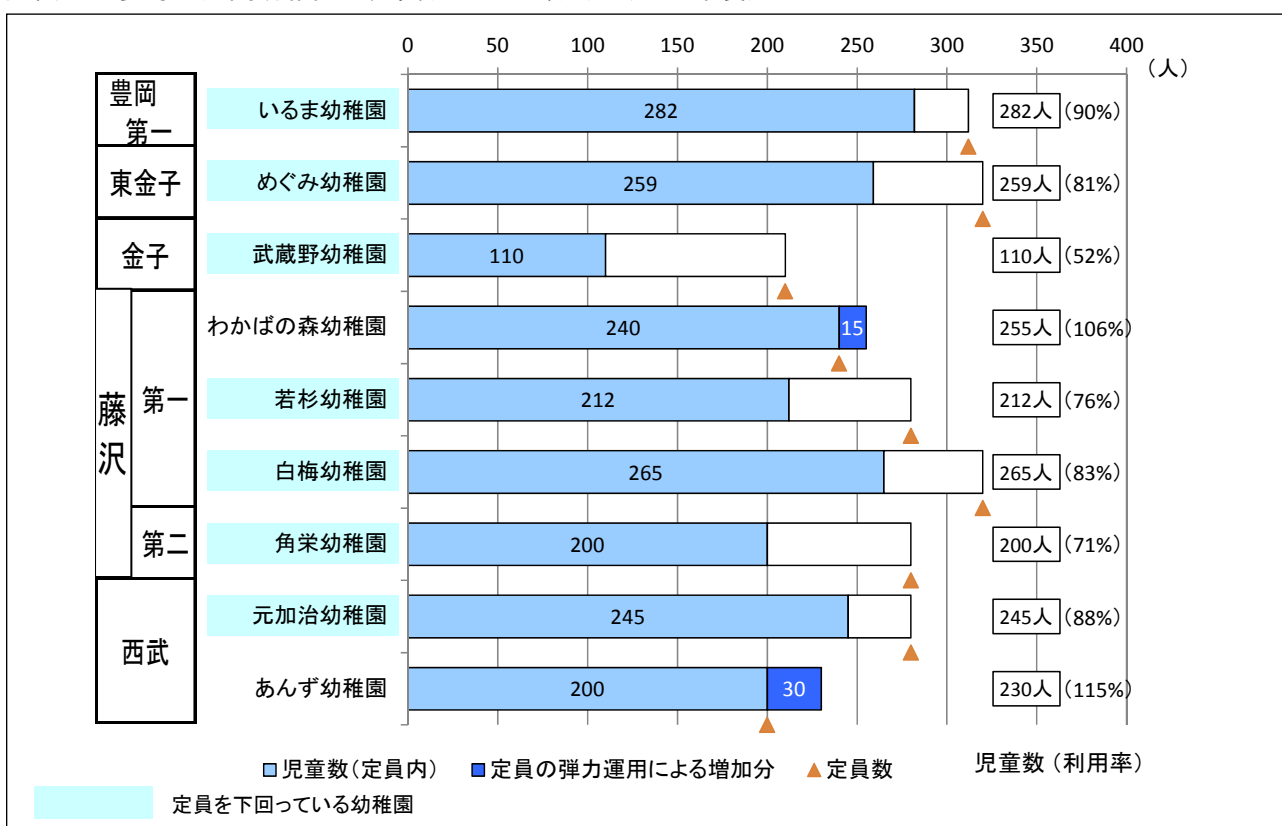
<幼稚園>

あずま幼稚園は、定員を下回っています。

図表 公立幼稚園の定員及び児童数（平成 25 年度）



図表 <参考>民間幼稚園の定員及び児童数（平成 25 年度）



③ 運営時間

公立保育所の入所対象者は、0歳児から5歳までの児童で、開所日は月曜日から土曜日です。

公立保育所の保育時間は、保育所により開所時間は午前7時から午前7時30分、閉所時間は保育所により午後6時30分から午後7時となっており、この時間には延長保育時間が含まれています。

民間保育園の保育時間は、開園時間は午前7時、閉園時間は園により午後6時30分から午後10時までの間となっており、閉園時間が異なります。

あずま幼稚園の入園対象者は、3歳児から就学前までの児童で、開園日は月曜日から金曜日です。

あずま幼稚園の開園時間は、午前8時30分から午後2時までとなっています。

民間幼稚園の開園時間は、園により午前8時20分から9時、閉園時間は午後2時となっています。あずかり保育を行っている園では、あずかり保育の終了時間は園により午後4時から午後6時までとなっています。

図表 保育所運営時間

		7:00 7:30	18:00 18:30	19:00 ~	22:00
公立保育所(11ヶ所) (平均規模:596㎡) 対象年齢 生後57日~5歳 (施設によって異なる) 開園日 月~土曜日 入所児童数 87人/施設 入所率 85%	3歳~5歳児	(保育) 公立保育所10ヶ所		延長	
		(保育) 黒須保育所(公設民営)		延長	
	0歳~2歳児	(保育) 公立保育所10ヶ所			
		(保育) 黒須保育所(公設民営)		延長	
民間保育園(14園) (平均規模:---㎡) 対象年齢 生後43日~5歳 (施設によって異なる) 開園日 月~土曜日 入園児童数100人/施設 入園率 110%	3歳~5歳児	(保育) 民間保育園			
	0歳~2歳児	(保育) 民間保育園			

※民間保育園の閉園時間は、施設により異なります

開園閉園時間には延長保育を含む

図表 幼稚園運営時間

		8:20~9:00 8:30	14:00	16:00~18:00
あずま幼稚園 (335㎡) 対象年齢 3歳~就学前 開園日 月~金曜日 入所児童数 79人/施設 入所率 66%	3歳~5歳児	(保育) あずま幼稚園		
	3歳~5歳児	(保育) 私立幼稚園		
		(保育) 私立幼稚園(預かり保育)		預かり保育
	民間幼稚園(9園) (平均規模:---㎡) 対象年齢 3歳~就学前 開園日 月~金曜日 入園児童数229人/施設 入園率 84%			

■ スペース構成と運営状況

<保育所>

公立保育所 1 施設あたりの平均規模は 596 m²で、主なスペース構成は、保育室、乳児室、遊戯室、調理室となっています。

また、運営人員は、所長が 1 人、保育士が 7~13 人、嘱託保育士が 3~16 人等で、1 施設当たり 17 人から 40 人が従事しています。

黒須保育所は、公設民営の施設となっており、委託機関の職員が運営しています。

図表 施設別のスペース構成及び運営人員（平成 24 年度）

定員 児童数	施設名	スペース構成 (m ²)										運営人員(人)						
		0	200	400	600	800	1,000	1,200	所長	保育士	保育士(嘱託)	調理員	看護師	パート職員等	合計			
150人 139人	豊岡保育所	227	88			241	651 m ²	1	12	10	3		7	33				
90人 56人	高倉保育所	140	80			234	531 m ²	1	8	5	3		4	21				
90人 89人	黒須保育所	80	98			137	439 m ²											
90人 79人	東金子保育所	237	81			212	530 m ²	1	9	10	3	1	6	30				
120人 65人	金子第一保育所	117	121			150	449 m ²	1	9	3	3		4	20				
84人 53人	金子第二保育所	127	77			170	426 m ²	1	7	6	3		4	21				
120人 74人	宮寺保育所	186	66	80		172	554 m ²	1	9	7	3		3	23				
60人 53人	二本木保育所	78	83			113	332 m ²	1	7	4	3		2	17				
120人 126人	藤沢第二保育所	365		94		442	1,007 m ²	1	12	16	3		8	40				
120人 122人	藤沢保育所	290		127	89	461	1,081 m ²	1	13	9	3		9	35				
90人 103人	西武中央保育所	161	66	81		193	556 m ²	1	9	8	3		5	26				
1,134人 959人		■ 保育室 ■ 乳児室 ■ 遊戯室 ■ ほふく室 ■ 調理室 ■ 調乳室 ■ 保健室 ■ 事務室 ■ その他共用部										10	95	78	30	1	52	266

<幼稚園>

あずま幼稚園の規模は 342 m²で、スペース構成は、普通教室、遊戯室等となっています。

図表 施設別のスペース構成及び運営人員（平成 24 年度）

定員 児童数	施設名	スペース構成 (m ²)						運営人員(人)	
		0	100	200	300	400	500	一般職員	嘱託職員
120人 79人	あずま幼稚園	144		97	26	65	342 m ²	7	2

■ 普通教室 ■ 遊戯室 ■ 保健室 ■ 事務室 ■ その他共用部

④ コスト状況

■ 保育所のトータルコスト

保育所 11 施設の年間トータルコストは、11 億 7,920 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は 3 億 6,091 万円（31%）、事業にかかるコスト（人件費・委託費等）は 7 億 7,227 万円（66%）、減価償却相当額が 4,603 万円（4%）となっています。

図表 施設別行政コスト計算書（平成 24 年度）

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		豊岡保育所	高倉保育所	黒須保育所	東金子保育所	金子第一保育所	金子第二保育所
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	10,765,000	10,765,000	0	10,765,000	10,765,000	10,765,000
	修繕費	60,942	488,145	0	268,355	3,764,670	24,230
	光熱水費	2,423,294	2,150,548	0	2,348,476	2,228,760	2,334,955
	委託費	1,604,819	1,604,826	76,049,368	1,604,826	637,692	637,694
	使用料及び賃借料	6,014,228	4,555,990	0	719,189	2,973,549	645,226
	負担金補助及び交付金	78,276	78,276	0	78,276	78,276	78,276
	補助金	0	0	14,585,300	0	0	0
	その他物件費	13,534,781	7,008,150	0	9,642,848	8,668,385	7,134,715
	管理運営にかかるコスト	34,481,340	26,650,935	90,634,668	25,426,970	29,116,332	21,620,096
事業にかかるコスト	一般職員人件費	78,027,000	46,557,000	0	56,061,000	56,372,000	44,179,000
	嘱託職員人件費	2,982,000	2,982,000	0	5,585,000	2,982,000	2,982,000
	臨時職員人件費	7,388,000	4,862,000	0	5,052,000	4,862,000	4,862,000
	その他人件費	7,972,000	7,972,000	0	8,814,000	7,972,000	7,972,000
	事業にかかるコスト	96,369,000	62,373,000	0	75,512,000	72,188,000	59,995,000
現金収支を伴うコスト 計	130,850,340	89,023,935	90,634,668	100,938,970	101,304,332	81,615,096	

【収入の部】

収入	分担金及び負担金(収入)	26,661,200	8,999,550	17,014,050	14,248,300	14,658,700	11,609,750
	使用料収入	0	0	0	0	0	0
	保育所職員等給食費	2,745,235	1,746,968	0	2,495,668	1,663,779	1,746,968
	諸収入	198,000	0	0	0	0	0
収入の合計	29,604,435	10,746,518	17,014,050	16,743,968	16,322,479	13,356,718	

II. 現金収支を伴わないもの

コスト	減価償却相当額	4,568,043	3,726,191	3,079,743	3,720,153	3,155,643	2,992,960
-----	---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	135,418,383	92,750,126	93,714,411	104,659,123	104,459,975	84,608,056
収支差額(ネットコスト)	105,813,948	82,003,608	76,700,361	87,915,155	88,137,496	71,251,338

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		宮寺保育所	二本木保育所	藤沢第二保育所	藤沢保育所	西武中央保育所	合計
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	10,765,000	10,765,000	10,765,000	10,765,000	10,765,000	107,650,000
	修繕費	303,765	218,043	988,943	166,425	350,385	6,633,903
	光熱水費	2,226,333	2,539,679	2,277,748	2,329,903	2,331,394	23,191,090
	委託費	1,624,304	1,549,054	1,631,076	1,582,776	1,381,776	89,908,211
	使用料及び賃借料	645,226	2,269,681	645,226	854,553	645,226	19,968,094
	負担金補助及び交付金	78,276	78,276	78,276	78,276	78,276	782,760
	補助金	0	0	0	0	0	14,585,300
	その他物件費	8,439,035	7,174,541	12,965,898	13,269,980	10,348,695	98,187,028
	管理運営にかかるコスト	24,081,939	24,594,274	29,352,167	29,046,913	25,900,752	360,906,386
事業にかかるコスト	一般職員人件費	58,009,000	47,678,000	77,117,000	84,032,000	55,975,000	604,007,000
	嘱託職員人件費	2,982,000	2,982,000	2,982,000	2,982,000	2,982,000	32,423,000
	臨時職員人件費	3,368,000	2,526,000	6,736,000	9,072,000	5,704,000	54,432,000
	その他人件費	7,972,000	7,972,000	8,814,000	7,972,000	7,972,000	81,404,000
	事業にかかるコスト	72,331,000	61,158,000	95,649,000	104,058,000	72,633,000	772,266,000
現金収支を伴うコスト 計	96,412,939	85,752,274	125,001,167	133,104,913	98,533,752	1,133,172,386	

【収入の部】

収入	分担金及び負担金(収入)	14,228,750	10,112,600	29,199,900	27,372,950	20,606,600	194,712,350
	使用料収入	0	0	2,668,500	1,775,700	0	4,444,200
	保育所職員等給食費	1,913,346	1,414,212	2,911,613	3,327,558	2,162,913	22,128,260
	諸収入	160,000	0	0	0	0	358,000
収入の合計	16,302,096	11,526,812	34,780,013	32,476,208	22,769,513	221,642,810	

II. 現金収支を伴わないもの

コスト	減価償却相当額	3,886,768	2,329,730	7,072,181	7,592,598	3,901,021	46,025,030
-----	---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	100,299,707	88,082,004	132,073,348	140,697,511	102,434,773	1,179,197,416
収支差額(ネットコスト)	83,997,611	76,555,192	97,293,335	108,221,303	79,665,260	957,554,606

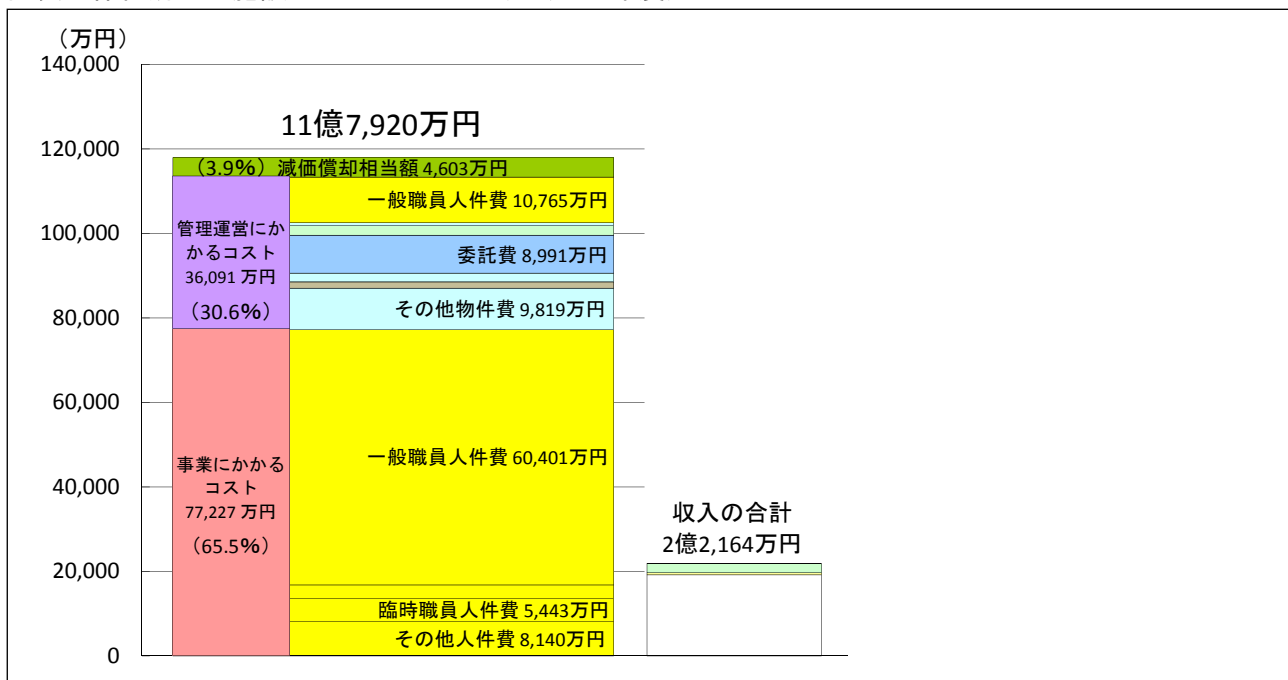
職員人件費は合計 8 億 7,992 万円で、トータルコストの約 75%を占めています。

管理運営にかかるコストのうち、人件費は 1 億 765 万円でトータルコストの約 9%となっています。

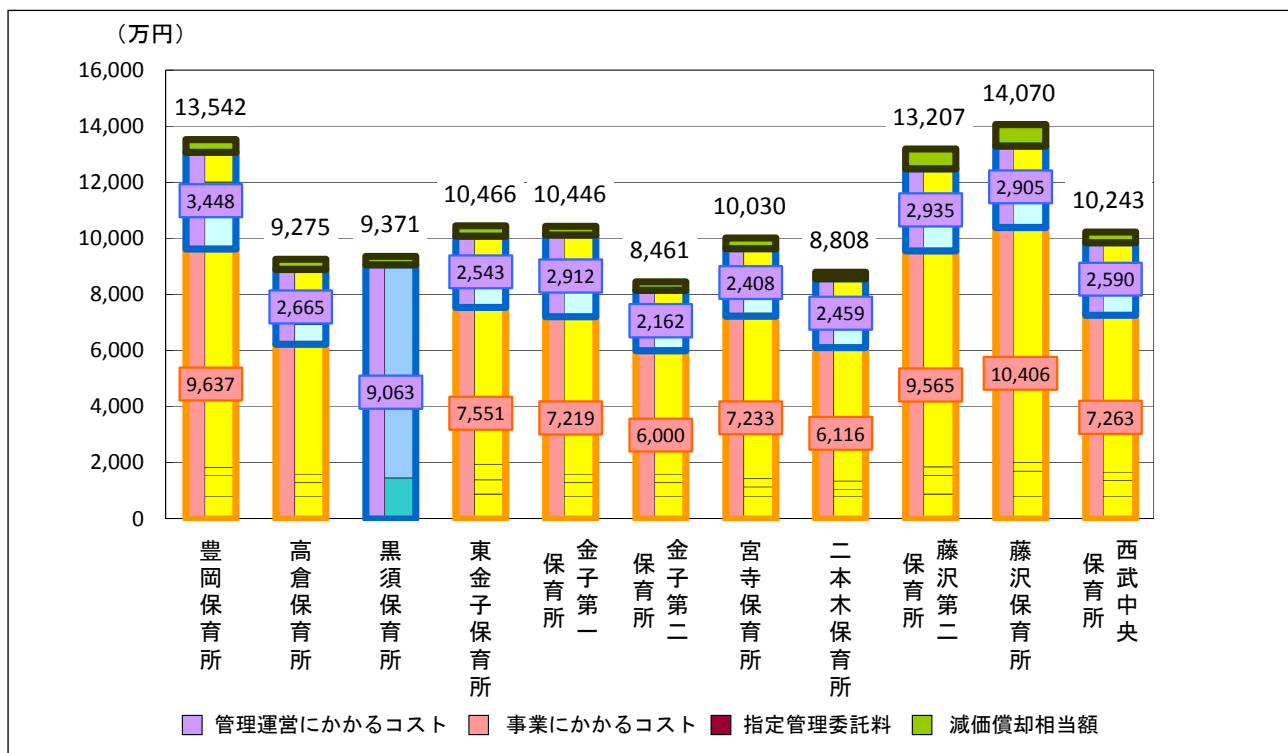
事業にかかるコストのうち、人件費は 7 億 7,227 万円でトータルコストの約 66%となっています。

施設別トータルコストでは、金子第二保育所の 8,461 万円から藤沢保育所の 1 億 4,070 万円です。

図表 保育所 全施設トータルコスト（平成 24 年度）



図表 保育所 施設別トータルコスト（平成 24 年度）



■ 幼稚園のトータルコスト

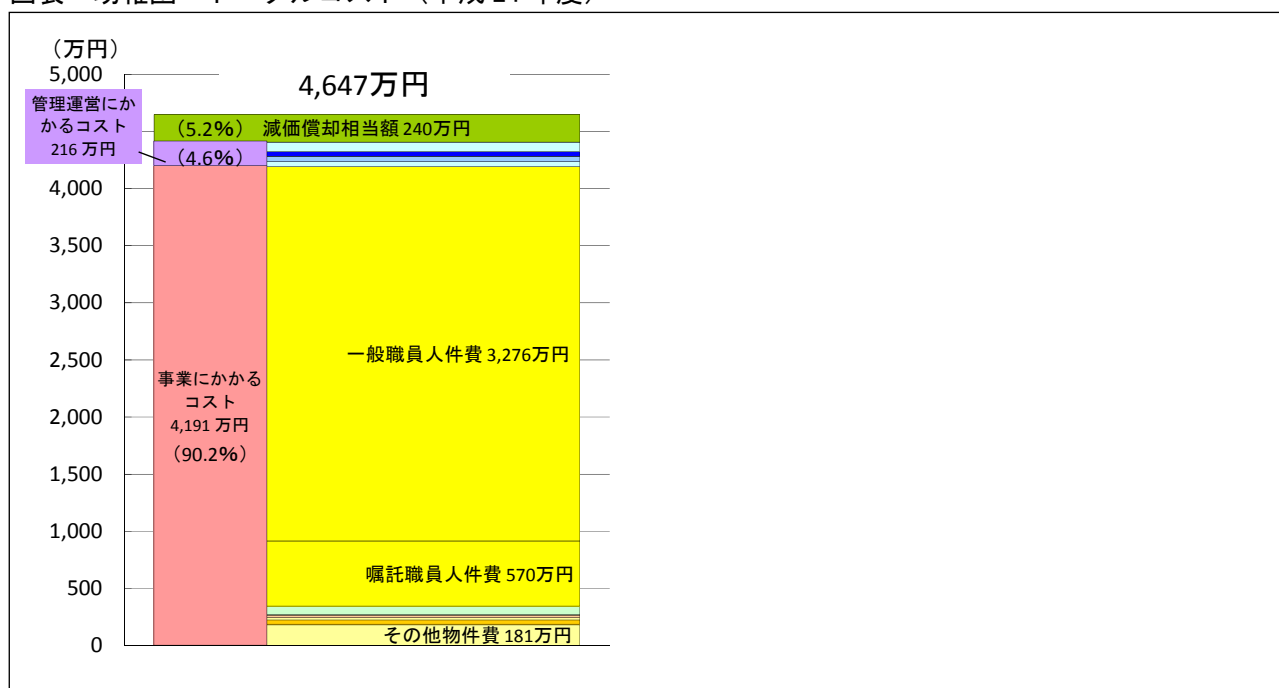
あずま幼稚園の年間トータルコストは、4,647万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は216万円（5%）、事業にかかるコスト（人件費・委託費等）は4,191万円（90%）、減価償却相当額が240万円（5%）となっています。

図表 行政コスト計算書（平成24年度）
（円）

I 現金収支を伴うもの【コストの部】		あずま幼稚園
か管 か理 とる運 コ管 スに	修繕費	811,398
	改修費	441,000
	委託費	447,248
	使用料及び賃借料	458,053
	管理運営にかかるコスト	2,157,699
事業 に か か る コ ス ト	一般職員人件費	32,764,276
	嘱託職員人件費	5,704,686
	光熱水費	741,371
	修繕費	20,000
	委託費	235,591
	使用料及び賃借料	194,939
	車両・備品購入費	368,550
	負担金補助及び交付金	75,055
	その他物件費	1,805,361
	事業にかかるコスト	41,909,829
現金収支を伴うコスト 計		44,067,528
【収入の部】		
収入	使用料収入	7,358,445
収入の合計		7,358,445
II 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	2,401,277
III 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		46,468,805
収支差額(ネットコスト)		39,110,360

図表 幼稚園 トータルコスト（平成24年度）



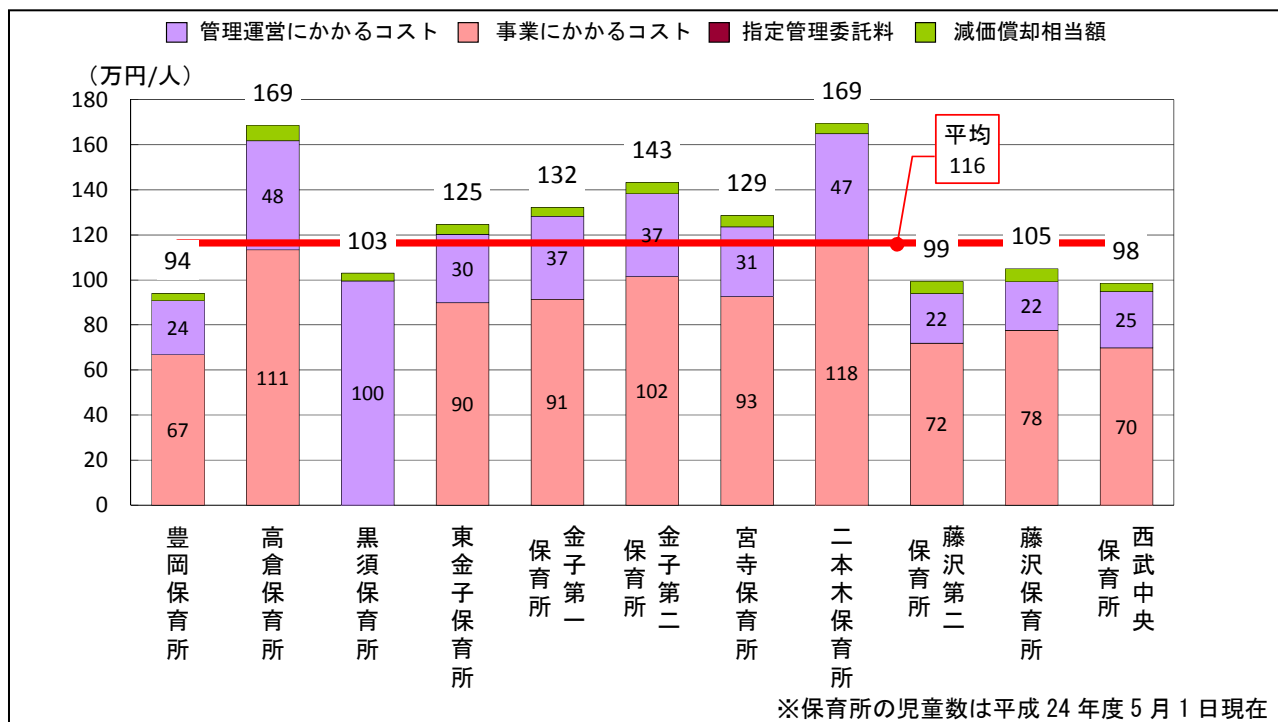
3) 評価・分析

■ 児童1人当たりにかかるコスト

<保育所>

児童数とトータルコストから、児童1人当たりにかかるコストを算出すると、豊岡保育所の94万円/人から高倉保育所と二本木保育所の169万円/人となっています。なお、保育所の平均は116万円/人となっています。

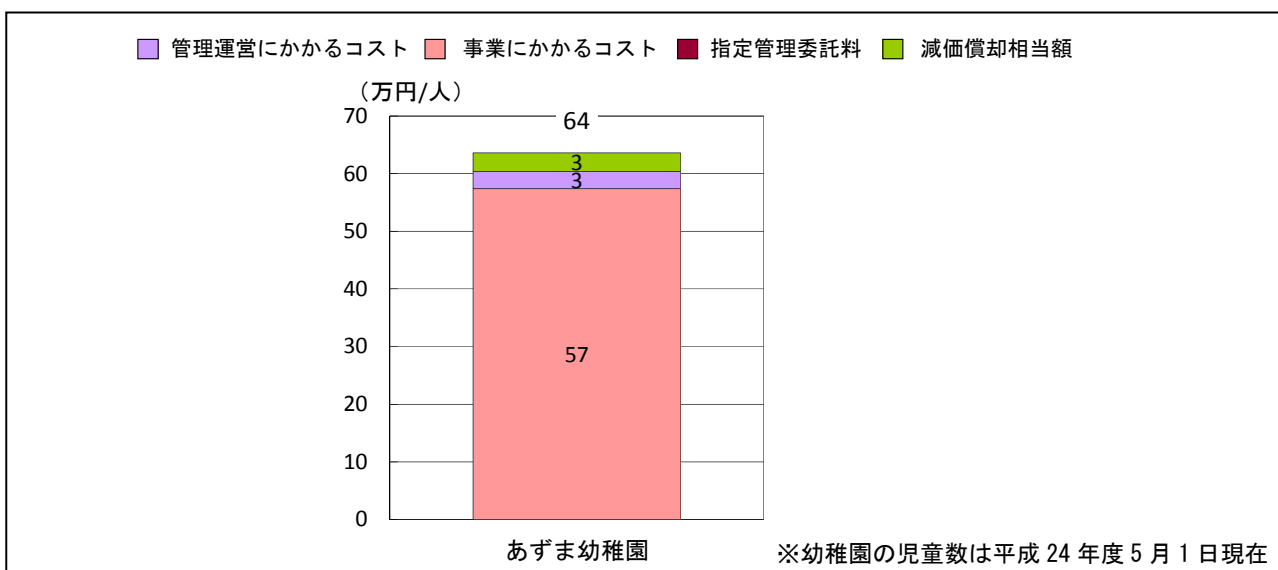
図表 児童1人当たりにかかるコスト（平成24年度）



<幼稚園>

児童数とトータルコストから、あずま幼稚園の児童1人当たりにかかるコストを算出すると、64万円/人となっています。

図表 児童1人当たりにかかるコスト（平成24年度）



4) 実態と課題の明確化

■実態のまとめ

<建物状況>

- ① 9施設で築30年が経過し老朽化が進んでいる。早急な対応が必要。

<利用状況>

- ② 待機児童数は、平成24年17人であったのに対し平成25年は1人。地区別では常に発生していた豊岡、東金子の待機児童が解消している。
- ③ 公立保育所11施設中8施設で定員を下回っている。民間保育園は、14施設中1施設、定員を下回っている。藤沢地区では公立保育所2施設、民間保育園3施設共に定員を超えている。
- ④ 公立幼稚園は1施設、定員を下回っている。民間幼稚園は、9施設中7施設が定員を下回っている。

<運営状況>

- ⑤ 公立幼稚園、民間幼稚園共に運営時間は、14時までとなっており、預かり保育も18時までとなっている。また公立保育所（黒須保育所を除く）は、延長保育を行っておらず18時半までの保育となっている。
- ⑥ 民間保育園は延長保育を行っている保育園があり、22時まで園児を預ける事ができる。

■課題のまとめ

- 市の保有する保育所及び幼稚園は築30年以上経過している施設が多く、かつ幼稚園・保育所12施設のうち藤沢・西武地区の3施設以外は定員を下回っている。また、幼稚園では、民間も含めた10施設中8施設が定員を下回っている。そのため、今後は老朽化の対応を検討すると同時に、周辺の学校への集約化等、保育所・幼稚園のあり方を検討する必要がある。

(12) 学童保育室

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、学童保育室を17施設保有しています。学童保育室の管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：さまざまな事情により、家庭において十分に保育ができない児童に対して、放課後の児童健全育成と、安全・安心な保育を提供することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併 設施設	土地 所有	備考	
						小学校			
豊岡	第一	1 扇学童保育室	121.35	平成元	S造		市	併設	
		2 扇第二学童保育室	97.82	平成元	S造				
	第二	3 豊岡学童保育室	向陽台1-1-14	176.54	不明※	S造		市	※築30年以上経過
		4 藤沢北学童保育室	東町7-10-20	168.48	昭和58	S造		市	
		5 東町学童保育室	向陽台2-1009-3	147.00	昭和55	RC造	●	市	
	第三	6 高倉学童保育室	高倉4-6-17	162.00	不明※	S造		市	※築30年以上経過
		7 黒須学童保育室	春日町2-14-59	234.61	平成6	S造		市	
東金子	8 東金子学童保育室	小谷田1465	165.62	昭和56	S造		市		
	9 新久学童保育室	新久500	122.84	昭和55	RC造	●	市		
金子	10 金子学童保育室	西三ツ木150	108.60	平成2	S造		市		
宮寺・二本木	11 狭山学童保育室	二本木71-1	173.07	平成20	S造		市		
	12 宮寺学童保育室	宮寺594-1	78.75	昭和43	RC造	●	法人		
藤沢	第一	13 藤沢南学童保育室	上藤沢37-2	111.78	平成3	S造		市	
		14 藤沢学童保育室	上藤沢384-3	108.48	平成5	木造		市	
	第二	15 藤沢東学童保育室	東藤沢7-9-1	199.00	昭和50	RC造	●	市	
西武	16 西武学童保育室	野田519-3	170.93	昭和54	S造		市	H26年度改築予定	
	17 仏子学童保育室	仏子433-1	112.62	平成8	木造		市		
合計			2,459.49						

〇〇施設：施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

●：小学校の校舎内に設置されている施設

② 事業内容

自由・集団活動で学校の宿題や、室内外自由遊び・お話・ゲーム・読書・創作など行います。

③ 開室時間等

開室時間		休室日	開室日数
学校授業日	放課後の開始から午後6時まで	日曜日、祝日、年末年始	293日
土曜日・ 学校休校日	午前8時30分から午後6時まで 真に延長が必要な場合は午前8時から 午後6時30分まで		

④ 利用方法及び使用料

学童保育室へ入室できる児童は、次のような事情がある家庭の場合です。

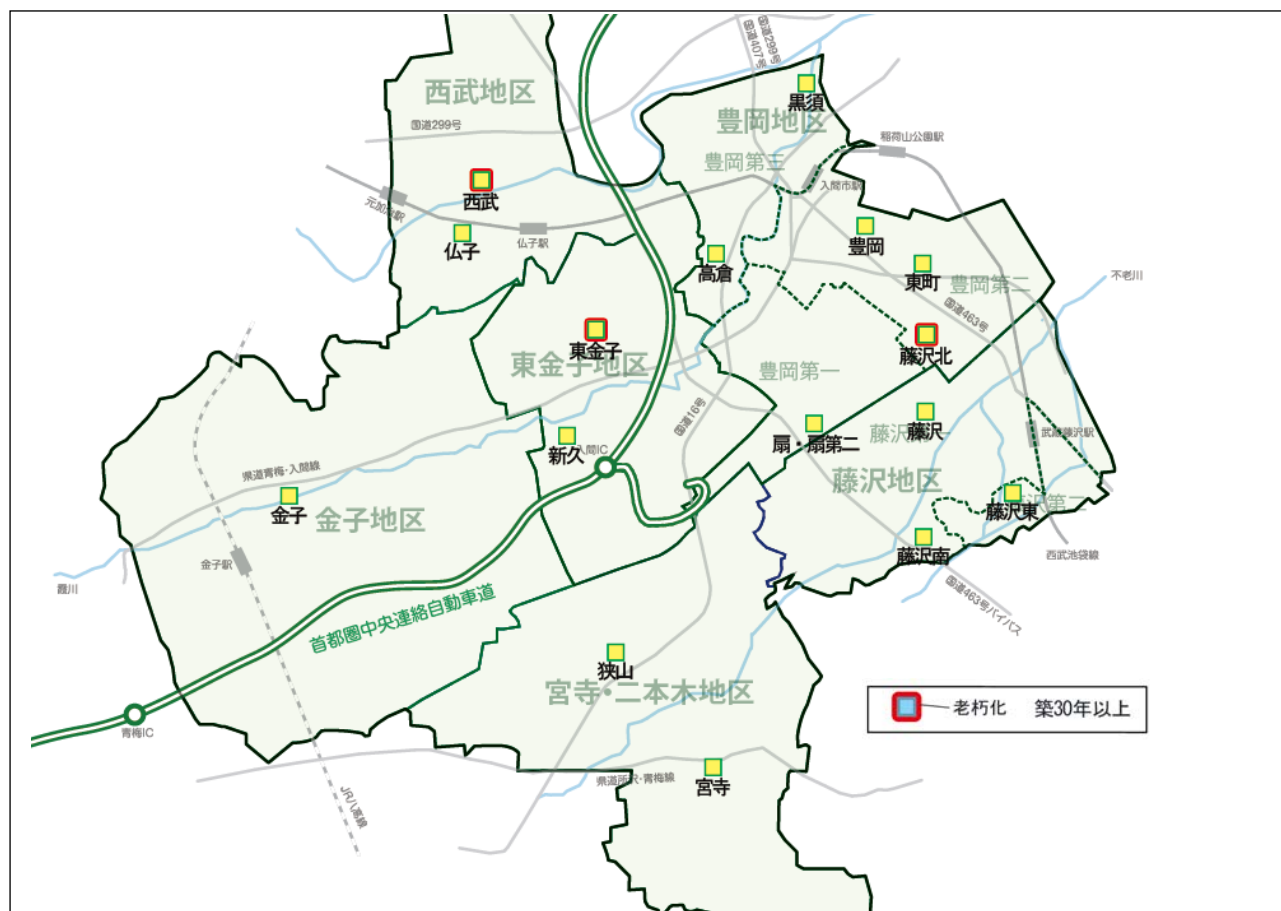
- ・ 保護者が家庭の外で仕事をするなどにより、家庭がいつも留守の場合
- ・ その児童の家庭にいつも看護を必要とする病人がいる場合
- ・ 保護者、もしくは保護者に準ずる方が迎えに来られること

利用に際する申込は、随時受付（毎月15日締切り翌月1日から利用）を行っています。（土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く）

保育料は、月額7,000円です。（所得税非課税世帯でかつ市民税課税世帯については3,000円、所得税及び市民税の両方とも非課税世帯、生活保護世帯については、0円となります）

⑤ 配置状況

図表 学童保育室位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 学童保育室の建物総合評価結果

平成25年度の学童保育室17施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応				⑤維持管理					
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費
1	扇学童保育室	平成元	121	—	24	24	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	381	15	14	3,143	121	112
2	扇第二学童保育室	平成元	98	—	24	24	—	○	○	×	×	×	×	×	×	×	0	0	0	0	0	0
3	豊岡学童保育室	不明	177	—	30	30	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	349	15	115	1,978	83	651
4	藤沢北学童保育室	昭和58	168	—	30	30	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	353	15	106	2,094	87	628
5	東町学童保育室	昭和55	147	—	33	33	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	8	0	0	55	0	0
6	高倉学童保育室	不明	162	—	30	30	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	385	15	242	2,378	91	1,493
7	黒須学童保育室	平成6	235	—	19	19	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	343	15	0	1,461	63	0
8	東金子学童保育室	昭和56	166	未実施	32	32	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	284	55	201	1,713	329	1,215
9	新久学童保育室	昭和55	123	—	33	33	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	0	0	14	0	0	111
10	金子学童保育室	平成2	109	—	23	23	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	226	0	78	2,084	0	721
11	狭山学童保育室	平成20	173	—	5	5	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	349	40	0	2,014	230	0
12	宮寺学童保育室	昭和43	79	—	45	45	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	26	0	0	328	0	0
13	藤沢南学童保育室	平成3	112	—	22	22	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	326	40	21	2,916	356	188
14	藤沢学童保育室	平成5	108	—	20	20	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	233	0	5	2,148	0	48
15	藤沢東学童保育室	昭和50	199	—	38	38	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	0	0	39	0	0	195
16	西武学童保育室	昭和54	171	未実施	34	34	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	344	15	4	2,012	86	23
17	仏子学童保育室	平成8	113	—	17	17	—	×	○	×	×	×	×	×	×	×	268	0	30	2,383	0	266
合計・平均			2,459														3,875	222	868	1,576	90	353

※1 手すり・鍵・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記載例 実施済み=○
 未実施=×
 不要=—
 [赤枠]:床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) [紫枠]:平均値の1.4倍

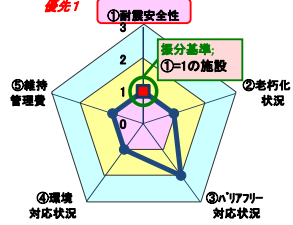
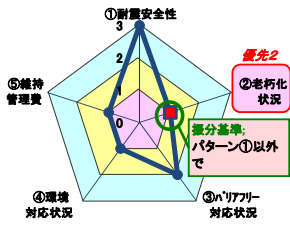
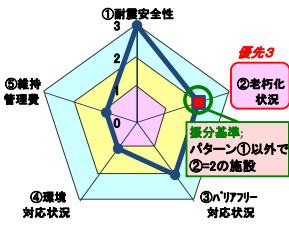
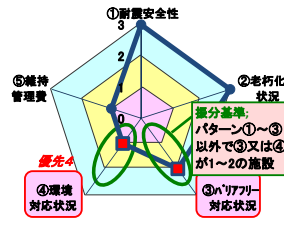
東金子、西武学童保育室は、耐震化対応が未実施となっており早急な対応が求められます。ただし西武学童保育室は現在新しい保育室を建設中です。

(パターン①)

豊岡学童保育室をはじめ7施設は、耐震性能は確保されているものの、老朽化が進行しており建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

扇学童保育室をはじめ5施設は、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

黒須学童保育室をはじめ3施設は、比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望めます。(パターン④)

評価	<p>パターン① 耐震性 老朽化</p> <p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> 	<p>パターン② 老朽化</p> <p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> 	<p>パターン③ 今後 老朽化</p> <p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> 	<p>パターン④ バリアフリー・環境対応</p> <p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> 																																		
該当施設	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>東金子学童保育室</td> <td>昭和56</td> </tr> <tr> <td>西武学童保育室</td> <td>昭和54</td> </tr> </table> <p>< 2 施設 ></p>	東金子学童保育室	昭和56	西武学童保育室	昭和54	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>豊岡学童保育室</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>藤沢北学童保育室</td> <td>昭和58</td> </tr> <tr> <td>東町学童保育室</td> <td>昭和55</td> </tr> <tr> <td>高倉学童保育室</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>新久学童保育室</td> <td>昭和55</td> </tr> <tr> <td>宮寺学童保育室</td> <td>昭和43</td> </tr> <tr> <td>藤沢東学童保育室</td> <td>昭和50</td> </tr> </table> <p>< 7 施設 ></p>	豊岡学童保育室	不明	藤沢北学童保育室	昭和58	東町学童保育室	昭和55	高倉学童保育室	不明	新久学童保育室	昭和55	宮寺学童保育室	昭和43	藤沢東学童保育室	昭和50	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>扇学童保育室</td> <td>平成元</td> </tr> <tr> <td>扇第二学童保育室</td> <td>平成元</td> </tr> <tr> <td>金子学童保育室</td> <td>平成2</td> </tr> <tr> <td>藤沢南学童保育室</td> <td>平成3</td> </tr> <tr> <td>藤沢学童保育室</td> <td>平成5</td> </tr> </table> <p>< 5 施設 ></p>	扇学童保育室	平成元	扇第二学童保育室	平成元	金子学童保育室	平成2	藤沢南学童保育室	平成3	藤沢学童保育室	平成5	<p>該当施設</p> <table border="0"> <tr> <td>黒須学童保育室</td> <td>平成6</td> </tr> <tr> <td>狭山学童保育室</td> <td>平成20</td> </tr> <tr> <td>仏子学童保育室</td> <td>平成8</td> </tr> </table> <p>< 3 施設 ></p>	黒須学童保育室	平成6	狭山学童保育室	平成20	仏子学童保育室	平成8
東金子学童保育室	昭和56																																					
西武学童保育室	昭和54																																					
豊岡学童保育室	不明																																					
藤沢北学童保育室	昭和58																																					
東町学童保育室	昭和55																																					
高倉学童保育室	不明																																					
新久学童保育室	昭和55																																					
宮寺学童保育室	昭和43																																					
藤沢東学童保育室	昭和50																																					
扇学童保育室	平成元																																					
扇第二学童保育室	平成元																																					
金子学童保育室	平成2																																					
藤沢南学童保育室	平成3																																					
藤沢学童保育室	平成5																																					
黒須学童保育室	平成6																																					
狭山学童保育室	平成20																																					
仏子学童保育室	平成8																																					
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>																																		

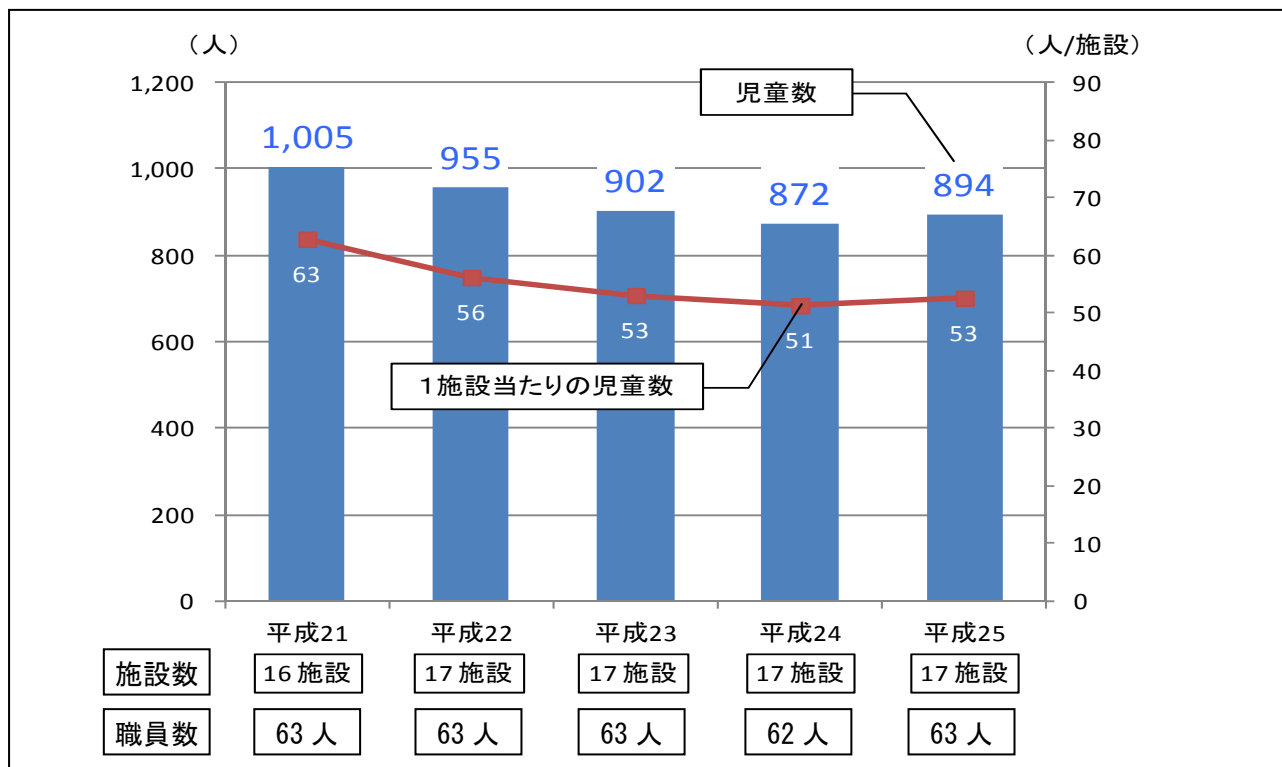
② 利用状況

■ 入室児童数の推移

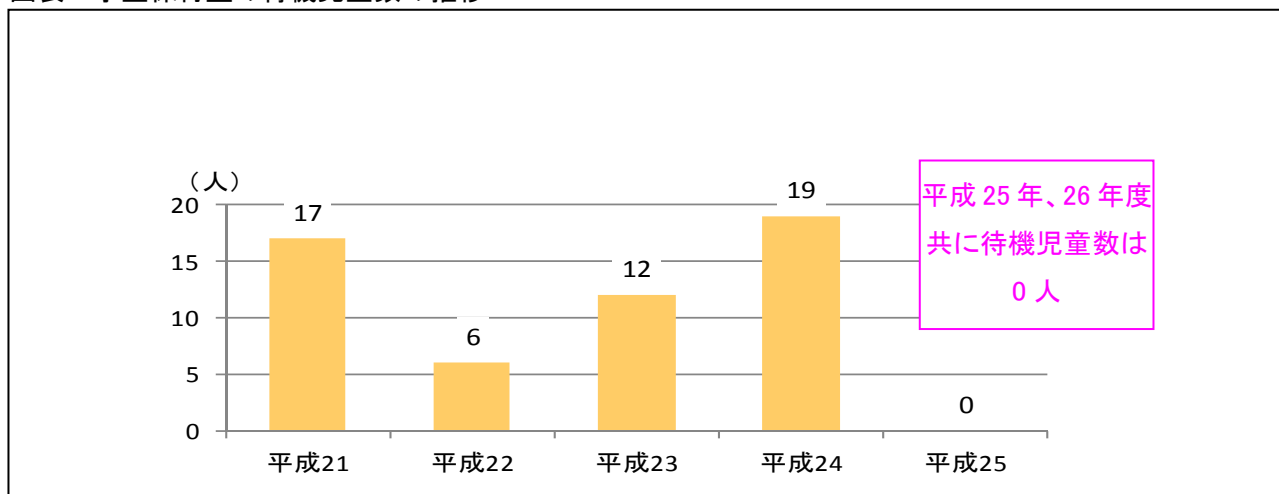
入室児童数の推移をみると、平成21年度1,005人から平成24年度872人まで減少しました。その後微増し、平成25年度は894人となっています。

学童保育室の待機児童数をみると、平成21年度から平成24年度まで6人から19人、平成25年度では、0人となっています。

図表 学童保育室の入室児童数の推移



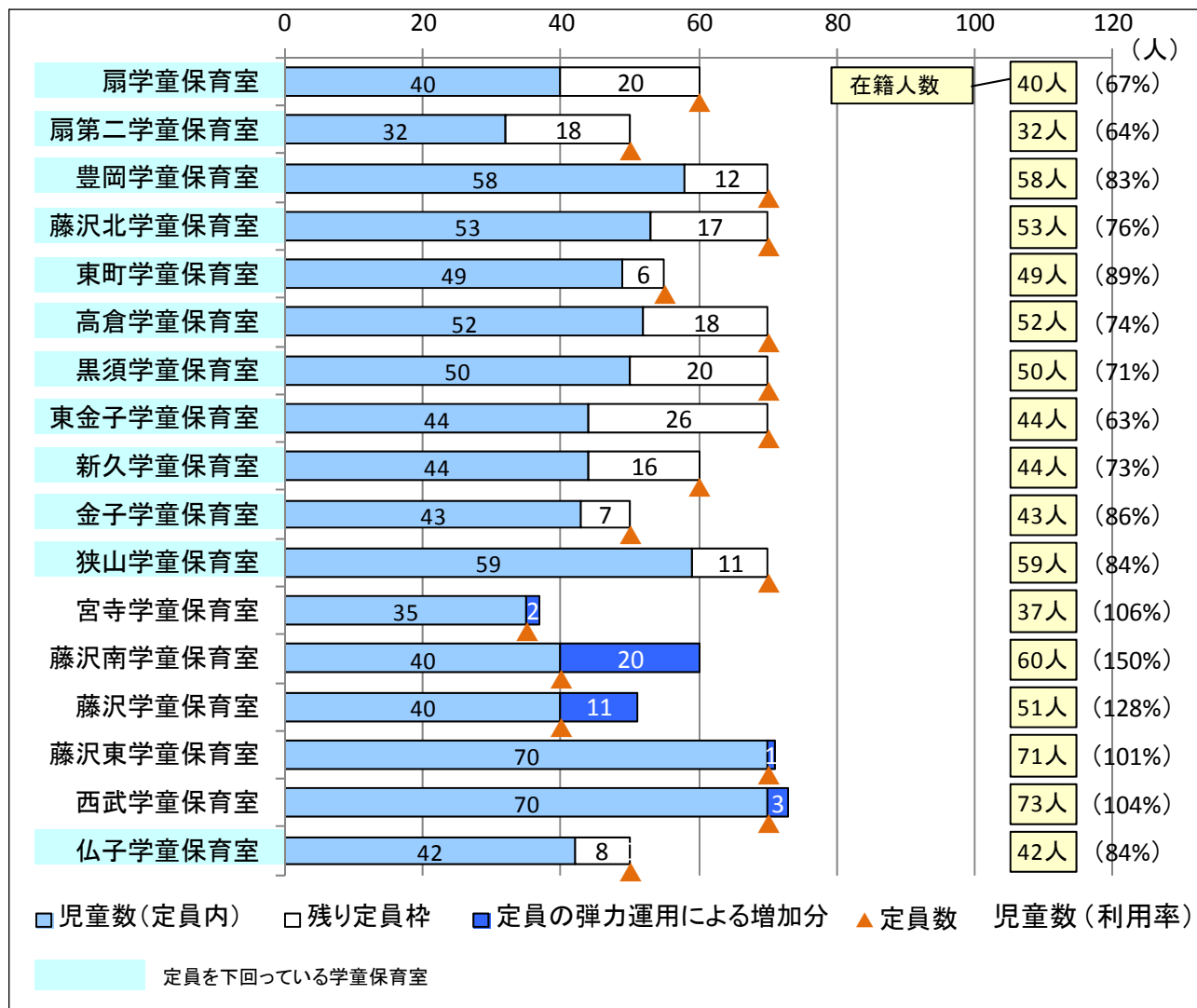
図表 学童保育室の待機児童数の推移



■ 施設別の入室状況

学童保育室の施設数は、約 10 年前の平成 14 年度で 14 施設でしたが、その後徐々に増加し平成 25 年度では、17 施設となっています。定員数と児童数は、17 施設中 12 施設で定員を下回っています。一方、定員を超えている 5 施設は、定員の弾力的運用により運営を行っています。

図表 学童保育室の定員及び児童数（平成 25 年度）



③ 運営状況

学童保育室 17 施設の管理運営は、直営です。

平成 24 年度の運営人員は、施設合計で、一般職員が 54 人、臨時職員が 9 人で従事しています。施設別の職員数は、扇学童保育室他 7 施設の 3 人から金子学童保育室の 7 人となっています。

図表 運営人員（平成 24 年度）

		扇学童保育室	扇第二学童保育室	豊岡学童保育室	藤沢北学童保育室	東町学童保育室	高倉学童保育室	黒須学童保育室	東金子学童保育室	新久学童保育室	金子学童保育室	狭山学童保育室	宮寺学童保育室	藤沢南学童保育室	藤沢学童保育室	藤沢東学童保育室	西武学童保育室	仏子学童保育室	合計	
学童保育室	直営	一般職員(正規職員)	3	2	3	3	3	3	3	3	6	3	3	3	3	4	3	3	54	
		臨時職員	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	9
		計	3	3	4	3	3	4	4	3	3	7	3	4	4	4	4	4	3	63

コスト状況

学童保育室 17 施設の年間トータルコストは、1 億 7,423 万円です。1 施設当たり平均 1,025 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 2,829 万円（16%）、事業にかかるコストは 1 億 2,197 万円（70%）、減価償却相当額が 2,397 万円（14%）となっています。

図表 学童保育室 施設別行政コスト計算書（平成 24 年度）

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		扇 学童保育室	扇第二 学童保育室	豊岡 学童保育室	藤沢北 学童保育室	東町 学童保育室	高倉 学童保育室	黒須 学童保育室	東金子 学童保育室	新久 学童保育室	
管理 運営 にか か る コ ス ト	その他人件費	49,370	49,370	115,690	0	115,690	115,790	71,400	93,520	88,700	
	修繕費	13,650	0	114,870	105,840	0	241,920	0	201,180	13,650	
	改修費	0	0	15,275	9,010	0	39,010	0	17,053	0	
	光熱水費	298,968	298,968	298,973	298,968	0	298,968	298,968	298,968	0	
	委託費	14,700	0	14,700	14,700	0	14,700	14,700	54,500	0	
	使用料及び賃借料	303,693	303,693	0	0	0	0	0	0	0	
	その他物件費	987,461	987,461	987,469	987,461	987,461	987,461	987,461	987,461	987,461	
	管理運営にかかるコスト	1,667,842	1,639,492	1,546,977	1,415,979	1,103,151	1,697,849	1,372,529	1,652,682	1,089,811	
	か 事 業 に か か る コ ス ト	一般職員人件費	5,806,140	5,806,140	7,741,520	5,806,140	5,806,140	7,741,520	7,741,520	5,806,140	5,806,140
		その他人件費	0	0	45,292	0	0	0	0	0	0
事業にかかるコスト		5,806,140	5,806,140	7,786,812	5,806,140	5,806,140	7,741,520	7,741,520	5,806,140	5,806,140	
現金収支を伴うコスト 計	7,473,982	7,445,632	9,333,789	7,222,119	6,909,291	9,439,369	9,114,049	7,458,822	6,895,951		
【収入の部】											
収入	使用料収入	3,594,000	2,086,000	3,930,000	3,374,000	3,507,000	3,381,000	3,515,000	2,156,000	2,786,000	
収入の合計		3,594,000	2,086,000	3,930,000	3,374,000	3,507,000	3,381,000	3,515,000	2,156,000	2,786,000	
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	1,177,809	949,429	1,713,476	1,635,247	1,426,765	1,572,353	2,277,097	1,607,488	862,494	
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)		8,651,791	8,395,061	11,047,265	8,857,366	8,336,056	11,011,722	11,391,146	9,066,310	7,758,445	
収支差額(ネットコスト)		5,057,791	6,309,061	7,117,265	5,483,366	4,829,056	7,630,722	7,876,146	6,910,310	4,972,445	

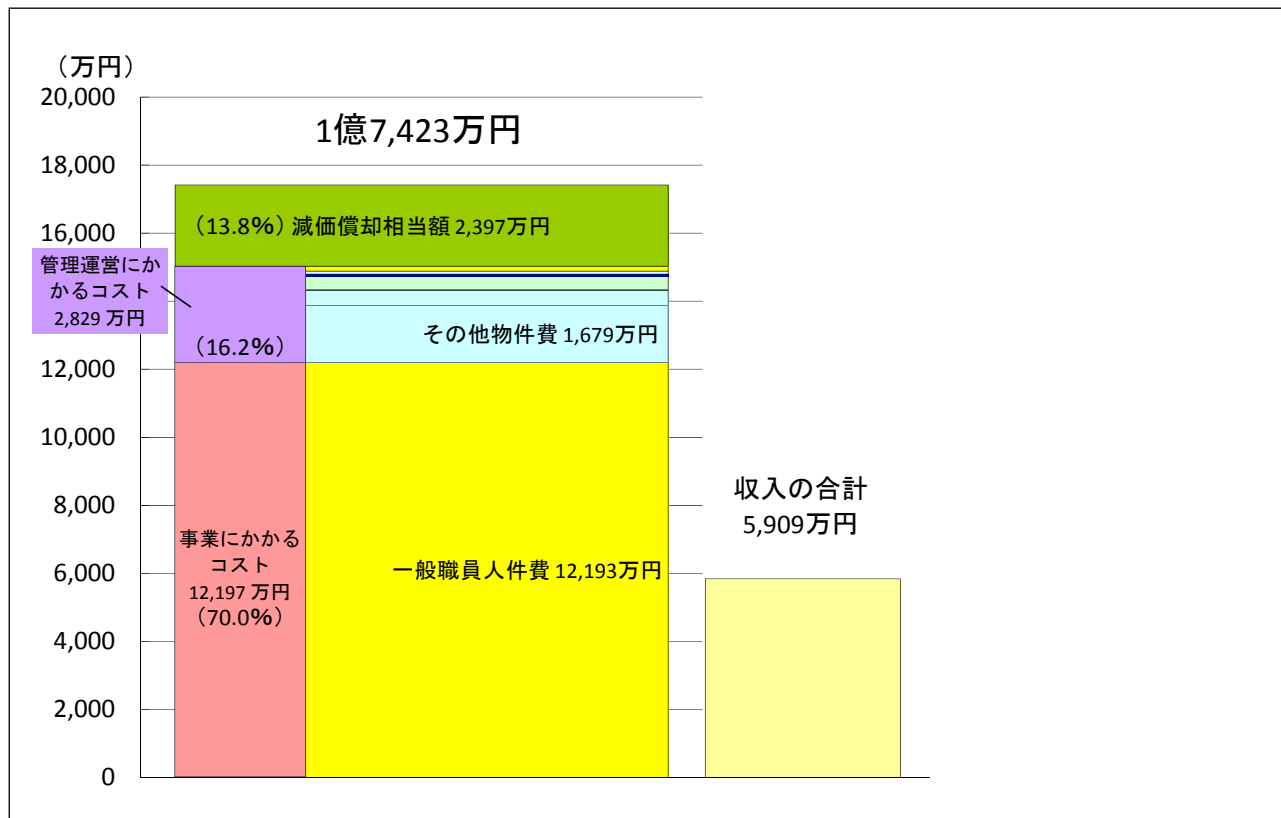
(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		金子 学童保育室	狭山 学童保育室	宮寺 学童保育室	藤沢南 学童保育室	藤沢 学童保育室	藤沢東 学童保育室	西武 学童保育室	仏子 学童保育室	合計	
管理 運営 にか か る コ ス ト	その他人件費	82,300	114,990	55,100	95,620	101,190	69,980	119,790	89,070	1,427,570	
	修繕費	78,270	0	0	21,000	5,250	38,850	4,200	29,978	868,658	
	改修費	9,955	0	0	0	513,504	0	15,988	9,955	629,750	
	光熱水費	298,968	298,968	0	298,968	298,968	0	298,968	298,968	3,886,589	
	委託費	0	39,800	0	39,800	0	0	14,700	0	222,300	
	使用料及び賃借料	0	3,864,000	0	0	0	0	0	0	4,471,386	
	その他物件費	987,461	987,461	987,461	987,461	987,461	987,461	987,461	987,461	16,786,845	
	管理運営にかかるコスト	1,456,954	5,305,219	1,042,561	1,442,849	1,906,373	1,096,291	1,441,107	1,415,432	28,293,098	
	か 事 業 に か か る コ ス ト	一般職員人件費	13,547,660	5,806,140	7,741,520	7,741,520	7,741,520	7,741,520	7,741,520	5,806,140	121,928,940
		その他人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	45,292
事業にかかるコスト		13,547,660	5,806,140	7,741,520	7,741,520	7,741,520	7,741,520	7,741,520	5,806,140	121,974,232	
現金収支を伴うコスト 計	15,004,614	11,111,359	8,784,081	9,184,369	9,647,893	8,837,811	9,182,627	7,221,572	150,267,330		
【収入の部】											
収入	使用料収入	5,608,000	3,907,000	2,197,000	4,641,000	3,234,000	4,867,000	3,685,000	2,625,000	59,093,000	
収入の合計		5,608,000	3,907,000	2,197,000	4,641,000	3,234,000	4,867,000	3,685,000	2,625,000	59,093,000	
II. 現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	1,054,059	1,679,797	552,926	1,084,924	1,627,200	1,397,234	1,659,026	1,689,300	23,966,624	
III. 総括											
コストの部合計(トータルコスト)		16,058,673	12,791,156	9,337,007	10,269,293	11,275,093	10,235,045	10,841,653	8,910,872	174,233,954	
収支差額(ネットコスト)		10,450,673	8,884,156	7,140,007	5,628,293	8,041,093	5,368,045	7,156,653	6,285,872	115,140,954	

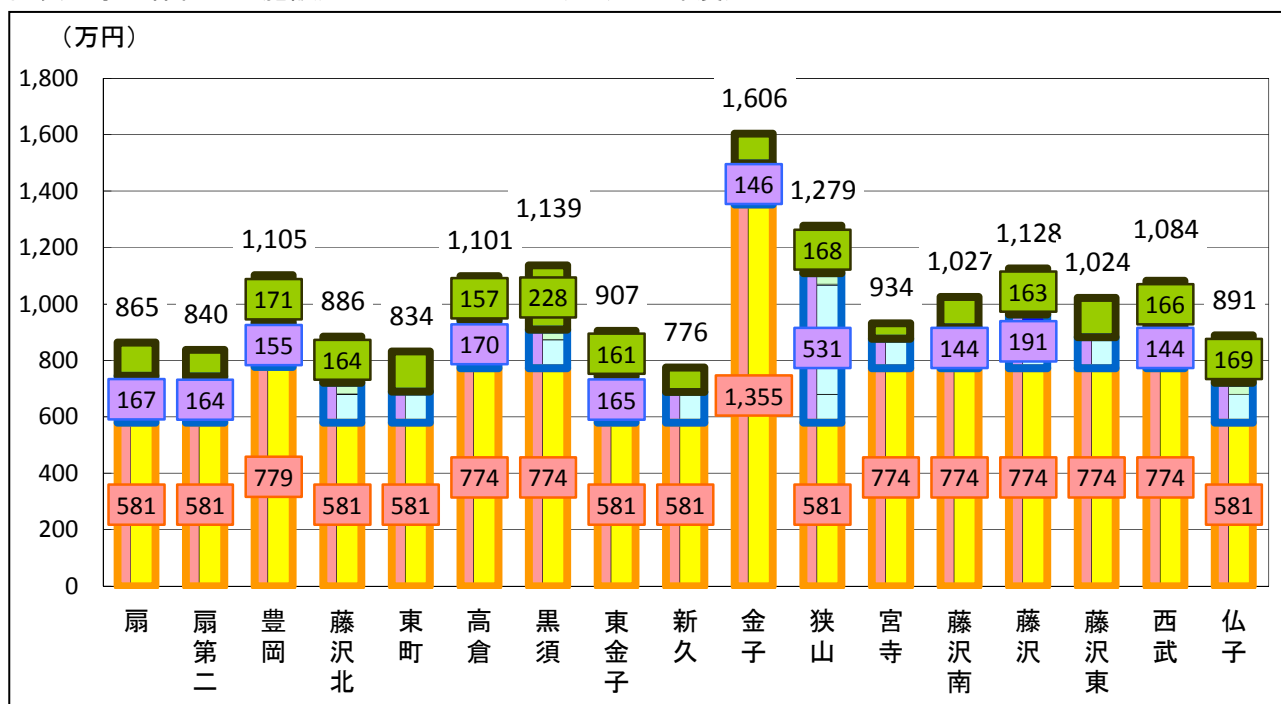
学童保育室の全施設トータルコストのうち、人件費が1億2,340万円と全体の約71%を占めています。当該施設からは、年間5,909万円の収入があります。

施設別トータルコストでは、新久学童保育室の776万円から金子学童保育室の1,606万円となっています。

図表 学童保育室 全施設トータルコスト（平成24年度）



図表 学童保育室 施設別トータルコスト（平成24年度）



(13) 市営住宅

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市営住宅を20施設保有しています。市営住宅の管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃で住宅を供給することで、市民の居住の安定を図ることを目的とする

市営住宅の施設規模は、1戸（約34㎡）から16戸（約1,500㎡）の木造住宅と16戸（約1,100㎡）から118戸（約6,700㎡）の簡易耐火及びRC造の団地となっています。

図表 施設一覧

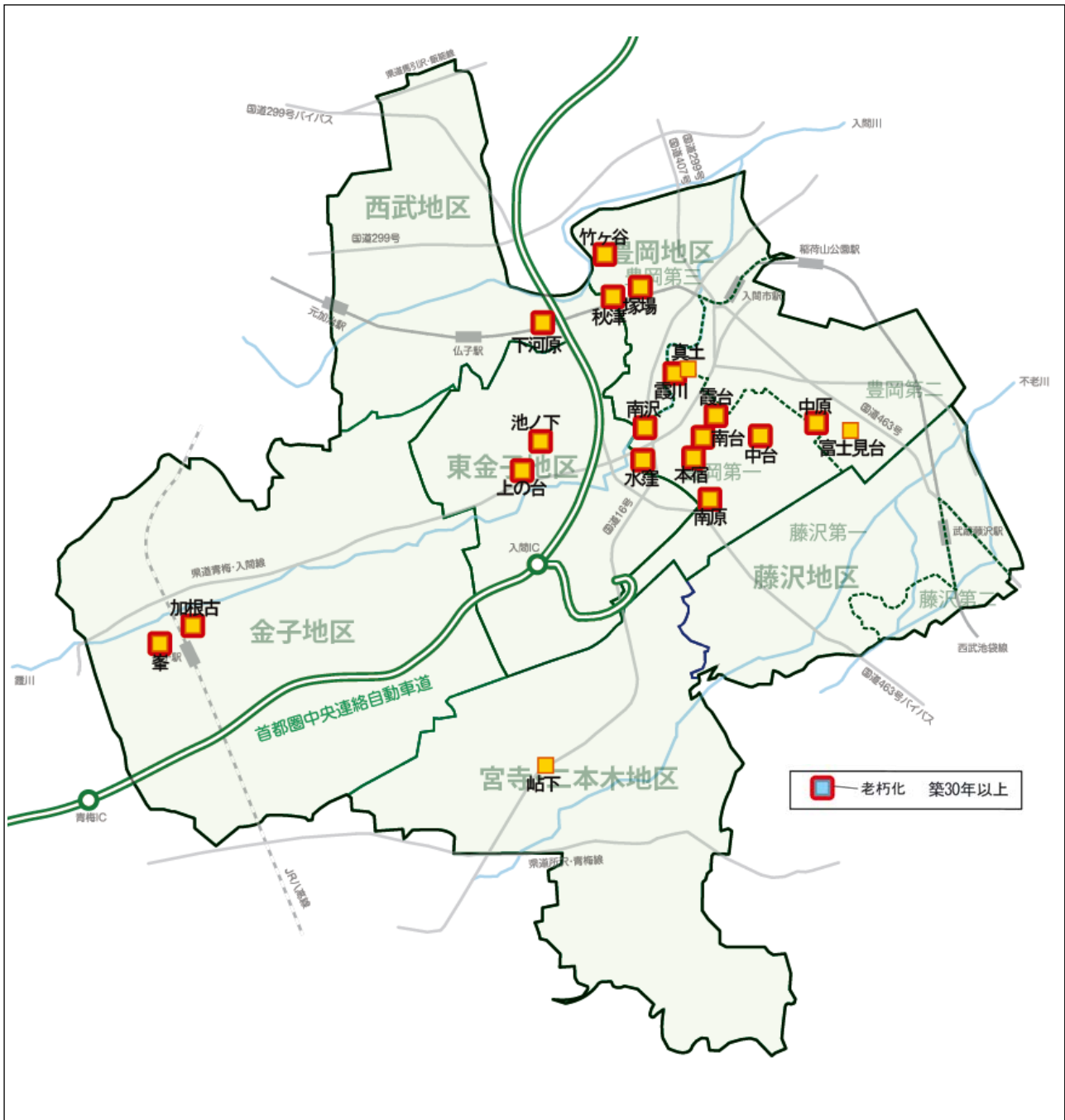
地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	入居可能 戸数	ストック活用計画			土地 所有	備考
							維持管理	用地活用	用途廃止		
豊岡	1 中台団地	扇台2-5-21 他	122.05	昭和30	木造	4			●	市	
	2 本宿団地	扇町屋4-5-3 他	303.99	昭和31	木造	9		●		市	新規供給予定 36戸
	3 水窪団地	扇町屋5-12-22 他	337.08	昭和33	木造	12			●	市	
	4 南原団地	扇台5-11-6 他	339.10	昭和37	木造	8			●	市	
	5 南台団地	扇町屋1-7-17	1,388.36	昭和42	簡易耐火	34			●	個人	
	6 霞台団地	扇町屋1-10-10	1,664.45	昭和56	RC造	24	●			市	耐震化実施済
	7 中原団地	東町1-9-15 他	501.96	昭和38	木造	16			●	市	
	8 霞川団地	豊岡2-9-7	929.20	昭和45	RC造	20	●			市	耐震化実施済
	9 真土団地	豊岡2-5-5 他	3,666.87	平成3	RC造	48	●			市	
	10 富士見台団地	東町3-6-22	1,374.18	平成12	RC造	18	●			市	
	11 塚場団地	鍵山2-1-7	33.95	昭和26	木造	1			●	市	
	12 南沢団地	高倉5-11-6 他	165.67	昭和29	木造	5			●	市	
	13 秋津団地	鍵山3-7-8 他	216.60	昭和31	木造	8			●	市	
	14 竹ヶ谷団地	鍵山2-15-30 他	306.26	昭和35	木造	11		●		市	新規供給予定 30戸
東金子	15 上の台団地	大字小谷田87	394.86	昭和34	木造	14		●		市	新規供給予定 42戸
	16 池ノ下団地	大字小谷田1390	6,706.53	昭和46	RC造	118	●			市	平成23年に部 分改修実施
金子	17 加根古団地	大字寺竹577 他	397.29	昭和32	木造	14		●		市	新規供給予定 39戸
	18 峯団地	大字南峯340	89.25	昭和36	木造	4			●	市	
宮寺・二本木	19 峠下団地	宮寺2805-4	1,091.96	昭和61	RC造	16	●			市	
西武	20 下河原団地	大字仏子1715-1	1,655.20	昭和44	RC造	40	●			市	耐震化実施済
合計			21,684.81			424					

〇〇施設：施設名の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

② 配置状況

図表 市営住宅位置図



2) 実態把握

① 建物状況

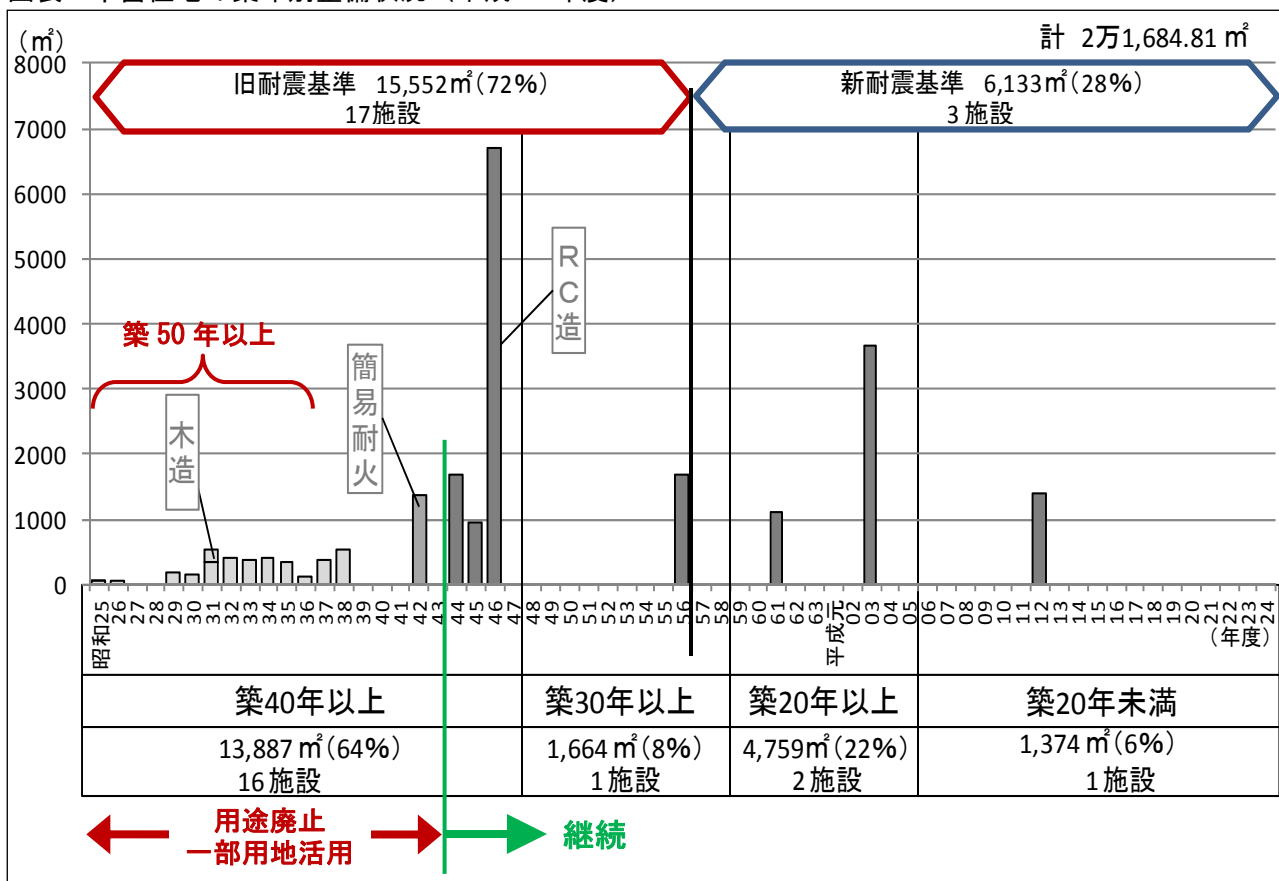
■ 築年別整備状況

市営住宅の築年別整備状況をみると、旧耐震基準の建物で築30年以上経過している建物が1万5,552㎡で、市営住宅全体の約72%を占めています。これらの建物については、老朽化が進行しています。そのうち、築50年以上経過している建物が3,208㎡あり、全て木造戸建て住宅となっています。また、最も古い建物は、築62年を経過しています。

昭和44年以降に建設された施設はいずれもRC造となっており、1万7,088㎡で、市営住宅全体の約79%を占めています。

平成25年に策定された入間市市営住宅長寿命化計画で、今後も維持管理を続け継続する施設として昭和44年以降に整備された7施設を選定しており、そのほかの施設は廃止もしくは用地活用し、必要戸数を供給するものとしています。

図表 市営住宅の築年別整備状況（平成25年度）



■ 入間市市営住宅長寿命化計画について

本市では、市営住宅の80%が老朽化している実態のもと、地域の実情に応じた計画的な建替え、用途廃止、計画的な修繕や改善など、公営住宅ストックの活用手法によるストックマネジメントを実施し、市営住宅の長寿命化による更新コストの縮減を目指す事を目的とした、市営住宅長寿命化計画として策定しています。

高齢化社会と居住ニーズへの対応を目指した市営住宅の供給を基本理念としており、平成26年度から平成35年度までの10年間の計画期間となっています。

市営住宅長寿命化計画の中の、ストックの活用計画では、公営住宅等長寿命化計画策定指針に基づいて、用途廃止住宅と維持管理住宅を選定し、以下の表の緑網掛けの4団地を用地活用団地を選定しました。選定にあたっては、一次、二次判定では老朽性や修繕状況などから建替、維持管理、用途廃止に分類し、3次判定では用途廃止と判定した木造団地について立地条件や地域バランスなどから用地活用団地を選定しました。

団地名	建設年度	構造階数	棟数	戸数	活用手法	建替戸数	維持管理戸数	用途廃止戸数	用地活用による新規供給	目標年次戸数
塚場	S26	木造1	1	1	用途廃止	0	0	1	-	
南沢	S29	木造1	5	5	用途廃止	0	0	5	-	
中台	S30	木造1	4	4	用途廃止	0	0	4	-	
本宿	S31	木造1	9	9	用地活用	0	0	9	36	36
秋津	S31・33	木造1	8	8	用途廃止	0	0	8	-	
加根古	S32・33	木造1	14	14	用地活用	0	0	14	39	39
水窪	S33	木造1	12	12	用途廃止	0	0	12	-	
上の台	s34~36	木造1	14	14	用地活用	0	0	14	42	42
竹ヶ谷	S35	木造1	11	11	用地活用	0	0	11	30	30
峯	S36	木造1	4	4	用途廃止	0	0	4	-	
南原	S37	木造1	8	8	用途廃止	0	0	8	-	
中原	S38	木造1	16	16	用途廃止	0	0	16	-	
南台	S42・43	簡2	6	34	用途廃止	0	0	34	-	
下河原	S44	耐4	2	40	維持管理	0	40	0	-	40
霞川	S45	耐5	1	20	維持管理	0	20	0	-	20
池ノ下	S46~54	耐4・5	6	118	維持管理	0	118	0	-	118
霞台	S57	耐3	2	24	維持管理	0	16	0	-	16
帖下	S62	耐4	1	16	維持管理	0	24	0	-	24
真土	H4・7	耐4	2	48	維持管理	0	48	0	-	48
富士見台	H12	耐3	1	18	維持管理	0	18	0	-	18
合計(20団地)			127	424		0	284	140	147	431

出典：入間市市営住宅長寿命化計画

■ 市営住宅の建物総合評価結果

平成 25 年度の市営住宅 20 施設のうち、入間市市営住宅長寿命化計画において維持管理対象施設となっている 7 施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理			
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)		床面積当たり (円/㎡)	
1	霞台団地	昭和56	1,664	—	32	32	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	維持管理費の性質が異なるため評価から除く	
2	霞川団地	昭和45	929	—	43	43	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
3	真土団地	平成3	3,667	—	22	22	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
4	富士見台団地	平成12	1,374	—	13	13	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×		
5	池ノ下団地	昭和46	6,707	—	42	42	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
6	帖下団地	昭和61	1,092	—	27	27	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
7	下河原団地	昭和44	1,655	—	44	44	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
合計・平均			17,088																

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備
 記載例 実施済み=○ 未実施=× 不要=—
 [赤枠]:床面積当たり(円/㎡)の平均値 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) [紫枠]:平均値の1.4倍

霞台団地をはじめ 4 施設は、耐震性能は確保されているものの、老朽化が進行しており建替え又は大規模改修の検討が必要な施設となっています。(パターン②)

真土団地、帖下団地は、新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

富士見台団地は比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応及び環境対応が一部完了していないため、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターン④)

評価	パターン② 老朽化	パターン③ 今後 老朽化	パターン④ バリアフリー・環境対応
評価	<p>・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修などの老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先2</p> <p>振分基準: パターン①以外で ②=1の施設</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先3</p> <p>振分基準: パターン①以外で ②=2の施設</p>	<p>・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設</p> <p>優先4</p> <p>振分基準: パターン①～③以外で③又は④が1～2の施設</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度</p> <p>霞台団地 昭和56 霞川団地 昭和45 池ノ下団地 昭和46 下河原団地 昭和44</p> <p>< 4 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度</p> <p>真土団地 平成3 帖下団地 昭和61</p> <p>< 2 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度</p> <p>富士見台団地 平成12</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・耐震性能は確保されているものの、築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>	<p>・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。</p>

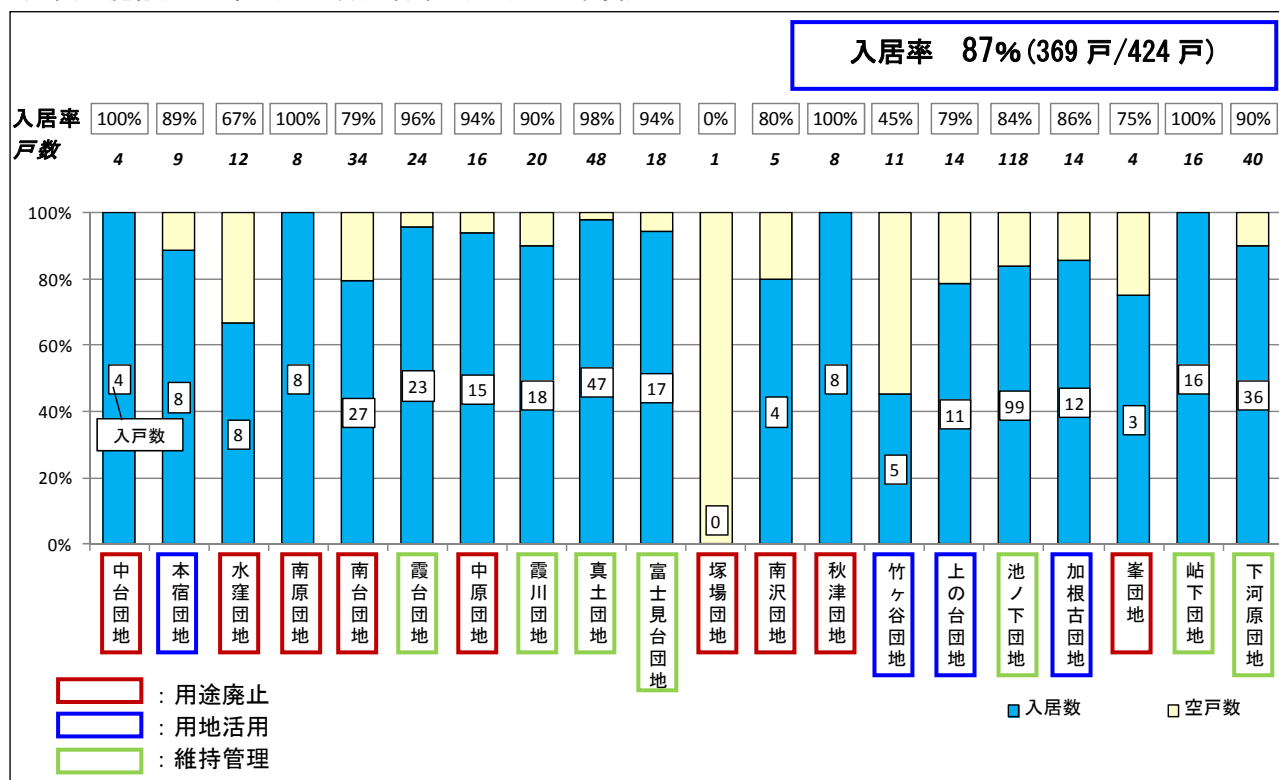
② 利用状況

■ 施設別の入居状況

平成 25 年度 8 月現在の市営住宅の入居状況は全 424 戸中、369 戸 87%となっています。平成 25 年度の施設別入居状況を見ると、全体入居率 87%を下回る施設が 9 施設となっていますが、中には用途廃止予定の施設も含まれています。

維持管理予定の 7 施設の入居率は、池ノ下団地の 84%から帖下団地他 3 団地の 100%となっています。

図表 施設別・部屋別 利用者数 (平成 25 年度)



出典：入間市市営住宅長寿命化計画

③ コスト状況

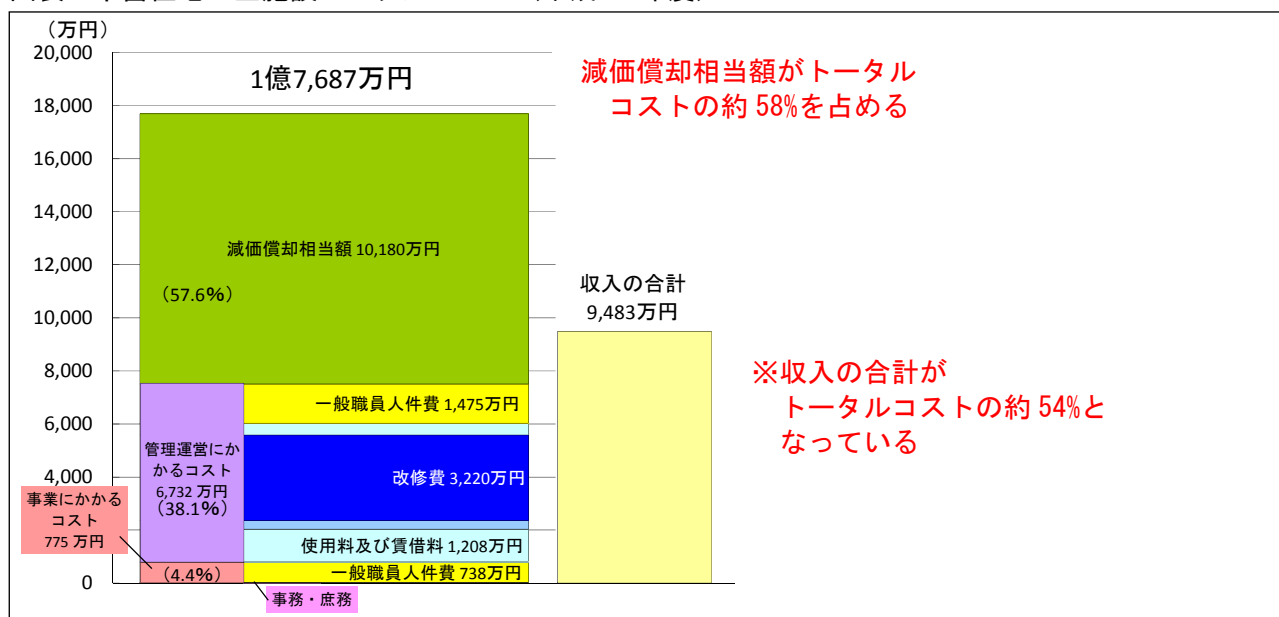
市営住宅の年間トータルコストは、1億7,687万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（人件費・賃借料、委託費、修繕費等）は6,732万円（38%）、事業にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は775万円（4%）、減価償却相当額は1億180万円（58%）です。

図表 行政コスト計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		公営住宅（円）
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	14,750,739
	修繕費	4,484,779
	改修費	32,199,099
	委託費	3,296,244
	使用料及び賃借料	12,078,212
	その他物件費	510,997
	管理運営にかかるコスト	67,320,070
事業にかかるコスト	一般職員人件費	7,375,370
	その他物件費	366,210
	事業活動	7,741,580
	負担金補助及び交付金	6,000
	その他物件費	3,660
	事務・庶務	9,660
事業にかかるコスト	7,751,240	
現金収支を伴うコスト 計		75,071,310
【収入の部】		
収入	手数料収入	400
	使用料収入	94,833,346
収入の合計		94,833,746
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	101,803,174
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		176,874,484
収支差額（ネットコスト）		82,040,738

図表 市営住宅 全施設トータルコスト（平成24年度）



(14) 庁舎等 (行政窓口)

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、本庁舎内市民課のほか、5ヶ所の公民館内併設の支所、及び2ヶ所の公民館内併設の出張所に行政窓口を設置しています。管理運営は、市の直営となっています。

設置目的:	
市庁舎	さまざまな行政課題を解決するとともに、市民生活に不可欠なサービスを提供することを目的とする
支所	市民生活に必要な各種手続きサービスを提供するとともに、地域と行政の連携を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設		土地所有	備考
						公民館	図書館分館・配本所		
豊岡第二	1 市庁舎	豊岡1-16-1	22,494.64	昭和48	SRC造			市	
豊岡第三	2 黒須出張所	黒須2-3-13	0.00	昭和45	RC造	●		市	
東金子	3 東金子支所	小谷田77-3	65.27	昭和59	RC造	●		市	
金子	4 金子支所	寺竹535-1	93.98	平成5	RC造	●	●	市	
宮寺・二本木	5 宮寺支所	宮寺2405-1	50.00	昭和58	RC造	●	●	市	
藤沢第一	6 藤沢支所	下藤沢846-1	177.66	平成12	RC造	●	●	市	
藤沢第二	7 東藤沢出張所	東藤沢3-19-19	0.00	平成6	RC造	●		市	
西武	8 西武支所	野田496	99.00	昭和56	RC造	●		市	
合計			22,980.55						

〇〇施設 : 施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56 : 建築年度のオレンジハッチは、老朽化 (築30年以上) を示す

② 事業内容

各種証明書等の交付や異動等の届出受付業務を行っています。

市民課では、戸籍や住民基本台帳の申請・交付・届出受付を行っています。各支所・出張所では、市民課業務に加え、市税に関する証明書発行や市税等の収納業務もを行っています。

図表 施設別業務内容

		市庁舎	黒須出張所	東金子支所	金子支所	宮寺支所	藤沢支所	東藤沢出張所	西武支所
付業務	戸籍に関する証明書	●	—	●	●	●	●	—	●
	住民登録関係証明書	●	●	●	●	●	●	●	●
	印鑑証明	●	●	●	●	●	●	●	●
	諸証明	●	—	●	●	●	●	—	●
届出等	転出証明	●	—	●	●	●	●	—	●
	臨時運行	●	—	—	—	—	—	—	—
	印鑑登録	●	—	●	●	●	●	—	●
その他	国民健康保険税	●	—	●	●	●	●	—	●
	市民税・固定資産税・軽自動車税等の徴収	●	—	●	●	●	●	—	●
	水道の使用料	●	—	●	●	●	●	—	●
	税証明	●	—	●	●	●	●	—	●
	戸籍等手数料	●	—	●	●	●	●	—	●

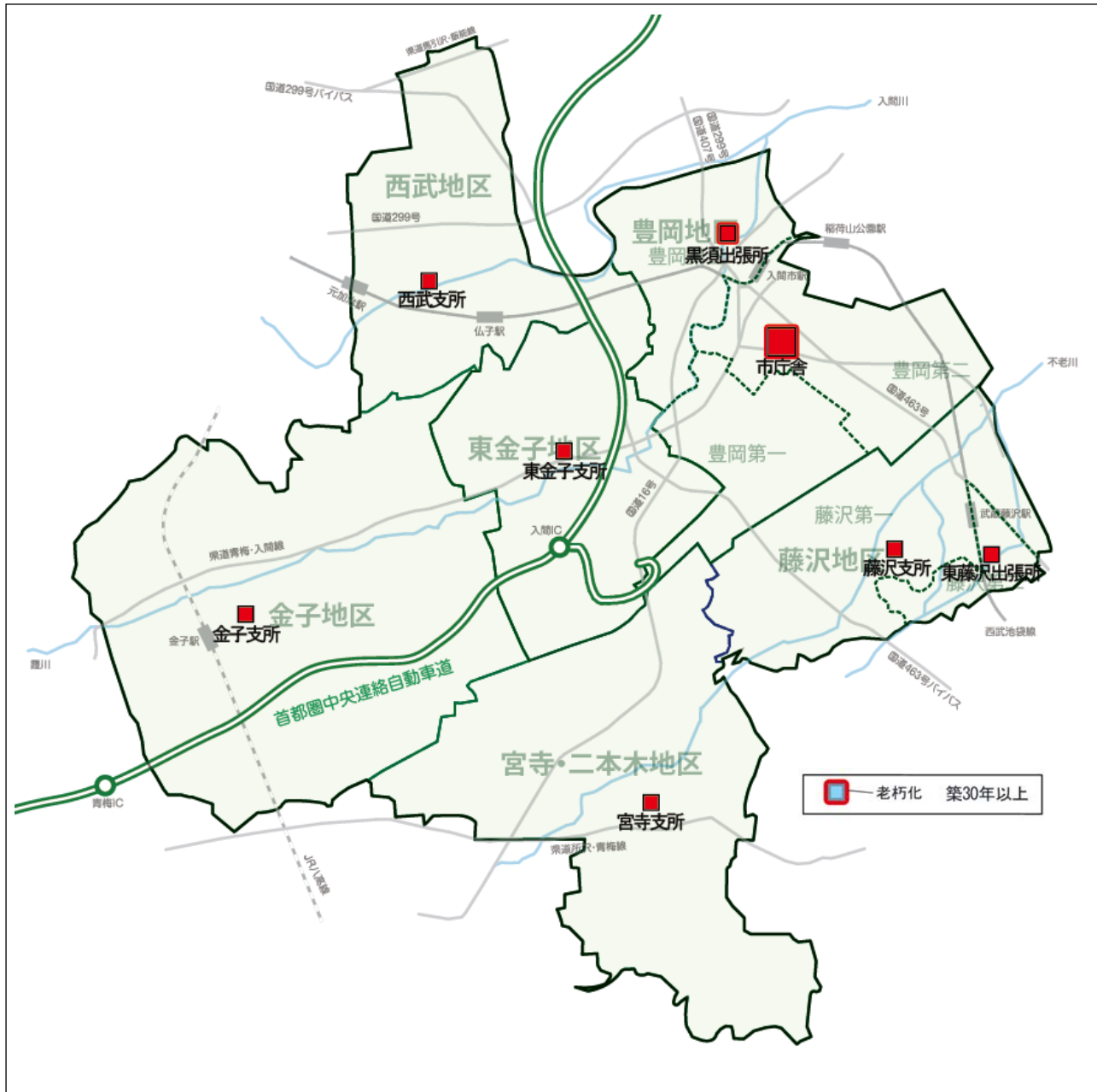
※税窓口は2階(税担当課)で行っています

③ 開庁時間等(平成24年度)

名称	開庁時間	閉庁日	開庁日数
市民課(市庁舎)	午前8時30分から 午後5時00分まで	土曜日、日曜日・祝日、 年末年始(12月29日から1月3日)	248日
東金子支所			
金子支所			
宮寺支所			
藤沢支所 西武支所			
黒須出張所 東藤沢出張所			

④ 配置状況

図表 庁舎等(行政窓口)位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 市庁舎の建物総合評価結果

平成 25 年度の市庁舎の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	維持管理費 (千円)	建物管理委託費	各所修繕費
1	市庁舎	昭和48	22,495	診断済	40	40	○	○	○	○	○	○	×	×	×	44,129	71,136	6,148	1,962	3,162	273

※支所・出張所は公民館と併設のため評価から除いています

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例	実施済み=○
	未実施 = ×
	不要 ⇒ -

 : 床面積当たり (円/㎡) の平均値
 (床面積当たり (円/㎡) の平均値 = それぞれの費用の合計 / 延床面積の合計)
 : 平均値の1.4倍

市庁舎は、耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。ただし、耐震診断は実施済です。(パターン①)

評価	パターン① 耐震性 老朽化 ・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設
	該当施設 市庁舎 建築年度 昭和48
コメント	・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。

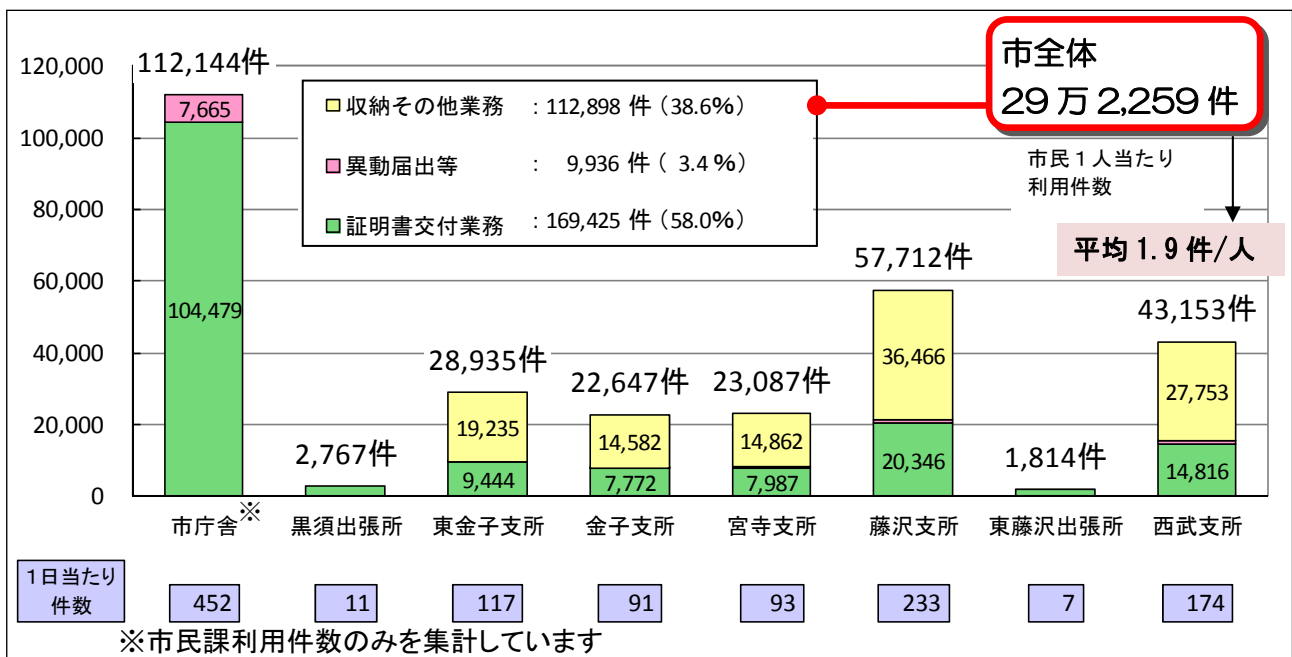
② 利用状況

平成 24 年度の全体の窓口利用件数は、29 万 2,259 件です。市民 1 人当たり年間約 1.9 件の利用となっています。取扱業務ごとの内訳をみると、住民票等の証明書の交付が約 16 万 9,425 件と全体の約 58%を占めています。

施設別の利用件数では、市庁舎市民課が 11 万 2,144 件と全体利用の約 38%を占めています。支所及び出張所の利用件数は、東藤沢出張所の 1,814 件から藤沢支所の 5 万 7,712 件となっています。

1 日当たりの利用件数は、市役所市民課が 452 件/日、支所及び出張所は東藤沢出張所の 7 件/日から藤沢支所の 233 件/日となっています。

図表 年間利用件数 (平成 24 年度)



図表 施設別業務件数 (平成 24 年度)

		(件)	市庁舎	黒須出張所	東金子支所	金子支所	宮寺支所	藤沢支所	東藤沢出張所	西武支所
付業務	戸籍に関する証明書	30,299	21,821	—	1,311	1,236	1,330	2,559	—	2,042
	住民登録関係証明書	81,092	53,112	1,401	3,890	3,092	2,982	9,295	935	6,385
	印鑑証明	53,066	26,444	1,325	3,978	3,195	3,504	7,876	803	5,941
	諸証明	4,968	3,102	41	265	249	171	616	76	448
届出等	転出証明	3,943	3,085	—	89	95	71	366	—	237
	臨時運行	809	809	—	—	—	—	—	—	—
	印鑑登録	5,184	3,771	—	167	198	167	534	—	347
小計			112,144	2,767	9,700	8,065	8,225	21,246	1,814	15,400
収納その他	国民健康保険税	13,392	—	—	2,534	1,642	1,693	4,122	—	3,401
	市民税・固定資産税・軽自動車税等の徴収	30,786	—	—	6,101	4,132	4,304	8,728	—	7,521
	水道の使用料	809	—	—	191	99	90	220	—	209
	税証明	7,674	—	—	993	1,041	857	2,928	—	1,855
	戸籍等手数料	60,237	—	—	9,416	7,668	7,918	20,468	—	14,767
小計			0	0	19,235	14,582	14,862	36,466	0	27,753
合計		292,259	112,144	2,767	28,935	22,647	23,087	57,712	1,814	43,153

③ 運営状況

■ 運営人員

窓口業務は全て市の直営です。

市民課（市庁舎）は32人、支所は4～7人が従事しています。黒須出張所、東藤沢出張所の窓口業務は、複合施設の職員が兼任しています。

図表 運営人員（平成24年度）

(人)

		市庁舎	黒須出張所	東金子支所	金子支所	宮寺支所	藤沢支所	東藤沢出張所	西武支所	合計
運営形態		直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	
窓口・受付等	一般職員(正規職員)	19		4	4	4	5		4	40
	臨時職員・嘱託	13					2		2	17
	計	32		4	4	4	7		6	57

④ コスト状況

■ 行政窓口の運営にかかるコスト状況

行政窓口の年間トータルコストは、3億5,413万円です。

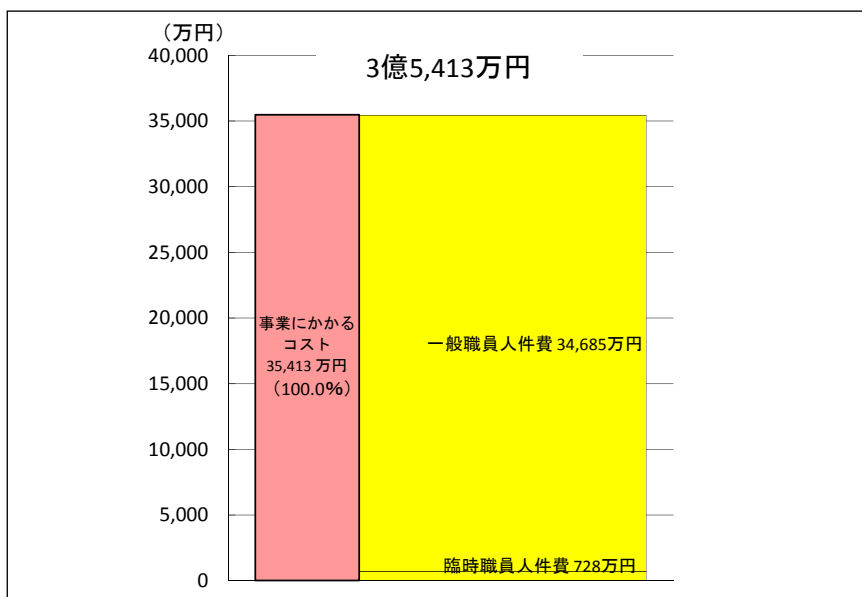
行政窓口は全て市庁舎と公民館との併設施設のため、施設維持費は計上されていません。

施設別トータルコストでは、市庁舎行政窓口は1億6,809万円です。支所では、東金子支所の3,306万円から藤沢支所の4,463万円で、支所5施設の平均は、3,721万円となっています。

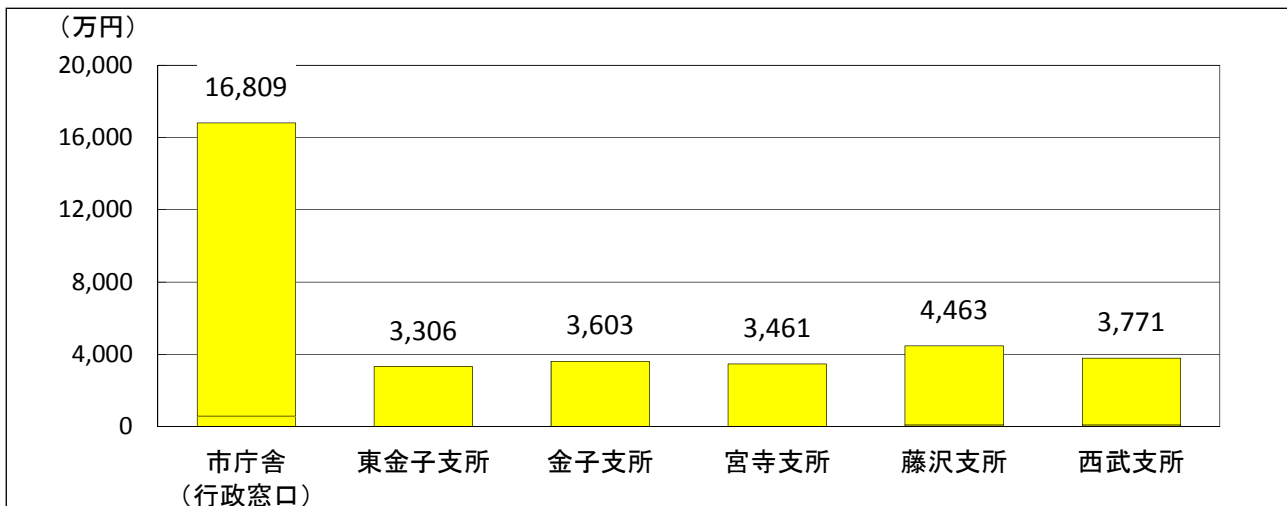
図表 施設別行政コスト計算書（平成24年度）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		市庁舎 (行政窓口)	東金子支所	金子支所	宮寺支所	藤沢支所	西武支所	合計
事業にかかるコスト	一般職員人件費	162,488,000	33,061,000	36,028,000	34,612,000	43,786,000	36,871,000	346,846,000
	臨時職員人件費	5,599,300				842,000	842,000	7,283,300
	事業にかかるコスト	168,087,300	33,061,000	36,028,000	34,612,000	44,628,000	37,713,000	354,129,300
現金収支を伴うコスト 計		168,087,300	33,061,000	36,028,000	34,612,000	44,628,000	37,713,000	354,129,300
II 総括								
コストの部合計(トータルコスト)		168,087,300	33,061,000	36,028,000	34,612,000	44,628,000	37,713,000	354,129,300

図表 庁舎等 全施設トータルコスト（平成24年度）



図表 庁舎等 施設別 トータルコスト (平成 24 年度)

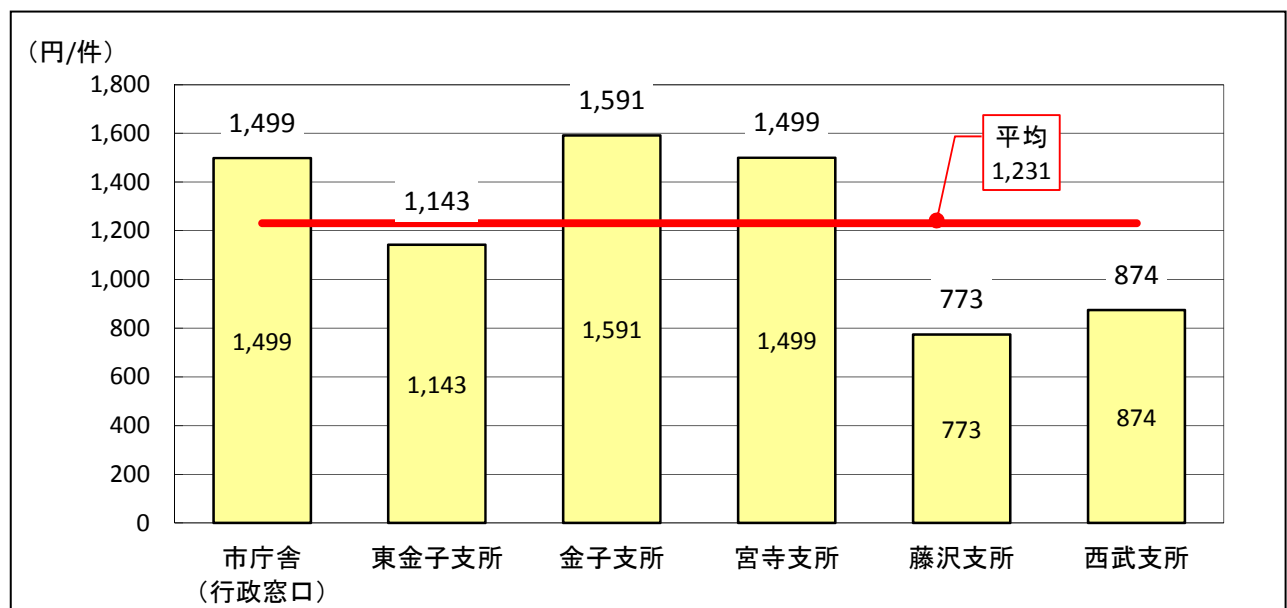


3) 評価・分析

■ 利用件数 1 件当たりにかかるコスト

年間利用件数とトータルコストから利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、平均は 1,231 円/件です。施設別では、庁舎が 1,499 円/件、支所では、藤沢支所の 773 円/件から金子支所の 1,591 円/件となっています。

図表 施設別 利用 1 件当たりにかかるコスト (平成 24 年度)



■市庁舎の維持管理にかかるコスト状況

市庁舎の年間トータルコストは、3億4,635万円です。

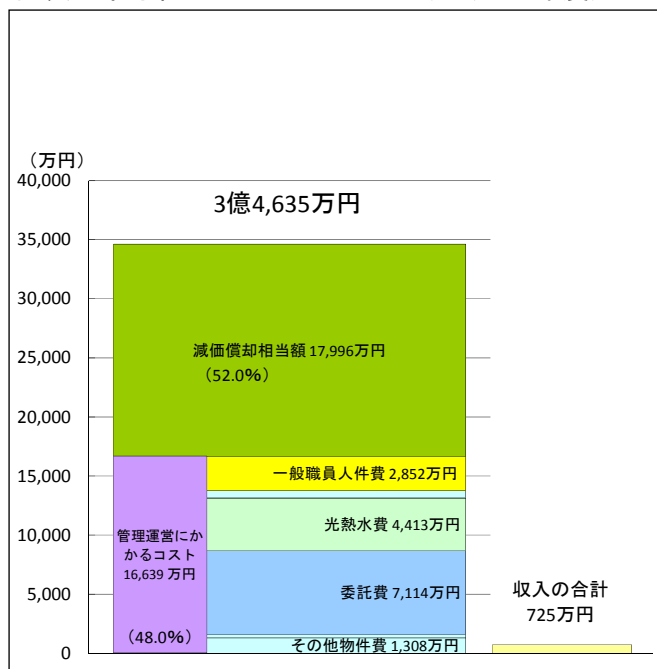
年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは1億6,639万円(48%)、減価償却相当額が1億7,996万円(52%)となっています。

庁舎等のトータルコストのうち、一般職員人件費等が2,852万円で約8%を占めています。

図表 行政コスト計算書 (平成24年度)

		(円)
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		市庁舎
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	28,517,958
	修繕費	6,148,342
	改修費	668,850
	光熱水費	44,129,342
	委託費	71,135,677
	使用料及び賃借料	2,710,530
	その他物件費	13,082,965
	管理運営にかかるコスト	166,393,664
現金収支を伴うコスト 計		166,393,664
【収入の部】		
収入	使用料収入	7,252,724
収入の合計		7,252,724
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	179,957,120
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		346,350,784
収支差額(ネットコスト)		339,098,060

図表 市庁舎 トータルコスト (平成24年度)



(15) 屋内スポーツ施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、屋内スポーツ施設を8施設保有しています。市民体育館と武道館・弓道場の運営管理は、指定管理となっています。黒須地区体育館をはじめ5施設は、市の直営となっています。

設置目的：	
市民体育館	スポーツやレクリエーション活動を通じて、市民が健康で文化的な生活を営めるような、明るく豊かで活力に満ちた生きがいのある社会、及び生涯スポーツ社会を実現することを目的とする
地区体育館	身近なスポーツ施設として、市民がスポーツやレクリエーション活動に親しむ機会を増やし、健康な生活を充実させること、スポーツの振興を図ることを目的とする
武道館・弓道場	武道を通じて日本文化、礼儀作法を体験することで、日本の歴史や伝統に触れる機会を提供することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	保有機能					土地 所有	備考
						体育館	弓道場	武道場	トレーニン グ室	ランニング コース		
豊岡 第二	1 市民体育館	豊岡4-2-1	5,877.56	昭和55	S造	●	●		●	●	市	
豊岡 第三	2 武道館	鍵山3-10-20	3,688.76	平成3	RC造			●	●		市	
	3 弓道場	鍵山3-10-20	362.95	平成4	RC造		●				市	
	4 黒須地区体育館	鍵山3-10-20	1,258.50	平成2	S造	●					市	
東金子	5 東金子地区体育館	小谷田371	1,272.50	昭和62	S造	●					市	
宮寺・ 二本木	6 宮寺地区体育館	宮寺567	1,224.17	平成4	S造	●					市	
藤沢 第一	7 藤沢地区体育館	下藤沢988-1	1,276.03	昭和61	S造	●					市	
西武	8 西武地区体育館	野田1134-57	1,258.50	昭和63	S造	●					市	
合計			16,218.97									

〇〇施設：施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

② 開館時間・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
市民体育館	午前9時から午後9時半	年末年始 (12/28から1/4)	平日 237日 土日・祝日 114日
武道館			平日 239日 土日・祝日 114日
弓道場			平日 238日 土日・祝日 114日
地区体育館			平日 243日 土日・祝日 114日

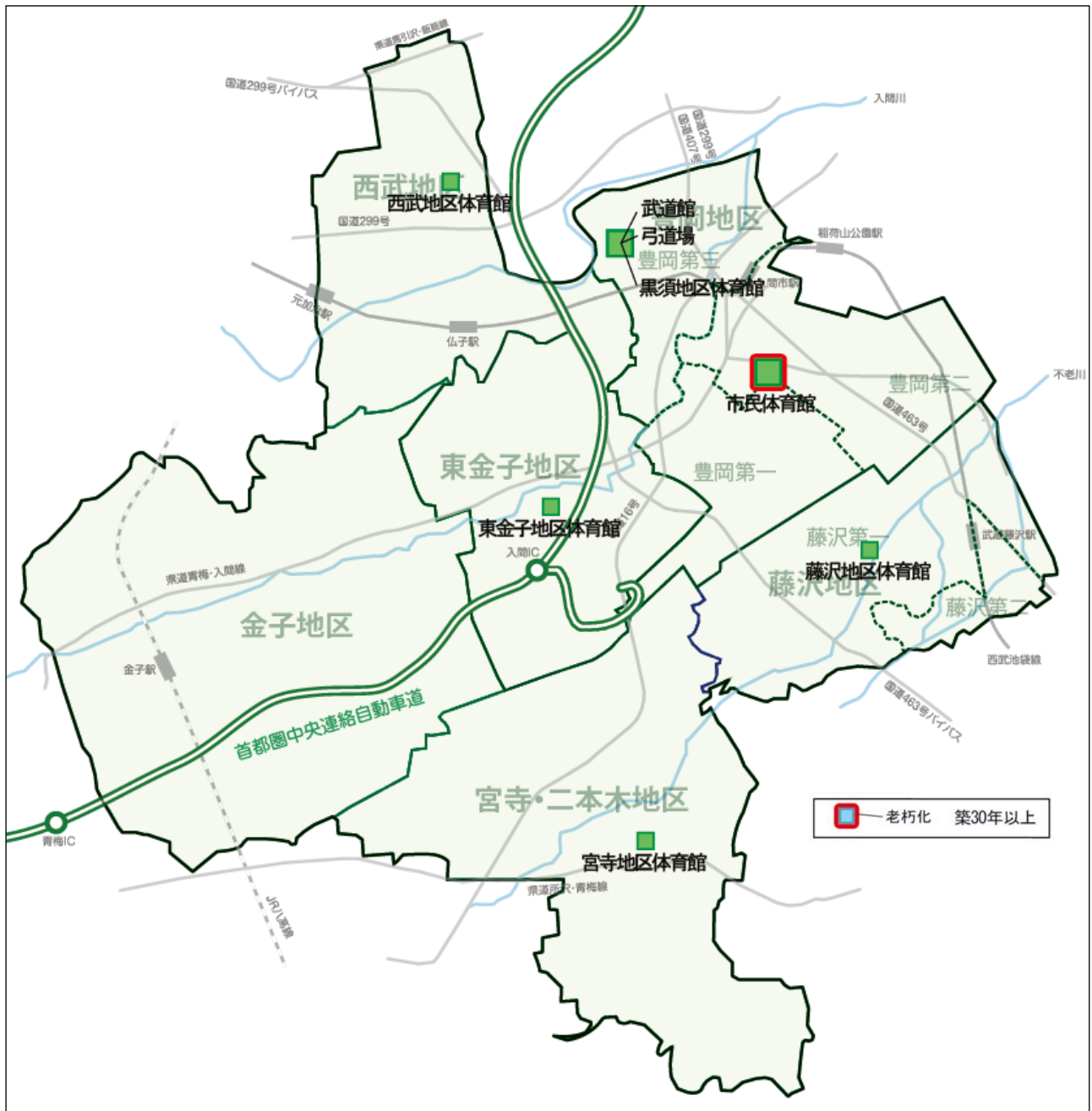
③ 事業内容

＜市民体育館＞

各種室内競技、トレーニング、ランニング等多種多様な競技に使用できる体育館で、貸館業務を行っています。

④配置状況

図表 屋内スポーツ施設位置図

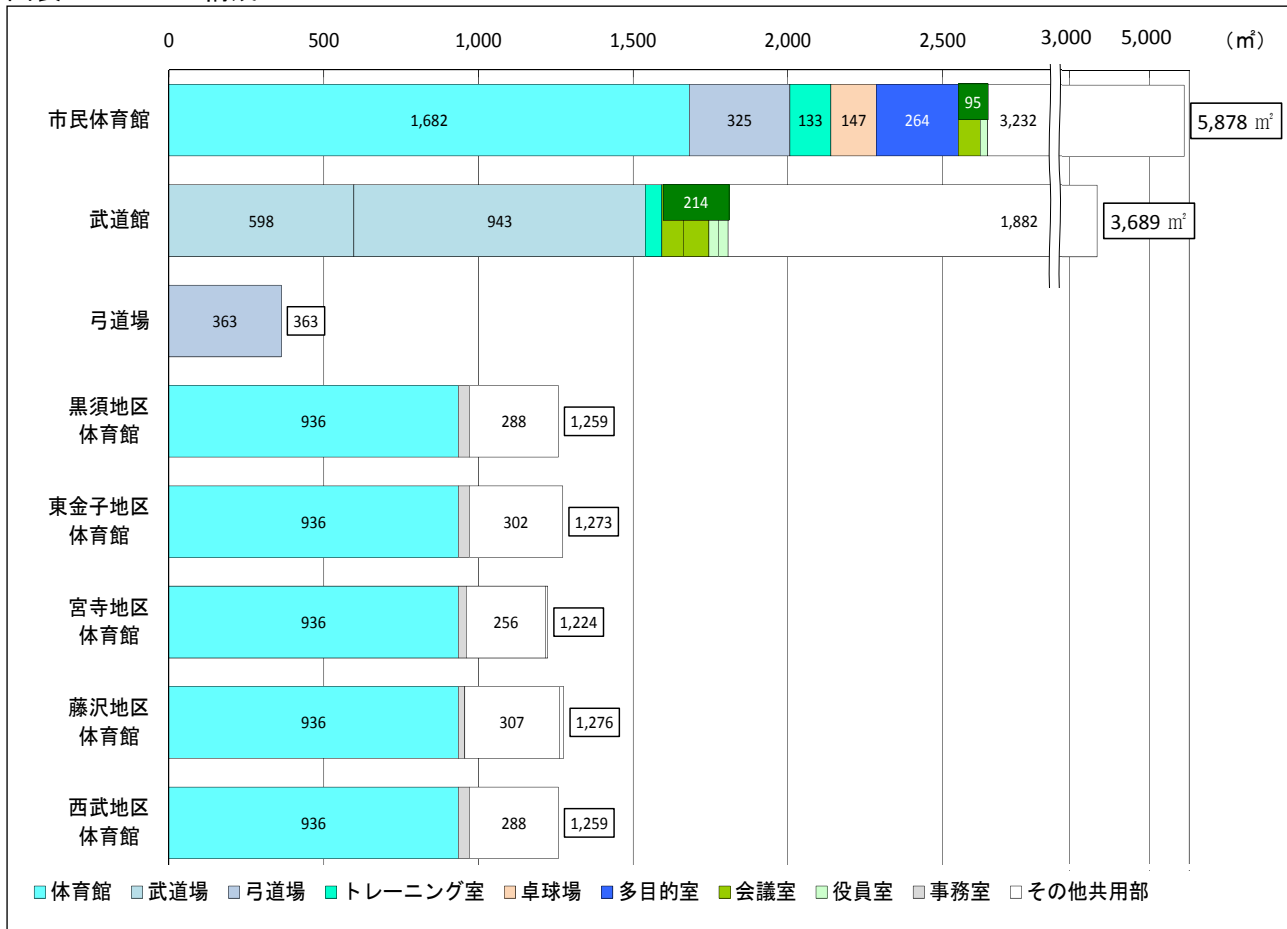


⑤ スペース構成

屋内スポーツ施設の規模は、弓道場の 363 m²から市民体育館の 5,878 m²となっています。市民体育館と武道館は、トレーニング室、会議室、大会実行委員等が利用する役員室を保有しています。市民体育館は、その他に卓球場や多目的室を保有しています。また、施設外にテニスコート（6面）、プール（50m・児童用）や陸上競技場（200mトラック）兼ソフトボール場（2面）を併設しています。

地区体育館は、5館全ての館が約 900 m²のアリーナを持ち、施設の規模も約 1,200 m²となっています。

図表 スペース構成



2) 実態把握

① 建物状況

■ 屋内スポーツ施設の建物総合評価結果

平成25年度の屋内スポーツ施設8施設の建物状況について、評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理								
		建築年度	延床面積 (㎡)		耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
1	市民体育館	昭和55	5,878	診断済	33		33	×	○	○	○	○	○	×	×	×	5,250	1,155	0	893	197	
2	武道館	平成3	3,689	-	22		22	○	○	○	×	○	×	×	×	×	※市民体育館指定管理委託料に含む					
3	弓道場	平成4	363	-	21		21	-	×	×	×	×	×	×	×	×						
4	黒須地区体育館	平成2	1,259	-	23		23	×	×	○	×	×	×	×	×	×	163	3,839	229	129	3,050	182
5	東金子地区体育館	昭和62	1,273	-	26		26	×	×	○	×	×	×	×	×	×	976	3,937	177	767	3,094	139
6	宮寺地区体育館	平成4	1,224	-	21		21	×	○	○	×	×	×	×	×	×	995	3,901	200	813	3,186	163
7	藤沢地区体育館	昭和61	1,276	-	27		27	×	×	○	×	×	×	×	×	×	1,228	3,839	579	963	3,008	453
8	西武地区体育館	昭和63	1,259	-	25		25	×	×	○	×	×	×	×	×	×	906	4,978	27	720	3,955	22

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器・高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例 実施済み=○
未実施=×

不要⇒-

床面積当たり (円/㎡) の平均値 (床面積当たり (円/㎡) の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) 平均値の1.4倍

市民体育館は、耐震化対応が未実施となっており、早急な対応が求められます。ただし、耐震診断は実施済です。(パターン①)

武道館をはじめ7施設は、新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

評価	パターン①	パターン③
	耐震性 老朽化	今後 老朽化
評価	<ul style="list-style-type: none"> 耐震安全性が確保されていない さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設
該当施設	該当施設 建築年度 市民体育館 昭和55 < 1 施設 >	該当施設 建築年度 武道館 平成3 弓道場 平成4 黒須地区体育館 平成2 東金子地区体育館 昭和62 宮寺地区体育館 平成4 藤沢地区体育館 昭和61 西武地区体育館 昭和63 < 7 施設 >
コメント	・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

② 利用状況

■ 全体の利用状況

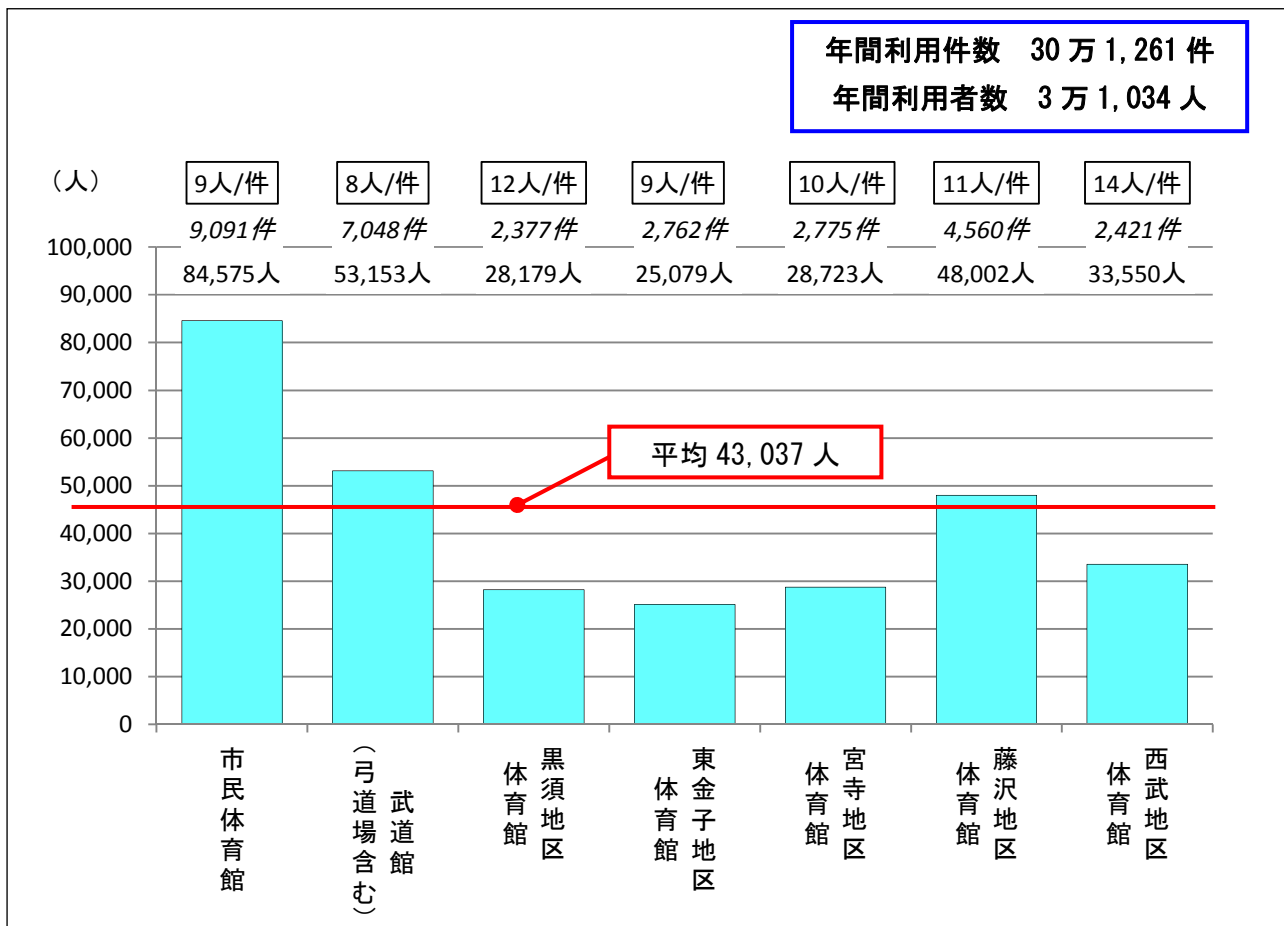
平成 24 年度の屋内スポーツ施設の全体利用件数は 3 万 1,034 件、利用者数は 30 万 1,261 人です。

■ 施設別の利用状況

平成 24 年度の施設別利用件数と利用者数をみると、市民体育館が 9,091 件・8 万 4,575 人と最も多く、次いで武道館となっています。

地区体育館 5 施設で見た場合、藤沢地区体育館が 4,560 件・4 万 8,002 人と最も多く、次いで西武地区体育館となっています。

図表 施設別 利用件数・利用者数（平成 24 年度）



出典: 入間市の教育

③ コスト状況

屋内スポーツ施設の7施設の年間トータルコストは、2億8,257万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(光熱水費・建物管理委託費等)は3,533万円(13%)、指定管理委託料は8,738万円(31%)、減価償却相当額は1億5,986万円(57%)です。

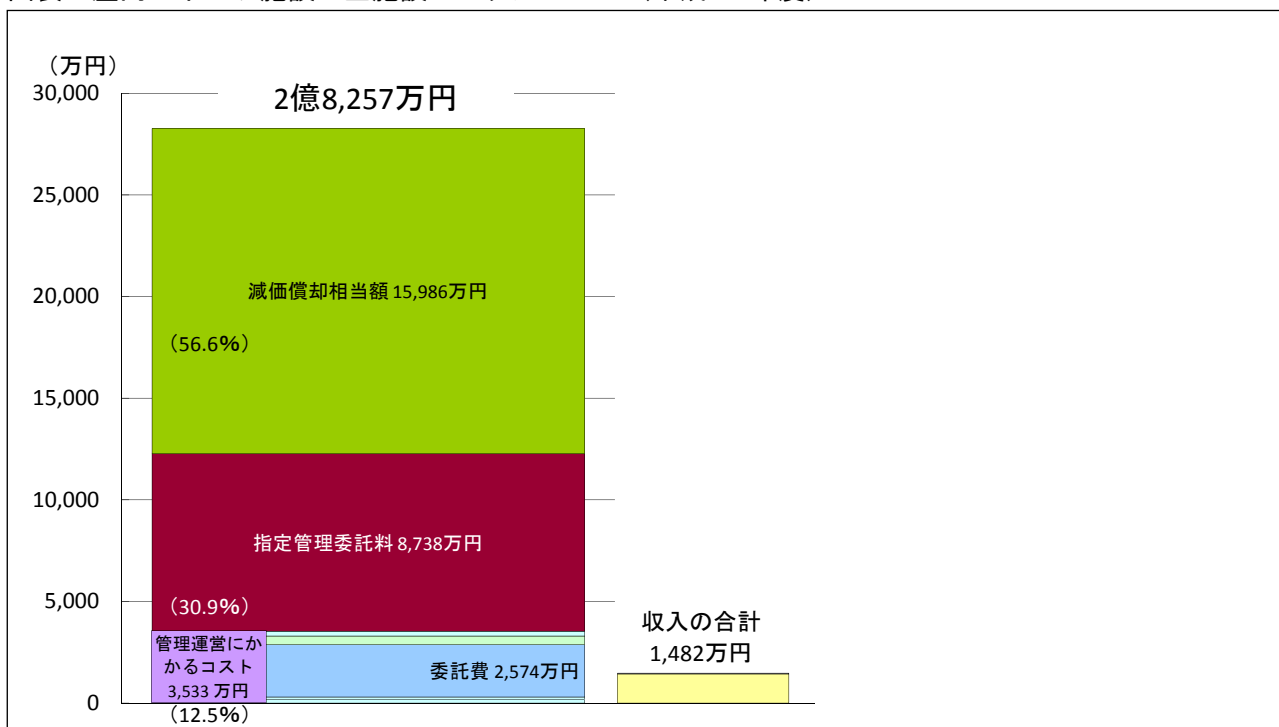
図表 施設別行政コスト計算書(平成24年度)

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		市民体育館	武道館 (弓道場含む)	黒須地区 体育館	東金子地区 体育館	宮寺地区 体育館	藤沢地区 体育館	西武地区 体育館	合計
管理運営にか かるコスト	修繕費	1,155,000		228,900	177,450	200,025	578,615	27,300	2,367,290
	光熱水費			162,858	976,407	994,826	1,228,184	905,619	4,267,894
	委託費	5,250,000		3,838,830	3,937,005	3,900,780	3,838,830	4,977,555	25,743,000
	使用料及び賃借料	919,800		17,745	17,745	17,745	17,745	17,745	1,008,525
	その他物件費	785,018	27,502	226,010	225,021	234,623	220,108	228,786	1,947,068
	管理運営にかかるコスト	8,109,818	27,502	4,474,343	5,333,628	5,347,999	5,883,482	6,157,005	35,333,777
指定管理委託料		52,767,781	34,607,358	0	0	0	0	0	87,375,139
現金収支を伴うコスト 計		60,877,599	34,634,860	4,474,343	5,333,628	5,347,999	5,883,482	6,157,005	122,708,916
【収入の部】									
収入	使用料収入	7,050,166	7,298,327	35,182	31,391	33,015	47,485	34,002	14,529,568
	諸収入	127,280	71,980	13,220	24,310	24,190	12,590	12,300	285,870
収入の合計		7,177,446	7,370,307	48,402	55,701	57,205	60,075	46,302	14,815,438
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	62,232,988	31,034,374	13,325,294	13,473,529	12,961,800	13,510,906	13,325,294	159,864,186
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		123,110,587	65,669,234	17,799,637	18,807,157	18,309,799	19,394,388	19,482,299	282,573,102
収支差額(ネットコスト)		174,232,069	58,298,927	17,751,235	18,751,456	18,252,594	19,334,313	19,435,997	326,056,592

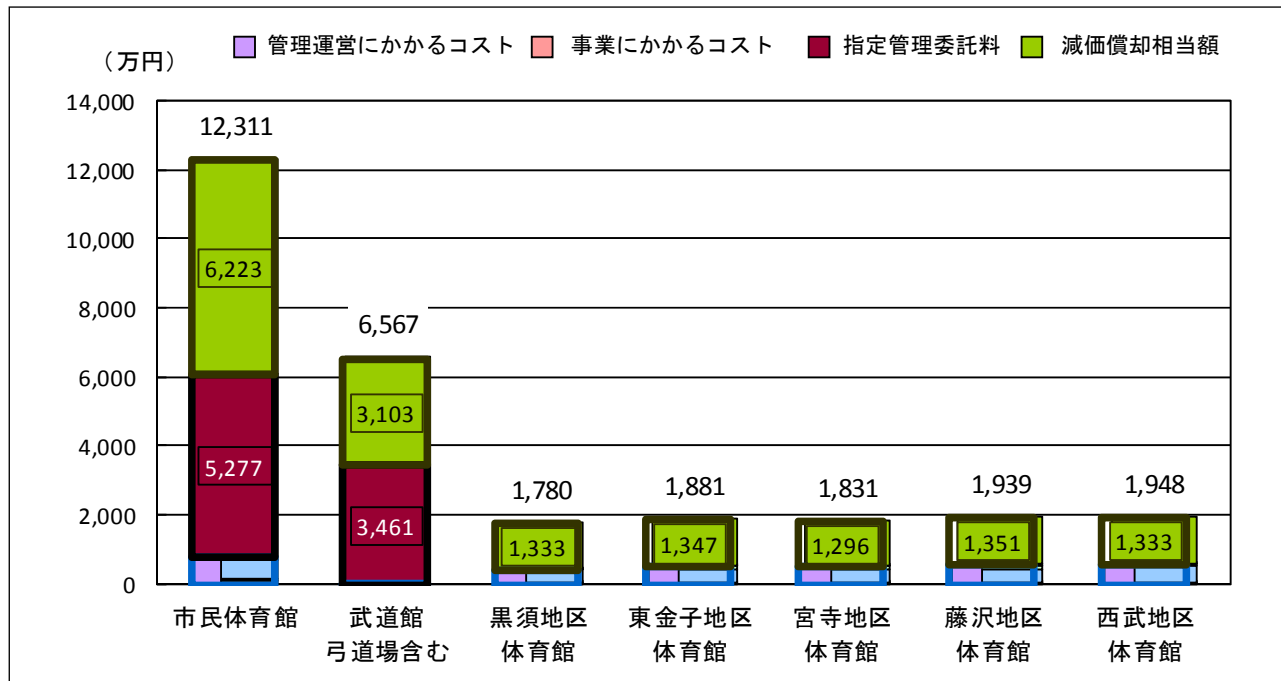
※武道館・弓道場のコストの一部は市民体育館に含んでいます。

図表 屋内スポーツ施設 全施設トータルコスト(平成24年度)



施設別トータルコストは、市民体育館が1億2,311万円、武道館が6,567万円、地区体育館が黒須地区体育館の1,780万円から西武地区体育館の1,948万円となっています。

図表 屋内スポーツ施設 施設別トータルコスト（平成24年度）

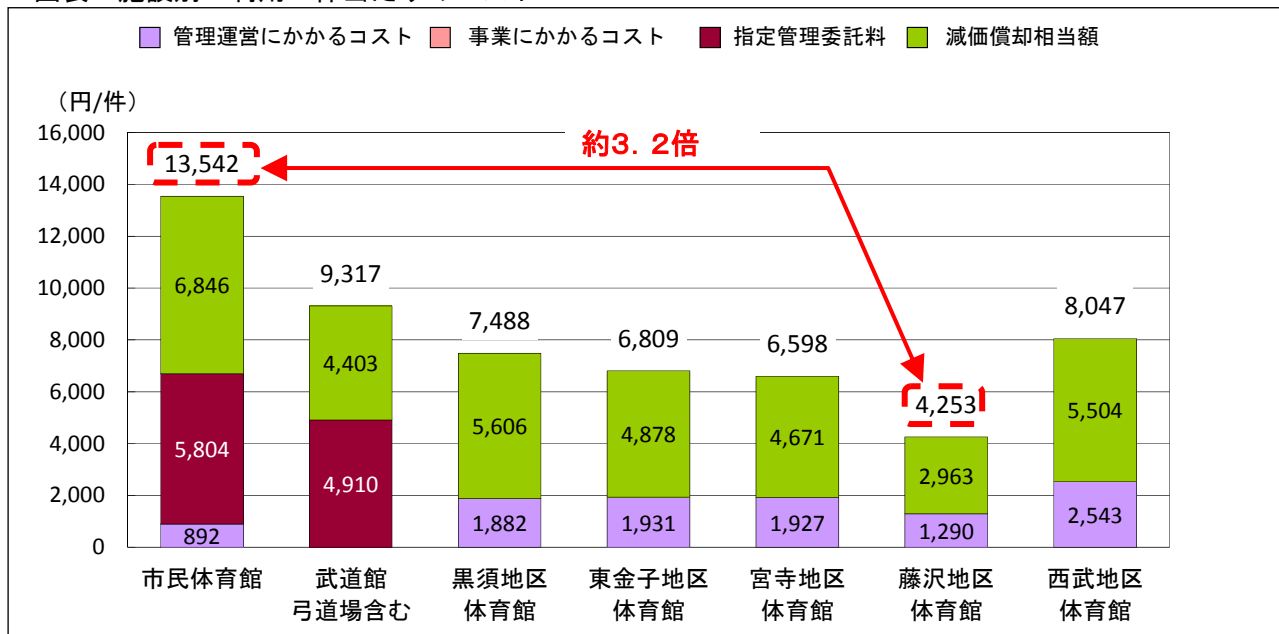


3) 評価・分析

■ 利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、藤沢地区体育館の4,253円/件から市民体育館の1万3,542円/件となっています。

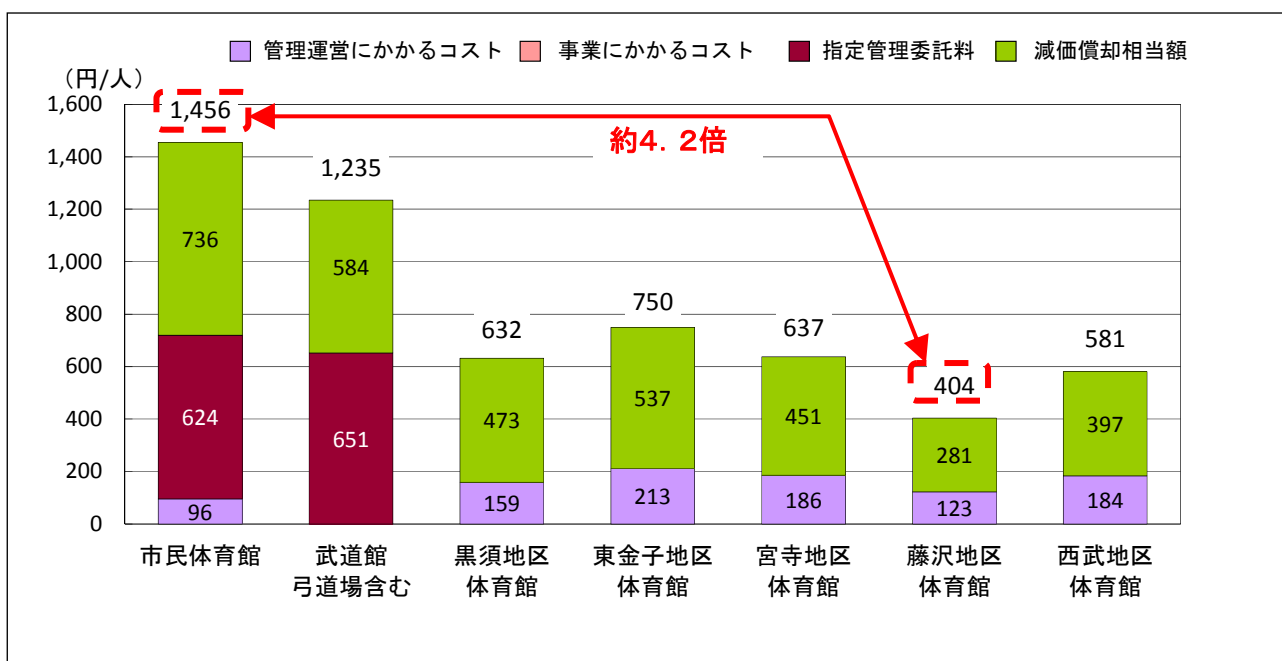
図表 施設別 利用1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、藤沢地区体育館の404円/人から市民体育館の1,456円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



(16) 老人福祉センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、高齢者が健康の増進、教養の向上、レクリエーションなど地域の人々と、楽しく語り趣味を通して仲間づくりを行い、健康で明るい生活を楽しんでいただくための施設として老人福祉センターやまゆり荘が設置されています。

設置目的：多様な学習機会と学習成果が生かせる場を提供するとともに、健康で明るい生活を営めるよう、生きがいを推進することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
宮寺・二本木	1 老人福祉センター やまゆり荘	宮寺2655-1	1,588.84	平成5	RC造	市・個人	

② 事業内容

- ・生活、健康等の相談及び指導に関すること
- ・教養の向上及びレクリエーションに関すること

③ 開所時間・休所日

施設名	開所時間	休所日
老人福祉センターやまゆり荘	午前9時～午後4時	月曜日（祝日のときは火曜日も休み） 祝日（敬老の日は除く）、年末年始

④ 利用対象者

- ・市内に居住する満60歳以上の方
- ・60歳未満の方も利用することができる

⑤ 配置状況

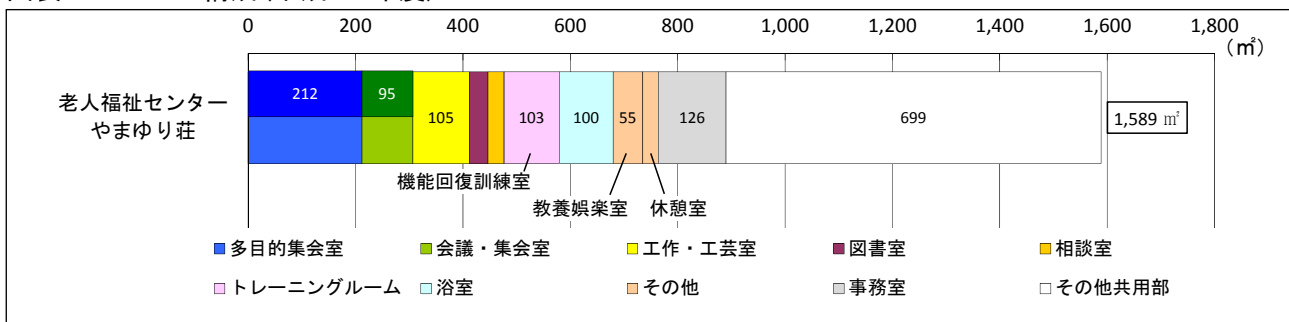
図表 老人福祉センターやまゆり荘位置図



⑥ スペース構成

老人福祉センターやまゆり荘は、延床面積 1,589 m²であり、そのうち集会機能面積が 307 m² (19%) となっています。

図表 スペース構成 (平成 24 年度)



2) 実態把握

① 建物状況

■ 高齢者福祉施設の建物総合評価結果

平成 25 年度の老人福祉センターやまゆり荘の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化		③バリアフリー対応					④環境対応			⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	維持管理費 (千円)	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費
1	老人福祉センターやまゆり荘	平成5	1,589	—	20	20	—	○	○	○	○	○	×	×	×	12,018	7,964	2,415	7,564	5,013	1,520

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例
 実施済み=○
 未実施=×
 不要⇒—

床面積当たり(円/㎡)の平均値
 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) : 平均値の1.4倍

老人福祉センターやまゆり荘は、新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

パターン③ 今後 老朽化

・老朽化が進行している
 ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設

該当施設 建築年度
 老人福祉センターやまゆり荘 平成5

< 1 施設 >

コメント
 ・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

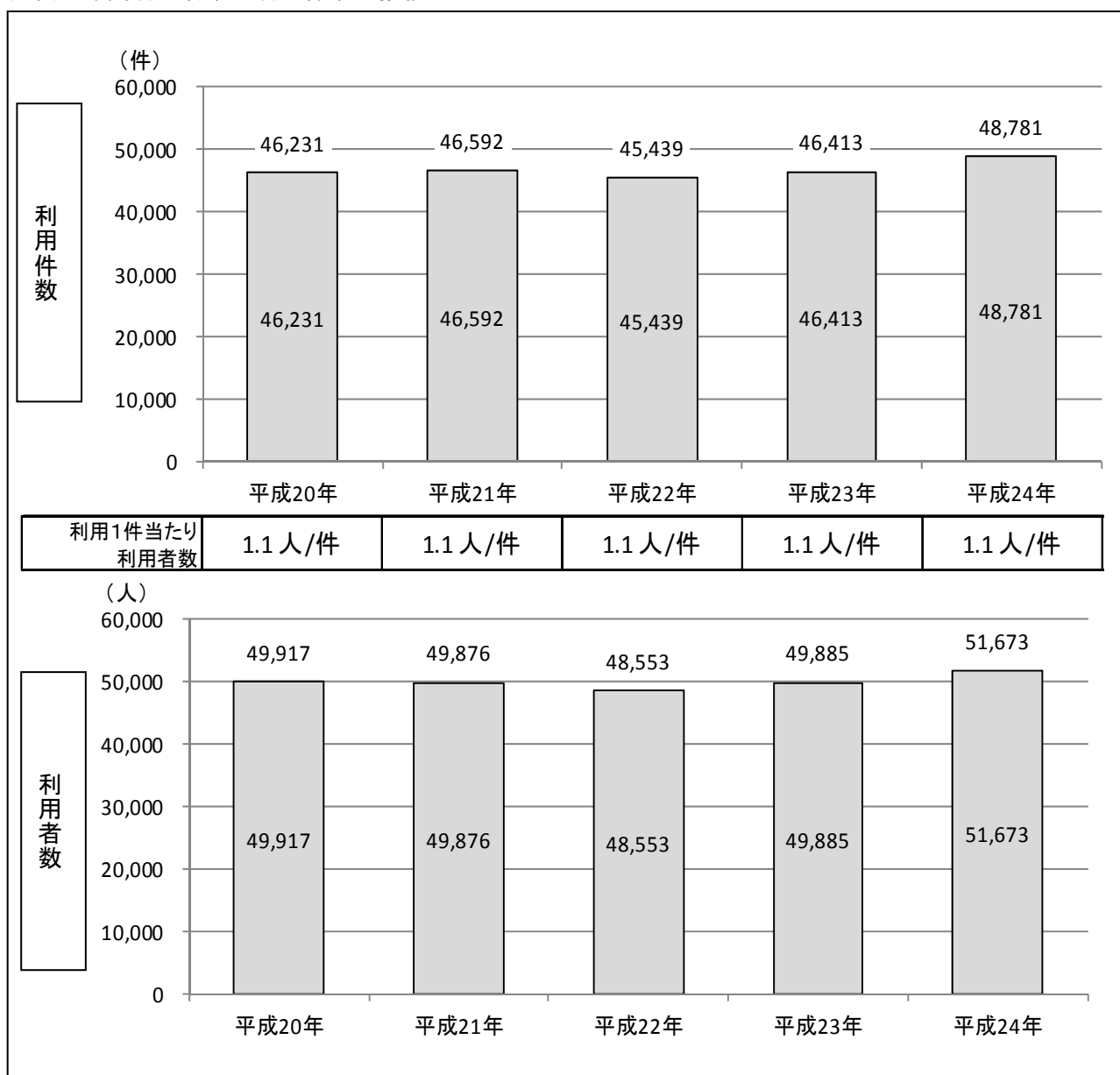
② 利用状況

平成20年度から平成24年度の利用件数の推移をみると、4万6,231件から4万8,781件で推移しています。平成24年度は前年度と比較して約5.1%増加となっています。

利用者数の推移は、4万9,917人から5万1,673人で推移しています。平成24年度は前年度と比較して約3.6%増加となっています。

利用1件当たりの利用者数は、1.1人/件となっています。

図表 年間利用者数と利用件数の推移



③ コスト状況

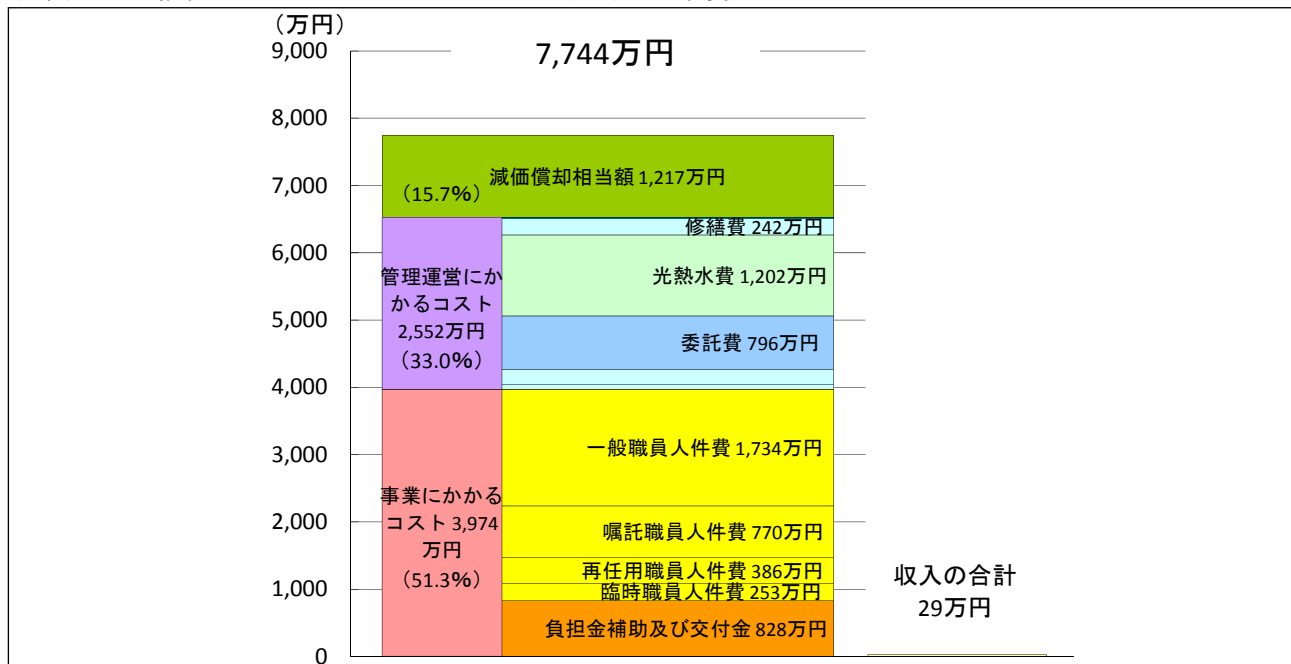
老人福祉センターやまゆり荘の年間トータルコストは、7,744 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は 2,552 万円（51%）、事業にかかるコスト（人件費、その他物件費等）は 3,974 万円（33%）、減価償却相当額が 1,217 万円（16%）です。当該施設から年間 29 万円の収入があります。

図表 行政コスト計算書（平成 24 年度） (円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		老人福祉センター
管理運営にかかるコスト	車両・備品購入費	203,175
	修繕費	2,415,430
	光熱水費	12,018,433
	委託費	7,964,407
	使用料及び賃借料	2,248,180
	その他物件費	673,727
	管理運営にかかるコスト	25,523,352
事業にかかるコスト	一般職員人件費	17,338,000
	嘱託職員人件費	7,695,000
	再任用職員人件費	3,862,000
	臨時職員人件費	2,526,000
	負担金補助及び交付金	8,275,390
	その他物件費	46,000
	事業にかかるコスト	39,742,390
現金収支を伴うコスト 計		65,265,742
【収入の部】		
収入	使用料収入	286,200
収入の合計		286,200
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	12,169,838
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		77,435,580
収支差額(ネットコスト)		77,149,380

図表 老人福祉センター トータルコスト（平成 24 年度）

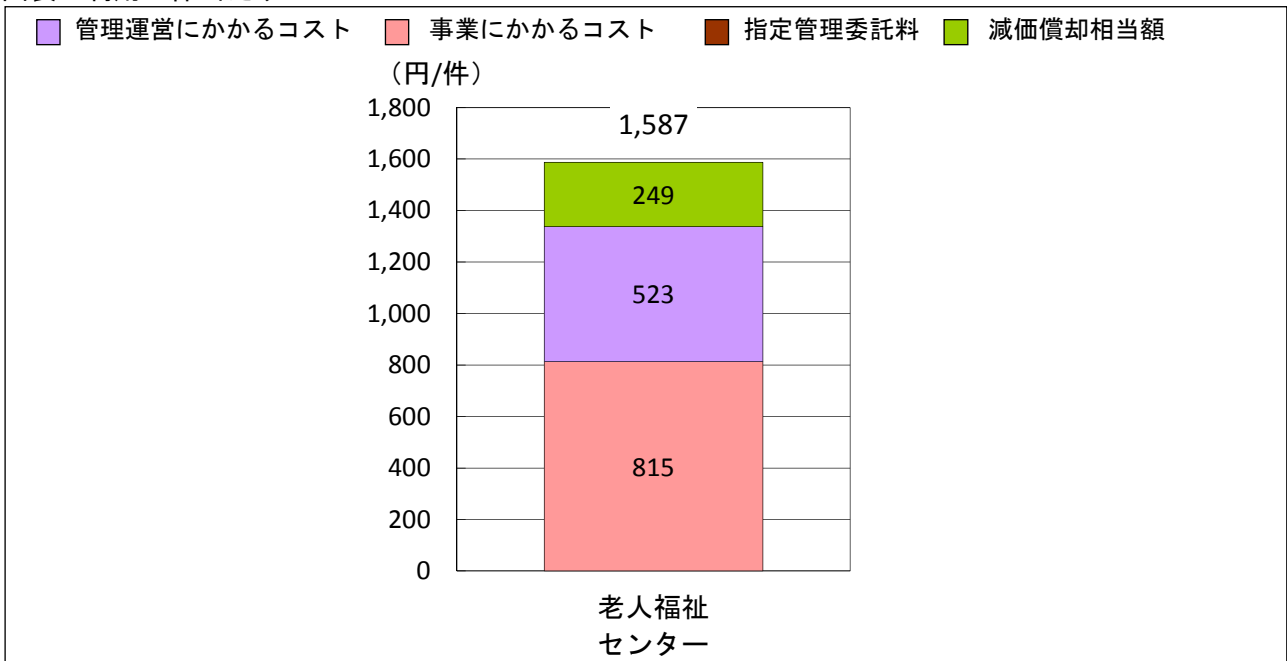


4) 評価・分析

■ 利用1件当たりのコスト

年間利用件数とトータルコストから、利用1件当たりにかかるコストを算出すると、1,587円/件となっています。

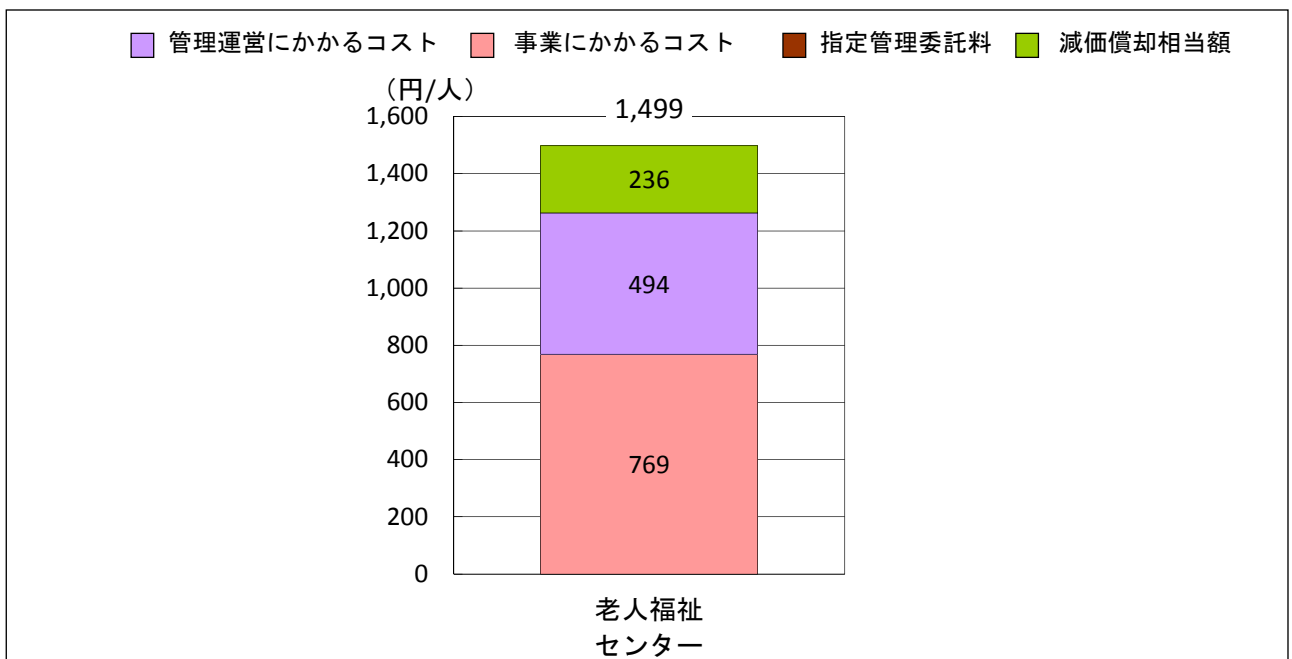
図表 利用1件当たりのコスト



■ 利用者1人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、1,499円/人となっています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト



(17) 障害者福祉施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、障害者福祉施設を2施設保有しています。扇台福祉作業所の管理運営は指定管理委託、障害者活動センター「虹の郷」(グラフでは障害者活動センターと表記)の管理運営は、市の直営となっています。

設置目的	
扇台福祉作業所	就労能力の限られている心身障害者に、自活に必要な職業訓練、生活指導等を行い、社会的自立を促すことを目的とする
障害者活動センター「虹の郷」	心身障害者に、創作的活動及び生産活動の機会を提供し、社会との交流を促進することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
豊岡 第一	1 扇台福祉作業所	扇台2-7-26	452.08	平成5	S造	個人	
宮寺・ 二本木	2 障害者活動センター「虹の郷」	宮寺15-1	690.20	昭和46	RC造	市	平成6年に部分改修実施
合計			1,142.28				

〇〇施設 : 施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56 : 建築年度のオレンジハッチは、老朽化(築30年以上)を示す

② 事業内容

<扇台福祉作業所>

- ・染色製品やさおり製品などの自主制作と販売に関すること
- ・心身障害者に必要な職業訓練に関すること
- ・生活指導に関すること
- ・体力の向上と健康管理に関すること

<障害者活動センター「虹の郷」>

- ・創作的活動又は生産活動の機会の提供・社会との交流に関すること

③ 開所時間・休所日(平成25年度)

施設名	開所時間	休所日
扇台福祉作業所	午前9時～午後4時	土曜・日曜・祝日 年末年始
障害者活動センター「虹の郷」	午前8時30分～午後5時	土曜・日曜・祝日 年末年始

④ 利用対象者

- ・身体障害者手帳または療育手帳の交付を受けている方

⑤ 配置状況

図表 障害者福祉施設位置図



実態把握

① 建物状況

■ 障害者福祉施設の建物総合評価結果

平成 25 年度の障害者福祉施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用スロープ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費
1	扇台福祉作業所	平成5	452	—	20	20	—	○	○	×	○	×	×	×	×	※	132	※	※	292	※
2	障害者活動センター	昭和46	690	未実施	42	42	—	○	○	○	×	×	×	×	×	1,023	384	0	1,482	557	0

※指定管理委託料に含む

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等	実施済み=○
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備	未実施=×
	不要=—
床面積当たり(円/㎡)の平均値	平均値の1.4倍
(床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計)	

障害者活動センター「虹の郷」は、耐震化対応が未実施となっており早急な対応が求められます。(パターン①)

扇台福祉作業所は、新耐震基準の建物ですが、築 20 年を超えており、今後、老朽化対策の検討が必要な施設となっています。(パターン③)

評価	パターン①	パターン③
	耐震性 老朽化	今後 老朽化
評価	<p>・耐震安全性が確保されていない ・さらに、老朽化が進行している ⇒耐震安全性の確保とともに、老朽化対策も必要な施設</p> <p>優先1 ①耐震安全性 振分基準: ①-1の施設 ②老朽化状況 ③バリアフリー対応状況 ④環境対応状況 ⑤維持管理費</p>	<p>・老朽化が進行している ⇒今後、老朽化対策の検討が必要な施設</p> <p>優先3 ②老朽化状況 振分基準: パターン①以外で ②-2の施設 ③バリアフリー対応状況 ④環境対応状況 ⑤維持管理費</p>
該当施設	<p>該当施設 建築年度 障害者活動センター 昭和46</p> <p>< 1 施設 ></p>	<p>該当施設 建築年度 扇台福祉作業所 平成5</p> <p>< 1 施設 ></p>
コメント	<p>・旧耐震基準の建物で、特に築年も古く、早急な耐震化と老朽化対策が必要です。</p>	<p>・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。</p>

② コスト状況

障害者福祉施設 2 施設の年間トータルコストは、4,103 万円です。

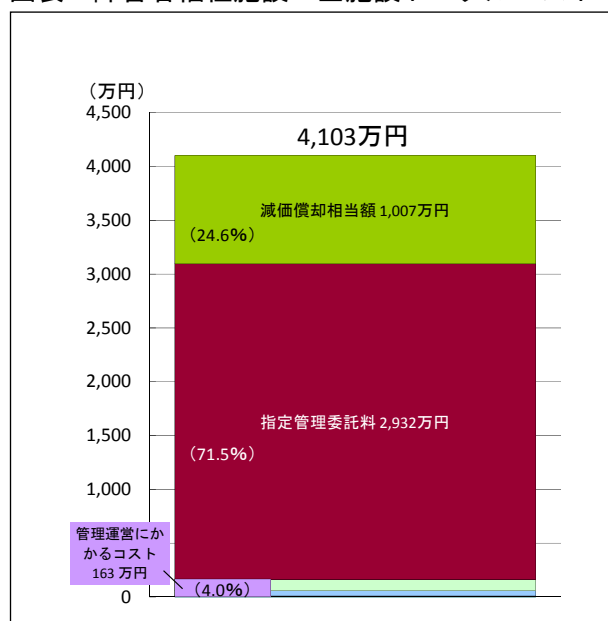
年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(修繕料、光熱水費等)は 163 万円(4%)、指定管理委託料にかかるコストは 2,932 万円 (72%)、減価償却相当額は 1,007 万円 (25%)です。

施設別トータルコストは、扇台福祉作業所が 3,425 万円、障害者活動センター「虹の郷」が 678 万円となっています。

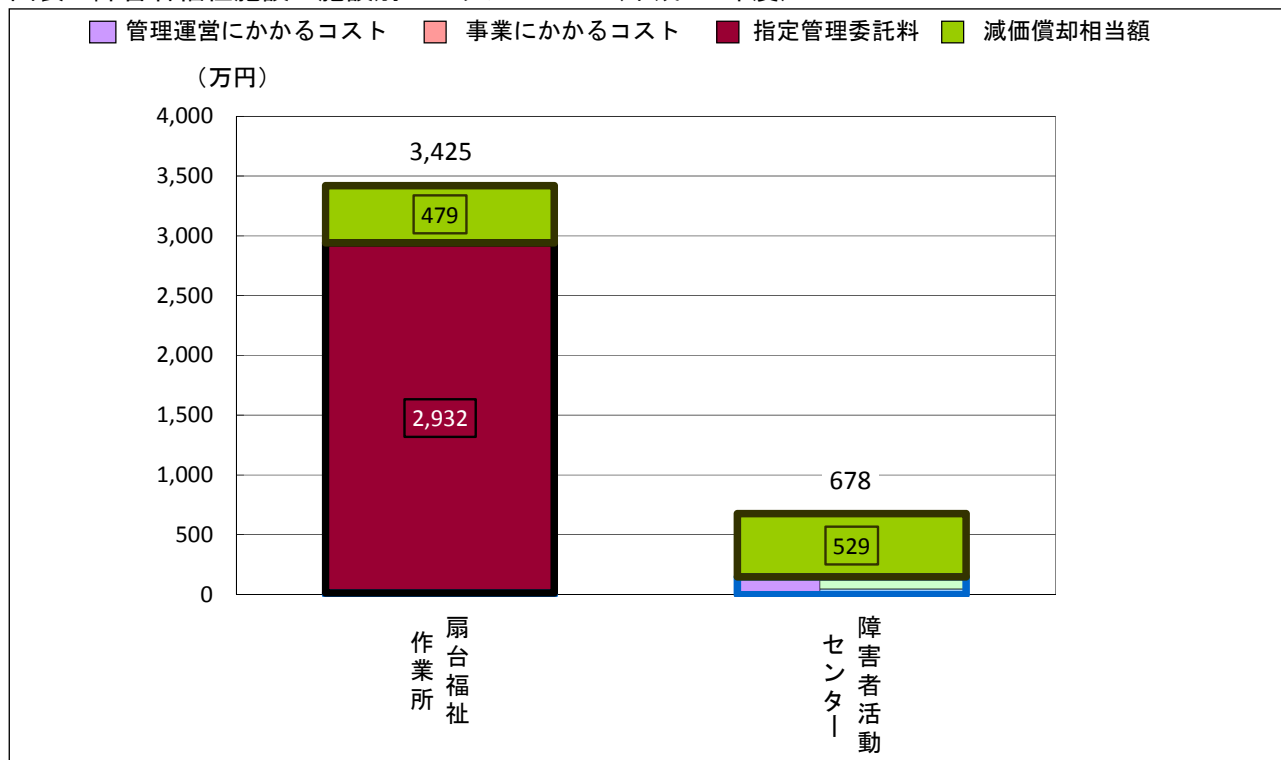
図表 施設別行政コスト計算書 (平成 24 年度)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		扇台福祉 作業所	障害者活動 センター	合計
に管 理 運 営 に 関 連 す る コ ス ト	光熱水費	0	1,022,869	1,022,869
	委託費	132,000	384,315	516,315
	その他物件費	8,396	83,945	92,341
	管理運営にかかるコスト	140,396	1,491,129	1,631,525
指定管理委託料		29,321,459	0	29,321,459
現金収支を伴うコスト 計		29,461,855	1,491,129	30,952,984
【収入の部】				
収入	使用料収入	0	0	0
収入の合計		0	0	0
II. 現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	4,786,729	5,286,638	10,073,368
III. 総括				
コストの部合計(トータルコスト)		34,248,584	6,777,767	41,026,352
収支差額(ネットコスト)		34,248,584	6,777,767	41,026,352

図表 障害者福祉施設 全施設トータルコスト



図表 障害者福祉施設 施設別トータルコスト (平成 24 年度)



(18) 保健施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、健康福祉センターを設置しています。健康福祉センターの管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：保健、医療及び福祉的機能の一体化と健康づくりの推進を事業の柱とし、誰もが生涯にわたり、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができる社会、市民の主体的な健康の増進や疾病の予防を支援する体制を実現することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
藤沢 第一	1 健康福祉センター	上藤沢730-1	7,955.77	平成14	RC造	市	土地の一部 個人所有

② 事業内容

- ・保健、医療、福祉及び健康づくりに関すること

③ 開所時間・休所日

施設名	開所時間	休所日
健康福祉センター	午前8時30分から午後10時	年末年始

④ 利用対象者

- ・市内に居住する市民の方（ご利用になるサービスにより異なります）

⑤ 配置状況

図表 保健施設位置図



2) 実態把握

① 建物状況

■ 保健施設の建物総合評価結果

平成 25 年度の健康福祉センターの建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)		築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	維持管理費 (千円)	各所修繕費	建物管理委託費	光熱水費
1	健康福祉センター	平成14	7,956	—	11	11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19,272	46,986	2,702	2,422	5,906	340

※1 手すり・鏡・低い操作ボタン等
 ※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

記載例 実施済み=○
 未実施=×
 不要=—

床面積当たり(円/㎡)の平均値 (床面積当たり(円/㎡)の平均値=それぞれの費用の合計/延床面積の合計) 平均値の1.4倍

健康福祉センターは、比較的新しい施設ですが、今後とも、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターン⑤)

パターン⑤ 問題なし

・バリアフリー、環境対応が一応完了
 ⇒今後、いっそうの整備が望まれる施設

該当施設 健康福祉センター 建築年度 平成14

< 1 施設 >

コメント
 ・比較的新しい施設です。目立った問題もなく、今後とも計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

② コスト状況

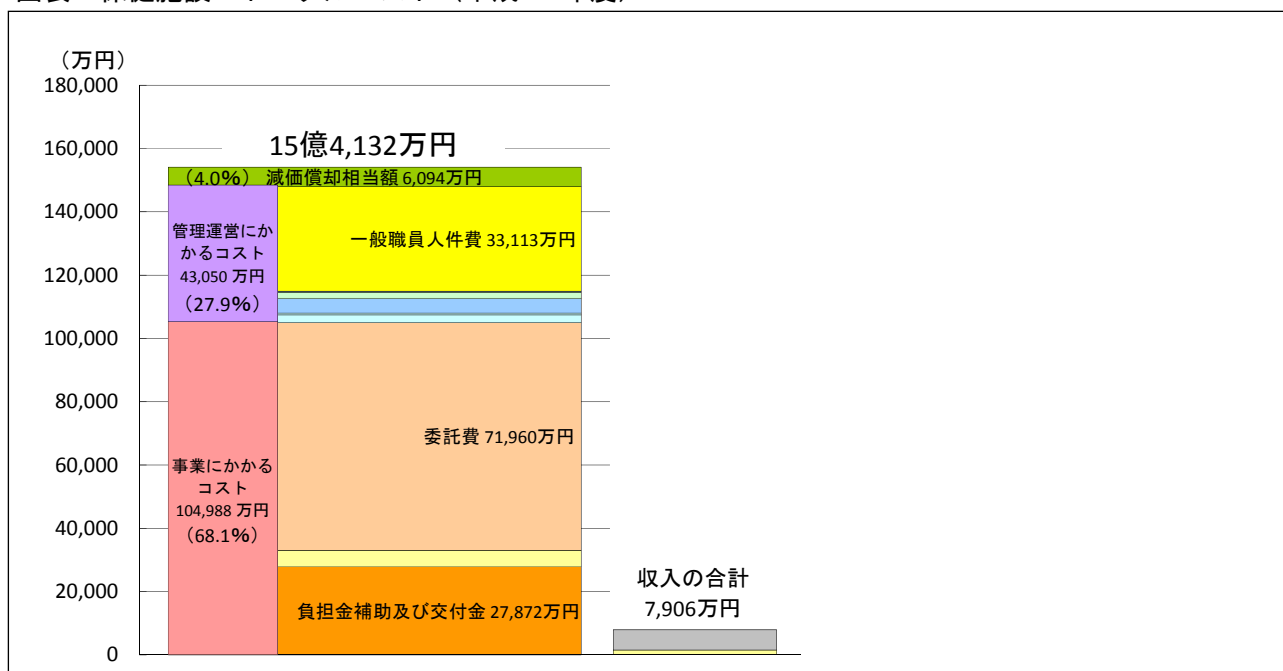
健康福祉センターの年間トータルコストは、15億4,132万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は4億3,050万円（28%）、事業にかかるコスト（委託費、その他物件費等）は10億4,988万円（68%）、減価償却相当額は6,094万円（4%）です。当該施設から年間7,906万円の収入があります。

図表 行政コスト計算書（平成24年度）

		健康福祉 センター
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		
管理 運営に かかる コスト	一般職員人件費	331,133,537
	修繕費	2,701,706
	光熱水費	19,271,702
	委託費	46,985,728
	使用料及び賃借料	5,355,012
	その他物件費	25,053,223
	管理運営にかかるコスト	430,500,908
事業に かかる コスト	委託費	719,604,472
	使用料及び賃借料	51,561,245
	負担金補助及び交付金	278,717,725
	事業にかかるコスト	1,049,883,442
現金収支を伴うコスト 計		1,480,384,350
【収入の部】		
収入	使用料収入	14,389,000
	諸収入	64,669,208
収入の合計		79,058,208
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	60,937,813
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		1,541,322,163
収支差額（ネットコスト）		1,462,263,955

図表 保健施設 トータルコスト（平成24年度）



(19) その他学校施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、その他学校施設を1施設保有しています。学校給食センターの管理運営は、市の直営となっています。

設置目的：安全でおいしい給食を安定的に提供することにより、生徒の健康増進及び体力の向上を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	土地所有	備考
東金子	1 学校給食センター	新久129	2,042.96	昭和54	S造	市	

〇〇施設：施設名称の赤ハッチは、耐震化工事未実施を示す

昭和56：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す

② 事業内容

本市の学校給食センターは、中学校に給食を提供しています。

③ 配置状況

図表 その他学校施設位置図



2) 実態把握

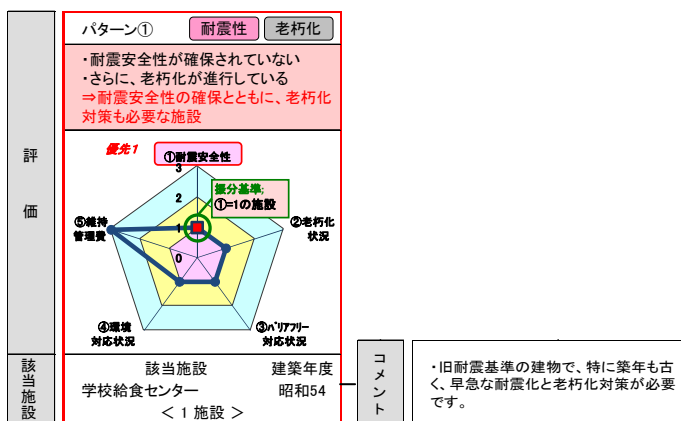
① 建物状況

■ その他学校施設の建物総合評価結果

平成 25 年度の学校給食センターの建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応					④環境対応		⑤維持管理						
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または大規模改修後経過年数	エレベーター※1	車いす用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	点字ブロック	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費
1	学校給食センター	昭和54	2,043	未実施	34		34	×	×	×	×	×	×	×	×	0	5,195	801	0	2,543	392

学校給食センターは、耐震化対応が未実施のため早急な対応が求められます。(パターン①)



② コスト状況

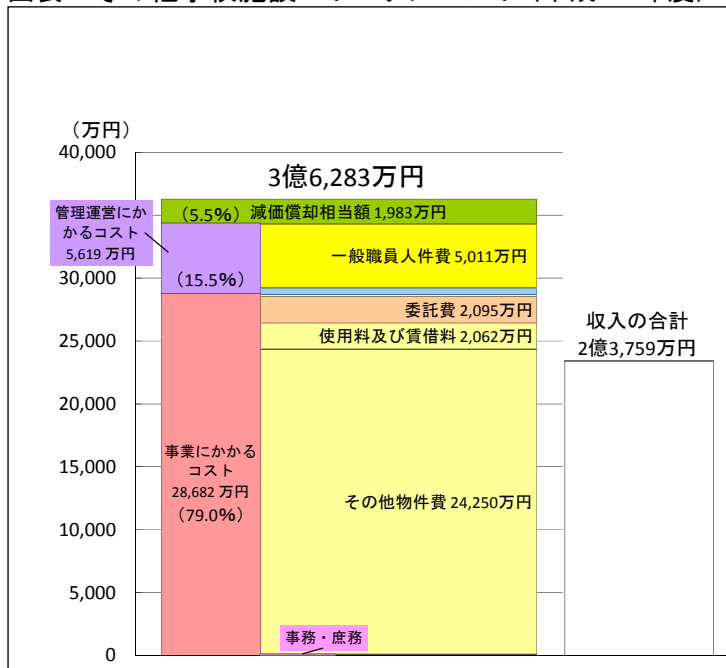
学校給食センターの年間トータルコストは、3億6,283万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト(修繕料、委託費等)は5,619万円(16%)、事業にかかるコスト(委託費、その他物件費等)は2億8,682万円(79%)、減価償却相当費は1,983万円(6%)です。当該施設から年間2億3,759万円の収入があります。

図表 行政コスト計算書(平成24年度)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		学校給食センター (円)
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	50,107,000
	修繕費	801,045
	委託費	5,195,425
	その他物件費	83,356
	管理運営にかかるコスト	56,186,826
事業にかかるコスト	修繕費	1,523,844
	委託費	20,951,280
	使用料及び賃借料	20,619,739
	負担金補助及び交付金	29,000
	その他物件費	242,495,340
	事業活動	285,619,203
	使用料及び賃借料	705,958
	その他物件費	492,150
事務・庶務	1,198,108	
事業にかかるコスト	286,817,311	
現金収支を伴うコスト 計		343,004,137
【収入の部】		
収入	学校給食センター対象校生徒用給食費	237,053,731
	使用料収入	11,390
	諸収入	528,460
収入の合計		237,593,581
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	19,828,729
III. 総括		
コストの部合計(トータルコスト)		362,832,866
収支差額(ネットコスト)		125,239,285

図表 その他学校施設 トータルコスト(平成24年度)



(20) 供給処理施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、供給処理施設を2施設保有しています。総合クリーンセンター、リサイクルプラザの管理運営は、市の直営となっています。

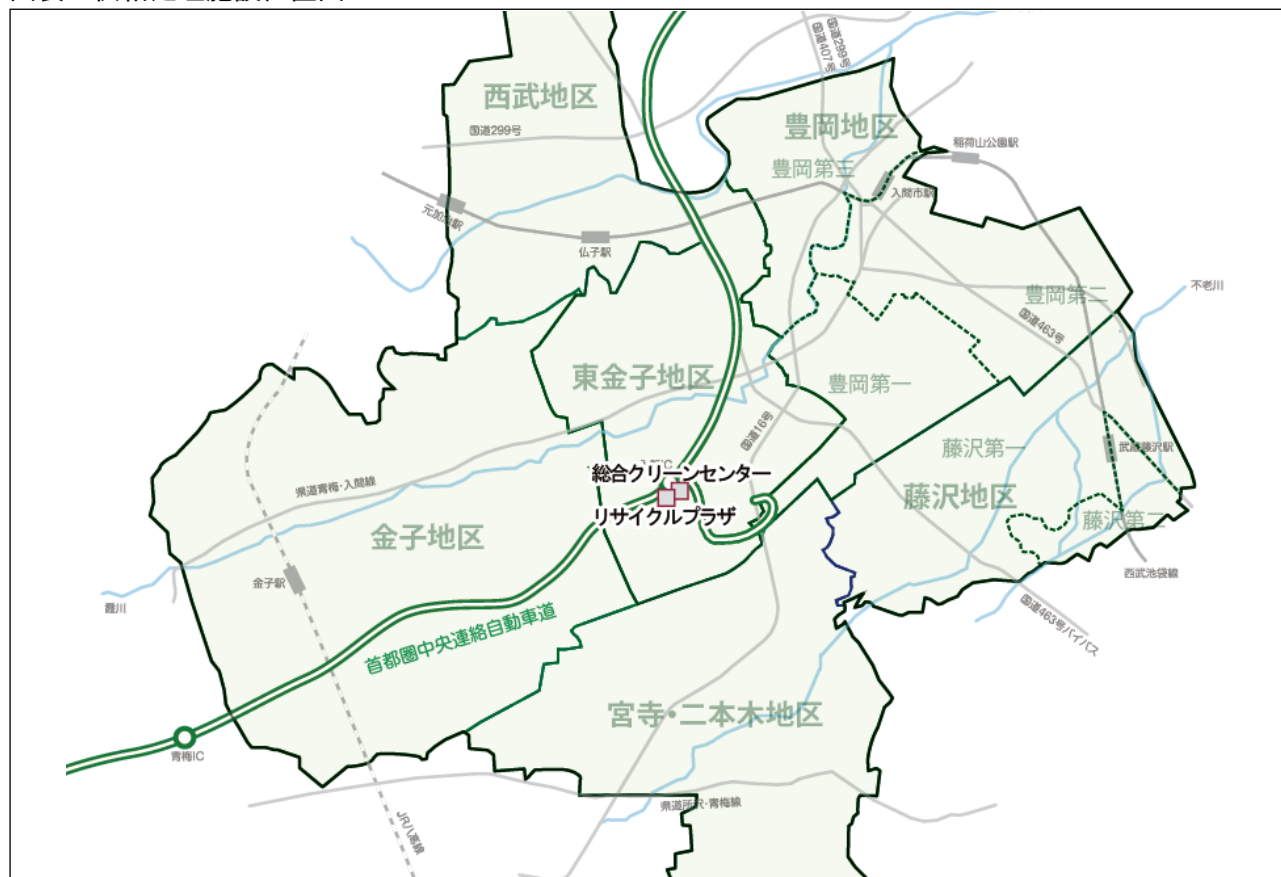
設置目的	
総合クリーンセンター	市内から収集または搬入されたごみを、衛生的かつ安全で安定的に処理することを目的とする
リサイクルプラザ	循環型社会を構築するために、リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（ごみの再生使用）を進めることで、ごみの減量化・資源化を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	複合・併設施設	土地 所有	備考
						供給 処理施設		
東金子	1 総合クリーンセンター	新久127-1	8,697.47	平成7	SRC造	●	市	
	2 リサイクルプラザ		2,425.59	平成10	S造			
合計			11,123.06					

② 配置状況

図表 供給処理施設位置図



2) 実態把握

① コスト状況

総合クリーンセンターの年間トータルコストは、17億727万円です。

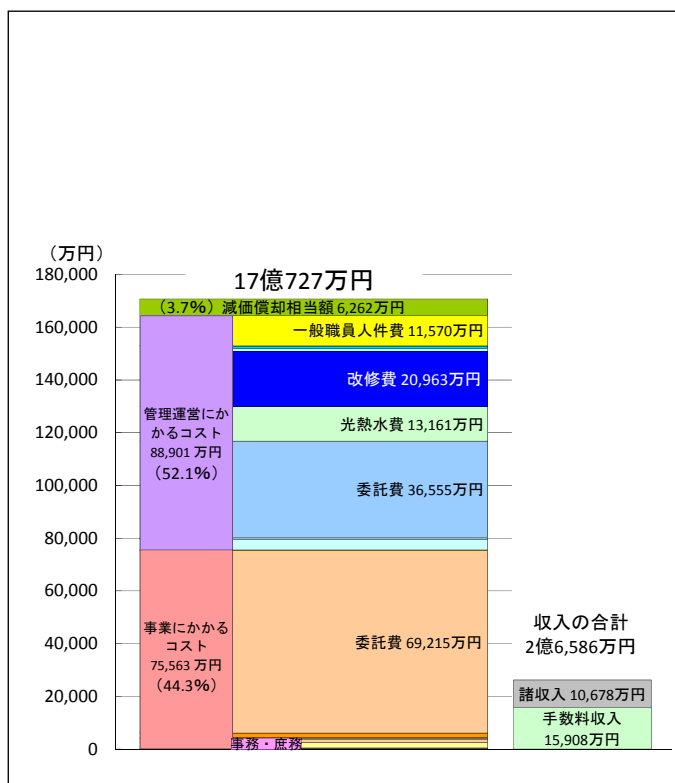
年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は8億8,901万円（52%）、事業にかかるコスト（人件費、その他物件費等）は7億5,563万円（44%）、減価償却相当額は6,262万円（4%）です。当該施設から年間2億6,586万円の収入があります。

図表 行政コスト計算書（平成24年度）

図表 供給処理施設 トータルコスト（平成24年度）

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		総合クリーンセンター	
管理運営にかかるコスト	一般職員人件費	115,696,378	
	その他人件費	155,000	
	車両・備品購入費	10,078,907	
	修繕費	9,738,842	
	改修費	209,632,500	
	光熱水費	131,610,479	
	委託費	365,546,537	
	使用料及び賃借料	5,406,135	
	負担金補助及び交付金	17,000	
	その他物件費	41,132,339	
	管理運営にかかるコスト	889,014,117	
事業にかかるコスト	臨時職員人件費	2,488,757	
	その他人件費	10,000	
	委託費	692,151,902	
	使用料及び賃借料	9,000	
	負担金補助及び交付金	16,211,472	
	その他物件費	2,948,535	
	事業活動	713,819,666	
	事務・庶務	光熱水費	3,631,763
		委託費	13,316,310
		使用料及び賃借料	20,357,282
		負担金補助及び交付金	479,345
		その他物件費	4,026,806
	事務・庶務	41,811,506	
	事業にかかるコスト	755,631,172	
現金収支を伴うコスト 計		1,644,645,289	
【収入の部】			
収入	手数料収入	159,077,330	
	諸収入	106,783,112	
収入の合計		265,860,442	
II. 現金収支を伴わないもの			
コスト	減価償却相当額	62,621,784	
III. 総括			
コストの部合計(トータルコスト)		1,707,267,073	
収支差額(ネットコスト)		1,441,406,631	



(21) その他の施設

本市には、(1)～(20)までの市民利用中心の施設のほかに、水道施設、防災センター、自転車駐車場、納骨堂等その他の施設が12施設あります。それらの施設概要を以下に示します。

1) 水道施設

■施設概要

本市では、水道施設を9施設保有しています。水道施設9施設の管理運営は全て市の直営となっています。

設置目的：安全で良質な水の供給と、安定給水を確保することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
豊岡	第二	1 豊岡配水場	向陽台1-1-8	2,615.00	昭和63	RC造	国・県
	第三	2 鍵山浄水場	鍵山3丁目5番5号	3,894.30	平成18	RC造	市
東金子		3 入間台加圧場	大字根岸473-5	107.60	平成7	RC造	市
		4 西武第一配水池	大字小谷田1712-2	0.00	昭和50	—	市 H18改修済
		5 東金子配水場	小谷田4-536-2	698.70	昭和60	RC造	市
金子		6 寺竹加圧場	大字寺竹427-4	0.00	昭和61	—	市
		7 南峯配水池	大字南峯958-4	19.80	昭和42	S造	市 H30機能停止予定
藤沢 第一		8 扇町屋配水場	下藤沢1303	499.80	昭和49	RC造	市 H24改修済
		9 藤沢配水場	上藤沢108	1,436.70	平成12	RC造	市
合計			9,271.90				

2) その他施設

■施設概要

本市では、その他の施設として、防災センター等3施設保有しています。3施設の管理運営は、市の直営となっています。

設置目的	
防災センター	災害発生時に適切な対応を図るとともに、防災用の備品類を備蓄することを目的とする
入間市駅南口自転車駐車場	市民の自転車利用の利便を図るとともに、放置自転車対策として、駅周辺の環境を整備することを目的とする
納骨堂入間永光苑	墓地を購入する前、または墓所工事完成までの間、遺骨の保管場所がない方に一時的に納骨してもらうことを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建 物)	土地 所有	備考
豊岡 第二	1 防災センター	向陽台1-1-9	539.32	昭和63	RC造	市	
	2 入間市駅南口自転車駐車場	向陽台1-160-5	1,527.88	昭和60	S造	市	
金子	3 納骨堂入間永光苑	南峯935-30	777.78	平成2	S造	市	
合計			2,844.98				

■ 配置状況

図表 その他の施設位置図



